

五三年六月—五五年二月当時重慶市工業労働模範。五四年七月第一期全国人民代表大會重慶市代表。

黄奕歡 Huang I-huan (Ng Sik-huan) 1909~

福建省南安県の人。シンガポール在住華僑。一般保険、酒類、輸出入貿易業に従事。亜洲保險有限公司董事兼經理。亜洲人壽保險有限公司董事。五六年七月シンガポール工業貿易視察団秘書として日本ついで中共訪問。

黄越千 Huang Yüeh-chien

五五年四月当時國務院外交部辦公庁主任。

黄炎培 (任之) Huang Yên-pei (Jên-chin)

1879~

江蘇省川沙生れ。日本留学。南洋大学卒業。セントジョン大学名誉博士号。北京政府から二回教育部長に任ぜられたが、拒否したといわれる。一七年中華職業教育社社長。三八年国民参政会常任委員。四三年立憲政府推進委員会召集者。民主建国会の代表として四九年九月政治協商會議に出席、同會議全國委員会常務委員。中央人民政府委員会委員、政務院副總理兼輕工業部部長。中ソ友好協會總會副會長。五一年当時民主建國會召集人、ついで同會主任委員。五三年一月憲法起草委員会委員。当時中国人民世界平和擁護委員会常務委員。二月中央選挙委員会委員。五四年八月第一期全国人民代表大會江蘇省代表。九月同大會第一次會議主席団員、同大會常務委員会副委員長。十二月政治協商會議第二期全國委員会委員(民

主建國會)、同副主席。十二月中ソ友好協會第二次全國代表會代表。五五年七月各團體連盟參加の人民代表団執行委員会委員。五六年二月民主同盟第二期中央委員会委員、同中央常務委員会委員。

黄淵偉 Huang Yüan-wei

広東省台山県の人。ヴァンクーヴァー在住華僑。広州嶺南大学卒業。国民党在カナダ総支部常務委員、国民大会カナダ代表、国民参政会第四期参政員、広東省参議等を歴任。百利川洗染有限公司、竹林苑買業有限公司、竹林園等を経営。

黄遠 Huang Yüan

五四年二月当時人民革命軍事委員会總政治部宣伝部部長。五六年二月当時人民解放軍總政治部勤務少將。

黄歐東 Huang Ou-tung

江西省の人。現在五〇歳。四六年東北行政委員会成立当時初代の遼寧省人民政府主席。五〇年頃瀋陽市人民政府市長。五三年当時中共瀋陽市委員会書記。五四年八月—五六年一月当時中共遼寧省委員会書記。五四年八月第一期全国人民代表大會瀋陽市代表。五五年二月当時遼寧省中ソ友好協會準備委员会主任。同月遼寧省人民委員会委員。三月政治協商會議遼寧省第一期委員会主席。五六年九月中共第八期中央委員会候補中央委員。

黄火青 Huang Huo-ching

河北省の人。現在五一歳位。北京大学卒業。三〇年中共に入党。

黄家直 Huang Chia-chih

僮族。五五年二月広西省人民委員会委員。

黄華 Huang Hua

江蘇省の人。現在四四歳位。もと上海市外事処処長といわれる。五四年四月—六月ジュネーブ會議中共代表団顧問、代表団スポークスマン。五四年十一月—五六年九月当時國務院外交部西欧非洲(西欧・アフリカ)司司長。五五年四月アジア・アフリカ會議中共代表団顧問。五五年七月中国人民外交学会第三期理事會常務理事。同学会研究部主任。

黄華 Huang Hua 1903~

ホノルル生れ。原籍広東省中山県。ホノルル在住華僑。檀華酒品公司総理兼司理。中華会館主席、共和銀行、華商總會、中華營業公司等の董事。英文ホノルル新聞支配人。

黄玠然 Huang Chieh-jan

五三年十一月全国工商業連合会執行委員会常務委員、副秘書長。十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(全国工商業連合会)。五六年三月政治協商會議全国委員会学習委員会委員。五六年十二月全国工商業連合会特別招請委員兼副秘書長。

黄海明 (女) Huang Hai-ming

五三年四月全国民主婦女連合会第三期執行委員。五四年二月人民

中共中央社会部組長、労働部処長を歴任といわれる。五三年三月当時中央天津市委員会代理書記。七月—五五年二月当時同委員会書記。五三年五月中華全国総工会第七期執行委員、当時天津市総工会主席。九月—五五年三月当時天津市各界人民代表會議協商委員会主席。五三年十一月天津市中ソ友好協會第四期會長。五四年五月当時天津市工会連合会主席。八月第一期全国人民代表大会天津市代表。九月同大會常務委員会委員。十二月中ソ友好協會第二次全國代表會代表(全国総工会)。五五年一月天津市市長。三月政治協商會議天津市第一期委員会主席。五六年九月中共第八期中央委員会候補中央委員、中共八全大會で「天津における資本主義工商業と資本家を改造した経験について」と題し発言。

黄火星 Huang Huo-hsing

江西省の人。現在四九歳位。中共軍第一〇兵团政治部主任、厦門警備司令、軍管会主任を歴任といわれる。五五年九月一級解放勳章を受く。十一月最高人民檢察院副檢察長、最高人民檢察院軍事檢察院檢察長。

黄家駟 Huang Chia-su

上海医学院外科主任教授(胸腔外科専門家)。五三年一月世界人民平和大会中共代表団員。五月世界医学會議出席中共代表団員。十二月上海第一医学院副院長。五四年七月第一期全国人民代表大會江西省代表。五五年五月中国科学院生物学地学学部委員、六月同学部常務委員会委員。



解放軍慰問代表団第四總分団副団長。

黄開雲 Huang Kai-yün

五四年六月福建医学院院長、当時福建省人民政府衛生庁長。

黄覺菴 Huang Chieh-an

四川省の人。五四年九月西康省人民政府委員。当時中共西康省委員会統一戦線工作部部长。五五年一月西康省人民委員会委員。

黄甘英(女) Huang Kan-ying

五三年四月全国民主婦女連合会第二期候補執行委員。五四年三月当時同連合会研究室副主任。五五年十一月パキスタン訪問婦人代表団員。五六年五月中国パキスタン友好協合理事。

黄岩 Huang Yèn

四一年四月まで津浦路西連防辦事処主任。終戦直前は中共中央華中局指導下の淮南蘇皖辺区党委員会の分派機関の書記。四九年頃中共皖北区委員会副書記、皖北人民行政公署主任、皖北軍区副政治委員、華東軍政委員会土地改革委員会委員。五二年八月安徽省人民政府副主席兼同省軍区副司令。八月第一期全国人民代表大会安徽省代表。五五年三月安徽省省長。

黄希仁 Huang Hsi-jèn

五三年十一月全国工商業連合会執行委員。五六年十二月全国工商業連合会第二期執行委員(江蘇省)。

黄季陸 Huang Chi-lu 1895~

四川省敘永県の人。慶応大学卒業。米コロンビア大学卒業、カナダ・トロント大学研究員。帰国後広州大元帥府法治委員会委員長、大本營第四部副部长。二四年国民党第一次全国代表大会宣言審査委員会委員長。二八年広東省党部宣伝部長、中央大学教授。三一年広東政府政務委員会委員。三五年第五期候補中央執行委員、中央党部地方自治計画委員会副主任、広州民国日報社社長、広東国民政府政務委員会委員、国府内政部長。四二年—四九年国立四川大学校長。五二年行政院政務委員、内政部長。

黄琪翔 Huang Chi-hsiang

広東省梅県の人。保定軍官学校卒業後、広東軍鄧鏗部隊に勤務。北伐の時張發奎部隊の団長。第一次国共分裂の時江西から広東に帰り、広州で「張黄事変」を起したが失敗。その後鄧演達の第三党に入る。福建人民政府の時參謀団の主任。同政府失敗後香港に逃れ、郭秀儀と結婚、共にドイツに行く。戦争中は陳誠と羅卓英の助手。戦後軍事代表団団長としてドイツ訪問。四九年香港に帰り反蔣宣言を發出、政治協商会議に参加、同会議全国委員会委員。政務院政治法律委員会委員。中南軍政委員会委員。当時中国農工民主党中央執行委員。五三年一月中南行政委員会委員。当時農工民主党中央臨時工作委員会主任委員。五三年二月政治協商会議全国委員会常務委員。六月—五六年二月当時農工民主党中央執行局秘書長。五三年十月第三回訪鮮慰問団第一總分団副団長として北鮮訪問。五四年八月第一期全国人民代表大会広東省代表。九月国防委員会委員。十一

黄魚門 Huang Yu-mèn

五三年十一月全国工商業連合会執行委員。五四年八月第一期全国人民代表大会四川省代表。五五年十一月当時四川省工商業連合会準備委員会副主任委員。五六年十二月全国工商業連合会第二期執行委員(四川省)。

黄旭初 Huang Hsi-chu

広西省の人。現在六四歳。在日華僑。保定陸軍軍官学校卒業。二六年国民革命第七軍旅長、後同軍第六師長。二八年黄紹雄第一五軍長の下で副軍長兼第三師長。二九年広西派反蔣軍を起すや黄と共に広西における後方軍政事務処理に当る。三一年第一五軍長。三一年—五〇年広西省政府委員兼主席。五一年来日、現在華文日本通報社長。

黄君璧 Huang Chün-pi 1897~

広東省の人。広東芸術学院美術科卒業。二八年広東美術学校教授兼教頭。三六年国立美術学校教授。三七年—四七年国立中央大学美術科教授。四九年台湾師範大学芸術学系主任。著書「中国画に就て」。

黄啓漢 Huang Chi-han

広西省の人。ビルマ在住華僑。愛国青年協進社を指導し反共運動に携わる。

月國務院体育運動委員会副主任。十二月政治協商会議第二期全国委員会委員(農工民主党)、同常務委員。同月中ソ友好協会第二次全国代表会代表。五五年六月体育代表団副団長としてチエコスロヴァキア第一次全国運動大会に参加。七月中国人民外交学会第三期理事會理事。同月各国民議会連盟参加の人民代表団執行委員会委員。五六年一月中国オリンピック委員会副主任。二月中国亜細亞團結委員会委員。同月民主同盟第二期中央委員会委員。三月西藏訪問中央代表団副団長。同月政治協商会議全国委員会學習委員会委員。

黄暉 Huang Hui 1903~

福建省の人。二六年南洋大学卒業。三六年米コーネル大学卒業。三七年—四四年湘江発電所長、資源委員会委員。三九年中国水力電気調査所長。四四年—四五年資源委員会遣米技術使節団員、四六年—五〇年台湾電力副董事長。五〇年同總經理。

黄汲青 Huang Chi-ching

四川省の人。地質学者。五〇年西南軍政委員会委員。五三年一月西南行政委員会委員。五四年六月当時中央人民政府地質部普查委員会常務委員。八月第一期全国人民代表大会四川省代表。五五年六月中国科学院生物学地学部常務委員会委員。五六年二月九三学社第四期中央委員会委員。三月國務院科学規劃委員会委員。

黄居易 Huang Chü-i

五五年七月当時武漢市文化局局長。



黄啓顯 Huang Chi-hsien 1903~

台湾嘉義県の人。厦門大学および燕京大学研究院卒業。厦門大学教授。海軍軍官学校教官。嘉義県議会議長。台湾省教育庁副庁長。台湾省政府委員。五四年六月台湾省建設庁長。

黄啓瑞 (青萍) Huang Chi-jui (Ching-ping)

1910~

台湾省台北市の人。京都帝大法学部卒業。三九年一四五年弁護士開業。四五年一四六年台北市政府参事兼民政局長。四六年同市政府顧問。四六年一五〇年同教育局長等を歴任。五〇年一五四年台北市議会議長、国民党台北市党部執行委員、台北市兵役協會主任委員、台北市軍民理事長、一元獻機台北市分会主任委員。五五年国民党中央委員、会副秘書長。

黄敬 (本名、俞啓威) Huang Ching (Yu)

Chi-wei) 1912~

浙江省紹興県の人。国防部長俞大維の甥。山東大学で物理学研究。三九年愛国運動に従事し青島で逮捕。釈放後解放区に入る。延安魯迅芸術学院卒業。晋察冀辺区で工作。四八年八月華北人民政府委員兼公營企業部長。四九年一月天津市人民政府成立とともにその市長。中共天津市委員会書記。十月中ソ友好協定会総理事。華北行政委員会委員。五二年八月政務院第一機械工業部部長。五四年九月國務院第一機械工業部部長。十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(共産党)。同月中ソ友好協定会第二次全国代表会代表。五六年

三月全国先進生産者代表会議準備委員会委員。四月全国先進生産者代表会議主席団団員。五月國務院国家技術委員会主任を兼任。九月中共第八期中央委員会委員、中共八全大会で「今後は工業を従来の修理組立方式より製造方式に改めるべし」と発言。

黄經耀 Huang Ch ng-yao

五四年十月当時人民解放軍黒龍江軍区第一副司令員。

黄慶祺 Huang Ching-chi

五四年三月当時人民中共石家荘地方委員会書記。

黄慶昌 Huang Ching-chang (Wee Kheng-

chang) 1891~

福建省の人。シンガポール在住華僑。銀行業、土産品、ゴム、胡椒、椰子製澱粉等の取扱商。大華銀行董事兼經理。慶隆有限公司主席董事。五六年八月シンガポール工商業貿易視察団団員として中共を訪問。

黄杰 (達雲) Huang Chieh (Ta-yün) 1903~

湖南省長沙の人。黄埔軍官学校卒業。陸軍大学卒業。二九年第二師長。日華事変勃発後第八軍軍長。後中央軍官学校教官。四四年一四五年第一一集団軍司令。四五年中国インド道路衛戍副司令。四五年一四八年中央訓練学校長。四八年一四九年長沙綏靖団長。四九年七月国防部長、湖南省主席兼第一兵団司令。五二年国民党中央評議委員。五三年一五四年台北衛戍司令。五四年陸軍總司令兼台湾防

備管区總司令。

黄潔 Huang Chieh

五三年十一月全国工商業連合会執行委員。五四年八月第一期全国人民代表大会広東省代表。五四年十二月華僑投资公司責任者。五五年二月広東省人民委員会委員。十二月全国工商業連合会第二期執行委員(華僑)。五六年十月中華全国帰国華僑連合会常務委員会委員。

黄建中 (離明) Huang Chien-chung (Li-ming)

1889~

湖北省随県の人。英ケンブリッジ大学卒業。英エジンバラおよび米コロンビア大学にも留学。国立北京大学、国立女子大学、国立北京師範大学哲学系教授、国立暨南大学教務長、上海交通大学国文教授等を歴任。二九年国民政府教育部高等教育司長兼代理次長。三一年一三二年湖北省政府教育庁長。教育大学、国立中央大学、四川大学の教授および部長。三八年一四〇年および四二年一四七年国民大会代表、四八年立法委員。

黄元吉 Huang Yuan-chi

五三年十一月全国工商業連合会執行委員。五六年十二月全国工商業連合会第二期執行委員(山東省)。

黄現璠 Huang Hsien-fan

広西省の人。僮族。五四年五月中国人民対外文化協会理事。八月第一期全国人民代表大会広西省代表、当時広西師範学院歴史系教授。

九月同大会民族委員会委員。五五年二月広西省人民委員会委員。

黄源 Huang Yuan

作家。翻譯家。中国左翼作家連盟に入り、外国文学研究雑誌「訳文」の編集に従事。戦争中新四軍の文化工作に参加。四九年上海軍管会文芸処副主任。全国文学芸術界連合会全国委員会委員。五三年十月中国作家協会理事會理事。五五年七月当時浙江省文化局局長。五七年一月当時世界平和擁護委員会浙江省分会副主席。

黄洪年 Huang Hung-nien

五三年八月当時百貨総公司副經理。五三年十一月全国工商業連合会執行委員。五六年二月当時百貨公司經理。五六年十二月全国工商業連合会第二期執行委員(国営企業、合作社全国総機構)。

黄克勤 Huang Kê-chin

五五年二月広西省人民委員会委員。

黄克誠 Huang Kê-chêng 1899~

湖南省永興県の人。黄埔軍官学校出身。湖南秋収暴動の時中共入党。紅軍第三軍団師長、政治委員。延安では党委員会政治部組織部長、抗大第五分校校長。後新四軍第三師長、中共蘇北区委員会書記、蘇北軍区司令。四五年七全大会で候補中央委員。四九年人民解放軍第四野戦軍に従って南下、中南軍政委員会委員、中共湖南省委員会書記、湖南軍区政治委員。九月政治協商會議全国委員会委員。五二年十月人民革命軍事委員会副総参謀長。五四年八月第一期全国人民



代表大会中南军区代表。九月同大会常务委员会委员、国防委员会委员。十一月国务院国防部副部长。五五年六月当时依然副参謀長。九月一級八一勳章・一級独立自由勳章および一級解放勳章を受く、大将。九月中共第八期中央委员会委员、中央委员会中央書記処書記。

黄克 綸 Huang Kê-lun (Ke-louen)

国立北京大学卒業。駐日大使館随員、カナダ大使館二等書記官、外交部秘書、同簡任秘書を歴任。五二年国府駐大阪総領事。

黄 國 書 Huang Kuo-shu 1906~

台湾省新竹県の人。大陸に亡命、暨南大学卒業。日本士官学校同砲兵学校卒業。帰国後中央軍官学校および軍官団砲兵学校教授。その後ドイツ砲兵専科学校、フランス戦術院にて砲兵学を研究。戦時中独立砲兵団長、師長、軍長。四六年憲法起草委员会の陸軍部隊側代表委員。四七年立法委員。五〇年立法院副院長。五一年―五二年同院長代理。台湾省社会事業協合理事長。

黄 良 庸 Huang Kên-yung

五六年二月民主同盟第二期中央委员会委员。

黄 根 源 Huang Kên-yüan (Wong Ken-jan)

広東省新会県の人。現在四一歳。ジャカルタ在住華僑。かつてジャカルタ広慶会館理事長。現在ジャカルタ中華総会理事長、ジャカルタ金華公司総経理。

黄 灼 林 Huang Chuo-lin

広東省の人。ビルマ在住華僑。反共秘密結社大洪山抱氷堂(全ビルマに盟友六千といわれる)の幹部。

黄 錫 九 Huang Hsi-chiu

陝西省人民政府参事。五三年一月同政府委員。五四年十二月陝西省人民委员会委员。

黄 樹 芬 (禮昌) Huang Shu-fên (Wong Shee-fun, Li Chang) 1907~

マライ・ジョホール生れ。原籍広東省台山県。シンガポール在住華僑。嶺南大学卒業。ジョホールに泰成公司、シンガポールに連華有限公司を設立し、椰子油製造、ゴム輸出および一般雜貨の輸出入業務を経営。四八年ジョホール州サルタンより Dato の尊称を贈られた。ジョホール中華総商會會長、馬華公會ジョホール分會長、ジョホール州議會議員、ジョホール州工部局議員、マライ台山會館連合會長、僑務委員会委員、シンガポール中興日報董事長。

黄 潤 萍 Huang Jun-ping

五三年当時北京市工業労働模範。五四年八月第一期全国人民代表大会北京市代表。

黄 序 周 Huang Hsi-chou

黄 佐 臨 Huang Tso-lin

映画、話劇監督。五三年十月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。五四年四月中ソ友好協会ソ連メーデー参観団団員。八月第一期全国人民代表大会上海市代表。五五年三月アジア諸国会議中共代表団団員。

黄 子 卿 Huang Tzu-ching

化学者。五五年五月中国科学院物理学化学学部委員、六月同学部常務委員会委員。五六年二月九三学社第四期中央委員会委員。

黄 子 祥 Huang Tzu-hsiang

五五年三月政治協商會議陝西省第一期委員会副主席。

黄 志 勇 Huang Chih-yung

五五年九月一級解放勳章を受く。十二月当時中将、工程兵副政治委員。

黄 思 起 Huang Ssu-chi

福建省の人。ビルマ在住華僑。戦時中中国に逃れ、戦後帰郷して華商會秘書、東方貿易公司経理。徐四民の信奉者といわれる。

黄 執 中 Huang Chih-chung

五四年九月まで寧夏省人民政府委員。五六年二月民主同盟第二期中央委員会候補委員。

五五年二月湖北省人民委员会委员。

黄 少 谷 Huang Shao-ku 1901~

湖南省の人。国立北平師範大学卒業、ロンドン政経学校留学。二四年―二七年北平世界日報主筆。二七年―二九年第二集團軍秘書長。三八年―三九年監察委員。四五年―四六年国民軍事會議政治訓練部副部長、掃蕩報総経理、掃蕩報重慶辦事処発行人兼主筆、国民党中央監察委員会選任委員。四二年―四八年和平日報総経理。四八年何應欽内閣行政院秘書長、閻錫山内閣の政務委員、バギオ会談に出席。五〇年―五四年行政院秘書長。五一年―五四年行政院政務委員。四九年―五〇年国民党總裁室首席秘書。五二年国民党中央委員常任委員。五四年六月行政院副院長。

黄 松 堅 Huang Sung-chien

僮族。五〇年当時中共中央華南分局組織部副部長。五〇年―五四六年六月広西省人民政府委員。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(少数民族)。

黄 松 齡 Huang Sung-ling

四九年天津市軍官會文教部長、中共天津市委員会宣伝部部長。五〇年一月天津市人民政府委員兼教育局長。五二年十一月中央人民政府高等教育部副部長。五四年二月人民解放軍慰問代表団副総団長。五四年十一月国务院高等教育部副部長。十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(教育界)。五五年五月中国科学院哲学社会科学学部



委員。五六年二月標準語普及工作委員會委員。

黃省三 Huang Hsing-san

五六年一月政治協商會議第二期全國委員會特別招請委員。

黃祥 Huang-hsiang

西藏族。五三年一月甘肅省甘南藏族自治州人民政府設立準備委員會副主任。九月同政府副主席。

黃紹竑 (季寬) Huang Shao-hung (Chi-kuan) 1895~

広西省容県の人。旧名紹雄。保定陸軍軍官学校卒業。早くより広西にあり李濟深に従う。二七年錢大鈞等広東軍と協力して賀龍、葉挺の共産軍を汕頭、福州に討伐。ついで国民革命軍討逆第八路軍総指揮。間もなく広東共産党事件後、陳銘樞等と協力し張發奎を追出し広東に入る。二八年討逆第八路軍副指揮兼第一五軍長に改任(総指揮李濟深)。三〇年北京反蔣政府失敗後、蔣と妥協を図り、三一年広西派代表として南京に赴き、広西善後督辦に任ぜられ南帰したが、妥協条件につき李、白、張等の同意がえられず広西に入るを得ず、香港に止る。三二年国民政府内政部長。四九年政治協商會議全國委員會委員、中央人民政府政務院政務委員。五四年八月第一期全国人民代表大会広西省代表。九月同大会常務委員會委員。十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(特別招請人士)。五五年七月各國議會連盟参加の人民代表団執行委員會委員。五六年二月国民党革

命委員會中央委員、三月同常務委員。十一月一五七年一月の間全国人民代表大会代表団員としてソ連および東欧諸國を訪問。五七年二月同革命委員會台湾平和解放工作委員會副主任委員。

黃嘯曾 Huang Hsiao-tseng

五三年四月当時政務院教育部辦公庁主任。

黃振聲 (胡平) Huang Chên-shêng (Hu-ping) 1920~

上海セントジョン大学卒業。日華事変勃發後学生抗日愛國運動の指導者。戦後ニューヨークで開催の東南アジア青年大会参加の中国学生代表団団長。四八年冬中共地区に入り、中華全国学生代表大会開催準備に参加。四九年三月中華全国学生連合会執行委員兼国外部長。五三年三月中華全国青年第二次代表大会準備委員會委員。六月全国民主青年連合会第二期全國委員會委員。五四年九月志願軍帰國部隊代表団代表。

黃人傑 Huang Jen-chieh 1905~

湖南省沅陵の人。清華学校卒業。二六年米カリフォルニア工科大学、二八年マサチューセッツ工科大学卒業。三一年一三九年北京、湖南、浙江各大学教授。四〇年一四三年資源委員會委員、石炭乾溜廠長。四三年一四五年雲南アルコール公司社長。四五年一四八年中央窒素肥料会社代理社長。四九年一五一年台湾糖業公司總經理。五一年台湾糖業公司協理。

黃仁俊 Huang Jen-chün

広東省台山県の人。サンフランシスコ在住華僑。民光貿易公司支配人、民生雜貨公司經營者、中華總會館支配人。国民党駐米總支部常任委員、米州国民日報幹部。国民政府僑務委員會委員、四八年国民代表大会に出席。

黃仁霖 Huang Jen-lin 1901~

江西省安義の人。二四年米ヴァンデビルト大学卒業、コロンビア大学研究員、後フォード自動車学校に入學。二八年軍人砥礪志操之勵志社(社長蔣介石)総幹事。三五年新生活運動促進總會総幹事。三七年一四六年軍事委員會傷兵慰問組長。四一年米国志願兵航空隊に所属、各所に招待所を設置。四六年米国後方勤務処を視察。四七年米オリヴェット大学名譽法學博士号。四八年一四九年および五〇年一五四年連合勤務總司令部副總司令。五五年同部總司令。

黃正清 Huang Chêng-ching

西康省の人。西藏族。西北軍政委員會委員兼畜牧部副部長。五三年一月西北行政委員會副主席。同月甘肅省甘南藏族自治州人民政府設立準備委員會主任。九月同政府主席。五四年二月人民解放軍慰問代表団第二總分団副団長。五四年八月第一期全国人民代表大会甘肅省代表、九月同大会民族委員會委員。同月甘肅省人民政府副主席。十二月同省副省長。五六年三月西藏訪問中央代表団第二分団副団長。

黃征 Huang Chêng

命委員會中央委員、三月同常務委員。十一月一五七年一月の間全国人民代表大会代表団員としてソ連および東欧諸國を訪問。五七年二月同革命委員會台湾平和解放工作委員會副主任委員。

黃嘯曾 Huang Hsiao-tseng

五三年四月当時政務院教育部辦公庁主任。

黃振聲 (胡平) Huang Chên-shêng (Hu-ping) 1920~

上海セントジョン大学卒業。日華事変勃發後学生抗日愛國運動の指導者。戦後ニューヨークで開催の東南アジア青年大会参加の中国学生代表団団長。四八年冬中共地区に入り、中華全国学生代表大会開催準備に参加。四九年三月中華全国学生連合会執行委員兼国外部長。五三年三月中華全国青年第二次代表大会準備委員會委員。六月全国民主青年連合会第二期全國委員會委員。五四年九月志願軍帰國部隊代表団代表。

黃人傑 Huang Jen-chieh 1905~

湖南省沅陵の人。清華学校卒業。二六年米カリフォルニア工科大学、二八年マサチューセッツ工科大学卒業。三一年一三九年北京、湖南、浙江各大学教授。四〇年一四三年資源委員會委員、石炭乾溜廠長。四三年一四五年雲南アルコール公司社長。四五年一四八年中央窒素肥料会社代理社長。四九年一五一年台湾糖業公司總經理。五一年台湾糖業公司協理。

僑族。五四年八月第一期全国人民代表大会広西省代表。五五年二月広西省人民委員會委員。

黃靜波 Huang Ching-po

人民解放軍第一野戰軍後勤部政治委員。五〇年甘肅省人民政府委員兼財政經濟委員會副主任。五二年十一月政務院糧食部副部長。五五年十二月國務院糧食部副部長。

黃石山 Huang Shih-shan

五五年二月山西省人民委員會委員。

黃節文 (女) Huang Chieh-wên (Agnes Lillian Huang) 1919~

河北省北京の人。東京帝國大学卒業。四七年一四八年国民大会代表。四九年国府立法委員。

黃先 Huang Hsien

五五年二月江西省副省長。

黃宗熙 Huang Tsung-hsi

五六年十一月中共工会代表団員として来日。当時中共黨員、中央辦公処書記補、第一科員、郵電工会科長といわれる。

黃乃 Huang Nai

五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(社会救濟福利



団体)。五五年十月当時中国聾啞人福利会準備委員会委員。十二月当時國務院教育部聾啞教育所所長。

黃乃一 Huang Nai-i

五三年七月新民主主義青年団第二期中央委員。

黃大經 Huang Ta-ching (Ng Tai-keng) 1909~

福建省の人。シンガポール在住華僑。罐詰食品、酒類、茶葉、煙草商。中南有限公司および南康有限公司の董事兼經理。五六年八月シンガポール工商業貿易視察団員として中共を訪問。

黃大明 Huang Ta-ming

五三年十一月全国工商業連合会執行委員。

黃卓棠 (南山) Huang Chuo-tang (Nan-shan)

広東省中山県の人。ホノルル在住華僑。明倫中学卒業。中華總商會主席、共和銀行副支配人。信託公司董事。

黃達 Huang Ta

五二年十二月当時長春鉄道共同管理中ソ連合委員会中共側委員。

五五年二月遼寧省副省長。

黃知眞 Huang Chih-chên

五五年一月政治協商會議第一期江西省委員会副主席。二月江西省人民委員会委員。

り一等勳章を下賜されたといわれる。

黃長水 Huang Chang-shui

福建省惠安県の人。永くフィリピン出入口商會理事長。また香港の福建商會理事、福建同郷會理事、工商俱樂部理事長等を歴任。中国民主建国会に所属。四九年中央政府華僑事務委員会委員。福建省人民政府委員。五二年八月広州市工商業連合会執行委員会主任委員。五二年末広州市副市長。五三年一月中南行政委員会委員。福建投資股份有限公司董事長。五三年十一月全国工商業連合会副主任委員。五四年一月当時民主建国会広州市分会主任委員。六月当時広州市人民政府委員。九月第一期全国人民代表大会華僑代表。九月同大会第一次會議主席団員。十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(民主建国会)。五五年四月民主建国会中央委員。五六年二月中国亞洲團結委員会委員。三月中国国際貿易促進委員会対外貿易仲裁委員会委員。六月全国帰国華僑連合会準備委員会副主任委員。十月同連合会副主席。十二月全国工商業連合会第二期執行委員(広東省)。同時に同連合会副主任委員再選。

黃朝琴 (蘭亭) Huang Chao-chin (Lan-ting)

1898~

台湾省台南県の人。二三年早稲田大学卒業。二六年米イリノイ大学卒業。三〇年外交部日本科科長。三三年桑港總領事。三九年インド總領事。四二年外交部情報司幫辦、外交部甘肅特派員。四五年一四七年外交部台湾特派員兼台北市長。四七年台湾省參議會議長、台湾省第一商業銀行董事長。五〇年国連總會中国代表。五一年台湾省議

黃丑和 Huang Chou-hé

五三年十月当時志願軍二級英雄特等功臣。五四年八月第一期全国人民代表大會東北軍区代表。

黃中 Huang Chung

五二年六月中華全国体育總會委員兼副秘書長。五三年七月ブカレストにて開催の第三回世界青年代表大會および第四回世界青年と学生平和友誼懇親節に出席の代表団体育代表隊長。五四年二月当時政務院体育運動委員会副秘書長。十二月中ソ友好協會第二次全国代表會代表(全国体育總會)。五六年一月中国オリンピック委員会委員兼秘書長。当時國務院体育運動委員会副秘書長。十月同委員会副主任。五六年十一月中国エジプト友好協會理事。

黃仲華 Huang Chung-hua

五五年一月浙江省人民委員会委員。

黃兆珪 Huang Chao-kui (S. Q. Wong) 1888~

シンガポール生れ。広東省出身者の子孫。シンガポール在住華僑。五年渡英、ケンブリッジ大学、ミッドル・テンブル大学に学ぶ。一〇年英国弁護士資格を獲得。一二年広東省高等法院検事。第二次革命勃発後シンガポールに渡り法律事務所を開設。一八年実業界に転じ、銀行、保険、ゴム、錫、自動車等の事業に関係、華僑銀行外二十数社の重役を兼務。ジョホール王の信認厚く多年その法律顧問を務め、また州政府行政職員であったため、四一年同王室よ

會議長。中国国民党中央委員。中日文化經濟協會副會長。五六年四月中華民国各界日本親善訪問団員として来日。著書「広源輪案」「日本統轄下之台湾」「中華民族之海外發展」「日本經濟之危機」。

黃鎮 Huang Chên

四四年頃第一八集團軍の晋冀魯豫辺区軍(指令は劉伯承)の副政治主任。戦後大行軍区政治部副主任。五〇年六月一五四年九月中共駐ハンガリア大使。五四年九月駐インドネシア大使。五五年四月アジア・アフリカ會議中共代表団員。

黃鎮球 (劍靈) Huang Chên-chiu (Chien-ling)

1898~

広東省梅県の人。一九年保定軍官学校卒業。二二年第一次北伐当時代理副官長、団長、師長を歴任。二七年第二次北伐当時第四軍第二六師師長。二九年一三三年欧洲各国遊学。三四年防空学校校長。三六年防空委員会副主任、防空処長。三七年首都防空副司令。四一年防空總監。四五年一四六年後方勤務總司令。四七年參謀次長、國防部次長。四七年一四八年広州綏靖公署副主任。四八年一四九年広東保安司令。四九年国府国防部戰略顧問。五〇年一五四年連合勤務總司令。五一年陸軍二級上將。五四年一五五年国防部副部长。五五年總統府參軍長。

黃珍吾 Huang Chên-wu 1902~

広東省の人。二五年黄埔軍官学校卒業。四七年一四八年南京市警務局長。四九年一五〇年東南地区憲兵司令。五〇年一五四年国府憲



兵司令。五四年台北防衛司令部司令。

黃鼎臣 Huang Ting-chên

広東省海豊の人。東京大学医学部出身。二八年帰国して病院を開業。戦争中一時重慶新華日報の医業顧問。戦後広東漢民北路で医務所を開設、診療を行うかたわら「進歩分子」の隠れ家、連絡場所に供したといわれる。四九年九月致公党を代表して政治協商会議に出席、当時同党組訓部部长。五四年八月第一期全国人民代表大会広東省代表。十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(致公党)。十二月中ソ友好協会第二次全国代表大会代表。五六年十月中華全国帰国華僑連合会常務委員会委員。

黃鐵金 Huang Tieh-chin

福建省の人。ビルマ在住華僑。煙草商。華商商会常務理事。親共的華僑のリーダーといわれる。

黃天啓 Huang Tien-chi

五六年一月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。

黃天爵 Huang Tien-chüeh 1904 ~

福建省の人。国立厦門大学に学ぶ。福建省政府委員兼厦門市市長。中国国民党中央監察委員。僑務委員会常務委員、同副委員長、国民大会代表。五四年六月僑務委員会副委員長留任。

黃天祥 Huang Tien-hsiang

五三年七月新民主主義青年団第二期中央委員。

黃德茂 Huang Tè-mao

五三年四月—五四年六月当時工業労働模範。五三年四月第七回全国労働大会鞍山代表。五六年一月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。

黃南鵬 Huang Nan-pêng

台湾省の人。現在五五歳。在日華僑。日本士官学校卒業。国府中央軍団長、のち華北に赴き、殷汝耕の冀東政權に關係。日華事变後華北治安総署軍務局長、集団司令、冀東行營主任、北京憲兵司令等を歴任。戦後国府側により逮捕投獄されたが、中共軍北京進出直前釈放され香港に逃る。ついで五〇年日本に來り、廖文毅等と台湾独立党を組織、同党の副主席となる。廖と合わず五四年冬同党を脱退し、別に台湾民主独立連盟を組織、林獻堂を総裁に推し自ら代理総裁となる。

黃農 Huang Nung

五一年十一月中国農工民主党中央委員。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(農工民主党)。五五年一月福建農學院副院長。

黃波 Huang Po

五四年十一月最高人民檢察院檢察員。

黃伯度 Huang Po-tu 1890 ~

安徽省舒城县の人。早稲田大学卒業。安徽省議會議員、第一次衆議院議員、國務院秘書、總統府秘書、執政府秘書、國務院秘書長、国民革命總司令部秘書、上海警備司令部秘書長、中央服務委員会主任秘書、全国水災義賑会常務委員兼總務組主任、駐日大使館秘書等を経て、社会部次長、行政院顧問。五五年—五六年当時總統府第一局長。

黃薇 Huang Wei

五三年四月全国民主婦女連合会第二期執行委員。

黃文熙 Huang Wên-hsi

五五年二月武漢長江大橋技術顧問委員会委員。五月中国科学院技術科学学部委員、六月同学部常務委員会委員。五六年一月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。

黃文源 Huang Wên-yüan

五四年十二月青海省人民委員会委員。

黃文山 (凌霜) Huang Wên-shan (Ling-shuang)

広東省台山県の人。ニューヨーク在住華僑。北京大学文学士、米コロンビア大学M.A。民氣日報、国民日報の総編集、国立中央大学、北京大学、師範大学の教授、中山大学法学院院長、国立労働大学教務長、上海建設大学代理校長、広東省立法商学院院長、国民政府

立法委員、国民大会代表、国民党中央委員、広東省政府委員、粵僑事業輔導委員会副主任、広州日報社長、中山文化教育館分館研究部主任等を歴任。のち国府僑務委員会委員、ニューヨーク社会研究大学中国文化史教授。著書「文化学論文集」「文化学の科学体系中の位置」等。

黃文炳 Huang Wên-ping (Ng Boon-peng) 1910 ~

福建省和平県の人。シンガポール在住華僑。雜貨、鹹魚、土産品、ゴム取扱業四海源有限公司の經理。五六年八月シンガポール工商業貿易視察団員として中共を訪問。

黃秉維 Huang Ping-wei

五五年五月中国科学院生物学地学学部委員。

黃北洪 Huang Pei-hung

広東省中山県の人。ホノルル在住華僑。少年時代ハワイに渡航。泰興公司司理、共和銀行副支配人、陳章公司董事、京魚市有限公司董事、從善堂正副主席、中華会館董事、自由新報支配人、中華總會長等を歴任。

黃方剛 Huang Fang-kang

五五年一月黒龍江省人民委員会委員。五六年二月国民党革命委員会候補中央委員。

黃墨涵 Huang Mo-han



四九年中国民主建国会会務推進委員会委員。五四年九月まで西南軍政委員会財政經濟委員会委員。十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(中国民主建国会)。

黃民偉 Huang Min-wei

五〇年七月中国電業工会全國委員會副主席。五三年三月当時広州市總工会主席。五月中華全國總工会執行委員。五四年九月まで広州市人民政府委員。

黃夢飛 Huang Mêng-fei

五三年十一月全國工商業連合会執行委員。五五年三月安徽省人民委員會委員。五六年十二月全國工商連第二期執行委員(安徽省)。

黃鳴龍 Huang Ming-lung

五五年五月中国科学院物理学数学学部委員。五六年一月政治協商會議第二期全國委員會特別招請委員。

黃藥眠(黃訪) Huang Yao-mien (Huang Fang)

広東省梅県生れ。梅州中学卒業。広州高等師範卒業後、モスクワ中山大学に四年間留学。上海に帰るや国府側に捕えられ入獄。出獄後四一年桂林に行き、後重慶、成都等を転転、成都では「華西報」副刊の編集に当る。戦後華南に行き、ついで香港で民主同盟のスポークスマン、達徳学院の教員となる。後広東省人民政府委員。五三年十月中国文学芸術界連合会第二期全國委員會委員。同月中国作家協會理事。五四年八月第一期全国人民代表大会広東省代表。十二月

中ソ友好協會第二次全國代表会代表(文学芸術界連合会)。五五年一月「文芸報」編集委員会委員。二月—五六年六月当時北京師範大学中文系主任教授。五六年二月民主同盟第二期中央委員会委員、同常務委員会委員。三月政治協商會議全國委員會學習委員会委員。

黃有鸞 Huang Yu-luan

広東省文昌県の人。タイ在住華僑。薬局主兼医師。国民政府僑務委員会委員。中タイ連絡専員、中華總商會委員。

黃雍 Huang Yung

五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(特別招請人士)。五六年二月国民党革命委員会候補中央委員。

黃耀富 Huang Yao-fu (Wong Yew-foo) 1906~

広東省の人。現在シンガポール在住華僑。広華藤業商行経営者。五六年七月シンガポール工商業貿易視察団団員として日本ついで中共を訪問。

黃洛峯 Huang Luo-feng

中共中央宣傳部出版委员会主任委員。四九年政務院出版總署出版事業司司長。五四年八月第一期全国人民代表大会雲南省代表。五六年五月国務院文化部部长助理兼出版事業管理局長。七月中国文化合作協定締結のため中共代表団員として訪ソ。

黃龍 Huang Lung

中国国際貿易促進委員会職員。五五年十一月の間中共見本市代表団工作員として来日。

黃涼塵 Huang Liang-chên

五四年九月まで西南軍政委員会財政經濟委員会委員。十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(民主建国会)。

黃霖 Huang Lin

五五年二月江西省人民委員会委員。

黃麗泉 Huang Li-chuan

五五年二月遼寧省人民委員会委員。

黃蓮輝(女) Huang Lien-hui

僮族。五四年八月第一期全国人民代表大会広西省代表。

鄭光林 Kuang Kuang-lin

広東省台山県の人。サンフランシスコ在住華僑。米ハーバード大学M.A。東南大学教授、マニラ総領事、サンフランシスコ総領事を歴任。広東銀行サンフランシスコ支店長、中華總商會主席、中華青年會董事。

鄭日安 Kuang Jih-an

五六年四月当時国務院商業部辦公庁副主任。

鄭仲榮 Kuang Chung-jung

広東省番禺県の人。現在四九歳。ヴェトナム・シロン在住華僑。パリー大学卒業。酒店を経営。シロン広肇中華理事會理事長。

鄭任農 Kuang Jên-nung

五五年六月国務院中国民用航空局局長。五五年九月一級解放勳章を受く。五六年一月モスクワで中ソ民用航空技術合作協定に調印。

鄭友良 Kuang Yu-liang

ホノルル生れ。原籍広東省中山県の人。ハワイ在住華僑。米ハーバード大学法科卒業。弁護士。第二次大戦当時米国空軍少佐。四五年—四七年ハワイ下院議院副議長。四九年当時同議長。

鄭瑤普 Kuang Yao-pu

広東省台山県の人。米サクラメント在住華僑。中国国民党在米総支部執行委員、少年中国長報総経理、中華會館主席、中華学校名誉校長、華僑救国会執行委員等を歴任。

鄭耀坤 Kuang Yao-kun 1900~

広東省番禺県の人。二二年清華大学卒業。二五年米ボモナ大学文学士。二八年米コロンビア大学商学博士。二九年南京市計画局秘書。三〇年—三二年商業新聞外国図書部長。三二年—三七年交通大学教授。三九年—四九年中国中央銀行秘書。五〇年—五三年国府顧問



(スポーツスマン)。五〇年英文中華民國年鑑編集員。五四年国府情報局顧問。

曠 經 榮 Kuang Ching-jung

五四年八月第一期全国人民代表大會湖南省代表。

曠 泉 吉 Kuang Chuan-chi

五六年十一月国務院郵電部部長助理。

敖 斯 爾 Ao Su-erh

五三年六月中国仏教協會常務理事。七月新民主主義青年團第二期中央委員。

克 力 更 Ko-li-keng

蒙古族。五一年頃内蒙古自治区人民政府人民監察委員會主任。五三年当時新民主主義青年團内蒙古委員會書記。五四年二月人民解放軍慰問代表團第六總分團副團長。八月内蒙古自治区人民政府委員。五五年四月同自治区人民委員會委員。

谷 源 松 Ku Yuan-sung

五五年五月当時労働模範、「南海一六三号」輪船船長。五六年四月全国先進生産者代表會議主席團團員。五五年八月—五六年六月の間第一期全国人民代表大會広州市代表に補選。

谷 小 波 Ku Hsiao-po

谷 鳳 翔 Ku Feng-hsiang 1906~

河北省龍関県の人。北平朝陽大学法律系卒業。四七年東北監察使。五〇年監察委員。五〇年—五二年国民党中央改造委員會委員兼副秘書長。五二年国民党中央委員會副秘書長。五四年六月行政院司法行政部長。

谷 牧 Ku Mu

五二年十一月当時中共上海市委員會副書記。五四年十二月—五六年十一月国務院国家建設委員會副主任。五五年九月国務院第三辦公室主任。五六年三月国務院科学規画委員會副秘書長。五六年十一月国家經濟委員會副主任。

谷 柳 (黄谷柳) Ku Liu (Huang Ku-liu)

広東省の人。戦後香港に現れた大衆小説作家。中篇「少年少女」

五三年三月当時天津市婚姻法貫徹運動委員會副主任委員、天津市總工會副主席。五月中華全国總工会執行委員。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員會委員(全国總工会)。五五年三月政治協商會議天津市第一期委員會副主席。五五年八月当時天津市工会連合会主席。

谷 正 綱 Ku Chêng-kang 1901~

貴州省の人。独ベルリン大学に学ぶ。三一年—五〇年国民党中央執行委員。三六年まで実業部次長。四〇年—四七年最高国防會議員。四〇年—四八年行政院社会部部長。四九年—五〇年国民党党務委員會委員長。五〇年—五二年同中央改造委員會委員。五〇年内政部長。五〇年總統顧問。五二年国民党中央委員。中国大陸災胞救済總會總裁。亞洲人民反共連盟中華民國總會理事長。

谷 正 鼎 (銘樞) Ku Chêng-ting (Ming-shu) 1903~

貴州省の人。独ベルリン大学經濟学部卒業。国民党ドイツ支部執行委員。帰国後国民革命軍第二七軍政部主任、国民党中央宣伝部秘書、中央委員、北京市執行委員、行政院參事、鐵道部總務司長を歴任。四四年陝西省国民党支部主席。四八年国民党組織部長。立法委員。

谷 發 明 Ku Fa-ming

五三年六月中華全国民主青年連合会第二期全国委員會委員。当時労働模範。五四年八月第一期全国人民代表大會遼寧省代表。

戯曲「穡」「生命の幼苗」、長篇「蝦球伝」、童話「大バカ物語」、児童劇「壊れた卵」等がある。南方日報記者。五三年十月中国作家協會理事會理事。

郜 志 遠 Kao Chh-yüan

五五年十二月四川省阿壩藏族自治州副州長。

根 桑 Kên-sang

五三年六月中国仏教協會理事。

根 詮 Kên-chüan

五三年六月中国仏教協會理事。



左 熒 Tsuo Ying

五三年九月當時中央人民政府政務院文化教育委員會國際連絡部主任。

左 協 中 Tsuo Hsieh-chung

元國府軍高級將校、中共側に寝返り、五〇年陝西省人民政府委員。五三年一月同委員再任。五五年三月政治協商會議陝西省西安市第一期委員會副主席。

左 舜 生 Tsuo Shun-shêng 1895~

湖南省長沙の人。上海震旦大学卒業。フランス留学。諸大学の歴史教授。三八年—四八年国民参政會委員、青年党中央常務委員。四八年六月翁文灝内閣農林部長。十二月—四九年三月孫科内閣農林部長。五五年—五六年當時總統府國策顧問、光復大陸復興委員會副主任委員、国民大会代表、中国青年党主席。五六年四月中華民國各界日本親善訪問團員として来日。

左 振 華 Tsuo Chên-hua

五六年十二月全国工商業連合會第二期執行委員(天津市)。

左 萬 信 Tsuo Wan-hsin

五六年四月全国先進生産者代表會議主席團成員。

查 阜 西 Cha Fu-hsi

古典樂器七絃琴演奏家。五三年十月中国文学芸術界連合會第二期全国委員會委員。五四年四月民族音楽研究所通信研究員。

查 良 鑑 Cha Liang-chien 1905~

浙江省の人。二六年南海大学、二九年東吳大学、三一年米シガソ大学卒業。元国立中央大学、光華大学、東吳大学、台湾大学教授。上海特別地方法院判事。江蘇高等法院上海分院判事。司法部顧問弁護士。教育部司法教育委員會委員。四川高等法院重慶分院檢察。極東軍事裁判所の技術専門家。重慶模範法院長兼判事。上海地方法院長兼判事。五五年—五六年當時国防司法行政部政務次長。著書「民事訴訟事件中の強制執行論」。

才 旺 多 吉 Tsai-wang-tuo-chi

西藏族。五六年四月西藏自治区準備委員會委員。

柴 樹 漢 Chai Shu-han

五四年十一月國務院國家計畫委員會委員。

柴 成 文 Chai Chêng-wên

五五年三月—五六年五月中共駐デンマーク公使。

柴 澤 民 Chai Tsê-min

五三年五月北京市選舉委員會委員。十二月當時北京市農民協會主

左 葉 Tsuo Yeh

五五年一月國務院農業部部長助理。

左 林 Tsuo Lin

五三年七月中国新民主主義青年團第二期中央委員。五五年二月當時中国少年社社長、中国少年報總編輯。

查 夷 平 Cha I-ping

五四年八月第一期全国人民代表大會安徽省代表。九月國務院民用航空局計畫研究室顧問。

查 幹 葛 根 Cha-kan-ke-kên

五三年六月中国仏教協會名譽會長。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員會委員(宗教界)。五六年一月當時依然仏教協會名譽會長。二月中国亞洲團結委員會委員。

查 謙 Cha Chien

五四年八月第一期全国人民代表大會安徽省代表。

查 汝 强 Cha Ju-chiang

五三年十月當時中共北京市委員會宣傳部理論教育處處長。

查 波 平 Cha Po-ping

五三年七月中国新民主主義青年團第二期中央委員。

柴 保 中 Chai Pao-chung

五六年十月國務院交通部部長助理。

崔 榮 漢 Tsui Jung-han

五五年一月天津市人民委員會委員。

崔 義 田 Tsui I-tien

四九年當時華東軍區衛生部長。四九年末—五四年六月華東軍政委員會文化教育委員會委員。五四年十一月國務院衛生部副部長。十一月中華医学会理事として日本訪華医学代表团との「協定」に調印。

崔 群 Tsui Chün

五六年十月中共駐ユーゴスラヴィア大使館商務參事官。

崔 繼 瑗 Tsu Chi-yüan

五六年十月中共駐スイス大使館參事官。

崔 月 犁 Tsui Yueh-li

五三年七月當時中国人民世界平和擁護委員會副秘書長。五月—五四年十一月當時中国人民抗米援朝總會副秘書長。十月中国人民第三



回訪鮮慰問団総団副秘書長。

崔 光 Tsui Kuang

五五年九月中国人民銀行副行長。

崔 行 恕 Tsui Hsing-shu

五五年一月黒龍江省人民委員会委員。

崔克巴・登珠澤仁 Tsui-ké-pa・Teng-chu-tsé-jên

西藏族。五六年四月西藏自治区準備委員会辦公庁副主任。

崔 國 翰 Tsui Kuo-han

五五年二月政治協商會議第一期湖北省委員会副主席。

崔 國 山 Tsui Kuo-shan

礦業労働模範。「快速掘進法」を創案。五四年八月第一期全国人民代表大会大会黒龍江省代表。

崔 士 夫 Tsui Shih-fu

五六年十二月当時中国糧穀油脂出口公司上海分公司副經理。

崔 書 琴 Tsui Shu-chin 1906~

河北省の人。三四年米ハーバード大学博士号。三四年—三七年中央政治学校教授。三七年—四六年国立西南連合大学教授。四六年—四八年国立北京大学教授。立法委員。五〇年—五二年国民党中央改

造委員。五一年国民党中央設計、觀察委員会主任。著書「国際法」  
「議会政府と直接民主主義」「三民主義に関する新論」。

崔 昌 政 Tsui chang-chêng

五六年一月国府駐日大使館二等書記官。

崔 紹 華 Tsui Shao-hua

五四年十一月最高人民法院審判員。

崔 存 璘 Tsui Tsun-lin 1909~

浙江省の人。ウェイランド学院、上海大学、米ジョージワシントン大学修学。二九年—三二年外交部課長補佐。三一年—三三年国際連盟中国代表団随員。駐スイス公使館三等書記官。三三年—三八年駐米大使館二等書記官。三八年—四六年同館一等書記官。四六年同館参事官。その間、ダンバートン・オークス会議およびサンフランシスコ会議の中国代表団秘書。国連国府代表団秘書長。

崔 田 夫 Tsui Tien-fu

五〇年陝西省人民政府人民監察委員会副主任。五三年一月同省人民政府委員。五四年十二月陝西省人民委員会委員。

崔 田 民 Tsui Tien-min

五四年二月当時人民解放軍鉄道兵副政治委員。

崔 東 府 Tsui Tung-fu

五四年十一月最高人民法院審判員。

崔 濤 Tsui Tao

五三年十二月—五六年三月当時中共河間県(河北省)委員会書記。

崔 德 祺 Tsui Tè-chi

五六年二月当時澳門同善堂理事。三月当時澳門中華總商會副理事長。同月政治協商會議広東省第一期委員会常務委員。

崔 德 錫 Tsui Tè-hsi

五四年八月第一期全国人民代表大会山東省代表。

崔 萬 秋 Tsui Wan-chiu

五二年八月国府駐日大使館一等書記官。

塞 克 Sai Ké

元東北軍区文工団団長。五二年当時援朝志願軍政治部文化部副部長。五四年六月松江省人民政府委員解任。九月東北人民政府文化教育委員会委員解任。

載 濤 Tsai Tao

滿洲族。五三年五月北京市選挙委員会委員。五四年八月第一期全国人民代表大会北京市代表。十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(少数民族)。五六年四月政治協商會議全国委員会民族組副組長。

蔡 以 田 Tsai I-tien

五四年八月第一期全国人民代表大会湖北省代表。

蔡 英 平 Tsai Ying-p'ing

五五年三月エカフエ会議にオブザーバーとして出席の世界労働代表団秘書として来日。

蔡 衍 吉 Tsai Yèn-chi

五三年十一月全国工商业連合会第一期執行委員。五六年十二月同連合会第二期執行委員(福建省)。

蔡 翹 Tsai Chiao 1897~

広東省の人。生理学者。二二年米インディアナ大学卒業。二四年シカゴ大学碩士。三七年南京中央大学教授。四八年中国科学院院士。五四年八月第一期全国人民代表大会広東省代表。五五年五月中国科学院生物学地学部委員。

蔡 子 偉 Tsai Tzu-wei

五三年十二月西北農林局長。五四年十一月国務院農業部副部長。十二月政治協商會議第二期全国委員会委員。

蔡 樹 藩 Tsai Shu-fan 1908~

湖北省漢陽の人。露語に巧み、妻はソ連人。一五歳の時漢冶萍鉄鉄会社の徒弟。二二年毛澤東が漢冶萍会社に工人俱樂部組織の際活



躍。二三年社会主義青年団加入。二五年漢冶萍公司を追われ、南昌兵工廠で工作。二七年中共入党。八月一三〇年モスクワ東方大学、労働大学、レーニン学院で修学。二八年中国共産党を代表して第六次コミンテルン大会に出席。三〇年江西中央ソヴィエト区第一二軍政治委員。三三年負傷。三四年西遷に随行。三六年陝甘ソヴィエト政府内務委員兼司法委員。四一年第一二九師政治部主任。太行軍分区政治部主任。五〇年一五三年一月西南軍政委員会委員、中華全国総工会辦事処主任。五三年一月西南行政委員会委員。四月総工会訪ソ・メーデー参観団団長。五四年二月人民解放軍慰問代表団副総団長。八月第一期全国人民代表大会重慶市代表。十一月中央人民政府体育運動委員会副主任。五五年六月体育代表団団長としてチエコの第一回全国運動大会参加。十一月当時五五年度国際友誼射撃競技組織委員会主席。五六年一月中国オリンピック委員会主任。四月全国先進生産者代表会議主席団員。九月中共第八期候補中央委員。

蔡書彬 (樹彬) Tsai Shu-pin 1901~

湖北省漢口の人。四八年八月ハルビンの第六次全国労働者大会に出席、中華全国総工会執行委員。中原職工總會責任者。五月中国電業工会全国委員会主席。五四年八月第一期全国人民代表大会河北省代表。五六年二月訪鮮慰問団 (団長王子宜) 副団長。

蔡石 Tsai Shih

福建省同安県の人。現在五二歳。サイゴン在住華僑。新振發出入口行経営者。西貢福建中華理事會理事長。

蔡楚生 Tsai Chu-shêng 1906~

広東省汕頭の人。映画監督。聯華影片公司の創立と同時に専属監督となり、多くの作品を発表。四九年七月中華全国電影 (映画) 芸術工作者協會常務委員。五三年十月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会主席団委員。五四年五月当時中国人民対外文化協会の理事。七月中央人民政府文化部電影局芸術委員会副主任。八月第一期全国人民代表大会広東省代表。五五年十月当時文化部電影事業管理局副局長。十一月日本憲法擁護国民連合と中国人民対外文化協会との日中文化交流「協定」に調印。五六年四月カンヌ映画祭中共代表団団長。作品「漁光曲」(三五年モスクワ国際映画コンクール佳作)、「南国の春」、「桃色の夢」、「都会の朝」、「新女性」、「迷える小羊」(三六年度中国映画最優秀作品と称せらる)、「前程万里」、「保衛東亜」等。

蔡竹禪 Tsai Chu-chan

五六年十二月全国工商業連合会第二期執行委員 (福建省)。

蔡暢 (女) Tsai Chang 1889~

湖南省湘郷の人。蔡和森の妹。一五年小学校代用教員。二〇年一二年留仏苦学生。二二年中共旅仏支部に入党。二三年李富春と結婚。二五年一二年当時北伐軍總政治部で宣伝工作担当。二七年三月北伐軍と共に武漢に入り、女学生、婦人労働者の組織に従事。二八年モスクワのコミンテルン第六回大会に参加。三二年江西ソヴィエト政府に入る。三四年西遷に参加。四一年陝甘寧辺区政府婦女工

作の責任者。四五年中共第七期中央委員会委員。四八年八月中華全国総工会執行委員。四九年四月中華全国民主婦女連合会主席。十月中ソ友好協合理事。五三年一月選挙法起草委員会委員。三月スターリン逝去弔問団団員。四月全国民主婦女連合会第二期主席。五月全国総工会第七期執行委員、世界婦人大会出席中共代表団団長。五四年八月第一期全国人民代表大会湖南省代表。九月同大会常務委員会委員。五五年七月各国議会議連盟参加の人民代表団執行委員会委員。十二月当時国際民主婦女連合会副主席。五六年二月中央標準語普及工作委員会委員。三月全国先進生産者代表會議準備委員会副主任委員。九月中共第八期中央委員会中央委員。当時中共中央婦女工作委員会第一書記。

蔡廷鍇 (賢初) Tsai Ting-kai (Hsien-chu) 1896~

広東省羅定の人。保定軍官学校卒業。三〇年国民革命軍師長。三一年第一九路軍總指揮代理。三三年秋福建人民政府軍事委員会主席。福建革命失敗後外遊。三五年帰国後第一六集團軍總司令。終戦後国民党民主促進会を組織、その党務委員。四七年十一月反国府軍を組織、四八年解放区に入る。四九年九月政治協商會議第一期全国委員会委員。十月中央人民政府委員、華僑事務委員会委員、人民革命軍事委員会委員。十二月国民党革命委員会中央常務委員。五二年十月政務院体育運動委員会副主任委員。五三年一月選挙法起草委員会委員、世界人民平和大会中共側代表団員。六月世界平和理事会理事として、ブダペストへ行く。十月中国人民第三回訪鮮慰問団総副団長。十一月ウィーン世界平和理事会に出席。五四年五月世界

平和理事会ベルリン特別會議中共代表団理事。八月第一期全国人民代表大会広東省代表。九月同大会常務委員会委員、国防委員会委員。十一月國務院体育運動委員会副主任。十二月世界平和理事会スツックホルム會議に中共代表団理事として出席。同月中ソ友好協合理事。第二次理事会理事、政治協商會議第二期全国委員会常務委員。五五年三月ウィーン世界平和理事会常務委員会に出席。六月ヘルシンキ世界平和大会中共代表団員。五六年三月国民党革命委員会第三期中央委員会副主席。

蔡挺生 Tsai Ting-shêng

五六年十二月全国工商業連合会第二期執行委員 (広東省)。

蔡培火 Tsai Pei-huo 1889~

台湾省の人。二〇年東京高師卒業。同年台湾青年雜誌編集長。二三年台湾文化協會秘書長。四六年国民党台湾省党部執行委員。四八年一五〇年立法委員。五〇年行政院政務委員、東南委員会事務所参事、行政院財政委員会委員、中国紅十字会台湾支部長、行政院設計委員会委員。五四年六月行政院政務委員。

蔡武榜 Tsai Wu-pang

広東省の人。ビルマ在住華僑 (ビルマ国籍)。陶器業。和勝公司 (紅幫系) の赤化防止に努力しているといわれる。

蔡屏藩 Tsai Ping-fan 1892~

陝西省の人。東京明治大学修学。二二年一二年陝西省法律学校



身。二七年—二八年陝西省政府秘書長。三三年—三四年監察院審計部總務局長。三八年—四五年審計部陝西省審計處長。四八年國府審計部副審計長。

蔡 邦 華 Tsai Pang-hua

五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(自然科學團體)。五五年五月中國科學院生物學地質學部委員。

蔡 芳 蔭 Tsai Fang-yin

四九年當時南昌大學工學院院長。四九年末—五四年六月江西省人民政府委員。五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(自然科學團體)。五五年二月武漢長江大橋技術顧問委員會委員。五月中國科學院技術科學部委員。

蔡 無 忌 Tsai Wu-chi (Y. Tsai) 1898~

浙江省紹興の人。農學者兼獸醫。フランス留学。二六年上海フランス工部局獸醫。二七年南京中央大學農學部長。三〇年商品檢驗局長。三一年上海獸醫學校長。四一年—四五年農林部畜耕研究所長。四五年—四九年上海商品檢驗局長。五六年三月中國國際貿易促進委員會の對外貿易仲裁委員會委員。

濟 廣 Chi Kuang

江西南昌法輪庵任職。五三年六月中國仏教協會理事。五五年四月中國仏教訪緬代表團團員。

賽力瑪・塔力甫瓦(女) Sai-li-ma・Ta-li-fu-wa

ウイグル族。五四年八月第一期全國人民代表大會新疆省代表。

賽 力 滿(女) Sai-li-man

五三年四月中華全國民主婦女連合會第二期候補執行委員。

索 觀 瀛 Suo Kuan-ying

西藏族。五三年十二月四川省藏族自治州人民政府副主席。五四年八月第一期全國人民代表大會四川省代表。十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(少數民族)。五五年一月四川省人民委員會委員。十二月四川省阿壩藏族自治州副州長。

索康・汪欽巴 Suo-kang・Wang-chin-pa

西藏族。五三年四月ラサのチベット羊毛商人・国营チベット貿易總公司の五三年度産羊毛買入れ契約書にチベット地方政府代表として調印。

索康・旺清格來 Suo-kang・Wang-ching-ke-lai

西藏族。五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(少數民族)。五五年三月西藏地方政府「噶倫」(高級官名総員四名)として國務院全体會議第七次會議に参加。五四年國慶節西藏代表團團長。五六年四月當時西藏地方政府噶倫。

索康・旺清格勒 Suo-kang・Wang-ching-ke-le

賽 池 Sai-chih

西藏族。五三年六月中國仏教協會理事。十二月青海省黃南自治區人民政府副主席。

賽夫拉也夫 Sai-fu-la-yeh-fu

ウイグル族。五四年八月第一期全國人民代表大會新疆省代表。

賽 福 鼎 Sai-fu-ting

元新疆省の人。ウイグル族。三二年新疆省人民革命武裝暴動。四四年十一月イリ、塔城、阿山等の革命暴動に参加。四九年九月政治協商會議第一期全國委員會委員。十月中央人民政府委員、政務院政治法律委員會委員兼民族事務委員會副主任委員。十二月新疆省人民政府副主席。五〇年中共入黨。新疆和平保衛民主同盟代理主席。一月モスクワの中ソ友好同盟條約附屬協定調印に参加。五三年一月西北行政委員會副主席、憲法起草委員會委員、西北軍政委員會委員、新疆人民民主同盟主席。九月—五五年二月當時中共中央新疆分局第四書記。五四年八月第一期全國人民代表大會新疆省代表。九月同大會常務委員會副委員長、國防委員會委員。十二月中ソ友好協會總會第二期副會長。五五年二月政治協商會議第一期新疆省委員會主席。八月中印友好協會理事。九月新疆ウイグル自治區主席。五六年二月中國亞洲團結委員會委員。九月中共第八期中央委員會候補中央委員、八全大會で中共新疆ウイグル自治區委員會書記の資格で「新疆ウイグル自治區の工作について」発言。十一月中國エジプト友好協會理事。

西藏族。五六年四月西藏自治區準備委員會委員。

索南才讓 Suo-nan-tsai-jiang

蒙古族。五三年十二月青海省海南西藏自治區人民政府委員。

索 立 波 Suo Li-po

五四年三月人民解放軍天津警備區參謀長。

索 朗 Suo Lang

西藏族。五六年四月西藏自治區準備委員會委員兼同委員會交通處副處長。

策仁卓瑪(女) Tsé-jên-chuo-ma

五三年四月中華全國民主婦女連合會第二期執行委員。

策仁娜姆(女) Tsé-jên-na-mu

西藏族。五三年四月當時中華全國民主婦女連合會西北區婦女工作委員會副主任。同月世界婦人大會出席代表團團員、中華全國民主婦女連合會第二期執行委員。六月ブダペスト世界平和理事會に出席(特別招請代表)。

札 喜(札喜澤仁) Cha-hsi (Cha-hsi-tsé-jên)

西藏族。四九年十月中央人民政府民族事務委員會委員。當時陝甘寧邊区政府民族事務委員會委員。同年末西北軍政委員會民族事務委員會委員。五三年十二月青海省黃南自治區人民政府副主席。



札喜旺徐 Cha-hsi-wang-hsu

西藏族。元中央人民政府民族事務委員會委員。西北軍政委員會民族事務委員會委員。五四年一月青海省果洛藏族自治州人民政府主席。八月全國人民代表大會青海省代表。十二月青海省副省長。五六年三月西藏訪問中央代表團委員會委員。

札喜才旺多杰 Cha-hsi-tsai-wang-tuo-chieh

西藏族。五〇年十一月西北牧畜區各民族參觀團副團長として北京に赴く。五四年十二月玉樹藏族自治州人民政府主席。青海省人民委員會委員。

札克洛夫 Cha-kê-lê-fu

ウイグル族。五三年三月新疆人民民主同盟代表。五五年七月中国人民外交学会第三期理事會理事。

札西林巴・欽饒旺曲 Cha-hsi-lin-pa・Chin-jiao-wang  
chi

五五年四月西藏地方政府代理噶倫(高級官員)。六月当時西藏地方政府代理噶倫。

察雅・羅登協繞 Cha-ya・Luo-têng-hsieh-jiao

西藏族。五六年四月西藏自治区準備委員會委員、同委員會畜牧処長。

薩 孟 武 Sa Mêng-wu 1898~

福建省福州の人。日本京都帝國大學卒業。上海各大学教授、国立中央政治学校大學部教授兼行政科主任、国民参政會參政員、国立中山大学法学院教授兼院長を歴任。五五年—五六年当時国立台湾大学法学院教授兼院長。五六年四月中華民國各界日本親善訪問團團員。

三 木 淡 San-mu-tan

蒙古族。五三年十二月青海省海北藏族自治州人民政府委員。

咎 凌 Tsan Ling

五四年八月第一期全國人民代表大會河北省代表。

し

支 應 遴 Chih Ying-lin

五五年二月政治協商會議第一期山西省委員會副主席。

史 紀 言 Shih Chi-yên

五三年二月山西省人民政府文盲一掃工作委員會副主任。五四年四月同省抗米援朝分會副主席。五五年十月中共山西省委員會秘書長。

史 向 生 Shih Hsiang-shêng

五五年二月河南省副省長。

薩迦・阿汪土欽班巴 Sa-chia・A-wang-tu-chin-

pan-pa

西藏族。五六年四月西藏自治区準備委員會委員。

薩 空 了 Sa-kung-liao 1905~

原籍四川省。北京生れ。蒙古族。北京大学修学。北京晚報副刊、世界画報編集人。三六年上海立報總編集。上海陥落後杜重遠、茅盾等と新疆に行き、新疆日報を經營、盛世才の圧迫で香港に逃れ、光明日報を經營、香港陥落後桂林に行き逮捕。保釈後画家方青と結婚。戦後香港「華商報」の經理。四九年当時光明日報社秘書長。四九年十月政務院新聞總署副署長。十二月民主同盟中央委員兼連絡委員會副主任。五二年八月出版總署副署長。五三年一月民族出版社社長。當時政務院民族事務委員會委員。五四年五月对外文化協會常務理事。七月中心友好協會理事。八月第一期全國人民代表大會四川省代表。十一月アルバニア訪問文化代表團團員。五六年二月中央標準語普及工作委員會委員。同月民主同盟第二期中央常務委員會委員。

薩 納 Sa-na

西藏族。五五年一月西康省人民委員會委員。西康省藏族自治州副州長。

薩 本 圻 Sa Pen-hsin

五四年八月第一期全國人民代表大會武漢市代表。

史 子 榮 Shih Tzu-jung

五五年二月湖北省人民委員會委員。

史 尙 寬(且生) Shih Shang-kuan (Tan-shêng)

1898~

安徽省桐城の人。東京帝大卒業。ベルリン大学、パリ大学修学。二八年—四一年立法委員。四二年—四八年考試院秘書長、五〇年台湾師範学校教授。五五年—五六年当時國民大會代表、考試院考選部長兼考試技術改進委員會副主任委員。

史 瑞 芬 Shih Jui-fen 1923~

江蘇省溧陽の人。江西省九江師範卒業。江南「解放」後新民主主義青年團に参加。溧陽竹簍區清水塘初級小学校校長。「全国的模範教師」。五二年江蘇省人民政府委員。

史 文 秀 Shih Wên-hsiu

五四年十二月甘肅省高級人民法院院長。

史 敏 Shih Min

五五年一月國務院糧食部部長助理。

史 慕 康 Shih Mu-kang

五六年十二月全國工商業連合會第二期執行委員(上海市)。



史洛夫 Shih Lâ-fu

五四年七月新疆省昌吉回族自治州人民政府副主席。

史隆甫 Shih Lung-fu

五五年二月河南省人民委员会委员。

史良(女) Shih Liang 1908~

江蘇省武進の人。県立女子師範、上海法科大学卒業。弁護士。王造時、章乃器、鄒韜奮らいわゆる人民戦線派七君子の一人と称された。満洲事变後日華事変まで上海で抗日運動指導。三六年十一月上海邦人紡績ストライキを煽動し逮捕投獄。戦争中婦人運動の指導者として活躍。中共の上海占領後民主分子として中共側に参加。四九年九月政治協商会議第一期全国委员会委员。十月中央人民政府政務院司法部部長兼政治法律委員会委員。五三年一月婚姻法貫徹運動委員会副主任。世界人民平和大会中共側代表団員。二月政治協商会議全国委員会常務委員。四月中国政治法律学会理事。同月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員兼副主席。六月中国民主同盟中央委員会副主席。五四年二月人民解放軍慰問代表団副総団長。七月当時中央政法幹部学校副校長。八月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。九月国務院司法部部長。十二月政治協商会議第二期全国委員会常務委員(中国民主同盟)。五五年七月各国議会連盟参加の人民代表執行委員会委員。五六年二月民主同盟第二期中央委員会副主席兼常務委員。

司曉南 Ssu Hsiao-nan

五五年六月当時中国民主促進会地方組織代表。五六年八月中国民主促進会第四期中央委員会候補委員。

司彰露 Ssu Chang-lu

五四年十二月政治協商会議第二期全国委員会委員(教育界)。

司徒贊 Ssu-tu-tsan

広東省開平県の人。現在六一歳。ジャカルタ在住華僑。上海暨南大学出身。ジャカルタ中華総会理事、ジャカルタ広仁中学校長、ジャカルタ広肇会館理事長等を歴任。現在ジャカルタ巴城中学校長、ジャカルタ中共系中国華僑団総会理事長。

司徒美堂 Ssu-tu Mei-tang 1866~1955

広東省開平の人。一四歳の時渡米、辛亥革命前後、一七歳にして反清復明運動に参加。のち「安良堂」を組織。三一年帰国後、香港五洲洪門大会を開き「中国致公党」を組織、その海外部領導者。四七年五月香港の致公党第三回代表大会で政綱を発表。四九年九月政治協商会議第一期全国委員会委員。十月中央人民政府委員会委員兼政務院華僑事務委員会委員。中国人民抗米援朝總會常務委員。五四年八月第一期全国人民代表大会華僑代表、九月同大会常務委員会委員。十一月当時中国銀行董事。十二月政治協商会議第二期全国委員会委員。当時北京帰国華僑連誼会副主席。五五年五月死亡。

司馬文森(陳文森) Ssu-ma Wên-sên (Chên Wên-sên)

第二次大戦初期、東南アにおいて胡愈之らと文芸工作に従事、「安妙」の筆名にて作品発表。四九年十二月国民党革命委員会中央委員。同年中共の文芸協会を代表して香港で活動。五〇年中南軍政委員会文化教育委員会委員兼文化界公債募集委員会港澳区分会主席。その後香港文化電影(映画)界の組織工作を行い、五一年一月香港政庁から追放処分。五五年九月駐インドネシア共和国大使館文化参事官。五六年二月国民党革命委員会第三期中央委員。

孜 亞 Tzu Ya

五六年三月中国作家協会理事。

思鴻陞 Ssu Hung-shêng

僂族。五三年七月雲南省德宏僂族景頗族自治州協商委員会主席。

思納山 Ssu Na-shan

景頗族。五三年七月雲南省德宏僂族景頗族自治州人民政府副主席。

思朗江村 Ssu-lang-chiang-tsun

西藏族。五六年四月西藏自治区準備委員会委員。

施玉海 Shih Yu-hai 1901~

東北国營西安炭礦模範生産班長。五一年春「炭坑安全生産運動」を提唱。五四年八月第一期全国人民代表大会遼寧省代表。

施今墨 Shih Chin-mo

漢方医。五四年十二月政治協商会議第二期全国委員会委員(医薬衛生界)。五六年五月当時北京医院顧問。

施 谷 Shih Ku

五六年八月中共駐シリア商務代表処副代表。

施如璋(女) Shih Ju-chang

五三年六月中華全国民主青年連合会常務委員。五四年八月中国キリスト教三自愛国運動委員会常務委員。十二月政治協商会議第二期全国委員会委員(中華全国民主青年連合会)。五六年二月中国亞洲團結委員会委員。三月スノーデン世界平和理事会特別会議中共代表団員(特別招待代表)。

施汝爲 Shih Ju-wei

五四年十二月政治協商会議第二期全国委員会委員(自然科学団体)。五五年五月中国科学院物理学数学化学学部委員。

施肇基(植之) Shih Chao-chi (Alfred Sao-ke Sze, Chih-chih) 1877~



浙江省杭県の人。上海セントジョン大学、二年米コーネル大学卒業。上海セントジョン、カナダのトロント、米コロンビア、シラキューズ、各大学法学博士。帰国後清朝政府各種要職を歴任。前清時代湖広総督張之洞の洋務文案。在米中国留学生監督。考察各国憲政大臣一等参贊官。京漢鐵路行車正監督。郵伝部右参議。哈爾濱税関道台。吉林交渉使代理。外務部右丞。一二年大總統府大札官。一四年一二年駐英公使。一九年一二年パリ平和會議中国全權。二一年一二年駐米公使。二一年一二年華府會議中国全權。二四年ジュネーブ國際阿片會議中国全權。二八年一三二年國際連盟中国代表。二九年一三二年駐英公使。三〇年中華文化教育基金委員會董事。三一年一三五年駐米公使。三五年一三六年同大使。三八年一四二年国民大会代表。四五年桑港會議中国代表顧問。著書「Addresses Geneva Opium Conferences」等。

施復昌(緯明) Shih Fu-chang (Wei-ming) 1902~

江蘇省崇明の人。セントジョン大学修学、二四年光華大学卒業。三七年および四六年一四九年招商局南京分公司經理。南京船運會理事長。台湾航業公司總經理。暨南軍政長官公署東南海航務委員會委員。全国船運會常務理事兼秘書長。五〇年四月中国油輪公司總經理。五一年一月招商局股份有限公司總經理。日華事變中資源委員會錫管理処秘書長、処長代理としてタングステン、アンチモニー、錫等重要物資の輸出、運輸に従事。

施復亮(伏量、本名は存統) Shih Fu-liang (Fu-liang, Tsun-tung)

浙江省金華の人。經濟学者。日本留学。中共黨員として日本を追われ、二五年「五州」運動隆盛時、上海学生連合会主催夏季講習会教授。中共五全大会後中共脱党、国民政府に自首。その後日本の社会科学書を翻譯。四五年十二月民主建國會を設立、その常務委員。四九年九月政治協商會議第一期全国委員會委員、当時教授。十月中央人民政府政務院労働部副部长。五〇年十月中国世界平和擁護委員會委員。五二年六月民主建國會常務委員兼組織委员会主任委員。五三年十一月全国工商業連合会第一期執行委員兼常務委員。五四年八月第一期全国人民代表大会四川省代表。九月同大会常務委員會委員。十二月政治協商會議第二期全国委員會委員(中国民主建國會)。五五年二月中国民主建國會中央常務委員會副主任委員。五六年十二月全国工商連第二期執行委員(特別招請)。

施平 Shih Ping

五三年三月中国新民主主義青年團華東工作委員會副書記。五四年六月北京農業大学副校長。

師子敬 Shih Tzu-ching

陝西省の人。四九年末西北軍政委員會人民監察委員會副主任。五三年一月西北行政委員會委員兼人民監察委員會副主任。五〇年一五年四月西北軍政委員會土地改革委員會委員。五五年三月政治協商會議陝西省西安市第一期委員會副主席。

師小帆 Shih Hsiao-fan

五五年二月熱河省人民委員會委員。

師哲 Shih Ché

五四年一月一五六年六月当時中共中央マルクス・エンゲルス・レーニン・スターリン著作編訳局長。五四年四月ジュネーブ會議中共代表顧問。八月第一期全国人民代表大会河南省代表。五五年十二月東独ビーク大統領誕生八〇年祝典参加中共政府代表团(团长朱德)秘書長兼中共中央代表团秘書長。五六年一月当時国防委員會顧問。二月朱德に随ってモスクワ訪問。

斯行健 Su Hsing-chien

五四年八月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。五五年五月中国科学院生物学地学部委員。

資耀華 Tzu Yao-hua

五五年四月中国民主建國會中央委員兼常務委員會工商改造輔導処副処長。五六年十二月全国工商業連合会第二期執行委員(公私合營企業全国性機構)。

呢哈買提 Ni-ha-mai-ti

ハサック族。五四年一月青海省海西、蒙、藏、ハサック族自治区協商委員會副主席。

時逸之 Shih I-chih

五三年一月陝西省人民政府秘書長。陝西省人民政府委員。五四年十二月陝西省副省長。

時曙明 Shih Shu-ming

五四年六月西康省人民政府委員。当時中共西康省涼山工作委員會書記。五五年四月西康省涼山彝族自治州人民委員會委員。

時昭瀛 Shih Chao-ying 1901~1956

湖北省枝江の人。清華大学、米ミネソタ大学卒業。米ハーバード大学碩士、リビア大学名譽法学博士。中央大学教授。武漢大学教授。駐ソ連大使館一等書記官、同参事官、オタワ総領事、ヨハネスブルグ総領事、国府外交部情報司長、同部常務次長を経て、五六年四月駐ブラジル大使。六月任地において死亡。

時紹五 Shih Shao-wu

五五年二月遼寧省人民委員會委員。

慈青 Tzu Ching

五三年六月中国仏教協會理事。五四年七月成都市仏教學習委員會主任委員。四川省人民代表大会代表。

慈旦堅贊 Tzu-tan-chien-tsan

西藏族。五六年四月西藏自治区準備委員會委員。



爾德尼 Erh-tè-ni

蒙古族。五四年八月第一期全国人民代表大会熱河省代表。五五年二月熱河省人民委員会委員。

色拉寺 Se-la-ssu

五五年六月当時班禅堪布會議厅委員会代表。

色來 Se-lai

五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(宗教界)。

竺可楨 (藕舫) Chu Kê-chên (Ou-fang) 1890~

浙江省紹興出身。米國で地球学気象学を研究。一八年帰国後南京高等師範(南京大学の前身)教授。中国科学社社長。国立中央研究院気象研究所長。三六年浙江大學長。四九年十月中央人民政府文化教育委員会委員。四九年一五六年八月当時中央科学院副院長。五〇年八月中華全国自然科学専門学会連合会全國委員。五一年四月中国気象学会理事長。五三年一月中国地理学会理事長。四月当時中国人民世界平和擁護委員会委員。五四年四月科学院生物学地学部主任。五月中国人民对外文化協會常務理事。八月第一期全国人民代表大会浙江省代表。九月同大会常務委員会委員。十月東独成立五周年記念祝賀式参加中共代表团団員。五五年五月中国科学院生物学地学部委員。六月同学部常務委員会委員。五六年三月國務院科学規劃委員会委員。五月国際地球物理年国家委員会主席。八月北京において中ソ共同黒龍江流域調査協定に調印。

文化と中国人」。

沙彦楷 Sha Yèn-chieh

弁護士。四九年十月最高人民法院委員。四九年末一五四年六月華東軍政委員会人民監察委員会委員。五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(中国民主同盟)。五六年二月民主同盟第二期中央委員会委員。

沙小泉 (女) Sha Hsiao-chuan

五三年七月中国新民主主義青年団第二期中央委員会候補委員。

沙篠舟 Sha Hsiao-chou

回族。五四年六月当時西康省藏族自治区人民政府民政処処長。

沙千里 Sha Chien-li 1903~

江蘇省呉興の人。法律学者。弁護士。三七年抗日民族統一戦線結成を推進した人民救国会「七君子」中の一人。四九年九月政治協商會議第一期全國委員會委員。十月中央人民政府貿易部副部長。上海市人民政府副秘書長。中華全国民主青年連合会副主席。五一年十一月中ソ貿易協定締結のため訪ソ。五三年九月中央人民政府商業部副部長。十一月全国工商業連合会第一期執行委員兼秘書長。五四年八月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。九月中央人民政府地方工業部部長。十一月当時中国銀行董事。五五年五月東独「解放」一〇周年祝賀式参加の中共政府代表团団員。五六年二月民主同盟第二期中央委員会委員。五月國務院輕工業部部長。十二月全国工商業連合会

竺規身 Chu Kui-shên

五四年八月中国キリスト教三自愛国運動委員会常務委員。

漆文定 Chi Wên-ting

五六年二月九三学社第四期中央委員会候補委員。

日庫 Jih-ku

西藏族。五四年六月西康省西蔵族自治区人民政府秘書長。五五年一月西康省人民委員会委員。

沙可夫 (沙達夫) (本名、陳明) Sha Kê-fu (Sha Ta-fu) (Chên-ming)

マルクス主義文芸理論家、戯劇作家。日華事変中延安で魯迅芸術学院院長。戦後華北大学第三部主任教授。四九年七月中華全国文学芸術界連合会全國委員會常務委員兼秘書長。十月政務院文化部辦公庁主任。中国人民世界平和擁護委員会委員。五三年十月中国文学芸術界連合会第二期全國委員會委員。同月中国作家協會理事會理事。当時中央戯劇学院副院長。五四年四月中ソ友好協會ソ連メーデー參觀団副団長。

沙學浚 Sha Hsüeh-chün 1908~

江蘇省の人。三〇年国立中央大学、三四年ベルリン大学卒業。国立中山大学、復旦大学、浙江大學、中央大学等の地理学教授。四九年以來台湾省立師範大学史地学系主任。著書「政治地理論」「中国

第二期執行委員兼副主任委員(特別招請)。

沙汀 Sha Ting

四川省の人。作家。魯迅の指導を受く。初期の作品は「土餅」「航線」、戦時中のは「随軍散記」「淘金記」「困獸記」「還郷記」等。四九年七月全国文学芸術界連合会第一期常務委員。五〇年一五四年九月西南軍政委員会文化教育委員会委員。五二年東独の招待で作家馬烽と訪独。五三年十月中国文学芸術界連合会第二期全國委員會委員。同月中国作家協會理事會理事。五四年八月第一期全国人民代表大会四川省代表。五五年一月四川省人民委員会委員。五六年五月中国パキスタン友好協會理事。

沙馬使旦 (女) Sha-ma-shih-tan

彝族。五三年四月当時中国第二次全國婦人代表大会出席西南区代表。

沙風 Sha Fêng

五三年十二月当時解放軍裝甲兵技術部部長。

沙文漢 Sha Wên-han

四九年十月一五四年六月華東軍政委員会文化教育委員会委員。四九年当時中共浙江省委員会宣伝部長および浙江省人民政府教育庁長。五一年当時浙江省人民政府副主席。五二年十月浙江大學校長。五四年二月人民解放軍慰問代表团第四總分団(華東)副団長。八月第一期全国人民代表大会浙江省代表。五五年一月浙江省省長。



車向忱 Chè Hsiang-chên

遼西省の人。四九年九月政治協商會議第一期全國委員。四九年末一五三年一月東北人民政府委員兼同政府文化教育教育部部長。四九年十二月民主同盟中央委員。五三年一月一五四年九月東北行政委員會委員。五四年四月東北憲法草案初稿討論委員會副主任委員。八月第一期全國人民代表大會ハルビン市代表。遼寧省人民政府副主席。十二月政治協商會議第二期全國委員會常務委員(教育界)。五五年二月遼寧省副省長。三月政治協商會議遼寧省第一期委員會副主席。五六年二月民主同盟第二期中央委員會委員。八月中國民主促進會第四期中央委員會主席。

車懋章 Chè Mao-chang

五六年十二月全國工商業聯合會第二期執行委員(上海市)。

車羅 Chè-luo

愛尼族。五三年一月一五四年九月當時雲南省西雙版納傣族自治州人民政府副主席。五五年六月雲南省西雙版納傣族自治州副州長。

謝毓壽 Hsieh Yu-shou

江蘇省の人。現在三九歳。中国科学院地球物理研究所研究員。五七年二月東京で開催の国際地球物理観測年西太平洋地域連絡協議会に出席。

謝永欽 Hsieh Yung-chin

主任、中央大学教授、金陵大学農科主任等を歴任。三五年一四六年中央農業実験所所長。四六年FAO派遣中国代表。

謝華 Hsieh Hua

五四年五月当時中共湖南省委員会統一戦線工作部部长、湖南省人民政府民族事務委员会主任委員。五五年二月湖南省人民委員会委員。政治協商會議第一期湖南省委員会副主席。

謝懷德 Hsieh Huai-tè

五〇年末一五四年十二月当時陝西省人民政府農林庁長。五三年一月陝西省人民政府委員。五四年十二月陝西省人民委員会委員。

謝覺哉 Hsieh Chieh-tsai 1893~

湖南省寧郷の人。小地主出身。前清の秀才。一八九八年維新運動を指導。二四年国民党入党。長沙省党部執行委員。長沙通俗日報編集人。北伐時代、国民党機関紙「南民報」を編集。二五年中共入党。二七年上海より奉天へ赴く。二八年一二九年共産党秘密工作に従事。三一年両湖地区で工農報の編集長兼党校教員。三二年逮捕。間もなく釈放され上海労働組合内で工作。三三年江西地区中央ソヴィエト政府秘書。西遷後延安で中共中央西北局副書記。四八年八月石家荘に設立の華北人民政府司法部部長。四九年十月中央人民政府政務院政務委員、内務部部長兼政治法律委員会委員。五〇年四月中国人民救済總會副主席(五六年末在職)。五三年一月選挙法起草委員会委員。二月中央選挙委員会委員。四月中国政治法律学会副主席。五四年七月当時中央政法幹部学校副校長。八月第一期全国人民代表大會山東省代

五四年八月中国キリスト教三自愛国運動委員会常務委員。

謝瀛州(仙庭) Hsieh Ying-chou (Hsien-ting)

1894~

広東省從化県の人。パリ大学法学博士。二五年広東中山大学法学科学長。雑誌「現代評論」主筆。国府考試院参事。二八年一三一年司法行政部次長。国立北京大学法学院院長。三二年一三三年広東省政府委員兼教育庁長。広東省高等法院院長。四七年一四八年台湾省政府秘書長。四八年以来最高法院院長。著書「五權憲法大綱」。

謝應瑞 Hsieh Ying-ju

広東省梅県の人。現在四三歳位。インドのカルカッタ華僑梅光小学、培梅小学校長。ボンベイ華僑小学、華僑中学教員。カルカッタ梅県同郷会常務理事。興華中学董事兼教務主任。五四年九月第一期全国人民代表大會華僑代表。

謝家榮 Hsieh Chia-jung

五四年六月当時國務院中央地質部地質礦産司総工程師。十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(自然科学団体)。五五年五月中国科学院生物地学学部委員。

謝家聲 Hsieh Chia-shêng (K. S. Sie) 1887~

安徽省無為県の人。一六年米シガン大学農学部、一八年コーネル大学卒業。三〇年一三五年南京大学農学部部長兼教授、国立北京農業大学秘書長兼校長代理、国立東南大学農科教務主任兼病虫害系

表。九月國務院内務部長。五六年二月中央標準語普及工作委員会委員。三月政治法律学会第二期副会長。九月中共第八期中央委員会候補中央委員。同月中共八大大会で「復員軍人を優遇せよ」と発言。

謝鶴壽 Hsieh Hè-chou

広西省の人。僮族。五〇年当時解放军広西軍区鬱林軍分区政治委員。五〇年一五四年八月広西省人民政府委員。五三年十月中国人民第三回朝鮮慰問団第五総分団副団長。五四年六月当時政務院民族事務委員会辦公庁第一司司長。八月第一期全国人民代表大會広西省代表。五六年一月当時民族事務委員会政法司司長。

謝冠生(原名、壽昌) Hsieh Kuan-shêng (Shou-chang) 1897~

浙江省嶧県の人。二四年パリ大学卒業、法学博士。帰国後、上海震旦大学、復旦大学、吳淞中国公学、特志大学、上海政法大学等の教授。外交部秘書。二七年一三二年国立中央大学法学院法律系主任教授。三〇年司法院秘書長。三四年司法部次長。三六年再び司法院秘書長。三八年一四九年司法部部長。四五年一五〇年国民党中央監察委員会委員。四七年四月張群内閣の司法行政部長。四八年六月翁文瀾内閣司法行政部長。五〇年以來司法院副院長兼司法院公務員懲戒委員会主任委員。五二年以來国民党中央評議員。著書「中国法律史草稿」(仏文)「中国法制史」、「模範法華詞典」、「法理学大綱」、「羅馬法大綱」。

謝貫一 Hsieh Kuan-i



湖南省新化の人。長沙雅礼大学、米シガン大学卒業。中央政治学校および高等警官学校教授。三六年軍事委員会重慶行營少將組長。三八年郷政学院副院長兼貴州定番県長。四三年貴州第六区行政督察專員兼保安司令。四五年善後救済総署、広西、安徽兩分署副署長。四九年基隆市長（五六年當時在職）。

謝 欽 Hsieh Chin

五六年九月當時中国国際貿易促進委員会国外來華展覽部部長。

謝 鑫 鶴 Hsieh Hsin-hé

五五年二月政治協商會議第一期貴州省委員会副主席。

謝 江 庭 Hsieh Chiang-ting

五三年八月當時湖北省人民政府行政庁優撫処処長。

謝 耿 民 Hsieh Kêng-min 1908~

浙江省余姚県の人。行政院秘書、貴州省政府委員兼建設庁長、財政庁長、貴州省銀行理事長、財政部國庫署長、中央銀行國庫局長、行政院設計委員、台湾省石炭調整委员会主任委員を歴任。五四年六月財政部常務次長。

謝 康 Hsieh Kang

五六年六月當時国府駐チモール名譽領事。

謝 克 西 Hsieh Kê-hsi

五五年二月江蘇省人民委員会委員。

謝 國 振 Hsieh Kuo-chên

福建省の人。現在三九歳。スラバヤ在住華僑。北京燕京大学卒業。スラバヤ、ジャカルタで貿易商社経営、中華総会理事長、多くの国民党系学校に關係。

謝 子 敦 Hsieh Tzu-tun

五六年六月當時国府外交部總務局長。

謝 志 光 Hsieh Chih-kuang

五六年一月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。

謝 壽 康 (次彭) Hsieh Shou-kang (Tzu-peng, Dr. Cheou-kang Sie) 1904~

江西省贛県の人。二四年ブラッセル大学卒業。経済学博士。二七年一三〇年南京中央大学文学部部長。三〇年一三一年駐ベルギー公使館代理公使。三二年一三四年立法委員。三四年一三七年条約委員会委員。三七年一四一年フランスおよびベルギー派遣中国文化使節団团长。四一年一四二年駐スイス公使館代理公使。四二年一四七年駐ヴァチカン公使。四六年ベルギー王立学術協会会員。五二年ニューヨーク国際美術会名譽会長。五四年以来駐ヴァチカン公使。著書「蔣介石總統の幼年時代と青年時代」。

謝 壽 天 Hsieh Shou-tien

国民外交部協会秘書長。四四年一四五年第五戦区司令部秘書長。五〇年以来国府立法委員。

謝 崇 文 Hsieh Chung-wên

五五年二月雲南省人民委員会委員。五六年六月當時政治協商會議雲南省委員会副主席。

謝 樞 泗 Hsieh Shu-ssu

広東省梅県の人。タイ在住華僑。錫鉱経営者。タイ王室より三等皇帽勲章を下賜さる。

謝 雪 紅 (女) (飛英) Hsieh Hsueh-hung (Fei-ying) 1900~

台湾省彰化の貧家出身。下働きを転々し、二一年反日団体「台湾文化協会」に加入。二五年五・三〇事件に参加、上海、杭州で「飛英」の名で活躍、中共に入党。同年末モスクワ東方勤労者共産大学日本班に派遣さる。二七年帰国。「日本共産党台湾民族支部」(台湾共産党)の組織に参加。三一年「台湾共産党事件」で檢挙、徒刑十三年。三九年四月重病のため釈放。四五年八月終戦とともに「人民協会」「農民協会」を組織し、「人民公報」を創刊、四七年二・二八暴動で武装蜂起を指導。四八年中共地区に到着。四九年四月中華全国婦女連合会執行委員。九月政治協商會議第一期全国委員会委員。同年末一五三年一月華東軍政委員会委員。五三年一月華東行政委員会委員。當時台湾民主自治同盟主席。五四年八月第一期全国人民代表大会福建省福州市代表。

四九年當時中国人民銀行華東区行副行長。四九年末一五四年六月華東軍政委員会財政經濟委員会委員。五三年十一月全国工商業連合会第一期執行委員。五五年五月中共駐英代辦処商務參事官。

謝 掙 强 Hsieh Chêng-chiang 1911~

台湾省澎湖県の人(福建金門籍)。慶応大学、中央訓練団党政班第一八期および台湾省行政班第一期卒業。戦前台湾革命同盟会執行委員兼組長、隊長。戦争中台湾義勇隊隊駐渝(重慶)辦事処主任。中央党部專員。中央設計局台湾調査委員会委員。四六年新竹州接管委員、河南大圳委員、嘉義市長、憲政指導委員会国民大会代表。五一年高雄市長(五六年當時在職)。

謝 筱 廼 Hsieh Hsiao-nai

元中共中央華北局委員。五三年六月一五五年一月當時中国国際貿易促進委員会連絡部部長。五三年十二月「日中貿易協定半年間延期の議定書」調印式に参加。五五年三月訪日貿易代表団秘書長として来日。當時国務院第一機械工業部辦公庁副主任秘書。

謝 晉 Hsieh Chin

五四年八月第一期全国人民代表大会湖南省代表。五五年二月湖南省人民委員会委員。政治協商會議第一期湖南省委員会副主席。五六年二月国民党革命委員会第三期中央委員。

謝 仁 釗 Hsieh Jen-chao 1904~

安徽省の人。三七年米アメリカン大学卒業。三八年一四一年中国



謝雪堂 Hsieh Hsieh-tang

五三年十一月全国工商業連合会第一期執行委員。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員會委員(台湾民主自治同盟)。五六年十二月全国工商連第二期執行委員(台湾省)。

謝然之(炳文) Hsieh Jan-chih (Ping-wên)

1912~

浙江省余姚の人。三二年東吳大学卒業後、東京中央大学に入学。四五年米ズリー大学、四六年ミネソタ大学卒業。三九年一四二年新湖北日報発行人。四七年国民党中央宣伝部第一処処長。四七年一四九年中央政治学校教授。四九年以来新生報発行人。

謝爽秋 Hsieh Shuang-chiu

五五年一月中共駐北ウィエトナム大使館参事官。八月当時同大使館臨時代辦。

謝創 Hsieh Chuang

元広東省粵中区專員、広州市人民政府衛生局副局長。五四年七月広州市人民政府華僑事務局局長。

謝竹峯 Hsieh Chu-fêng

五五年二月湖南省人民委員会委員。

謝長華 Hsieh Chang-hua

結婚、燕京大学教授。三二年夏夫と共に訪米。終戦後呉文藻が駐日中国代表団文化組組長として来日するや、これと同行東京大学その他で中国の現代文学講師。五〇年頃夫と共に中共地区に脱出。五三年十月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。五四年五月對外文化協会理事。八月第一期全国人民代表大会福建省福州市代表。五五年三月アジア諸国会議中共代表団員。六月世界母親大会(スイス)中共代表団員。八月日本で開催の原爆禁止世界大会中共代表団員。同月中印友好協会理事。十一月当時作家協会創作委員会少年児童文学組員。五六年二月中国亜細亞結核委員会委員。八月中国民主促進会第四期中央委員会委員。主作品は小説「超人」「往事」「第一次宴会」、散文「寄小讀者」「南帰」、詩「繁星」「春水」等。

謝扶民 Hsieh Fu-min

広西省貴州の人。僮族。現在四九歳位。広西省師範専門学校卒業。在校中共に入党。卒業後中学教師。戦後広西省大飢饉の際、貴州に農民暴動を起し共産軍に策応。四九年広西進出の林彪軍西江縦隊政治委員。ついで梧州軍事管制委員会主任、梧州区專員、梧州市長を兼任。五一年中共広西省委員会副書記兼紀律検査委員会書記。広西省人民政府委員兼人民監察委員会主任。五四年八月第一期全国人民代表大会広西省代表。九月同大会民族委員会副主任委員。五六年三月西藏訪問中央代表団員。全国人民代表大会第三回會議で常務委員に補選。

謝富治 Hsieh Fu-chih

湖北省の人。人民解放軍川東軍区政治委員。四九年末一五三年一

五三年七月当時人民志願軍大佐、朝鮮軍事停戦委員会連合觀察小組首席組員。

謝東閩 Hsieh Tung-min 1906~

台湾省彰化県の人。上海東吳大学および中山大学卒業。四三年国民党中央直屬台湾党部執行委員。四五年高雄州接管委员会主任。高雄県長。台湾省行政長官公署民政処副処長。台湾省合作金庫理事。四七年台湾省政府教育庁副庁長。新生報董事長。台湾省改造委員会委員。五四年六月台湾省政府秘書長。

謝韜 Hsieh Tao

五五年六月当時共産黨員、中国人民大学マルクス・レーニン主義教研室副主任、胡風反革命集團骨幹分子として批判された。

謝南光 Hsieh Nan-kuang

台湾省の人。四九年当時駐日中国代表団文化組副組長。その後辞任し五一年頃東京より中共地区へ脱出。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(特別招待人士)。五六年二月中国亜細亞結核委員会委員。八月中国人民外交学会理事。

謝冰心(女)(名、婉瑩) Hsieh Ping-hsin

(Wan-ying) 1903~

福建省閩侯県の人。幼名星朗。幼時は芝罘。北京の燕京大学時代「晨报副刊」に投稿、同社より「出国」「兩個家庭」を出版。ついで米國に留学、ウェルズレー大学にて文学を専攻。二九年呉文藻と

月西南軍政委員会委員。第二野戦軍第三兵团第一〇軍軍長。五三年一月西南行政委員会委員。五四年八月第一期全国人民代表大会雲南省代表。九月同大会民族委員会委員。五五年二月雲南省人民委員会委員。四月一五六年九月当時中共雲南省委員会第一書記。九月一級八一勳章、一級独立自由勳章および一級解放勳章。五六年九月中共第八期中央委員会委員、中共八全大会で「民族の特色に基きそれぞれ少数民族を社会主義化の方向に導くべし」と発言。

謝文清 Hsieh Wên-ching

五三年九月一五五年末当時新華社記者。五四年一月当時同社モスクワ特派員。五五年十二月当時同社駐ワルシヤワ記者。

謝文炳 Hsieh Wên-ping

広東省潮梅粵軍第一〇師長、国民革命軍第四八軍長、四川大学教授を歴任。五三年一月四川大学教授兼副校長。五〇年一五四年九月西南軍政委員会文化教育委員会委員。

謝邦治 Hsieh Pang-chih

五五年一月國務院交通部部長助理。十一月同院監察部部長助理。

謝邦定 Hsieh Pang-ting

四九年九月中華全国学生連合会首席代表として政治協商會議に出席。五二年当時中華全国学生連合会北京区主席兼同会全国委員会委員。五四年十二月中ソ友好協会第二次全国代表会代表(中華全国学生連合会)。五六年三月国際地理学科會議中共代表団員として訪



印。

謝 豐 Hsieh Fêng

五六年四月当時國務院外交部辦公庁副主任。十月中共駐ハンガリア大使館参事官。

謝 北一 Hsieh Pei-i

五六年十一月國務院國家經濟委員會委員。

謝 有吉 Hsieh Yu-chi (Cheah Ewe-keat)

1903~

マライのペナン生れ。クアラムプール在住華僑。ゴム業。クアラムプール工部局議員、治安判事。

謝 有法 Hsieh Yu-fa

五五年九月一級解放勳章。五六年三月当時人民解放軍中將。

謝 立惠 Hsieh Li-hui

大学教授。五三年一月—五五年七月当時西南師範學院教授兼院長。五四年八月第一期全國人民代表大會四川省代表。五六年二月九三學社第四期中央委員會委員。

謝 黎 Hsieh Li

山西省の人。五二年四月中共駐ビルマ大使館参事官。五五年五月当時國務院外交部西歐アフリカ局副局長。八月駐オランダ代理公使。

会第二期全國委員會委員。

朱 家驊 (驪先) Chu Chia-hua (Liu-hsien) 1893~

浙江省吳興の人。上海同濟大學、独ベルリン工科大学卒業。地質学博士、ベルリン大学博士号。一七年—二六年北京大学教授。二七年—三〇年同議長。国府建設委員會委員。三〇年—三二年国立中央大學総長。三二年—三三年教育部長。三三年—三五年交通部長。二七年—三〇年両広地質調査所長。二九年国民党中央執行委員會委員。三二年庚子賠款保管委員會主席。三六年中央政治委員會秘書長。三六年—三七年浙江省政府主席。三六年—三八年中央研究院秘書長。三七年—四六年世界國際連盟副会長。三八年—三九年国民党中央執行委員會秘書長。三九年—四四年国民党組織部長、民族文化學院董事。四〇年中央研究院院長代理。四一年—四四年考試院副院長。四一年国民党政府委員。四四年—四八年教育部長。四六年十一月教育部長バリのユネスコ會議に中国代表團長として出席。四八年六月教育部長。四九年三月政務委員。六月行政院副院長。七月国民党非常委員會委員。四九年—五〇年行政院副院長。四六年以来国連中国同志会理事長、總統府資政。中央研究院院長、中独文化協會および中韓文化協會理事長、国連世界連邦協會名誉総裁、ユネスコ中国国内委員会主任。

朱 家璧 Chu Chia-pi 1918~

雲南省龍陵県の人。黄埔軍官学校第八期卒業。三八年陝北抗日軍政大學卒業。雲南省で国府省長盧漢の特務団長兼学生軍訓練隊長とし

朱 維仁 Chu Wei-jên

五三年四月総工会メーデー参観団員として訪ソ。当時瀋陽市総工会主席。十月当時瀋陽市抗米援朝総会主席。五四年八月第一期全國人民代表大會瀋陽市代表。

朱 運興 Chu Yun-hsing (Too Joon-hsing) 1912~

マライ・ペラク州イポー生れ。クアラムプール在住華僑。マライ連邦政府教育部副部長。香港大學卒業。三六年錫鉱採掘業、植林事業を開始。ペラク中華総商會會長。イポーおよびモンレング市會議員、ペラク州警察予備義勇隊司令等を歴任。マライ連邦政府首相およびシンガポール政府首相とマライ共産党書記長陳平との和解談判會議に連邦政府代表として参加。五六年二月—三月東京で開催のユネスコ會議にマライ代表として出席。

朱 蘊山 Chu Yun-shan

安徽省の人。四九年九月政治協商會議第一期全國委員。十月中央人民政府政務院人民監察委員會委員、中ソ友好協會理事。十二月中国国民党革命委員會中央常務委員。五四年八月全國人民代表大會安徽省代表。十二月政治協商會議第二期全國委員會常務委員(中国国民党革命委員會)。五六年二月国民党革命委員會第三期中央常務委員兼組織部長。

朱 夏 Chu Hsia

五三年六月中華全国民主青年連合会第二次全國代表大會で同連合

て日華事変参加。四八年春雲南省崑山地区で全將兵を率い人民解放軍に投降。人民解放軍桂滇黔邊境隊副司令。雲南省昆明市警備司令。五〇年—五三年一月西南軍政委員會委員。五三年一月西南行政委員會委員。五四年六月まで雲南省人民政府委員。五四年八月第一期全國人民代表大會雲南省代表。五五年二月雲南省人民委員會委員。

朱 開印 Chu Kai-yin

五六年九月当時國務院国防部外事処長(陸軍大佐)。

朱 開銓 Chu Kai-chuan

五三年四月当時江西省人民政府政庁長。五四年二月当時人民解放軍慰問代表團第五總分団(中南)副団長。五五年二月江西省人民委員會委員、江西省高級人民法院院長。

朱 懷冰 Chu Huai-ping 1892~

湖北省の人。湖北省師範学校、保定軍官学校卒業。三〇年—四二年湖北省代理主席。四二年—四五年国民党中央訓練委員會副主任委員。四八年北伐当時政治委員。五〇年—五一年行政院顧問。五一年以来行政院設計委員會副主任秘書。

朱 學範 Chu Hsueh-fan 1906~

浙江省嘉善の人。上海法政大學卒業。第二〇、二二、二四、二五、二六、二七回國際労働會議中国労働者代表。三二年立法委員。三九年中華労働協會理事長(国府系)。四五年九月世界労働のペリ大会に鄧毅と共に出席。四六年八月モスクワの世界労働連行委員會會議



中国代表。同年末国府の弾圧によって香港に逃れ、労働協会は上海、香港兩派に分裂。四八年三月ハルビンにて中共に協力を声明。八月中華全国総工会副主席。四九年十月政務院財政經濟委員會委員兼郵電部部長。十二月国民党革命委員會中央常務委員。五三年五月全国総工会第七期副主席。十月中国人民第三回訪鮮慰問団総団副團長。五四年八月第一期全国人民代表大会山東省代表。九月國務院郵電部部長。十二月政治協商會議第二期全國委員會委員（中華全国総工会）。同月中ソ友好協會第二期理事。五六年二月中央標準語普及工作委員會委員。三月国民党革命委員會第三期中央常務委員。

朱 煥 彪 Chu Huan-ping 1895~

江蘇省の人。弁護士。法律学校司法実務訓練所修学。河北大学教授、司法院付属訓練学校判事、司法院法律研究会委員、安徽高等法院檢察長、江蘇高等法院、熱河高等法院、広西高等法院等の裁判長、最高檢察庁檢察長等を歴任。五五年—五六年当時国民大会代表、行政院顧問。著書「刑事訴訟手續」(起訴制度についての批判)。

朱 己 訓 Chu Chi-hsun

五六年十二月全国工商業連合会第二期執行委員（四川省）。

朱 其 文 Chu Chi-wen

政治学者。五二年中国政治法律学会理事會理事兼秘書長。五四年四中ソ友好協會ソ連メーデー參觀団団員。六月ドイツの国際民主法律工作者協合理事會會議中共代表団団員。十一月國務院第一辦公室副主任。五五年一月アジア法律工作者會議中国政治法律学会代表

団副團長、中印友好協會理事。五六年五月ブラッセルの国際民主法律工作者協會第六回大会中国政治法律学会代表団副團長。

朱 既 生 (女) Chu Chi-sheng 1917~

病理学者。五六年十月アジア太平洋洲電子顕微鏡會議出席のため来日。当時中国科学院医学部門副研究員。

朱 宜 風 Chu I-feng

五五年二月湖南省人民委員會委員。

朱 玖 (女) Chu Chiu

五四年五月当時武漢市工業労働模範。八月第一期全国人民代表大会武漢市代表。

朱 玖 瑩 Chu Chiu-ying 1887~

湖南省の人。元福建省政府建設庁長。遼寧省政府秘書長。湖南省民政庁長。五二年中国製塩廠長。

朱 虛 白 Chu Hsu-pai 1900~

江蘇省の人。国立北京大学卒業。重慶チャイナ・タイムズおよび北京益世報主筆、上海市政府新聞処長、台湾省政府新聞処長、中国新聞學院教授を歴任。五五年—五六年当時行政院新聞局顧問、台湾省政府参議。

朱 俠 夫 Chu Hsia-fu

五三年九月甘肅省甘南藏族自治州各界人民代表會議協商委員會主席。五六年六月当時中共青海省委員會副書記。

朱 君 允 (女) Chu Chün-yün

五四年八月第一期全国人民代表大会湖北省代表。

朱 啓 鈴 Chu Chi-chien

五六年一月政治協商會議第二期全國委員會特別招請委員。

朱 繼 聖 Chu Chi-sheng

五三年一月当時天津市工商連合会主任委員兼私營仁立実業公司經理。九月—五五年十一月当時天津市工商連合会副主任委員。天津市私營企業増産節約委員會副委員。五三年十一月全国工商業連合会第一期執行委員。五四年八月第一期全国人民代表大会天津市代表。五五年一月天津市人民委員會委員。二月当時中国民主建国会總會常務委員會委員。五六年十二月全国工商連第二期執行委員（天津市）。

朱 憲 彝 Chu Hsien-i

中共黨員。内分泌学者。五三年三月—五六年三月当時天津医学院院長。五四年三月当時天津市抗美援朝分会副主席。八月第一期全国人民代表大会天津市代表。五五年一月天津市人民委員會委員。六月ヘルシンキ世界平和大会中共代表団団員。

朱 謙 Chu Chien 1903~

浙江省呉興の人。二八年独ベルリン工科大学卒業。建設委員會技

正。二九年—三二年長興煤鉄局技師兼副局長。三二年—三八年実業部簡任技正。三七年軍事委員會第四部少将專員。三八年—四一年經濟部簡任技正。四三年—四九年興江煤鉄協會總經理。四五年以来資源委員會湘江中湖湖三鉄總經理、資源委員會長沙辦事処長、資源委員會副主任を歴任。四九年十二月—五二年資源委員會主任委員。

朱 元 元 Chu Yuan

五三年七月中国新民主主義青年団第二次全共大会代表大会で第二期中央委員。

朱 元 鼎 Chu Yuan-ting

五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會特別招請委員。五六年六月中ソ朝越四国漁業研究會議中共政府代表団代表。

朱 語 今 Chu Yü-chin

四九年五月中国新民主主義青年団中央委員會委員。五三年四月中国青年出版社(青年出版社と開明書店合併)成立し、その副社長。同月中国新民主主義青年団第二期中央委員會常務委員。五五年九月全国青年社会主義建設積極分子大会主席団団員。

朱 光 Chu Kuang

広西省邕寧の人。初め田漢等と上海で南国劇社を創設文筆生活。武漢革命後江西ソヴィエト区に入り、西遷に参加。陝甘寧各省で文芸工作を担当。内戦発生後中共軍に随って南下し、四九年末広州市人民政府副市長。五四年八月第一期全国人民代表大会広州市代表。



五五年二月広東省人民委員会委員。広州市中ソ友好協会会長。五五年六月—五六年九月当時広州市市長。五五年八月当時中共広州市委員会副書記。

朱 光 炬 Chu Kuang-chü

五五年二月江蘇省人民委員会委員。

朱 光 采 Chu Kuang-tsai 1900~

湖南省の人。三二年ドレスデン大学主任技師。四六年—四八年黄河水利工程総局長。四八年—四九年南京港務局長。四九年—五〇年珠江水利工程総局長。五〇年以來国府水利調査会長。

朱 光 並 Chu Kuang-ping

五四年二月当時広州市人民政府副市長。広州市選挙委員会主席。

朱 洪 堤 Chu Hung-ti 1907~

雲南省の人。清華大学、三二年米ウイコンシン大学、ミズリー大学卒業。三七年イリノイ大学博士号。四二年—四三年米国対華医業援助局常務委員。四三年—四六年中国新聞関係事務調査報道班長。四六年以降国連事務局員。著書「中国と国連」。

朱 興 邦 Chu Hsing-pang (chu Shing-pon)

五五年五月国府駐日大使館海軍武官補佐。

朱 子 奇 Chu Tzu-chi

五五年三月アジア諸国会議中共代表团員。六月ヘルシンキ世界平和大会中共代表团員。五六年三月世界平和理事会特別会議（スウェーデン）中共代表团員。

朱 子 强 Chu Tzu-chiang

五三年十一月当時中共河北省委員会宣伝部副部長。

朱 子 帆 Chu Tzu-fan

安徽省の人。四九年当時安徽省安瀾職業学校校長。四九年末—五三年一月華東軍政委員会委員。五三年一月華東行政委員会委員。五五年三月安徽省人民委員会委員。五六年二月国民党革命委員会第三期中央委員。

朱 之 光 Chu Chih-kuang

五四年八月第一期全国人民代表大会浙江省代表。

朱 志 堅 Chu Chih-chien

五六年十二月全国工商業連合会第二期執行委員（青海省）。

朱 俊 欣 Chu Chün-hsin

江蘇省靖江の人。蚕農出身。三七年上海フランス電業の労働者。三八年中共入党。四六年フランス電業工会理事長。四七年九月同公用労働者ストを指導後潜行。四八年ヘルシンの第六次全国労働會議に香港より出席、中華全国総工会執行委員。四九年九月政治協商會議第一期全国委員会委員。五〇年一月—五三年一月華東軍政委員会

委員。五三年一月華東行政委員会委員。五四年六月華東軍政委員会土地改革委員会委員および上海市人民政府委員を解任。

朱 順 田 Chu Shun-tien

五四年二月当時中央人民政府交通部運輸局副局長。

朱 順 餘 Chu Shun-yü

上海鉄鋼業労働模範。五四年八月第一期全国人民代表大会上海市代表。

朱 紹 清 Chu Shao-ching

五六年十二月全国工商業連合会第二期執行委員（河南省）。

朱 滌 新 Chu Ti-hsin

湖北省の人。四九年武漢市人民政府委員兼公安総局長。五〇年武漢市副市長。四九年—五三年一月中南軍政委員会委員。五五年三月国務院第二機械工業部副部長。

朱 新 民 Chu Hsin-min 1908~

江蘇省の人。ハルビン経済専門学校、ハルビン大学法律科修学。国民党宣伝部ロシア科長。三八年—四五年ロシア、ブレティンの主筆。四五年のサンフランシスコ、四六年—四七年のニューヨーク国連会議中国代表団専門委員。東北行轅参事。長春鉄道中ソ委員会委員長。ソ連軍司令部中国武官。四五年—四六年中ソ経済協力會議に参加。四七年中国旅順大連調査団員。四七年—四九年行政院新聞

局北平支局長、上海支局長。五〇年—五二年政府發言人辦公室顧問。五二年—五四年同室第一処長。五四年行政院新聞局副局長。著書「滿洲における土地組織」。

朱 世 俣 Chu Shih-yü

五五年十月、十一月の間中共見本市代表团通訳（兼涉外、会場接待）として来日。当時中国国際貿易促進委員会職員。

朱 世 明 Chu Shih-ming 1902~

湖南省の人。米国陸大卒業。四〇年—四一年外交部情報司長。四一年駐米大使館付武官。四三年—四五年国民政府主席副官。四五年—四七年駐日中国代表団長兼対日理事会中国代表。四八年駐米中国軍事使節団長。現在日本に居住。

朱 世 綸 Chu Shih-lun

五〇年十月中国人民世界平和擁護委員会および抗米援朝總會の宣伝部副部長。五三年七月ウィーンの世界平和理事会に特別招請参加。五五年六月ヘルシンキ世界平和大会中共代表团員。五六年五月中国パキスタン友好協会理事。

朱 仙 舫 Chu Hsien-fang

四九年当時九江興中紗廠經理。四九年末—五三年一月中南軍政委員会委員。五四年八月第一期全国人民代表大会江西省代表。五五年二月江西省人民委員会委員。



朱 洗 Chu Hsi  
生物学者。五三年十一月中国科学院訪ソ代表团員。五四年十二月中ソ友好協会総会第二回理事會理事。五五年二月上海市人民委員会委員。五月中国科学院生物学地学学部委員。

朱 早 觀 Chu T'sao-kuan  
苗族。元人民解放軍西北軍区副參謀長。四九年九月政治協商會議第一期全国委員会委員。十月中央人民政府政務院民族事務委員会委員。四九年末一五三年一月中南軍政委員会委員。五二年人民革命軍事委員会參謀部軍政組長。五三年六月当時人民革命軍事委員会辦公庁副主任。五四年八月第一期全国人民代表大会湖南省代表。五五年八月北京にて病死。

朱 早 弟(女) Chu T'sao-ti  
五四年五月武漢市工業特等労働模範。八月第一期全国人民代表大会武漢市代表。

朱 則 民 Chu Tsé-min  
四九年末華東軍政委員会財政經濟委員会委員兼合作社工作指導委員會主任委員。五三年一月華東婚姻法貫徹運動委員會副主任。

朱 丹 Chu Tan  
五五年六月國務院文化部藝術管理局副局長。十一月中国エジプト友好協会理事。

学校副校長。

朱 德(玉階) Chu Tè (Yu-chieh) 1886~

四川省儀隴県の人。九年雲南講武学堂に入学。一九九年雲南陸軍混成旅長。二〇年雲南警察厅长。二二年ベルリンで中共に入党。二三年朱培徳と雲南軍を率いて広東軍政府に投ず。北伐に際し朱培徳麾下に師長、副軍長。二七年雲南軍官学校校長兼公安局長。周恩来、賀龍、葉挺等と八一暴動を組織し、中国工農紅軍總司令兼第一方面軍總司令。三〇年革命軍事委員会主席、第一軍団主席。三二年中共中央執行委員。中華ソヴィエト臨時政府軍事人民委員長。三四年一三五西遷に参加。三七年中国工農紅軍の主力を第八路軍に編成し、その總指揮。四五年中共第七期中央委員、政治局員、書記。四六年人民解放軍總司令、四九年九月政治協商會議第一期全国委員会常務委員。十月中央人民政府副主席、人民革命軍事委員会副主席、中ソ友好協会理事。五三年一月憲法起草委員会委員。五四年八月第一期全国人民代表大会四川省代表。九月国家副主席兼国防委員会副主席。五五年八月朝鮮「解放」十周年祝賀式中共代表团員。九月元帥、一級八一勳章、一級独立自由勳章および一級解放勳章。十二月東独ビーク大統領誕生八〇年祝典参加中共政府代表团團長兼中共中央代表团團長。同月中共中央代表团團長としてルーマニア訪問。五六年二月ソ連共産党第二〇回代表大会に中共代表团團長として参列。三月ポーランドのベイルト第一書記の葬儀に代表团團長として参列。四月モスクワ、蒙古を経て帰国。

朱 德 海 Chu Tè-hai

朱 旦 華 Chu Tan-hua

五五年二月江西省人民委員会委員。

朱 仲 麗 Chu Chung-li

五三年六月一五四年六月当時北京ソ連紅十字医院副院長。五四年一月北京市区人民代表。

朱 兆 雪 Chu Chao-hsieh

建築家。五四年八月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。

朱 陳 造 Chu Chén-t'sao 1914~

福建省同安県の人。現在四四歳。ヴィエトナム・シロン在住華僑。上海滬江大学卒業。輸出入業、造船用原木内河運輸業を経営。シロン福建中華理事會理事長。

朱 展 華 Chu Chan-hua

江西省の人。現在四〇歳位。中共第一〇兵団師級政治部副主任、泉州市長といわれる。

朱 田 沫 Chu Tien-mo

五六年一月当時國務院交通部公路總局副局長。

朱 道 南 Chu Tao-nan

五三年五月当時華東人事局長、華東行政委員会直屬機關業余政治

吉林省出身。朝鮮族。吉林省延辺行政督察專員公署專員。四九年八月東北人民政府委員。九月政治協商會議第一期全国委員会委員。十月政務院民族事務委員会委員。五三年一月当時延辺大学校長。同月東北行政委員会委員。五四年六月当時延辺朝鮮族自治州人民政府主席。八月第一期全国人民代表大会吉林省代表。当時同省人民政府副主席。十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(少数民族)。五五年二月吉林省副省長。五六年九月中共第八期候補中央委員。

朱 德 明 Chu Tè-ming

五五年二月河南省人民委員会委員。

朱 波 Chu Po

五三年三月一五六年一月当時「人民日報」記者。

朱 培 琯 Chu Pei-kuan

五四年九月インドネシア華僑帰国觀光団團長。

朱 伯 深 Chu Po-shén

五四年五月中国人民対外文化協会理事。五五年七月中国人民外交学会第三期理事會理事。

朱 伯 祿 Chu Po-lu

江蘇省の人。現在三九歳。五五年当時郵電部長途電話總局工程師。五六年六月電子学学会準備委員会副秘書長。五七年二月東京で開催の国際地球観測年西太平洋地域連絡協議會に出席。



朱 繁 Chu Fan

五三年六月当時ハルビン市人民政府文化局副局長。

朱 敏 Chu Min

四川省の人。現在四一歳位。中共中央党校卒業。四九年寧夏省人民政府委員。五三年十二月当時西北行政委員会畜牧局長。五六年二月國務院農業部畜牧獸醫總局局長。十一月同部部长助理。

朱 富 勝 Chu Fu-shêng

山東省沂南県の人。貧農出身。労働模範。三九年郷里交良村村長。四四年沂南県参議長、同県労働英雄。四九年沂南県県長。四九年末一五四年六月華東軍政委員会土地改革委員会委員。五三年十月中国人民第三回訪鮮慰問団員。

朱 撫 松 Chu Fu-sung 1915~

湖北省の人。上海大学卒業。ロンドン大学研究員。四六年一四七年国民党宣伝部駐英辦事処次長。四八年一四九年行政院新聞局國際処長。四九年台湾省政府参事。五〇年一五一年行政院秘書。五二年外交部情報司長。五六年駐米大使館参事官。

朱 物 華 Chu Wu-hua

五五年五月中国科学院技術科学学部委員。五六年一月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員に補選。二月九三学社第四期中央委員会委員。十月ハルビン工業大学副校長。

中央委員会委員。

朱 耀 堂 Chu Yao-tang

五四年十一月最高人民法院副庭長。

朱 理 治 Chu Li-chih

元東北銀行総経理。四九年八月東北人民政府委員兼同人民経済計画委員会副主任。五二年八月一五四年八月中央人民政府国家計画委員会物資分配局局長。五四年六月政務院交通部副部长。九月東北人民政府経済計画委員会常務委員を解任。十一月國務院交通部副部长。五五年七月ポーランド人民共和国成立十周年記念祝賀式参加代表団員。

朱 履 先 Chu Li-hsien

四九年当時蘇北生産救済委員会副主任。四九年末一五四年六月華東軍政委員会土地改革委員会委員。五五年二月江蘇省人民委員会委員。

朱 立 田 Chu Li-tien

五四年六月当時旅大市人民代表大会代表。

朱 良 Chu Liang

五三年七月当時中華全国民主青年連合会駐世界青連機構連絡員。八月プラレストの世界青年学生平和友誼懇親節中共青年代表団員。五四年八月世界民主青年連盟理事会北京會議中共代表団(団長

朱 寶 庭 Chu Pao-ting 1880~

浙江省鎮海の人。一八九四年上海英商太怡洋行持船の火夫。二二年五月海員工会副会長。二六年海員工会總會執行委員。三六年国府側に逮捕、上海事変後釈放。後陝甘寧辺区で工作。五三年当時中共中央職工委員会委員。

朱 穆 之 Chu Mu-chih

五四年十一月國務院新華通訊社副社長。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(新聞出版界)。

朱 凡 Chu Fan

五五年二月湖南省人民委員会委員。

朱 夢 蘇 Chu Mêng-su

五三年十一月全国工商業連合会第一期執行委員。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(中華全国工商業連合会)。五六年十二月全国工商連第二期執行委員(天津市)。

朱 明 Chu Ming

五四年七月重慶雜技芸術団団長として訪独。五五年九月一級八一勳章および一級解放勳章。

朱 裕 璧 Chu Yu-pi

五五年二月湖北省人民委員会委員。五六年二月民主同盟第二期中

胡耀邦)代表。

朱 良 才 Chu Liang-tsai

終戦前晋察冀辺軍区政治主任。四九年当時中国人民解放軍華北軍区政治部主任。五〇年中央人民政府最高人民法院委員。五四年八月第一期全国人民代表大会華北軍区代表。五五年九月大將、一級八一勳章、一級独立自由勳章、一級解放勳章。

朱 璉 Chu Lien

五三年四月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。

須 愷 Hsi Kai

五四年八月第一期全国人民代表大会河南省代表。十月國務院水利部北京勘测設計院院長。

周 亞 衛 Chou Ya-wei

五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員。

周 愛 民 Chou Ai-min

五五年二月江蘇省人民委員会委員。

周 蔚 雲(女) Chou Wei-yün

五三年七月中国新民主主義青年団第二期中央委員会候補委員。

周 一 峯 Chou I-fêng



五四年六月まで華東軍政委員会財政經濟委員会委員。五五年二月江蘇省人民委員会委員。

周 榮 鑫 Chou Jung-hsin  
四九年十月政務院財政經濟委員会副秘書長兼辦公庁主任。五二年八月政務院建築工程部副部長。五三年十月中国建筑学会第一期理事長。五四年十一月國務院建築工程部副部長。

周 穎 (女) Chou Ying  
四八年八月中華全国総工会執行委員兼候補常任委員。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員。五六年二月国民党革命委員会第三期中央委員。

周 婉 如 (女) Chou Wan-ju  
五三年四月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。五五年九月広東省民主婦女連合会副主任。

周 恩 來 (少山・伍豪) Chou En-lai (Shao-shan. Wu-hao) 1896~

江蘇省淮安県の人。一七年来日し早稲田、日本大学等で一年半聴講。帰国後南開大学に入り学生機関紙を主宰。一九年五・四運動の際学生の示威運動を指導し同年末逮捕投獄。出獄後急進団体「醒社」に加入。二〇年より留仏苦学二年、更に留独一年。在仏中趙世炎、陳延年、李立三等と共に中国共産党フランス支部を組織しその宣伝幹事。二四年帰国、中共広東省委員会書記兼黄埔軍官学校政治部主任

月ジュネーヴ會議中共代表団首席代表。同會議休会中、一旦帰国の途次インド、ビルマを訪問、両国首相と共同声明。七月同會議終了後東独、ポーランド、ソ連、外蒙を歴訪。八月第一期全国人民代表大會北京市代表。九月國務院總理兼外交部部長。十二月政治協商會議第二期全国委員会主席。五五年四月バンドンのアジア・アフリカ會議中共代表団首席代表。七月中国人民外交学会名誉会長。十二月中・東独友好協力条約に調印。五六年二月カンボディアのシハヌーク首相と共同声明。九月中共第八期中央委員会副主席、中央政治局常務委員、八全大会で「国民經濟發展第二次五カ年計画の提案に関する」報告。十一月一五七年二月の間に、北越、カンボディア、インド、パキスタン、ビルマ、ソ連、ポーランド、ハンガリア、アフガニスタン、ネパール、セイロン等を歴訪、インドを除く各国首相と共同声明。

周 化 南 Chou Hua-nan  
五六年二月国民党革命委員会第三期中央委員。

周 華 彪 Chou Hua-piao  
五六年四月西藏自治区準備委員会交通処副処長。

周 桓 Chou Huan  
遼東省の人。四九年当時人民解放軍東北軍区政治部主任、東北人民政府委員。五三年一月一五四年九月東北行政委員会委員。五三年三月一五五年二月当時中国人民解放軍東北軍区副政治委員。五四年四月東北憲法草案初稿討論委員会副主任委員。八月第一期全国人民

任代理(主任は汪精衛)。蒋介石が第一軍軍長時代、その政治部主任。二七年蒋介石の命で上海に赴き、二回の労働者ストを指導し、蔣の北伐国民革命軍に策応。上海の四・一二クーデターの際逮捕、辛うじて脱出。武漢にて中共軍事委員会で活動。二七年八月一日の南昌暴動に参加。二七年末広東ソヴィエト政府人民外交委員。二八年七月モスクワの中共六全大会に出席。三〇年紅軍代表として再び入ソ。三一年江西ソヴィエト区に入り、共産党中央書記局員、朱徳の第一方面軍総政治委員。三二年以来中央政治局分局書記として四川、陝西、甘肅等を移動。三六年十二月西安事変の際、蒋介石釈放に努力したといわれる。三九年十月朱徳と共に第五回ソ連最高會議に列席。日華事変中は中共側代表として重慶に駐在し国共合作抗日戦線に活躍。当時国民政府での地位は政治訓練所長、国府政治委員会副委員長、軍事委員会民衆訓練部次長、軍事委員会政治部副部長、国防委員会委員、軍事委員会常任委員等。中共中央では政治局員、革命軍事委員会副主席。四五年六月中共第七期中央委員、政治局員中央書記。十二月国、共各代表およびマーシャル米特使よりなる三人委員会の中共代表。四六年一月政治協商會議南京駐在中共代表。十一月延安に引揚げ。四九年四月北京の対国民党和平會議中共代表。

九月政治協商會議第一期全国委員会副主席。十月中央人民政府委員、人民革命軍事委員会副主席、政務院總理兼外交部部長、中ソ友好協會総会理事。五〇年一月訪ソ、中ソ友好同盟互助条約交渉に参加、二月調印。五二年夏中国長春鉄道返還と旅順口返還延期交渉のため訪ソ、九月十五日妥結。五三年一月憲法起草委員会委員、選挙法起草委員会委員。三月スターリン逝去弔問団団長として訪ソ、チェコのゴットワルト大統領葬儀に中共代表団団長として参列。五四年四

代表大會東北軍区代表。五六年九月中共第八期中央委員会候補委員。

周 貫 五 Chou Kuan-wu

五五年一月浙江省人民委員会委員。七月当時人民解放軍浙江軍区副政治委員。

周 希 漢 Chou Hsi-han 1906~

海軍中將。日華事変初期は中共軍太岳支隊長。三九年八路軍第一二九師第三八五旅副旅長兼決死第一縱隊政治委員。四〇年太岳縱隊參謀長。四六年太岳軍区第二軍分区副司令。四四年同軍区政治部主任兼第一軍分区副政治委員。四六年一月同軍区第一二旅旅長。四七年中原解放軍第四縱隊第一〇旅旅長。四九年第二野戦軍第一三軍長。五〇年雲南省人民政府委員。八月人民解放軍海軍に転籍、人民解放軍海軍參謀長。五五年九月一級解放勳章授与。

周 巍 峙 Chou Wei-chih

五三年七月当時中央歌舞団団長。八月ブカレストの第四回世界青年学生平和懇親会出演青年芸術団団長。五四年三月群衆歌曲評選委員会副主任委員。五月対外文化協合理事。中国音楽家協会常務理事。十一月中央実験歌劇院院長。五五年六月一五六年七月当時國務院文化部芸術事業管理局副局長。五五年八月中印友好協合理事。

周 吉 一 Chou Chi-i

五三年七月中国新民主主義青年団第二期中央委員。当時人民解放



軍華東軍区および第三野戦軍政治部青年部長。

周 欽 岳 Chou Chin-yüeh

四川省の人。元重慶新蜀報総経理。四九年—五三年一月西南軍政委員会委員兼副秘書長。五三年一月西南行政委員会委員兼秘書長。五四年八月第一期全国人民代表大会四川省代表。五五年四月当時政治協商会議重慶市委員会代表

周 惠 Chou Hui

五五年二月湖南省人民委員会委員。

周 慧 之 Chou Hui-chih

五三年三月—五六年二月当時人民日報記者。

周 鯨 文 Chou Ching-wên

文芸作家。日華事変中香港で「時代批評」誌編集。四四年九月中国民主同盟中央常務委員。四六年八月東北行政委員会委員。四九年十月政務院政治法律委員会委員。五四年十二月政治協商会議第二期全国委員会委員（中国民主同盟）。五六年二月民主同盟第二期中央常務委員。

周 傑 Chou Chieh

五五年二月湖北省人民委員会委員。政治協商会議第一期湖北省委員会副主席。

周 建 人 Chou Chien-jên

浙江省紹興の人。周樹人、周作人の三弟。生物学研究者。上海商務印書館編集。四九年中国民主促進会中央常務理事。四七年ダーウインの「種の起源」翻訳。四八年華北人民政府教育部教科書編審委員会副主任。四九年十月—五四年九月中央人民政府政務院出版總署副署長。四九年十月—五四年十月友好協會總会理事。浙江省人民政府副主席。五〇年四月民主促進会第三期中央常務理事会副主席。五四年八月第一期全国人民代表大会浙江省代表。九月同大会常務委員会委員。十一月國務院高等教育部副部長。十二月政治協商会議第二期全国委員会委員（中国民主促進会）。五六年二月中央標準語普及工作委員会委員。九月中国ネパール友好協會会長。

周 光 Chou Kuang

五四年八月長春市人民政府副市長を解任、同市人民政府市長。五五年二月吉林省人民委員会委員。

周 光 垣 Chou Kuang-yüan

元中原臨時人民政府民政部副部長。四九年末中央人民政府最高人民檢察署中南分署副檢察長。五二年八月中南軍政委員会政治法律委員会委員。五四年二月人民解放軍慰問代表團第五總分団（中南）副団長。

周 光 遠 Chou Kuang-yüan

魯迅美術學院卒業。五五年十、十一月の間中央見本市代表团工作

員として来日。当時中国國際貿易促進委員会美術設計師。

周 光 春 Chou Kuang-chun

五二年十月華東軍政委員会財政部部長。当時山東省人民政府財政經濟委員会副主任。五四年十一月國務院第四辦公室副主任。五六年三月國務院科學規劃委員会副秘書長。

周 孝 德 Chou Hsiao-tê (Chew How-teck) 1892~

福建省の人。シンガポール在住華僑。ゴム業。通源有限公司董事。周孝德有限公司および金福昌火鋸有限公司の経営者。五六年八月シンガポール工商業貿易視察団団員として中共を訪問。

周 宏 濤 Chou Hung-tao 1916~

浙江省の人。国立武漢大学卒業。元總統府秘書。国民政府秘書。国民大会秘書。總統府第六庁次長。五〇年—五二年国民党中央改造委員会秘書長補佐。五〇年以来總統府機要室主任。五二年以来国民党中央委員会秘書長補佐。

周 桓 Chou Huan

遼寧省の人。解放軍東北軍区副政治委員。後瀋陽軍区政治委員。五六年九月中共第八期候補中央委員。

周 康 民 Chou Kang-min

五〇年三月国営中国糧食公司最高責任者。五五年一月國務院糧食部部长助理。

周 廣 仁 Chou Kuang-jên

五三年六月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会候補委員。八月ブカレストの第四回世界青年学生平和懇親会中共青年芸術団団員。

周 興 Chou Hsing 1908~

江西省水豊の人。二五年共産主義青年団に加入。二五年—二七年湖南農民協會内で組織活動。二七年毛澤東指導の銅鼓農民暴動に参加。その後国府軍に對しゲリラ活動。二九年湖南遊撃總司令。三〇年「鎮圧反革命派委員会」委員。同会の「保安局」改編により、その副局長。五〇年—五三年一月西南軍政委員会委員。五三年一月当時西南軍政委員会公安部部長。一月西南行政委員会委員。五四年四月当時中共中央西南局委員。九月政務院公安部副部長。十一月國務院公安部副部長。

周 鋼 鳴 Chou Kang-ming

五五年二月広西省人民委員会委員。五六年二月中国亞洲団結委員会委員。

周 鯁 生 (名、覽) Chou Kêng-shêng (Lan) 1888~

湖南省長沙の人。英エジンバラ大学、仏パリ大学卒業。パリ大学法学博士。帰国後上海商務印書館編集、北京大学政治学主任教授。三二年武漢大学政治学部長。四五年六月同大学総長。四九年—五三年一月中南軍政委員会委員兼同委員会文化教育委員会副主任。十二



月中国人民外交学会副会長。五三年四月中国政治法律学会理事。五四年八月第一期全国人民代表大会安徽省代表。五五年一月当时外交部顧問。五六年一月当时外交学会代理會長。三月中国国际贸易促进会委员会の对外貿易仲裁委員会副主席。同月政治法律学会第二期理事。著書「近代欧洲外交史」(二七年)「国際法大綱」(二九年)「近代欧洲政治史」(三二年)等。

周 克 Chou Ke

五三年七月中華全国民主青年連合会第二期中央委員。

周 谷 城 Chou Ku-chêng 1910~

湖南省益陽の人。北京師範大学卒業。中山大学社会学科教授。日華事变中暨南大学教授。四九年当時復旦大学教授。四九年末一五四年六月華東軍政委員会文化教育委員会委員。八月第一期全国人民代表大会湖南省代表。五五年二月湖南省第一期人民代表大会代表。著書「中国社会の現状」「中国社会機構」「中国社会の変遷」。

周 昆 田 Chou Kun-tien 1905~

安徽省の人。国立中央大学卒業。三六年一四二年蒙藏委員会首席秘書。四二年一四四年、四六年一四八年同委員会委員。四四年一四六年新疆省政府委員。四八年一四九年蒙藏委員会副委員長。四九年一五〇年同委員長。五〇年以來行政院顧問。

周 作 人 (豈明) Chou Tso-jên (Chi-ming)

1885~

織委員会副主任委員。

周 十 第 Chou Shih-ti 1904~

湖南省長沙の人。四〇年第一八集團軍第二二〇師參謀長。延安の日本解放同盟に關係。人民解放軍第一戰野軍兵団司令を経て、四九年四月太原市軍事管制委員会委員。五〇年一月成都軍管会副主任兼成都市長。五〇年七月一五三年一月西南軍政委員会委員。五一年人民解放軍防空司令兼落下傘司令官。五四年八月第一期全国人民代表大会東北軍区代表。九月国防委員会委員。五五年九月一級八一勳章、一級独立自由勳章および一級解放勳章。人民解放軍大將。

周 至 柔 Chou Chih-jou 1898~

浙江省臨海県の人。二二年保定軍官学校卒業。二六年北伐に參加。二七年二師參謀長、旅長、師長、軍長を歴任。三三年欧米視察。三四年一三八年杭州中央航空学校校長。三六年、三九年、四二年航空委員会主任。三七年一三八年中国空軍總司令。三八年空軍軍官学校教育長。四〇年空軍參謀学校教育長を兼任。四四年国民党中央執行委員。四六年六月国防部空軍總司令。五〇年一五四年參謀總長。五四年以降總統府国防最高會議秘書長。

周 志 俊 Chou Chih-chün

五五年三月山東省人民委員会委員。五六年十二月全国工商業連合会第二期執行委員(山東省)。

周 思 誠 Chou Ssu-chêng

浙江省紹興県の人。号仲密、知堂。日本文学研究者、小説家。周樹人(魯迅)の弟、周建人の兄。江南水師学堂、日本立教大学文学科卒業。日本留学中章炳麟に師事。帰国後北平で魯迅等と共に「文学研究所」を組織し、自然主義文学運動に従事。二四年国立北京大学東方文学(日本文学)系主任教授、燕京大学教授、国立北平大学女子師範学院講師。中共「解放」後は隱棲、著述に専念、ギリシヤ語翻訳。著書「欧洲文学史」「談龍集」「談虎集」「自序的園地」「芸術と生活」「雨天的書」「夜詠抄」「知堂文集」「永日集」「看雲集」「過去的生命」「周作人書信」「瀉集」「苦雨齋序跋文」等。「解放」後は周啓明の名で「日本狂言選」を、周遐壽の名で「魯迅の古家」「小説中の人物」を再刊。

周 作 民 Chou Tso-min 1882~

江蘇省淮安県の人。京都帝国大学経済学部卒業。辛亥革命の時帰国。南京政府財政部に入り南北和議後北京政府財政部庫藏司長。一六年交通銀行、一七年金城銀行總經理。二八年張作霖北京撤退に際し臨時治安維持会委員。三一年国民会議に北京代表として参加、国民政府財政委員会委員。三二年東北政務委員会委員。五四年十一月当時中国銀行董事。十二月政治協商会第二期全国委員会委員(特別招請人士)。

周 士 觀 Chou Shih-kuan

四五年十二月中国民主建国会常務委員。五四年九月当時中国人民志願軍陸上部隊代表團代表。十二月政治協商会第二期全国委員会委員(中国民主建国会)。五五年四月民主建国会中央常務委員兼組

五四年十二月政治協商会第二期全国委員会委員(特別招請人士)。五六年二月国民党革命委員会第三期中央委員。

周 而 復 Chou Êrh-fu

江蘇省の人。作家。日華事变初期中共地区に入り、戦後上海、香港、北京間を往来して工作に従事。四九年当時中共中央華東局統一戰線工作部秘書長兼上海市統一戰線工作部副部長。四九年一五四年六月華東軍政委員会文化教育委員会委員。五三年十月中国作家協会理事會理事。十二月訪印中央文化代表團副團長。五五年四月一六月文化代表團副團長としてインド、ビルマ、インドネシア訪問。六月中国インドネシア友好協会理事。五六年四月中印友好協会理事。著書「醫師「ハッソン」(中共文芸賞)、「高原短曲」、「飢身の年月」、「晋察冀行」等。

周 日 東 Chou Jih-tung 1884~

広東省文昌県の人。タイ在住華僑。吳服雜貨商南豐隆公司經營者。中国国民党タイ支部の有力者といわれる。

周 錫 年 Chou Hsi-nien

広東省東莞県の人。香港生れ。香港在住華僑。豪商周卓凡の子で周竣年の従弟。一八年セント・ステイヴンス中学卒業。二三年香港大学医科卒業。後ロンドン大学に学び同時に王室眼科病院およびロンドン耳鼻咽喉科病院の輔佐医師となり、眼科博士および耳鼻咽喉科博士の学位を得た。二七年さらにウィーン大学卒業。帰香後開業。三〇年一三五年香港大学医科眼科の講師兼任。市政衛生局議員、



香港中華医学会会長、孔聖会名誉会長、東莞商会支配人、華商總會名誉支配人、南華体育会名誉董事等を歴任。五六年当時立法局主席華人代表。エカフエ貿易部会の第一回香港会議議長。

周 壽 臣 Chou Shou-chên 1861~

広東省宝安人。香港生れ。香港在住華僑。サーの称号を許さる。一八七四年清朝政府官費をもって米コロンビア大学に留学。一八八一年帰国。仁川領事、招商局総辦を歴任。一九〇四年京奉鉄道総辦、山海関監督になり、後外交部に転職。香港に移ってからは立法局議員、行政局議員を歴任。三七年ジョージ五世より特に終身榮譽議員の位を受けた。

周 秋 野 Chou Chiu-yeh

五五年四月中共駐ユーゴスラヴィア大使館参事官。

周 拾 祿 Chou Shih-lu

五四年七月当時華東農業科学研究所副所長。十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(自然科学団体)。五五年二月江蘇省人民委員会委員。五六年二月九三学社第四期中央委員会委員。

周 叔 迦 Chou Shu-chia

五三年六月中国仏教協会副秘書長兼常務理事。五四年十二月中共友好協会総会第二期理事會理事。五六年二月中国亜細亞團結委員会委員。九月中国ネパール友好協会副会長。

周 駿 鳴 Chou Chün-ming

五四年十一月國務院水利部副部長。

周 純 全 Chou Chun-chüan 1904~

湖北省の人。五四年二月当時人民革命軍事委員会総後勤部副部長。八月第一期全国人民代表大会志願軍代表。九月同大会常務委員会委員、国防委員会委員。五五年九月一級八一勳章および一級解放勳章。人民解放軍中將。

周 書 楷 Chou Shu-kai 1913~

湖北省の人。英ケンブリッジ、ロンドン両大学修学。四八年一四九年外交部情報司次長。五〇年一五年駐フィリピン大使館参事官。五二年同参事官、使。五四年同代理大使。五六年一月外交部常務次長。

周 小 燕(女) Chou Hsiao-yên

湖北省の人。声楽家。五三年三月当時「全国大衆歌曲評選華東区初選委員会」委員。十月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。中国人民第三回訪鮮慰問団員。十二月中央音楽院華東分院声楽系主任。五四年四月中共友好協会ソ連メーデー参観団員。八月第一期全国人民代表大会湖北省代表。

周 小 舟 Chou Hsiao-chou

現在四五歳。戦争中冀中で活動。五五年二月当時中共湖南省委員

周 叔 跋 Chou Shu-tao

安徽省の人。四九年当時天津啓新セメント公司総経理。四九年九月政治協商會議第一期全国委員会委員。五〇年一月政務院財政經濟委員会委員。天津市人民政府副市長。五三年一月華北行政委員会委員。十一月全国工商業連合会第一期執行委員。五四年八月第一期全国人民代表大会天津市代表。同大会予算委員会委員。十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(全国工商業連合会)。五五年一月天津市副市長。五六年六月全国人民代表大会常務委員に補選。十二月全国工商業連合会第二期執行委員(天津市)。十一月一五七年全国人民代表大会代表團員としてソ連、東欧訪問。

周 竣 年 Chou Chün-nien 1893~

広東省東莞県の人。香港生れ。香港在住華僑。弁護士。前香港華人代表周少岐の子。一七歳セント・ステイーヴンス学校卒業、一八歳英オックスフォード大学に入り法律を学び、一四年文学士および弁護士資格を得、香港に帰り東華医院経理、保良局総理を歴任。二三年治安判事、華商總會名誉理事。二九年以降衛生局議員、内河船舶商會代表、児童保護会幹事、港口整理会委員、東莞商會代表、商華体育会正会長、中華体育会名誉会長、華人体育協進会名誉会長、ボーイ・スカウト香港分会幹事、セント・ジョージ救傷隊名誉会長兼財政委員、華商會所代表、海盜防犯会委員、電話会委員、内河船舶会委員、水害救済会委員、香港大学司書等を歴任。この間三一年立法局議員、三五年再任。五六年英国政府よりナイトに列せられサーの称号を受く。五六年当時行政部首席華人代表。

会第一書記、同省人民政府副主席。同月湖南省副省長、政治協商會議第一期湖南省委員会主席。五六年九月中共八大大会で中共湖南省委員会第一書記の資格で「農業生産合作社強化の問題」について発言。

周 祥 初 Chou Hsiang-chu

五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員特別招請人七。

周 鐘 嶽 Chou Chung-yüeh 1878~

雲南省の人。日本弘文学院卒業。一九年雲南省政府主席代理。三九年一四四年内政部長。四四年考試院副院長、その後国民政府委員。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(特別招請人七)。

周 筱 沛 Chou Hsiao-peï

五五年二月河南省人民委員会委員。

周 信 仁 Chou Hsin-jên

五三年十月当時志願軍二級英雄一等功臣。五五年六月青海省海北藏族自治州中級人民法院院長。

周 信 芳(藝名、麒麟童) Chou Hsin-fang (Chi-lin-tung)

浙江省寧波の人。少時より芸界に入り京劇養生(男優)。京劇改良運動を指導。四九年九月政治協商會議第一期全国委員会委員。五



三年二月当時華東京劇研究院院長。十月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員、中国戲劇家協会常務理事、中国人民第三回訪鮮慰問団総団副団長。五四年八月第一期全国人民代表大会 上海市代表。五五年二月上海市人民委員会委員。四月梅蘭芳と共に舞台生活五〇年を記念表彰せらる。

周 振 華 Chou Chên-hua

五五年十月—五六年三月当時中共唐山地方委員会書記。

周 新 武 Chou Hsin-wu

五五年三月國務院廣播(放送)事業局副局長。五六年二月中央標準語普及工作委員会委員。

周 新 民 Chou Hsin-min 1897~

安徽省桐城の人。三六年日本明治大学卒業。安徽省公立法政專門学校学監主任兼教員、上海法政学院教務長、復旦大学教授を歴任。四四年九月民主同盟中央常務委員兼政治局長。四九年九月政治協商會議第一期全国委員会副秘書長。十月最高人民檢察署委員兼秘書長。五四年八月第一期全国人民代表大会安徽省代表。十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(中国民主同盟)。五五年七月中国人民外交学会第三期理事会理事。五六年二月民主同盟第二期中央常務委員会委員。

周 震 麟(道映) Chou Chên-lin (Tao-yü) 1875~

湖南省寧鄉県の人。日本法政大学卒業。前清時代京師大学堂教

人民委員会委員。

周 全 傑 Chou Chian-chieh

五五年四月西康省涼山彝族自治州副州長(漢族)。

周 善 培(孝懷) Chou Shan-pei (Hsiao-huai)

1875~

浙江省諸暨の人。前清の進士。日本留学。帰国後四川省警察総局総辦。広東将辦学堂総辦、四川成綿道提法使、駐日公使館参事官を歴任。五〇年政務院政治法律委員会委員。当時実業家。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(特別招請人士)。著書「虚字使用法」「四書精記」。

周 祖 晃 Chou Tsu-huang

五五年二月広西省人民委員会委員。

周 素 園 Chou Su-yüan

貴州省の人。無党無派民主人士。四九年末—五三年一月西南軍政委員会委員、貴州省人民政府副主席。五二年十月政治協商會議全国委員に補任。五三年一月西南行政委員会委員兼貴州省人民政府副主席。五四年八月第一期全国人民代表大会貴州省代表。五五年二月貴州省副省長。

周 蒼 柏 Chou Tsang-po

湖北省の人。工商界代表者。四九年当時華中化工廠董事長。四九

授。二一年国民党広東支部総務部長、二七年南京国民政府委員。二八年国民革命軍京津占領後旧政府機関引継のため北平に赴き、私立北平民国学院院长。五一年十月政治協商會議第一期全国委員に補充。五四年八月第一期全国人民代表大会湖南省代表。

周 仁 Chou Jen 1884~

江蘇省南京の人。冶金技術者。一五年米コーネル大学卒業。二八年中央研究院技術科学部長。四八年中国科学院院士。五四年一月当時中共北京市東単区委員会書記、東単区人民政府区長、同区人民代表。八月第一期全国人民代表大会山東省代表。五五年五月中国科学院技術科学部学部委員。六月同学部常務委員会委員。

周 仁 山 Chou Jen-shan

五三年一月—五四年八月当時青海省民族事務委员会主任委員。五四年八月第一期全国人民代表大会青海省代表。九月同大会民族委員会委員(漢族)。五六年六月当時中共青海省省委員会副書記。

周 世 釗 Chou Shih-chao

五五年二月湖南省人民委員会委員。

周 西 風 Chou Hsi-fêng

五五年八月当時中国第一機械工会全国委員会副主席。

周 政 新 Chou Chêng-hsin

五三年三月当時河北省人民政府財政厅副庁長。五五年二月河北省

年十月政務院財政經濟委員会委員。中南軍政委員会委員兼同委員会輕工業部副部長。五三年一月中南軍政委員会委員を解任、中南行政委員会委員。十一月全国工商業連合会第一期執行委員。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(中華全国工商業連合会)。五五年二月湖北省人民委員会委員。政治協商會議第二期湖北省委員会副主席。

周 錚 Chou Chêng

広東省海南島文昌県の人。現在四四歳位。四六年—四九年当時シヤム瓊崖同郷会主席。五〇年中央人民政府華僑事務委員会委員。五四年九月全国人民代表大会華僑代表。五五年二月広東省人民委員会委員。

周 增 華 Chou Tsêng-hua

五四年十一月最高人民法院審判員。

周 太 玄 Chou Tai-hsüan

四川省成都の人。仏パリ大学理学博士。国立成都大学動物学教授、国立北平研究所特約研究員を歴任。四九年末—五三年一月西南軍政委員会委員。五三年一月西南行政委員会委員。十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(特別招請人士)。五六年五月科学院編訳出版委員会委員。

周 詒 春 Chou I-chun 1883~

湖北省の人。米ニール大学、ウイコンシン大学卒業。セントジ



ヨソ大学名譽文学博士。二四年—二八年中華教育文化基金委員會董事。三二年—三四年燕京大学総長。三五年—三七年実業部次長。三七年—四五年貴州省政府財政庁長。四五年一月国民政府顧問。八月農林部長。四七年四月衛生部長。五六年一月政治協商會議第二期全國委員會特別招請委員。

周 澤 昭 Chou Tsè-chao

五四年八月第一期全國人民代表大會四川省代表。五五年五月中国科学院生物学地学部委員。

周 達 夫 Chou Ta-fu

五五年七月中国人民外交学会第三期理事會理事。十月当時遼寧省民政庁庁長。五六年二月国民党革命委員会第三期中央委員。

周 竹 安 Chou Chu-an

五四年十月中共駐ブルガリア大使。五六年一月「中国・ブルガリア間パートナー協定および文化合作協定五六年度執行計画」に署名。

周 仲 英 Chou Chung-ying

五五年十一月中央人民公安学院副院長。

周 傳 典 Chou Chuan-tien

五三年三月鞍山鋼鐵公司製鉄工場長、特等労働模範。五月全国総工会第七期候補執行委員。五五年二月遼寧省人民代表大會鞍山市代表。

周 東 光 Chou Tung-kuang

五四年十一月最高人民檢察院檢察員。

周 濤 Chou Tao

五五年十月当時中共雲南省曲靖地方委員會宣傳部副部長。

周 同 Chou Tung

元駐ウラジオストック総領事。五二年国务院外交部人事司長。

周 同 慶 Chou Tung-ching

五五年五月中国科学院物理学地学部委員。

周 楠 Chou Nan

五五年二月広東省人民委員会委員。広東高級人民法院院長。五六年五月ブラッセルの国際民主法律工作者協会第六回大会に中国政治法律協会代表団員として出席。

周 培 源 Chou Pei-yuan

物理学者(力学)。五三年七月—五五年十二月当時北京大学教務長。華北区高等学校学生募集委員会主任委員。五三年九月当時中華全国自然科学専門学会連合会組織部長、中国物理学会責任者。九月ブダペストの国際科学工作者協会第三回代表大會およびポーランド科学院コペルニクス没後四一〇周年記念科学會議に出席。五三年末中国物理学会理事長。五四年八月第一期全國人民代表大會江蘇省代

表。五五年五月中国科学院物理学地学部委員。六月同学部常務委員会委員。同月モスクワ大学二〇〇周年紀念会出席。五六年二月九三学社第四期中央委員会委員。三月当時国際科学工作者協会理事。

周 梅 影 Chou Mei-ying

五五年六月中国インドネシア友好協会理事。

周 範 文 Chou Fan-wên

四九年十二月国民党革命委員会候補中央委員兼組織部副部長。五六年二月同第三期候補中央委員。

周 文 江 Chou Wên-chiang

五四年八月第一期全國人民代表大會解放軍華東軍区代表。当時戦闘英雄。

周 文 龍 Chou Wên-lung

五三年一月中央人民政府政務院華北行政委員会倉庫調整委員会副主任。三月当時人民解放軍華北軍区後勤部部長。五五年八月国务院石油工業部副部長。

周 炳 琳 Chou Ping-lin

四九年十月中国人民世界平和擁護委員会宣傳部長(五六年在職)。五三年三月当時中国国民党革命委員会団結委員。五四年十二月政治協商會議第二期全國委員会委員(対外平和友好団体)。五五年六月

ヘルシンキ世界平和大会中共代表団員。五六年二月国民党革命委員会第三期中央委員。

周 保 中 (本名、余紹黄) Chou Pao-chung

(Yu Shao-huang) 1903~

雲南省大理県の人。民家。現在五四歳。モスクワ中山大学卒業。三五年当時東北抗日連軍第五軍長、「虎将」の称あり。四六年東北民主連軍副司令。四七年吉林省人民政府主席。四八年東北軍区副司令。四九年末—五三年一月西南軍政委員会委員。五〇年—五三年一月雲南省軍政委員会副主任兼雲南人民政府副主席。五一年解放軍第四野戦軍副司令。五三年一月西南行政委員会委員。五四年八月第一期全國人民代表大會雲南省代表。九月国防委員会委員。五五年九月一級八一勳章、一級独立自由勳章および一級解放勳章。五六年九月中共第八期候補中央委員。

周 鳳 九 Chou Fêng-chiu

五五年二月武漢長江大橋技術顧問委員会委員。五六年一月政治協商會議第二期全國委員会特別招請委員。

周 北 峯 Chou Pei-feng

四九年当時北京市人民政府参事。同年末—五四年六月綏遠省人民政府委員兼民政庁庁長。五四年八月内蒙古自治区人民政府委員。当時内蒙古自治区人民政府民政部副部長。八月第一期全國人民代表大會内蒙古代表。五五年四月内蒙古自治区人民委員会委員。



周有光 Chou Yu-kuang

五六年二月当時中国文字改革委員会音標化研究部副主任。同月中央標準語普及工作委員会委員。

周有才 Chou Yu-tsai

五四年八月第一期全国人民代表大会甘肅省代表。

周湧 Chou Yung

五三年九月当時人民解放軍遼東軍区副司令。

周豫同 Chou Yu-tung 1898~

浙江省瑞安の人。歴史学者。「教育雜誌」「民権雜誌」編集者。安徽大学、暨南大学、上海復旦大学教授。上海市高教連主席。開明書店重役。四九年末一五四年六月華東軍政委員会文化教育委員会委員。五五年二月上海市人民委員会委員。

周揚 (起應) Chou Yang (Chi-ying)

湖南省の人。現在四九歳。大夏大学卒業。日本留学。文芸理論家。戦争中延安大学校長、魯迅芸術院教授として文化活動を指導。「秧歌」(農民歌舞)を新しい農民芸術とすることに努力。四九年七月中華全国文学芸術界連合会副主席兼常務委員。九月政治協商会議第一期全国委員会委員。十月中央人民政府政務院文化教育委員会委員兼文化部副部長、中ソ友好協会理事。「文芸報」(北京)社社長。五三年一月婚姻法貫徹運動委員会委員。五三年十月中国作家協会理事會副

期全国委員会委員。同月中国作家協会理事會理事。五四年五月中国人民対外文化協会理事。八月第一期全国人民代表大会湖南省代表。十二月中ソ友好協会総会第二期理事會理事。

周亮 Chou Liang

五四年七月当時中共駐北ヴェトナム大使館臨時代理大使。

周林 Chou Lin

貴州省の人。貴州大学卒業。五〇年一五三年一月西南軍政委員会委員。五三年十一月西南行政委員会委員。五四年八月第一期全国人民代表大会貴州省代表。当時貴州省人民政府副主席。五五年二月貴州省省長。五六年六月全国人民代表大会第三次會議で民族委員会委員に補選。九月中共八大大会に中共貴州省委員会第一書記の資格で「貴州省山岳地区の發展について」発言。

周綸 Chou Lun

五三年十月当時中央政府交通部築港工程局長。

周禮 Chou Li

四九年当時中共湖南省委員会組織部長。四九年末一五三年一月中南軍政委員会委員。五四年二月当時人民解放軍慰問代表団第五總分団(中南)副団長。八月第一期全国人民代表大会湖南省代表。五五年二月湖南省人民委員会委員、政治協商會議第一期湖南省委員会副主席。

主席。同月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会副主席。五四年五月中国人民対外文化協会理事。五四年五月一五六年九月当時中央宣伝部副部長。八月第一期全国人民代表大会広東省代表。十二月第二回全ソ作家代表大会に中国作家協会代表団団長として列席。五五年五月中国科学院哲学社会科学学部委員。五六年二月中央標準語普及工作委員会委員。三月國務院科学規劃委員会委員。九月中共第八期候補中央委員、八全大会で「教条主義、セクト主義は芸術家の自由を束縛する」と発言。著書「マルクス主義と文芸」(四四年)。

周雍能 (敬中) Chou Yung-nêng (Ching-chung)

江西省鄱陽県の人。江西武備学堂および北京匯文大学卒業。江西軍旅長、警備司令をつとめ、二二年国民党員として渡米。その後中央党部総理辦公処秘書、香港晨報社長、廣州大本營機要秘書、軍事委員会秘書、国民革命総司令部秘書、鄱北財政処長を歴任。二七年江西省政府委員兼財政庁長、南京特別市財政局長、安徽省政府委員兼財政庁長。二八年上海特別市政府秘書長。行政院駐平政務委員会調査処長。三六年上海市政府参事。四八年以来国府立法委員。

周力 Chou Li

五四年十月当時國務院対外貿易部輸入局專員。

周立波 (立波) Chou Li-po (Li Po)

浙江省の人。作家。四九年七月中華全国文学芸術界連合会全国委員会委員。「暴風驟雨」は五二年にスターリン賞。五三年三月スターリン逝去弔問団団員として訪ソ。十月中国文学芸術界連合会第二

周烈承 Chou Lieh-cheng

五三年一月一五四年三月当時中央政府対外貿易部交際処科長。

秋結實 Chiu Chieh-shih

藏族五四年一月青海省海西蒙藏ハサック族自治区人民政府副主席

習仲勳 Hsi Chung-hsün 1912~

陝西省富平県の人。現在四九歳。二六年共產主義青年団に加入。二七年革命失敗後逮捕下獄。三二年「兩当兵変」を指導。陝西渭化で遊撃戦に従事。日華事変中は陝甘寧辺区の防衛を担当。四五年中共第七期候補中央委員。四九年当時中共中央西北局書記、解放軍第一野戦軍兼西北軍区政治委員。十月西北軍政委員会副主席、中央人民政府委員、人民革命軍事委員会委員。五二年八月政務院文化教育委員会副主任、中央人民政府国家計画委員会委員。五三年一月憲法起草委員会委員、西北行政委員会副主席。二月中央選挙委員会委員。七月当時中共中央委員会宣伝部部長。九月中央人民政府政務院秘書長。五四年七月第一期全国人民代表大会西安市代表。九月國務院秘書長。五六年九月中共第八期中央委員。

習東光 Hsi Tung-kuang

五三年十二月当時中央政府地質部辦公庁副主任。

習平 Hsi Ping



五四年一月—五六年一月当時人民日报記者。

戎子 和 (伍勝) Jung Tzu-hè (Wu-shêng)

山西省靈邱の人。山西大学卒業。三五年山西省犧牲救国同盟常任委員会委員。薄一波とともに遊撃戦を指導。四一年晋冀魯予辺区副主席兼財政局長。四八年八月華北人民政府委員兼財政部部長。四九年十月政務院財政部副部長。五四年十一月國務院財政部副部長。

祝 華 Chu Hua

五三年十一月全国工商業連合会第一期執行委員。五六年十二月同連合会第二期執行委員(国营企業、合作社企業全国機構)。

祝 志 澄 Chu Chih-chêng

四八年八月中華全国総工会執行委員。五四年十二月政治協商会議第二期全国委員会委員(中華全国総工会)。

純 古 Chun Ku

五六年一月当時中華全国総工会國際連絡部部長。

苟 昌 五 Hsin Chang-wu

五六年八月國務院森林工業部部長助理。

苟 肇 玉 Hsin Chao-yü

五四年十一月最高人民法院審判員。

初 大 告 Chu Ta-ko

五六年二月九三学社第四期中央委員会委員。

所 仁 克 增 Suo-jên-kê-têng

西藏族。五五年一月西康省人民委員会委員。三月西康省藏族自治州副州長。

所 仁 克 尊 大 喇 嘛 Suo-jên-kê-tsun-ta-la-ma

西藏族。五四年六月当時西康省藏族自治州人民政府財政処処長。

徐 以 新 Hsu I-hsin

江蘇省の人。モスクワ大学卒業。現在五〇歳位。五二年中央人民政府外交部ソ連東欧司司長。五三年一月「中国ルーマニア科学、技術協力協定」「同バーター協定」調印式に参列。「中国ハンガリア五三年度貨物バーターおよび支払協定」調印式に参列。六月当時中国テュコ科学技術合作連合委員会委員。五四年五月駐アルバニア大使。十一月アルバニア「解放」一〇周年慶祝大会中共代表团員。五五年三月中共アルバニア文化合作協定五五年執行計画調印代表。五月大使兼中共中央代表としてアルバニア労働党代表大会参加。

徐 運 北 Hsu Yun-pei

四八年八月全国総工会執行委員。五一年西南軍政委員会土地改革委員会委員。五二年十二月政務院衛生部副部長。五三年五月全国総工会第七期執行委員。五四年十一月國務院衛生部副部長。五六年三

月國務院科学規画委員会副秘書長。九月中共八全大会で「衛生工作中の経験と教訓」を發言。

徐 永 煥 Hsi Yung-ying

五五年七月当時中国人民外交学会編訳部主任。同月同学会第三期理事會理事。十二月当時國務院外交部アメリカ・オーストラリア司長。

徐 永 才 Hsi Yung-tsai

五六年十二月当時中国國際貿易促進委員会工作員。

徐 永 昌 (次辰) Hsi Yung-chang (Tzu-chên)

1889~

山西省崞県の人。陸軍大将。一六年北京陸軍大学卒業。二七年北伐に参加、第一二路軍總司令。閩錫山国民革命軍北路總司令の第三軍長。二八年国民政府軍事委員会委員、第三集團軍第三軍長、綏遠省政府主席、第三三師長。二九年河北省政府主席。三〇年山西綏遠兩省衛戍司令。三一年—三六年山西省政府主席、第五軍長、中央陸軍第三三軍長。東北政務委員会北平移転後同委員会委員。三五年第五期中央監察委員。三七年国民軍事會議本部長。三八年—四五年国民軍事會議作戰部長。日華事変中は軍事委員会軍令部長兼西安公署主任。ミズーリ号上の日本降伏調印式中国首席代表。四六年陳誠軍政部長に代り軍事三人委員会の国府代表。陸軍大学校長。四八年十二月孫科内閣の国防部長兼陸軍大学校長。四九年三月—四月何應欽内閣の国防部長。六月閩錫山内閣の政務委員。四九年—五〇年行政院政務委員。五五年—五六年当時總統府資政。

徐 永 祚 Hsu Yung-tsu

五三年十一月全国工商業連合会第一期執行委員。五六年十二月同連合会第二期執行委員(上海市)。

徐 盈 Hsi Ying

五五年三月國務院宗教事務局副局長。

徐 英 Hsi Ying

五四年三月当時中共中央華北局辦公庁副主任。

徐 詠 平 Hsi Yung-ping

浙江省の人。三五年中央政治学校卒業。三六年—四一年教育部編集員。四一年—四二年重慶社会福祉日報記者。四三年—四九年広西中央日報発行人。四九年重慶中央日報発行人。五〇年以来国民党本部第四組組長、五一年以来陸軍政治大学教授。著書「中国の民主開題」外蒙古。

徐 嘉 瑞 Hsi Chia-jui

雲南省の人。四九年末—五三年一月西南軍政委員会委員。五三年一月西南行政委員会委員。五四年八月第一期全国人民代表大会雲南省代表。五五年二月雲南省人民委員会委員。

徐 海 東 Hsi Hai-tung 1900~

湖北省黃陵県の人。二二年江西軍に投じ、二五年小隊長。二七年



故郷で中共入党。労働運動を指導。紅軍第四方面軍の四川移駐後、第二五軍を指導。三四年西遷後は第一五軍団司令。日華事変中は山東、江蘇方面に遊撃。四四年当時魯蘇予辺区軍司令。五四年六月中央人民政府人民革命軍事委員会委員。九月国防委員会委員。五六年九月中共第八期中央委員。

徐 覺 非 Hsü Chueh-fei

四九年当時湖北省人民政府農林庁長。四九年末―五四年六月湖北省人民政府委員。五四年十二月北京農業機械化学院院长長。

徐 煥 昇 Hsü Huan-shêng 1907~

江蘇の人。江蘇業学専門学校、空軍軍官学校修学。三九年―四〇年中国空軍第八集團軍司令。四一年―四四年駐ソ大使館空軍武官。四四年―四五年空軍第四路軍副司令。四五年―四六年中米連翼副司令。四八年―五〇年空軍第三区司令。五〇年―五一年国府国防部總務司長。五一年―五二年空軍政治部主任。五二年空軍參謀長。

徐 寄 頤 Hsü Chi-ching

五四年十一月当時中国銀行董事。

徐 毅 民 Hsü I-min

五五年九月中共駐ビルマ大使館付副武官。

徐 琚 清 Hsü Chü-ching (Hsü Chu-Ching)

広東省蕉嶺県の人。現在五〇歳。ジャカルタ在住華僑。北平燕京

大学、日本明治大学卒業。現在自由報社長、中華總會理事、中山中学董事、ジャカルタ商校董事、インドネシア華僑商連会総務。

徐 今 强 Hsü Chin-chiang

五四年六月当時政務院燃料工業部石油管理総局副局長。

徐 欣 Hsü Hsin

五〇年三月中国郵電工会全国委員会副主席。五三年八月同会第二期全国委員会副主席。

徐 啓 文 Hsü Chi-wên

五五年二月湖南省副省長。

徐 經 滿 Hsü Chig-man 1918~

広東省順德県の人。日本明治大学卒業。もと国民党中央宣伝部專員。五五年―五六年当時總統府專員。五六年四月中華民國各界日本親善訪問団随行秘書として来日。

徐 慶 鐘 Hsü Ching-chung 1907~

台湾省台北市の人。三一年台北帝大卒業。四五年農学博士。台湾大学作物系主任、台湾省行政長官公署參議、土地銀行常務董事、土地研究委員会委員、台湾省政府農林庁長、台湾省政府委員を歴任。五四年六月以降台湾省政府委員(留任)。

徐 建 春 Hsü Chien-chun

五四年中共入党。山東省農業多収獲模範。五五年七月ワルシャワの第五回世界青年学生和平懇親会中共青年代表団員。九月全国青年社会主義建設積極分子大会主席団員。

徐 健 生 Hsü Chien-shêng

五四年八月第一期全国人民代表大會貴州省代表。五五年二月貴州省副省長。

徐 元 泉 Hsü Yuan-chüan

五五年二月吉林省副省長。

徐 光 Hsü Kuang

五三年七月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。同月中国新民主主義青年団第二期中央委員。

徐 光 耀 Hsü Kuang-yao 1924~

作家。四二年河北省寧晋県遊撃大隊に参加。四六年冀中地区「抗戦八年創作運動」に参加。四七年、華北連合大学文学部に短期入学。五二年訪ソ。五三年六月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会候補委員。作品「闘争中成长壮大」「平原烈火」。

徐 向 前 (象謙) Hsü Hsiang-chien (Hsiang-

chien) 1902~

山西省五台の人。太原師範学校、黄埔軍官学校第一期卒業。五台山壮志中学附屬小学校教師。二五年北伐に参加。二六年中共入党、

武昌軍事政治学校(黄埔軍官学校武昌分校)教官。二七年広州暴動に参加、失敗。紅軍第四師參謀長、師長。海陸豊ソヴェト区教導団に参加。同団消滅後、上海に逃れ、二九年六月武漢附近の鄂予皖ソヴェト区に赴く。三二師長。三一年紅軍第四方面軍總司令。三二年紅軍を率いて四川に新ソヴェト区を建設、部隊を八万人に拡充。三六年紅軍主力の西遷に響應して各部隊を西康に集中、七月甘肅に入る。三七年第八路軍一二九師副師長。四六年人民解放軍華北軍区副司令。四八年八月華北人民政府委員。第五野戦軍第一集團軍司令兼太原前線人民解放軍司令、第一八兵団軍司令兼政治委員。四九年五月太原軍事管制委員会主任。九月政治協商会議第一期全国委員会委員。十月中央人民政府委員、人民革命軍事委員会委員兼總參謀長、華北軍区副司令員。五四年六月人民革命軍事委員会副主席。八月第一期全国人民代表大會軍隊代表。九月同大会常務委員会委員、国防委員会副主席。九月一級八一勳章、一級独立自由勳章および一級解放勳章、元帥。五六年九月中共第八期中央委員。

徐 欣 Hsü Hsin

五五年二月湖南省副省長。

徐 經 滿 Hsü Chig-man 1918~

広東省順德県の人。日本明治大学卒業。もと国民党中央宣伝部專員。五五年―五六年当時總統府專員。五六年四月中華民國各界日本親善訪問団随行秘書として来日。

徐 慶 鐘 Hsü Ching-chung 1907~

台湾省台北市の人。三一年台北帝大卒業。四五年農学博士。台湾大学作物系主任、台湾省行政長官公署參議、土地銀行常務董事、土地研究委員会委員、台湾省政府農林庁長、台湾省政府委員を歴任。五四年六月以降台湾省政府委員(留任)。

徐 建 春 Hsü Chien-chun

武昌軍事政治学校(黄埔軍官学校武昌分校)教官。二七年広州暴動に参加、失敗。紅軍第四師參謀長、師長。海陸豊ソヴェト区教導団に参加。同団消滅後、上海に逃れ、二九年六月武漢附近の鄂予皖ソヴェト区に赴く。三二師長。三一年紅軍第四方面軍總司令。三二年紅軍を率いて四川に新ソヴェト区を建設、部隊を八万人に拡充。三六年紅軍主力の西遷に響應して各部隊を西康に集中、七月甘肅に入る。三七年第八路軍一二九師副師長。四六年人民解放軍華北軍区副司令。四八年八月華北人民政府委員。第五野戦軍第一集團軍司令兼太原前線人民解放軍司令、第一八兵団軍司令兼政治委員。四九年五月太原軍事管制委員会主任。九月政治協商会議第一期全国委員会委員。十月中央人民政府委員、人民革命軍事委員会委員兼總參謀長、華北軍区副司令員。五四年六月人民革命軍事委員会副主席。八月第一期全国人民代表大會軍隊代表。九月同大会常務委員会委員、国防委員会副主席。九月一級八一勳章、一級独立自由勳章および一級解放勳章、元帥。五六年九月中共第八期中央委員。

徐 行 Hsü Hsi g

五三年七月中国新民主主義青年団第二期中央委員会候補委員。

徐 孝 剛 (申甫) Hsü Hsiao-kang (Shên-fu)

1880~

四川省華陽県の人。日本陸軍士官学校第三期砲兵科卒業。前清時代四川陸軍速成学堂総辦。一三年四川陸軍第四師長。一七年四川政務庁長。二六年―二七年第二軍參謀長。三一年一時四川劉湘の最高顧問。四九年末―五三年一月西南軍政委員会委員。五三年一月西



南行政委員会委員。五五年一月政治協商會議第一期四川省委員會副主席。

徐 晃 Hsu Huang

五五年八月國務院外交部新聞司副司長。

徐 康 良 Hsu Kang-liang 1907~

浙江省の人。黄埔軍官学校空軍軍官学校修学。漢口中央航空学校長。四五年—四六年中国空軍第三路司令。四六年—四八年空軍第二区司令。四八年—五一年空軍幹部学校長。五一年—五二年国府軍訓練司令部總司令。五二年以来空軍副總司令。

徐 國 珍 Hsu Kuo-chên

五四年八月当時人民解放軍甘肅軍区副司令員。十二月甘肅省人民委員会委員。

徐 佐 夏 Hsu Tso-hsia

五四年八月第一期全国人民代表大会山東省代表。

徐 塞 Hsu Sai

五四年十一月最高人民檢察院檢察員。

徐 子 榮 Hsu Tzu-jung

元人民解放軍政治委員。四九年末中央人民政府政務院公安部辦公主任。五二年政務院公安部副部長。五三年一月婚姻法貫徹運動委

員會委員。五四年八月第一期全国人民代表大会河南省代表。五六年九月中共第八期候補中央委員。

徐 子 光 Hsu Tzu-kuang

五六年十二月全国工商業連合会第二期執行委員(山東省)。

徐 四 民 Hsu Ssu-min 1917~

福建省廈門の人。ラングーン在住華僑。廈門大学卒業。貿易商。日華事変中抗日運動に従事、ビルマ華僑救災總會理事、ビルマ華僑日本品ボイコット總會常務理事。日本軍ビルマ占領後中国に逃れんとして果さず、ビルマの抗日運動に協力。戦後ラングーンに帰り新仰光報副經理、華商商会總幹事。中共成立後親共華僑のリーダー、中共系華僑諸団体の總元締になったといわれ、また五二年中共に入党ともいわれる。五四年九月中共全国人民代表大会ビルマ華僑代表。中共駐緬大使館顧問。

徐 芝 寅(女) Hsu Chih-yin

五三年四月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員兼常務委員。五四年八月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。

徐 日 宗 Hsu Jih-tsung

ビルマ在住華僑。戦後ビルマに渡り中共系教員連合会を指導。

徐 壽 軒 Hsu Shou-hsian

元東北人民政府委員兼衛生部第一副部長。四九年末政務院財政總

徐 書 楷 Hsu Shu-kai

五六年十二月当時中国進出口公司天津分公司經理。

徐 肖 冰 Hsu Hsiao-ping

映画人。五三年十月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。五四年六月スターリン賞および北鮮二級国旗勲章。八月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。十二月中ソ友好協会第二回理事會理事。

徐 捷 Hsu Chieh

五四年十月当時人民解放軍湖北軍区副參謀長。

徐 紹 清 Hsu Shao-ching

五三年八月湖南省中国人民第三回朝鮮訪問慰問文芸団員。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(中国文学芸術界連合会)。

徐 鍾 佩 Hsu Chung-pei 1917~

江蘇省の人。中央政治学校卒業。四五年—四八年中央日報ロンドン駐在通信員。国民大会代表。著書「英国より歸りて「台北と余」。

徐 淨 武 Hsu Ching-wu

五三年七月中国新民主主義青年団第二期候補中央委員。

徐 淑 希 Hsu Shu-hsi 1892~  
広東の人。香港大学、一九九年米コロンビア大学卒業。二五年コロンビア大学博士号。二三年—二七年燕京大学政治系主任教授兼教務委員会主席、法科研究所所長、社会系主任兼教授、研究院委員会主席、社会科学学院院长、法学院院長、東北外交研究委員会委員、国連調査団中国代表処専門委員、京都、上海の太平洋會議中国代表。三二年—三三年国際連盟および同中国代表顧問。三六年—三八年および四〇年—四七年外交部顧問。四三年—四六年外交部ソ連および西司长。四七年国連大会安保理事会および中間委員会中国代表。四八年国連国際法委員会委員。五〇年安保理事会副代表。調査ならびに調停に関する陪審員。五六年二月国府駐ヘルー大使。著書「中国領土主權保全論」「滿洲問題」「中国の外交關係」。

徐 俊 Hsu Chün

五三年七月中国新民主主義青年団第二期中央委員会候補委員。

徐 舜 英(女) Hsu Shun-ying

五六年二月国民党革命委員会第三期候補中央委員。



徐 繩 武 Hsü Shêng-wu

五五年六月—五六年十二月当時中国国際貿易促進委員会連絡部副部長。五五年六月アルゼンチン国際貿易促進委員会第二回大会に中共代表として出席。

徐 振 騏 Hsü Chên-chi

五六年一月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。

徐 瑞 意 Hsü Jui-i (Chee Swee-ee) 1902~

ペナン生れ。マライのバリック・パラウ在住華僑。ペナンのセント・ザビエル学院卒業。飼料ならびに肥料商、治安判事。

徐 瑞 雲 Hsü Jui-yün

五五年一月浙江省人民委員会委員。

徐 瑞 林 Hsü Jui-lin

五五年二月当時中共河北省通県地方委員会書記。

徐 崇 林 Hsü Chung-lin

四川省の人。四五年十二月民主建国会委員。四九年末—五三年一月西南軍政委員会委員。五三年一月西南行政委員会委員。五四年八月第一期全国人民代表大会四川省代表。五五年四月民主建国会中央常務委員。

徐 世 賢 Hsü Shih-hsien 1903~

浙江省の人。国立北平法律学校修学。台湾省保安司令、上海高等法院特別刑事署檢察長、国防部軍法委員会委員長を歴任。五五年—五六年当時行政院司法行政部常務次長。台湾大学法学院教授。

徐 赤 文 Hsü Chih-wên

五五年一月浙江省人民委員会委員。

徐 雪 寒 Hsü Hsüeh-han

元華東財政經濟委員会運輸部長、上海鐵道管理局局長。四九年末—五四年六月華東軍政委員会財政經濟委員会委員。五二年八月中央人民政府対外貿易部副部長。五三年一月「中国ルーマニア五三年度バーターおよび經濟協定」「中国ハンガリア五三年度バーター支払協定」に中共側代表として調印。四月「中独五三年度バーター取引および支払協定」に中共側代表として調印。五四年二月ポーランド訪問商務代表団团长。十一月國務院対外貿易部副部長。五五年一月「中国ルーマニア五五年度バーター支払協定」「五五年度中国ブルガリア・バーター支払協定」「五五年度中国ポーランド・バーター支払協定」に中共側代表として署名。

徐 雪 塵 Hsü Hsueh-chên

五六年二月民主同盟第二期候補中央委員。

徐 節 庵 Hsü Chieh-an

五六年十二月全国工商業連合会第二期執行委員（河北省）。

徐 楚 波 Hsü Chu-po 1899~

河北省威県の人。直隸高等師範史地専修科卒業。河北威県教育局長、天津中日中学、北京師大附属女子中学、北京成達中学、河北高等中学、輔仁男子中学、市立一中、大同中学など各校教師を歴任。五二年当時北京市人民政府委員会委員。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員（教育界）。五五年二月北京市人民委員会委員。五六年八月中国民主促進会第四期中央委員会委員兼常務委員会委員。

徐 肅 (健青) Hsü Nai (Chien-ching) 1910~

安徽省歙県の人。北京中国大学卒業。湖北省咸豊県県長、湖北省政府設計委員会専任委員軍政部參議兼組長、軍政部儲備司副司長、遼北省政府委員兼秘書長兼建設庁長、東北行轅政務委員会政務処処長、台湾省政府専門委員、東南長官公署政務処処長、行政院參事兼組長を歴任。五二年經濟部常務次長。五四年六月經濟部政務次長。

徐 澤 (澤N) Hsü Tsé (Tsé-chh) 1903~

浙江省呉興県の人。二六年国立北京大学卒業。三四年ハンブルグ大学政治經濟学博士。英、仏、独、日、露、瑞六カ国語に精通。司法部編訳官、各大学教授、講師。二九年—三〇年駐スエーデン公使館外交官補。三〇年—三六年駐ハンブルグ副領事。三七年—三八年駐オスロー公使館書記官。三八年—四一年駐ベルリン大使館書記官。四一年—四三年外交部課長。四四年—五〇年駐リオデジャネイ

ロ大使館一等書記官。五〇年—五二年駐グアテマラ総領事。五一年グアテマラ・アーベンス大統領就任式特派使節。五二年駐コスタリカ公使館代理公使。五三年フィギュアース大統領就任式特派使節全權公使。五四年第九回国連総会出席中国代表団顧問。五五年九月駐エクトアドル公使。

徐 達 深 Hsü Ta-shên

五三年八月—五六年一月当時中共駐ソ大使館商務參事官。

徐 達 本 Hsü Ta-pên

五三年七月当時政務院燃料工業部副部長。五四年十一月國務院燃料工業部副部長。

徐 達 林 Hsü Ta-lin

五三年二月当時中共駐ソ大使館商務參事官。

徐 淡 廬 Hsü Tan-lu

四川省の人。現在四二歳位、人民解放軍西藏軍区政治部連絡部長。

徐 馳 Hsü Chih

五三年一月当時政務院重工業部計画司長。五五年一月國務院重工業部部長助理。

徐 中 齊 Hsü Chung-chi 1908~

四川省の人。黄埔軍官学校、ウィーン警察学校卒業。三九年—四



〇年および四三年—四四年重慶市警務局長。四〇年—四三年中央警察大学代理部長。四四年—四六年成都市警務処長。四八年以来立法委員。

徐 中 夫 Hsu Chung-fu

五五年九月中共駐バキスタン大使館文化参事官。五六年十月駐スエーデン大使館文化参事官。

徐 鑄 成 Hsu Chu-chéng

江蘇省宜興の人。北京清華大学卒業。新聞評論家。大公報編集局長、論説主幹、文匯報主筆を歴任。終戦後文匯報編集局長。四九年末—五四年六月華東軍政委員会文教委員会委員。全国新聞協会委員。五四年八月第一期全国人民代表大会広東省代表。

徐 特 立 (懋循) Hsu Te-li (Mao-hsün) 1876~

湖南省長沙の人。湖南師範学校卒業。小学校教師、江蘇教育会職員。辛亥革命の時中国革命同盟会に加入。二〇年留仏独苦学。二三年長沙に帰り二つの師範学校を創設、国民党入党。二七年中共入党。二八年モスクワ中山大学で二年修学。三〇年帰国。江西ソヴィエト区教育委員会助理委員。三五年教育委員。三四年西遷に参加。四五年中共第七期中央委員。四九年当時中共中央宣传部副部长。四九年十月中央人民政府委員兼政務院文化教育委員会委員。五四年八月第一期全国人民代表大会湖南省代表。九月同大会常務委員会委員。五六年九月中共第八期中央委員。

徐 德 操 Hsu Te-sao

少将。五五年九月一級解放勲章。

徐 德 明 Hsu Tè-ming 1918~

東北民主連軍(第四野戦軍の前身)第二縦隊副政治委員兼吉林市軍事管制委員会主任。中共黨員。五五年十月中共見本市代表团秘書長として来日。当時中国絲綢公司上海分公司經理。五六年十二月当時中国絲綢公司副經理。

徐 培 根 Hsu Pei-kên 1898~

浙江省の人。陸軍幹部学校、ドイツ幹部学校卒業。三八年—三九年軍事委員会陸軍作戦部第二庁長。四一年駐米陸軍武官。四三年—五〇年幹部学校長。五一年—五四年副参謀総長。五四年国防大学校長。

徐 伯 昕 Hsu Po-hsin

三聯書店經理。五四年八月第一期全国人民代表大会四川省代表。五五年一月政治協商会議全国委員会副秘書長。五六年八月民主促進会第四期中央委員会常務委員会委員。

徐 柏 園 Hsu Po-yüan 1902~

浙江省蘭谿県の人。二六年国立東南大学、上海商学院卒業。寧波商業学校教員。杭州民国日報編集人。浙江省国民党部秘書。広東国民日報編集人。交通部秘書。三〇年—三三年米シカゴ、イリノイ、

五三年八月当時上海市人民政府秘書長。五四年五月対外文化協合理事。五五年二月上海市人民委員会委員。

徐 步 寬 Hsu Pu-kuan

五五年二月熱河省人民委員会委員。

徐 璞 Hsu Po

五四年十一月最高人民法院審判員。

徐 邁 進 Hsu Mai-chin

四九年北京市軍事管制委員会文化接管委員会委員兼新聞出版部部長。同年末政務院新聞總署辦公庁主任。五一年政務院文化教育委員会辦公庁主任。五四年十一月國務院廣播(放送)事業局局長。十二月政治協商会議第二期全国委員会委員(新聞出版界)。

徐 明 Hsu Ming

五五年一月中共駐東独大使館参事官。二月湖南省人民委員会委員。

徐 萌 山 Hsu Mêng-shan

五三年六月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。

徐 野 (女) Hsu Yeh

五三年七月中国新民主主義青年団第二期候補中央委員。

カリフォルニア各大学修学。三三二年交通部中国電気公司副總經理、

中央電気計画委員、郵政送金儲蓄銀行常務理事、交通部購買委員会委員、中央電気公募委員会委員。三五年北平交通銀行經理。三六年

天津交通銀行經理。三八年第一回国民参政員、交通銀行昆明分行經理。三九年四行連合總署副秘書長。その後主として郵政、交通、電気、

銀行等の公営事業に従事。四六年—四八年財政部次長。四九年中央

銀行副總裁、中国銀行代理董事長。五〇年四月中央銀行董事長。五

一年—五二年台湾銀行董事長。五二年中国銀行總經理。五二年國際

通貨基金中国代表团團長。五三年台湾省财政厅長。五四年六月財政

部部長。

徐 眉 生 Hsu Mei-shéng

五五年五月山東省人民委員会委員。

徐 敏 (女) Hsu Min

五三年四月中華全国民主婦女連合会第二期候補執行委員。

徐 傅 霖 (夢巖) Hsu Fu-lin (Mêng-yên) 1880~

広東省和平県の人。北洋法律学校、日本政法大学卒業。北京国会衆議院議員、上海中華新報主筆、高等法院院長、民社党中央執行委員会代理主任委員を歴任。四七年—四八年国民政府政府委員。四八年副總統に立候補。四八年總統顧問。五四年總統選挙に立候補。五六年当時總統府資政。

徐 平 羽 Hsu Ping-yü



徐有聲 Hsu Yu-shêng  
五四年十一月最高法院審判員。

徐力 Hsu Li

五五年中共駐インドネシア大使館參事官。

徐立清 Hsi Li-ching

河南省の人。現在五〇歳位。南開大学修学。江西ソヴィエト時代よりの幹部。人民解放軍第一野戦軍第二二兵团政治委員、中共中央新疆分区副書記、新疆省人民政府委員を歴任。五三年三月—五五年九月当時中央政府人民革命軍事委員會總幹部部管理副部長。五四年六月—五五年二月当時解放軍總政治部副主任。八月第一期全国人民代表大會華東軍区代表。

徐麟村 Hsi Lin-tsun

五四年九月広西省人民政府委員、当時同政府財政經濟委員會副主任。

如欲立(卓亭) Ju Yu-li (Chuo-ting)

陝西省三原県の人。元衆議院議員。二八年国民政府審計院副院長。三一年—三二年監察院審計部長。四九年中央政府最高人民檢察署西北分署副檢察長。四九年末—五三年一月西北軍政委員會委員。五三年一月西北行政委員會委員。

舒同 Shu Tung

江西省東郷の人。現在五一歳。二七年江西第一師範卒業。中共に入党。三四年—三五年西遷に参加。三九年晋察冀辺区軍政治部主任。その後同辺区政治委員會政治部長。四九年—五三年七月当時中共中央華東局宣傳部部长。華東人民革命大学校長。華東軍区政治部主任。四九年末—五三年一月華東軍政委員會委員。四九年末—五四年六月同委員會文化教育委員會主任。五三年一月華東行政委員會委員。五四年八月第一期全国人民代表大會山東省代表。五五年一月当時中共山東省委員會第一書記。三月山東省人民委員會委員。五六年九月中共第八期中央委員。

召西里 Chao Hsi-li

傣族。五五年六月雲南省西雙版納傣族自治州人民委員會委員。

召存信 Chao Tsun-hsin

傣族。五三年一月雲南省西雙版納傣族自治州人民政府主席。同自治区協商委員會主席。五四年八月第一期全国人民代表大會雲南省代表。五五年二月雲南省人民委員會委員。六月雲南省西雙版納傣族自治州州長。

肖純 Hsiao Chun

五五年三月—十月当時中共安東市委員會第二書記。

舒軍 Shu Chün

五六年二月民主同盟第二期候補中央委員。

舒羣 Shu Chün

五三年十月中国作家協會理事會理事。

舒自清 Shu Tzu-ching

五五年一月ボンベイの國際商會所屬アジア洲極東地区事務委員會に中共代表として出席。五五年一月—五六年四月当時中国國際貿易促進委員會副秘書長。

舒繡文 Shu Hsiu-wên

五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(中国文学芸術界連合会)。

舒新城 Shu Hsin-chêng 1892~

教育学者。湖南高等師範学校英語部卒業。多年中等教育に従事。五・三〇事件前後の「ミッション教育反対」、教育權回収運動の理論家といわれる。中華書局編集主任。五四年八月第一期全国人民代表大會湖南省代表。著書「近代中国留学史」「近代中国教育思想史」。

舒宗濂 Shu Tsung-liu

五六年二月国民党革命委員會第二期候補中央委員。

尚子錦 Shang Tzu-chin

五五年六月当時湖南省商業庁庁長。

尚明 Shang Ming

五三年三月—五四年五月当時中国人民銀行總行辦公庁主任。

尚葉榮 Shang Yeh-jung

五三年七月中国新民主主義青年團第二期中央委員。

承澹盒 Chêng Tan-hé

五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(医薬衛生界)。

五五年五月中国科学院生物学部委員。

松(松國松) Sung Sung (Sung Kuo-sung)

五三年十一月全国工商業連合会第一期執行委員。五六年十二月同連合会第二期執行委員(西藏)。

松布 Sung Pu

トルコ族。五三年一月当時青海省人民政府人民監察委員會副主任。六月中国仏教協會理事。五四年八月第一期全国人民代表大會青海省代表。十二月青海省人民委員會委員。

松謀 Sung Mou

西藏族。五三年西南少数民族參觀団団長。六月中国仏教協會理



事。五四年八月第一期全国人民代表大會雲南省代表。

邵毓麟 Shao Yu-lin 1907~

浙江省郵政の人。九州帝国大学卒業。三四年四川大学教授。三七年一三八年駐横濱総領事。三六年一四六年大元帥府秘書。四一年一四三年外交部情報司司長。四五年桑港會議中国代表團員。四八年国連朝鮮委員会中国代表附として韓国に派遣。八月張群に随行来日。四九年九月兼駐韓国外交代表。四九年一五一年駐韓国大使。五二年以来行政院設計委員会委員、外交部顧問、総統府国策顧問。五七年一月駐トルコ大使。

邵逸周 Shao I-chou (Chia-chin) 1895~

安徽省休甯の人。一四年ロンドン大学王室礦業学院、一六年ロンドン科学工業学院卒業。一六年一十九年ベルマ礦務公司冶金技師。二〇年一三三年萍鄉煤礦技師長。二四年一二七年安徽官礦技師長。二八年一三〇年蕪湖市政準備処処長。三二年一四一年国立武漢大学工学院院长兼教授。四二年一四五年資源委員会甘肅油礦局副經理。四六年一四八年資源委員会鞍山鋼鐵公司總經理。四九年一五二年駐日代表團日本賠償および返還物資接收委員会委員兼第三組専門委員、駐日代表團商務專員。五二年一五三年駐日大使館商務參事。五三年以来米援運用委員会副秘書長。

邵凱 Shao Kai

五五年六月当時瀋陽市副市長。

邵平 Shao Shih-ping

江西省の人。現在五三歳。北京師範大学中退。二六年二・一八学生運動事件の指導者。後江西省農村で紅軍指導。日華事変中陝甘寧辺区で陝北公学の教務部長、晋冀察抗日大学分校校長。四九年江西省人民政府主席。同年末一五三年一月中南軍政委員会委員。五三年一月中南行政委員会委員。十月中国人民第三回訪鮮慰問団総団副團長兼第五總分團長。五四年七月第一期全国人民代表大會江西省代表。五五年二月江西省人民委員会委員、同省省長。五月当時中共江西省委員会第二書記。五六年九月中共第八期候補中央委員。

邵循恰 Shao Hsin-chia

五六年十二月当時中国国際貿易促進委員会仲裁部副部長。

邵象伊 Shao Hsiang-i

五六年十月当時山西医学院院長。

邵象華 Shao Hsiang-hua

五三年十一月当時鞍山市中ソ友好協会副會長。五四年四月一五六年四月鞍山鋼鐵公司技術処処長。八月第一期全国人民代表大會鞍山市代表。十月当時鞍鋼公司技師長。五五年五月中国科学院技術科学学部委員。十二月当時中国科学院金屬研究所學術委員会會員。

邵井蛙(女) Shao Ching-wa

五〇年七月中国紡織工会第一期全国委員会副主席。五三年八月同

邵鏡三 Shao Ching-san

五四年八月中国キリスト教三自愛国運動委員会常務委員。

邵均 Shao Chun

五五年一月黒龍江省人民委員会委員。五六年二月民主同盟第二期中央委員会委員。

邵光華 Shao Kuang-hua

五三年一月当時雲南省瀘西県人民法院代理院長。

邵恆秋 Shao Heng-chiu

五三年三月一五四年三月当時中国国民党革命委員会南京市分部責任者。六月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。五六年二月国民党革命委員会第三期候補中央委員。

邵紅葉 Shao Hung-yeh

五四年七月当時天津日報社副社長兼編集。五五年四月中国新聞工作者連誼会天津市分会會長。

邵子言 Shao Tzu-yên

四川省重慶の人。現在五〇歳位。五三年四月総工会ブルガリア・メーデー参観団団長。当時重慶市総工会主席。五月全国総工会第七期執行委員。

第一期副主席。五六年四月当時全国先進生産者代表會議主席団。

邵石痴 Shao Shih-chih

五五年一月四川省人民委員会委員。

邵荃麟 Shao Chuan-lin

浙江省寧波の人。作家、文芸理論家。日華事変中桂林で出版社「文化供应社」を経営、一時三聯書店編集副主任。五二年一五三年当時全国文学工作者協会創作委員。五三年十月中国作家協会理事會副主席兼創作委員会副主任。五四年八月第一期全国人民代表大會四川省代表。五六年十二年中国作家協会書記処書記。著書多くの短篇および戯曲「麒麟寨」等。

邵宗漢 Shao Tsung-han

江蘇省の人。現在三六歳位。日華事変中国際新聞社編集人。四四年重慶新華日報に入社。終戦後香港に赴く。五三年民主同盟中央委員兼組織部副部長。北京光明日報主筆。婚姻法貫徹運動委員会委員。五四年五月中国人民対外文化協会理事。八月第一期全国人民代表大會江蘇省代表。五六年二月民主同盟第二期中央委員会候補委員。

邵裴子 Shao Pei-Tzu

五五年一月浙江省人民委員会委員。

邵文傑 Shao Wên-chieh



五五年一月当時河南省計画委員会副主任。二月河南省人民委員会委員。

邵力子 (鳳壽、仲輝) Shao Li-tzu (Fang-shou, Chung-hui) 1881~

浙江省紹興縣の人。前清の挙人。上海震旦書院卒業。一六年上海民国日報編集長。二六年国民党中央執行委員会委員。二七年一三一年国民革命軍秘書長。三二年甘肅省政府主席。三三年一三六年陝西省政府主席。三七年一三八年中央宣傳部長。四〇年駐ソ大使。四三年国民参政会秘書長、憲政促進委員会秘書長。四六年政治協商会議国民党代表。四九年三月国共平和会談国府側代表。四九年九月政治協商会議第一期全国委員会常務委員。十月中央人民政府政務院政務委員兼華僑事務委員会委員、中ソ友好協理理事。十二月国民党革命委員会中央委員会常務委員。同月中国人民外交学会理事。中国人民世界平和擁護委員会常務委員、中国人民抗美援朝総会常務委員。五四年八月第一期全国人民代表大会浙江省代表。九月同大会常務委員会委員。十二月政治協商会議第二期全国委員会委員 (国民党革命委員会)。五五年四月チュウコ解放十周年慶祝典礼参加中共政府代表団員、ヘルシンキ世界平和大会中共代表団員。七月中国人民外交学会第三期理事。五六年二月中央標準語普及工作委員会委員。同月国民党革命委員会第三期中央委員。ストックホルム世界平和理事會特別會議中共代表団員。五七年二月国民党革命委員会台湾平和解放工作委員会副主任委員。

商 廣 文 Shang Kuang-wên

章 一 之 Chang I-chih

五四年八月河北師範学院副院長。五四年八月当時河北省人民政府教育庁長。

章 蘊 (女) Chang Yün

安徽省の人。現在三九歳位。復旦大学卒業。四九年三月中華全国民主婦女連合会執行委員。四九年末一五三年一月華東軍政委員会委員。四九年末一五四年六月同委員会土地改革委員会委員。五二年当時中共中央華東局婦女工作部長、上海市婦女連合会主任。十二月当時中華全国民主婦女連合会秘書長。五三年一月婚姻法貫徹運動委員会委員。六月コペンハーゲンの世界婦人大会に中共代表団副団長として出席。四月中華全国民主婦女連合会第二期常務委員会副主席。五四年八月第一期全国人民代表大会安徽省代表。十二月政治協商会議第二期全国委員会委員 (全国民主婦女連合会)。十二月婦女代表団団長として訪仏。五六年三月全国文盲一掃協会の委員。九月中共第八期中央委員会候補委員。

章 央 芬 (女) Chang Yang-fên

五三年四月当時瀋陽市中国医科大学婦嬰医院院長、六月コペンハーゲンの世界婦人大会出席中共代表団員。五四年八月第一期全国人民代表大会瀋陽市代表。五六年六月頃上海第二医学院副院長。

章嘉呼圖克圖第七世 Chang-chia-hu-tu-ké-tu 1890~

青海省大正県の人。蒙古族。活仏。三二年撫蒙宣化使。三五年一

五五年三月訪日貿易代表団員として来日、当時中国礦産出口公司副經理。五六年十二月当時同公司經理。

商 震 (啓宇) Shang Chên (Chi-yü) 1884~

河北省の人。保定陸軍速成学堂、北京陸軍大学卒業。青年時代革命運動に挺身。二〇年一二五年山西第一混成旅長、兵工廠総辦、山西暫編第一師長。二六年綏遠都統。二七年国民革命軍北路総司令閻錫山の下に第一軍長兼国民政府軍事委員会委員。二八年国民革命軍第三集團軍第一軍長太原政治分会委員。北伐完了後河北省政府委員兼主席、後北平臨時政治分会委員兼任。二九年山西省政府委員兼主席、民政庁長。同年末国民党中央候補監察委員会委員。三〇年第四軍長。三一年第三二軍長および国民党第四期中央候補監察委員会委員。三二年東北政務委員会委員。三五年河南省政府委員兼主席、第五期中央監察委員。日華事変前華北第二軍団長。開戦後第一戦区司令官、第二軍団長、第六戦区司令官、国民軍事委員会主任、国民軍事委員会外交局長、駐米中国軍事使節団員、ダンバートン・オークス会議中国代表。この間綏遠、山西、河南、河北各政府主席。四六年二月国連軍事参謀委員会中国代表兼駐米軍事使節団長。七月何應欽將軍と交代。四七年帰国後蔣主席侍従武官長。四七年一四九年対日理事会中国代表兼中国駐日代表団員。その後日本に居住。

章 夷 亘 Chang I-po

陝甘寧辺区政府民政庁副庁長。四九年十二月中央人民政府政務院財政經濟委員会中央財經人事局局長。五四年十一月国務院人事局局長。

五〇年国民党中央監察委員会委員。三七年一四八年国府政府委員。三〇年蒙藏委員会委員。四七年護國淨覺輔教大師。四八年五月總統府資政。五〇年一五二年国民党中央評議員。五二年国民党中央評議員。

章 格 Chang Ke

五六年十二月当時中国進出口公司上海分公司副經理、五金進出口公司、機械進出口公司、運輸機械進出口公司、儀器進出口公司兼任。

章 漢 夫 Chang Han-fu

江蘇省常州の人。現在四九歳。清華大学卒業。日華事変中重慶で新華日報に勤務。当時周恩來の秘書。四五年サンフランシスコ会議に中共側代表董必武の随員として出席。戦後上海で「群象」誌、英文刊行物等を出版。国民党によって停刊されるや香港に移る。四九年上海「解放」後上海軍管会外僑事務処処長。十月政務院外交部副部長兼条約委員会主任委員。五三年一月北京で中蒙郵政、電信両協定に調印。二月北京で「中蒙非貿易信用供與協定」に調印。五四年八月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。十一月国務院外交部副部長。当時中国銀行董事。五五年四月アジア・アフリカ会議中共代表団員。七月中国人民外交学会第三期理事。五六年九月北京におけるセイロンとの外交関係樹立文書に中共側代表団員として調印。北京における中共エジプト文化合作協定批准書の議定書交換に中共側代表として出席。中共第八期中央委員会候補委員。

章 鉅 林 Chang Chu-lin



五三年六月中華全國民主青年連合会第二期全國委員会候補委員。

章 靳 以 Chang Chin-i

五三年十月中国作家協会理事會理事。十一月華東作家協会理事。五五年二月上海市人民委員会委員。五六年五月中国パキスタン友好協会理事。十二月中国作家協会書記処書記。

章 元 善 Chang Yuan-shan

四五年十二月中国民主建国会常務委員。四四年十二月政治協商会議第二期全國委員会委員(民主建国会)。五五年四月民主建国会第一期中央常務委員兼常務委員會工商研究委員會副主任委員。

章 士 釗 (行嚴) Chang Shih-chao (Hsing-yên)

1881~

湖南省長沙の人。東京正則英語学校、英エジンバラ大学卒業。一年第一革命勃発直後帰国、上海民立報主筆、浙江教育司長、北京大学校長等を歴任。二四年段祺瑞の下に司法総長、教育総長。滿洲事変後上海で弁護士。三八年国民参政会参政員。四九年国共和会談国府側代表。九月政治協商会議第一期全國委員会委員。十月政務院政治法律委員會委員。当時弁護士。四四年八月第一期全國人民代表大会湖南省代表。四四年十二月政治協商会議第二期全國委員会委員(特別招請)。著書「中等国文典」「蕩羅乙笈伝」「名家小説」「名学稽古」等。毛澤東の老師で現在も親密な関係ありといわれる。

章 次 公 Chang Tzu-kung

金融問題「中国貨幣論」。

章 澤 Chang Tsê

四九年四月中国新民主主義青年団中央委員会常務委員兼中央書記処候補書記。四九年当時中共中央東北局青年工作委員会副書記。四九年—五四年九月東北人民政府文化教育委員會委員。五三年七月中国新民主主義青年団第二期中央委員会常務委員兼中央書記処書記。五四年八月第一期全國人民代表大会遼寧省代表。五六年一月中国オリンピック委員会委員。

章 任 堪 Chang Jên-kan 1903~

復旦大学。東呉大学卒業。三〇年—三二年米ハーバード大学研究員、同大学法学博士号。国立中央大学、司法院法官訓練所、東呉大学、朝陽法学院教授、北平、上海、南京各地方法院判事、検事、浙江高等法院判事、最高法院判事、国府駐日代表團専門委員等を歴任。五二年駐日大使館参事官。五六年十月離任帰国。

章 伯 鈞 Chang Po-chün 1896~

安徽省桐城の人。武昌高等師範外国文学系卒業。桐城師範学校長。後ドイツ留学、その当時国民党工作に参加。北伐の際帰国してこれに参加。国共分裂後革命軍に随い江西へ、ついで広東に退却、最後に上海租界に逃避、第三党の基礎を作る。日華事変中参政会に参加。四四年九月張瀾等と民主同盟を組織。四九年九月政治協商会議全國委員会常務委員。十月中央人民政府委員会委員兼政務院交通部部長、政務院政務委員。十一月中国農工民主党主席。十二月民主同

盟中央常務委員兼中央政治局員。五一年十二月農工民主党中央委員会および中央執行局主席。五三年一月選挙法起草委員会委員。二月中央選挙委員会委員。三月スターリン逝去弔問団員として訪ソ。六月民主同盟中央委員会副主席。十月中国人民第三回訪鮮慰問団総団副团长。五三年十一月—五四年四月当時世界平和理事会理事。五三年十一月ウイーンの世界平和理事会に出席。五四年五月世界平和理事会ベルリン特別会議中央代表団理事。八月第一期全國人民代表大会安徽省代表。九月国務院交通部部長。十二月政治協商会議第二期全國委員会常務委員副主席。五六年二月民主同盟第二期中央委員会および常務委員会副主席。十一月—五七年一月—全國人民代表大会代表団副团长としてソ連、東欧を訪問。

章 振 乾 Chang Chên-chien

五六年八月民主同盟第二期中央委員会候補委員。

章 新 Chang Hsin

五三年三月当時中共湖南省永明県委員会書記。

章 乃 器 Chang Nai-chi 1894~

浙江省青田県の人。浙江省立商業学校卒業。浙江実業銀行副經理、中国銀行学泉常務理事、光華大学教授、安徽省财政厅長を歴任。三五年十二月上海文化界救国会を組織、機関誌「生存綫」「暴風雨」等を発行。日華事変中抗日民族統一戦線「七君子」の一人として活動。四五年十二月黄炎培らと民主建国会を設立、その常務委員。四九年九月政治協商会議第一期全國委員会常務委員。十月中央人民政府政務院政務委員。五二年八月政務院糧食部部長。五三年一月選挙法起草委員会委員。九月—五四年二月当時抗米援朝総会常務委員。五三年十月中国人民第三回訪鮮慰問団総団副团长。十一月全國工商業連合会第一期副主任委員。五四年四月—五五年十月当時世界平和擁護委員会常務委員。五四年八月第一期全國人民代表大会四川省代表。十一月中国銀行常務董事。十二月政治協商会議第二期全國委員会委員(民主建国会)。五五年二月民主建国会總會第一期中央常務委員会副主任委員。五六年六月全國人民代表大会提案審查委員会副主任委員。十二月全国工商連第二期副主任委員。著書「國際

盟中央常務委員兼中央政治局員。五一年十二月農工民主党中央委員会および中央執行局主席。五三年一月選挙法起草委員会委員。二月中央選挙委員会委員。三月スターリン逝去弔問団員として訪ソ。六月民主同盟中央委員会副主席。十月中国人民第三回訪鮮慰問団総団副团长。五三年十一月—五四年四月当時世界平和理事会理事。五三年十一月ウイーンの世界平和理事会に出席。五四年五月世界平和理事会ベルリン特別会議中央代表団理事。八月第一期全國人民代表大会安徽省代表。九月国務院交通部部長。十二月政治協商会議第二期全國委員会常務委員副主席。五六年二月民主同盟第二期中央委員会および常務委員会副主席。十一月—五七年一月—全國人民代表大会代表団副团长としてソ連、東欧を訪問。

章 伯 森 Chang Po-sên

五五年二月湖南省人民委員会委員。

章 萍 Chang Ping

四八年八月全国総工会候補執行委員。五三年四月総工会訪ソ・メデー参観団員。五三年五月全国総工会第七期執行委員。

章 文 Chang Wên

五五年二月当時中共駐アルバニア大使館三等書記官。

章 文 晋 Chang Wên-chin

河北省の人。燕京大学修学。モクソフ中山大学卒業。五二年天津市外事処処長。五四年十二月—五六年三月当時国務院外交部亜洲司



副司長。五五年七月中国人民外交学会第三期理事會理事。五六年三月パキスタン成立記念式典出席中共代表团團員(團長賀龍)。

章 浪 Chang Min

五三年十月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。

章 名 濤 Chang Ming-tao

五五年五月中国科学院技術科学学部委員。六月同学部常務委員会委員。五六年六月電機工程学会準備委員会副主任委員。

章 明 Chang Ming

五三年十二月当時遼東省蓋平県県長。

焦 維 眞(女) Chiao Wei-chên

五四年八月中国キリスト教三自愛国運動委員会常務委員。

焦 煥 輝 Chiao Huan-hui

五五年二月広東省人民委員会委員。

焦 菊 隱 Chiao Chü-yin 1902~

北京の人。もと南京戲劇音楽研究員、中華戲劇専科学校長。四九年三月北京の文芸座談会に出席。五三年二月北京市戯曲編導委員会顧問。五三年八月—五四年十月当時北京人民芸術劇院副院長。五四年五月対外文化協合理事。十二月政治協商会議第二期全国委員会委員(中国文学芸術界連合会)。五五年六月ヘルシンの世界平和大

会出席中共代表团團員。五六年四月全国新劇競演会の北京人民芸術劇院演出「明るい空」にて一等監督獎を獲得。

焦 玉 波 Chiao Yu-po

五六年一月当時全国供銷合作總社生産資料供应二局局長。

焦 國 勳 Chiao Kuo-nai

五五年二月山西省副省長。

焦 實 齊 Chiao Shih-chi

五四年十二月政治協商会議第二期全国委員会委員。五六年二月国民党革命委員会第三期候補中央委員。

焦 若 愚 Chiao Juo-yü

五三年九月当時瀋陽市中ソ友好協会会長。五四年八月まで瀋陽市人民政府市長。当時瀋陽市各界人民代表会議協商委員会主席。五四年八月第一期全国人民代表大會瀋陽市代表。五六年二月当時中共瀋陽市委員會書記。

焦 善 民 Chiao Shan-min

五五年一月國務院建築工程部部长助理。

焦 夢 曉 Chiao Meng-hsiao

五四年六月浙江師範学院副院長兼浙江省人民政府教育庁副院長。

政院顧問。四九年—五六年当時國策顧問委員。

蔣 恩 鎧 Chiang En-kai

五六年六月当時國府駐越南代理公使。

蔣 介 石(名中正) Chiang Chieh-shih (Kai-shek)

Chung-chêng) 1887~

浙江省奉化県溪口の人。六年保定軍官学校、七年日本陸軍士官学校に入学。一一年辛亥革命に参加。二三年黄埔軍官学校校長。二六年国民党二中全会にて党中央執行委員、国民革命軍總司令となり、武漢を占領。二七年上海、南京を占領、中央党部および国民政府を南京に移す。ついで北伐を再開し、張宗昌軍の反撃に敗れ、日本に亡命。同年末帰国。二八年国民革命軍總司令に復任、第三次北伐戦を開始し、北京を占領。政治上の責任を汪兆銘に委ねて軍權を掌握、同年予鄂皖勦匪總司令を兼ね、中共軍討伐に当る。三五年行政院長。この間、滿洲事変、広東国民政府樹立、福建革命等の政治的難関を突破。二九年中央政治会議主席、国民政府主席、陸海空軍總司令。三〇年行政院院長および教育部長を兼任。同年十二月引退。三二年南京に帰還、軍事委員会委員長兼參謀總長、三六年十二月西安で張學良のため監禁、間もなく釈放(西安事件)。三七年日華事変勃發後中共と結び対日戦を指導。四三年九月国民政府主席、国民党總裁、軍事委員会主席、最高国防會議議長、その他。四七年三月行政院院長兼任。四八年五月国民大会において初代總統。四九年一月国共和解のため總統の職を李宗仁副總統に代行させ引退。国民党最高政策機関として設置された非常委員会の委員長。同年台湾に移

蔣 渭 川(惟正) Chiang Wei-chuan (Wei-chêng) 1901~

台湾省宜蘭県の人。故蔣渭水の弟。宜蘭公学堂卒業。台湾商業新報発行人。戦前台湾文化協会、台湾民党を組織、反日運動のため入獄。戦後台湾省政治建設協会を組織、台湾省參議會議員。四九年台湾省政府民政庁庁長。五〇年—五六年当時行政院内政部常務次長。

蔣 緯 國 Chiangg Wei-kuo (Chian-Wego) 1916~

浙江省の人。蔣介石の第二子(養子ともいわれる)。東呉大学卒業。独ミニニツヒ陸軍士官学校、米ケンタッキー州フォード・ノックス第一装甲軍団、インディアナ州ラムガータンク訓練所、中国人機械化部隊学校、米マックスウェル航空部隊技術学校に学ぶ。三七年—三九年ドイツにて少尉。四〇年—四五年中国第一歩兵師団少佐。四五年中国遠征軍第二〇六新銳師団中佐、教官および大隊長。四五年—四六年中国装甲部隊第一タンク連隊部隊長。四八年—四九年同連隊長代理。四九年—五〇年大佐、装甲部隊代理司令。五〇年—五三年同司令。五三年—五四年米カンサス州の大学にて研究。五四年少将國防部第三庁長代理。五七年一月国府軍事使節団團員として来日。著書、「歩兵はその攻撃力を如何にして持続するや」。

蔣 勻 田 Chiang Yun-tien 1904~

安徽省蚌埠の人。二七年呉淞政治大学卒業。三〇年国家社会党に参加。四六年政治協商會議連絡秘書。四七、八年および五〇年行政院政務委員。四九年東南軍政長官公署政務委員。四八年—五〇年行



り、五〇年三月總統復帰。五四年三月總統に再選。著書「西安半月記」「蒋介石先生講演集」等。

蔣 毅 Chiang I

五三年六月中華全国民主青年連合会常務委員。七月中国新民主主義青年団第二期中央委員。同月ブカレストで開催の第二回世界青年代表大会および第四回世界青年学生平和友誼懇親節に青年代表団員として出席。当時青年団華北工作委員会秘書長。五四年二月当時新民主主義青年団華北工作委員会副書記。

蔣 君 章 Chiang Chün-chang 1906~

江蘇省の人。国立中央大学卒業。四一年—四五年總統府秘書。四五年—四七年最高国防會議秘書。四八年国民党中央政治會議秘書。四八年—四九年国民党宣傳部秘書長。四九年新生報編集主任。四九年—五〇年国民党總裁事務局副処長。五〇年—五二年国民党改造委員會第四組副主任。著書「戦時中国の經濟再建問題」「台湾と本土」。

蔣 經 國 Chiang Ching-kuo 1906~

浙江省奉化県の人。蒋介石と先夫人陳潔如との間に生る。一四歳—二八歳ロシア留学、その間父と対立。三七年帰国。四〇年—四五年江西省南部で行政督察專員。四五年—四七年東北外交委員。四八年上海經濟查察官。四九年—五〇年国民党台湾党部主任。五〇年—五四年国防部總政治部主任。五二年国民党中央委員。五四年国防最高會議副秘書長。妻はロシア人、子女数人。

蔣 彦 士 Chiang Yèn-shih 1915~

浙江省の人。四二年米ミネソタ大学博士号。四二年—四五年ミネソタ大学講師兼助教。四六年FAO派遣中国代表団顧問。四七年南京大学教授。四八年中央農業研究所一般作物ならびに特殊作物課長。四八年中国農村復興委員会執行官。

蔣 光 鼐 (憬然) Chiang Kuang-nai (Ching-jan) 1889~

広東省東莞の人。保定軍官学校卒業。広東軍に服務、後陳銘樞に随い一九路軍總指揮。北伐時代は「常勝將軍」の名を獲得。第一次上海事件(「一二八」事件)の後福建省主席。その後李濟深、蔡廷鍇等と福州で人民政府を樹立し、失敗して香港に逃れ、同地で中華民族革命大同盟の代理主席。四九年九月政治協商會議全国委員会常任委員。十二月国民党革命委員会中央常務委員。五一年北京市人民政府委員会委員。五二年八月中央人民政府紡織工業部部长。五三年十一月ウイーンにて開催の世界平和理事会出席。五四年七月ソ友好協会理事。八月第一期全国人民代表大会広東省代表。九月國務院紡織工業部部长。五五年二月北京市人民委員会委員。五六年二月国民党革命委員会中央常務委員に再任。

蔣 克 定 Chiang Kè-ting

五三年七月当時人民革命軍事委員会對外連絡処副処長。五四年四月当時人民解放軍對外連絡処代理処長。五五年八月当時国防部對外連絡処代理処長。五六年二月当時国防部外事処処長。

蔣 在 球 Chiang Tsai-chiu

五三年六月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会候補委員。五四年八月第一期全国人民代表大会広西省代表。

蔣 齊 生 Chiang Chi-shêng

五四年四月—五六年四月当時新華社記者。

蔣 廷 黻 (授章) Chiang Ting-fu (Shou-chang)

1895~

湖南省邵陽の人。米オペリン大学、独バルリン大学に学び、二三年米コロンビア大学博士号。二三年—三五年国立清華大学および南開大学教授。三五年渡英。三五年—三六年および三八年—四五年行政院政務処長。三六年—三八年駐ソ大使。四三年国連善後救済總署協定中国代表、四五年一月国連善後救済總署署長。四七年十一月国連常任中国代表兼安保理事會中国代表、ユネスコ中国代表。四八年六月復興總署署長。四八年九月—五六年当時国連駐在常任代表。著書「最近中国史」「中国外交史文書選」「近代外交史資料輯要」。

蔣 鼎 文 Chiang Ting-wên 1898~

浙江省の人。保定軍官学校卒業。三二年—三三年第九軍軍長。三三年長江防衛司令官。三四年—三七年福建綏靖主任。三七年西安行營主任。三八年—四一年陝西省政府主席。四二年—四四年第一戦区總司令。四七年国府戰略顧問委員会委員。四九年西南軍隊查閱使。

蔣 天 鶴 Chiang Tien-hé 1903~

細菌学者、中国科学院医学部門の研究員。五六年一〇月—一二月アシア太平洋洲電子顕微鏡會議出席のため団員として来日。

蔣 南 翔 Chiang Nan-hsiang

四九年九月政治協商會議全国委員会委員。十月中央人民政府政務院文化教育委員会委員。中国人民世界平和擁護委員会常務委員。五二年十一月—五五年十二月当時清華大学校長。五三年七月中国新民主主義青年団第二期中央委員会常務委員。九月当時抗米援朝總會常務委員。五四年八月第一期全国人民代表大会北京市代表。五六年九月中共第八期中央委員会候補委員、中共八全大会にて清華大学校長の資格で「高等教育の質を向上させるために努力せよ」と発言。

蔣 牧 良 Chiang Mu-liang

五三年十月中国作家協会理事會理事。

蔣 夢 麟 (孟麟) Chiang Mêng-lin (Mêng-lin, Mon-lin) 1886~

浙江省余姚の人。上海南洋大学および京師大学堂に学び、後渡米、一二年カリフォルニア大学卒業、同年コロンビア大学博士号。一八年上海において「新教育」発刊。二八年北京大学教授。二三年—二七年同学校長代理、華府會議に際し中国人民代表として渡米。二八年—二九年浙江大学校長。二八年—三〇年教育部部長。三〇年—四五年国立北京大学総長。三二年東北政務委員会委員。三八年国立西



南連合大学董事会董事。四〇年中華教育文化基金董事会主席、国府行政院設計委員会土地組召集人。四二年—五〇年中国全国紅十字協會会長。四五年—四七年行政院秘書長、北京大学教授。四七年—四八年国民政府政務委員、太平洋關係研究所中国支部長。四八年国府顧問委員、戡乱建国勳員委員会委員長。四八年—五六年当時中国農村復興委員会主任委員。五五年行政院經濟安定委員会委員。著書「過渡時代の思想與教育」「米国大統領ウィルソン參戰演説」「教育雜文」「西潮」「思想及教育的出転變的時期」。

蔣 約 翰 Chiang Yueh-han

五四年八月中国キリスト教三自愛国運動委員会常務委員。

蔣 翼 振 Chiang I-chên

五四年八月中国キリスト教三自愛国運動委員会常務委員兼全国委員会委員。五五年十月当時キリスト教燕京協和神学院副主

蕭 一 山 Hsiao I-shan 1902~

江蘇省銅山の人。国立北京大学卒業、英ケンブリッジ大学留学。国立北京大学史学系教授、北平大学女子師範学院歴史教授、国立清華大学教授を歴任。後河南大学文學院院長兼史学系主任。三八年—四八年国民參政會委員。四八年—五六年当時監察委員。著書「清代通史」「現在秘密結社に関する資料」「太平天国叢書」等。

蕭 一 舟 Hsiao I-chou

河北省の人。五四年九月広西省人民政府副主席。五五年二月広西省副省長。

蕭 殷 Hsiao Yin

広東省の人。初級中学卒業後、美術専門学校に一年通学。その後小学教師、新聞記者、雜誌編集者等をへて、三二年広州、香港等で売文生活。日華事変中、太行山の後方地区で文化宣伝工作に従事。この間大腿骨負傷。四二年延安に帰り、中央研究院で文学理論研究。四五年十月北京で新聞を刊行、国共相対激化に伴い停刊。ついで張家口で晋冀日報副刊を編集。四七年華北連合大学文学部教授。五六年三月中国作家協会青年作家工作委員会副主任兼委員。

蕭 華 (肖華) Hsiao Hua 1911~

湖南省の人。三四年紅軍第一五師政治委員。三七年東進挺進縱隊長。三九年魯西軍区司令、第一一五師政治部主任、魯西行政公署主任。四九年九月政治協商會議全国委員会委員。人民革命軍事委員会總政治部副主任。五三年一月婚姻法貫徹運動委員会副主任。十一月当時中華全国体育總會副主席。五四年一月当時人民解放軍總政治部副主任。五五年九月一級八一勳章、一級独立自由勳章および一級解放勳章、上將。五六年二月中央標準語普及工作委員会委員。九月中共第八期中央委員会委員、中央監察委員会委員兼副書記。十二月解放軍總幹部部部长。

蕭 華 清 Hsiao Hua-ching

蕭 勁 光 (肖勁光) Hsiao Ching-kuang 1904~

湖南省長沙の人。露語をよくす。妻はロシア人。二〇年—二四年モスクワに留学。帰国後黄埔軍官学校に学び、二七年—三一年再びモスクワに赴く。三五年帰国、江西ソヴェエト区に入り第一軍団司令。三六年山西遠征の時紅軍第二九軍の組織に協力、その軍長を兼任。三七年留守部隊在延安第八路軍總參謀長。四五年中共第七期中央委員会候補委員。戦後林彪とともに東北へ挺身し、東北人民解放軍副司令。四九年中南軍政委員会委員兼湖南軍区司令。五〇年九月人民解放軍海軍司令。五四年九月国防委員会委員。十一月国務院国防部副部長。十二月ソ友好協会總會第二期理事會理事。五五年九月一級八一勳章、一級独立自由勳章および一級解放勳章、当時海軍大将。五六年九月中共第八期中央委員会委員。

蕭 慧 納 (肖慧納) Hsiao Hui-na

五六年九月中共八全大会で「勤勉儉約に家計を維持し労働者の生活をよくしよう」と発言。当時武漢市婦女連合会主任。

蕭 健 Hsiao Chien

五三年七月中国新民主主義青年団第二期中央委員。十月第三回訪鮮慰問団第七總分団副団長として北鮮を訪問。

蕭 元 禮 Hsiao Yuan-li

五五年二月江西省人民委員会委員。

五〇年—五四年九月西南軍政委員会文化教育委員会委員。五四年一月当時重慶市文教委員会副主任、九月解任。五五年七月中国人民外交学会第三期理事會理事。五六年二月民主同盟第二期中央委員。

蕭 灌 恩 Hsiao Kuan-ên 1912~

江蘇省の人。二六年国立中央大学卒業。交通部民間航空局代理局長。

蕭 毅 肅 Hsiao I-su 1898~

四川省の人。雲南軍官学校卒業。陸軍副總司令、陸軍參謀長、国防部副參謀總長を歴任。五四年—五六年当時行政院国防部動員計画局長。

蕭 吉 珊 Hsiao Chi-shan 1888~1956

広東省潮陽県の人。バンコックにて商業經營。国民党中央監察委員会秘書。南京市党部執行委員。国府僑務委員会委員。五二年国民党中央評議委員。自動車事故で五六年八月ブノンペンにて死亡。

蕭 軍 (田軍) Hsiao Chun (Tien-chun)

北満出身。三四年頃上海の文壇に登場、魯迅門下の一人。「八月的鄉村」(三四年)「同行者」「江上」(三六年)「愛すればこそ」(三六年)等を発表、三六年「第三代」を発表して作家としての地位確立。日華事変中中共地区で活動、終戦後ハルピンの東北大学文學院長となり、週刊新聞「文化報」を主編。五四年頃より中共文壇で批判され、粛清されたといわれる。



蕭向榮 Hsiao Hsiang-jung

湖南省の人。四九年中央華南局機関紙「南方日報」(広東)社長。五〇年広州警備司令部政治委員。五三年当時中共中央中南局広州分局宣伝部長。五三年二月人民革命軍事委員会辦公庁主任。五五年二月國務院国防部辦公庁主任。五五年五月ワルシャワ會議に出席。九月一級八一勳章および一級解放勳章。当時中将。

蕭向前 Hsiao Hsiang-chien 1914~

東京高等師範卒業。中共中央社会部調査科長、五一年項中共中央統一戦線工作部海外經濟研究室副主任。中国紅十字会秘書。五四年十、十一月の間中国紅十字会訪日代表团秘書として来日。五五年十、十一月の間中共見本市代表团副団長として来日。

蕭洪啓 (鴻啓) Hsiao Hung-chi

五三年五月中華全国総工会第七期執行委員。五四年中国鉄路工会全国委員会副主席。五六年当時中共中央書記処辦公庁第一科員。五六年十一月工会代表团員として来日。

蕭克 (肖克) Hsiao Kè 1909~

湖南省嘉禾県の人。上將。師範学校に二年半在学。黄埔軍官学校卒業。二六年広東にて蒋介石麾下の憲兵。二七年中共入党。張發奎下の「鉄軍」第二四師(師長葉挺)に投じ、南昌暴動失敗後、三百人の独立遊撃隊を訓練、井崗山に至り、二八年一月紅李軍明瑞軍參謀、ついで朱徳と共に江西、福建に進み、第四軍団団長。三

蕭作霖 Hsiao Tzu-lin

五六年二月国民党革命委員会候補中央委員。

蕭川 (蕭愛梅) Hsiao San (Hsiao Ai-mei)

Emi Siao)

湖南省の人。詩人。長くソ連に滞在し、ゴリキーの直接薫陶を受く。日華事変中延安中共中央文化運動委員会委員。四九年モスクワのプーシキン百年祭に参加。全国文連常任委員兼連絡処長、政務院文化部対外文化事務連絡局長、中ソ友好協会総会理事兼副総幹事。五〇年十月世界平和理事會理事、抗米援朝總會常務委員。五三年十月全国文連第二期全国委員、中国作家協会理事兼外国文学委員会主任。五四年五月人民対外文化協会理事。この間世界平和理事會出席のため五三年六月ブダペスト、十一月ウィーン、五四年五月ベルリンを訪問。七月文化代表の一員としてチリ訪問。八月第一期全国人民代表大会湖南省代表。五六年二月中央標準語普及工作委員会委員。著書は「同志毛澤東の青少年時代」「人物と記念」「魯迅論」等、外にロシア文学の翻訳紹介多し。

蕭自誠 Hsiao Tzu-chêng 1907~

湖南省邵陽の人。三〇年中央政治学校入学、米シカゴ大学およびハーバード大学留学。三五年―四五年軍事委員会秘書。四五年―四六年行政院秘書。四九年―五一年中央日報社副發行人。五〇年―五二年国民党中央改造委員会委員。五一年―五二年八月同四組(設計)組長、国民党發言人。五二年中央日報社發行人。

一年紅軍第一七師長。三二年九月紅軍第九軍軍長。三三年单独で湖南軍と戦い、後西湖ソヴェエト区に赴き、三四年十月賀龍部隊と合流、紅軍第二方面軍に編入さる。三五年十一月西遷を始め三六年八月甘肅に到着。三七年第三一軍軍長、その後八路軍に属し、三八年初頭八路軍第一二〇師副師長(師長は賀龍)。四五年終戦と共に熱河に進出。四九年華北軍区副司令。五三年―五四年当時中央人民政府人民革命軍事委員会軍訓部部长。五四年八月第一期全国人民代表大会華北軍区代表。九月国防委員会委員。十一月国防部副部長。五五年九月一級八一勳章、一級独立自由勳章および一級解放勳章。上將。五六年九月中共第八期中央委員会委員。

蕭國貴 Hsiao Kuo-kui

五四年八月中国キリスト教三自愛國運動委員会常務委員。

蕭彩峰 (采峰) Hsiao Tsai-fêng

四八年八月中華全国総工会執行委員。五三年五月同第七期執行委員。

蕭作梁 Hsiao Tzu-liang

湖南省の人。国立政治大学卒業。三九年独ベルリン大学博士号。三九年―四五年国立四川大学教授。四三年―四四年米国の招聘に依り派遣教授として渡米。四五年―四六年湖南大学教授。四六年―四九年同済大学、政治大学教授。五一年―五四年国民党中央設計委員。著書「Die Chinesische Revolution von 1911 und die Gross-machte」

蕭松立 Hsiao Sung-li

五〇年―五四年九月西南軍政委員会財政經濟委員会委員。五三年十一月全国工商業連合会第一期執行委員。五四年七月第一期全国人民代表大会四川省代表。五五年一月四川省人民委員会委員。五六年十二月全国工商連第二期執行委員(四川省)。

蕭新槐 Hsiao Hsin-huai

五五年一月天津市人民委員会委員。

蕭雋英 Hsiao Chün-ying

広東省大埔県の人。広東大学卒業。北伐期間は第一軍政治部員、後日本に亡命、早稲田大学に入り政治經濟を研究。帰国後広州の中山大学教授。一時「羣声報」を経営。広州陥落後重慶に行き、譚平山等と三民主義連合会を組織。後香港に移る。四九年十二月国民党革命委員会中央委員。五五年一月政治協商會議第一期広東省委員会副主席。二月広東省人民委員会委員(広東省文化局長)。五六年二月国民党革命委員会中央委員に再任。四月中印友好協会理事。

蕭錡 Hsiao Chêng 1905~

浙江省の人。国立北京大学および独ベルリン大学卒業。三五年―五〇年国民党中央執行委員会委員。四一年中国土地調査会長。四七年經濟部次長。四八年立法委員。台湾土地銀行董事長。

蕭則可 Hsiao Tsé-ké



五三年十一月全国工商業連合会第一期執行委員。五五年一月四川省人民委員会委員。五六年十二月全国工商連第二期執行委員(四川省)。

蕭 陳 人 Hsiao Chên-jên

五五年五月当時國務院第一機械工業部基本建設司副司長。

蕭 同 姝 Hsiao Tung-tzu 1894~

湖南省の人。一七年湖南工業大学卒業。三一年一五〇年国民党中央執行委員会委員、中央党部宣传部委員。三二年一五〇年中央通訊社社長、五〇年国民党中央評議員。中央通訊社監査委員長。五五年總統府国策顧問。

蕭 敏 頌 Hsiao Min-sung

五五年二月湖南省人民委員会委員。五六年二月民主同盟第二期中央委員会委員。

蕭 文 Hsiao Wên

五五年二月広東省人民委員会委員。元軍政部粵南(広東省南部)特派員公署(国府側)中將副特派員。

蕭 文 玉 Hsiao Wên-yü

五三年八月当時中共福建省福安地方委員会書記。

蕭 方 洲 Hsiao Fang-chou

五六年一月当時國務院国家計画委員会交通運輸計画局副局長。著書「第一次五カ年計画中の運輸と郵電業」。

鍾 惠 瀾 Chung Hui-lan

熱帯病学者。五三年二月全パキスタン第二回医学会議中共代表団員。五三年一五五年当時北京中央人民医院院長。五四年十二月政治協商会議第二期全国委員会委員。五五年五月中国科学院生物学地学学部委員。五六年五月中国パキスタン友好協会理事。

鍾 敬 文 Chung Ching-wên 1903~

広東省の人。学者、評論家。北京大学で方言調査会を組織、周作人らの歌謡研究会と協力し民俗学研究。広東中山大学にうつり、民俗学会を起し蛋族研究。かつて来日。戦後一時香港で活躍。五三年十月中国文学芸術界連合会全国委員会委員、中国作家協会理事會理事。五四年十二月北京師範大学教授。編著「広東における魯迅」。

鍾 慧 成 Chung Hui-chêng

五三年六月中国仏教協会理事。

鍾 慶 發 Chung Ching-fa

五六年一月中共駐インドネシア大使館参事官。

鍾 國 器 Chung Kuo-chi

福建省の人。ビルマ在住華僑。業種業。華商會理事、監事を歴任。

五五年三月当時中国国際貿易促進委員会副秘書長。五六年九月ゴスラヴィアの国際博覧会に展覧団団長として出席。

蕭 望 東 Hsiao Wang-tung

江西省の人。四九年末一五三年一月華東軍政委員会委員。五三年当時中共蘇北区委員會書記。

蕭 明 Hsiao Ming

湖南省新田の人。五一年二月当時北京市人民政府委員、および政務院人民監察委員会委員。五三年二月当時北京市中ソ友好協会副會長。五月中華全国総工会第七期執行委員。五四年十二月政治協商会議第二期全国委員会委員。五六年二月同会議北京市委員会副主席。

蕭 龍 友 Hsiao Lung-yu

漢方医の権威。五四年八月第一期全国人民代表大会四川省代表。五五年五月中国科学院生物学学部委員。五六年五月北京市中医(漢方医)医院顧問。

蕭 林 Hsiao Lin

五六年十二月全国工商業連合会第二期執行委員(上海市)。

鍾 期 光 Chung Chi-kuang

五六年九月中共第八期中央委員会候補委員。

鍾 毅 Chung I

鍾 子 雲 Chung Tzu-yün

五三年一月遼西省人民政府委員解任。五五年一月國務院燃料工業部部長助理。十二月同院石炭工業部部長助理。

鍾 俊 麟 Chung Chün-lin

五四年十二月瀋陽農學院副院長。五五年二月遼寧省人民委員会委員。

鍾 人 仿 Chung Jen-fang

五五年十月当時人民解放軍装甲兵少將。

鍾 成 亮 Chung Chêng-liang

五六年一月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。

鍾 赤 兵 Chung Chih-ping

四九年人民解放軍第四野戰軍代表として政治協商会議に出席。五二年当時人民革命軍事委員会民用航空局局長兼中央航空公司理事長。

鍾 體 乾 (均猷) Chung Ti-chien (Chün-yu)

1889~

四川省の人。四川武備学堂卒業。一五年頃日本陸軍士官学校在学。帰国後劉存厚の下。二六年師長。二八年成都市長。中共政府成立後国民党革命委員会四川省分部準備委員会召集人。五〇年四川



省人民政府副主席。五〇年—五三年一月西南軍政委員會委員。五三年一月西南行政委員會委員。七月四川省人民政府副主席再任。五四年八月第一期全國人民代表大會四川省代表。五五年一月四川省副省長。五六年二月國民黨革命委員會中央委員。

鍾沛璋 Chung Pèi-chang

五四年七月當時「中國青年報」副總編集。

鍾夫翔 Chung Fu-hsiang

五一年中央人民政府政務院郵電部中南郵電管理局局長。五三年九月郵電部副部長。五四年十一月國務院郵電部副部長。同月北京郵電學院院長。

鍾望陽 Chung Wang-yang

五五年七月當時上海市人民委員會文化局副局長。

鍾民 Chung Min

四九年十月—五四年六月華東軍政委員會政治法律委員會委員。五三年—五四年上海總工會第一副主席。五三年五月中華全國總工會第七期執行委員。五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員。五五年一月上海市工會連合會第二期委員會委員兼主席。二月上海市人民委員會委員。五五年四月—五月ソ連メーデー參觀代表團團長として訪ソ。

鍾明 Chung Ming

員、中央人民政府對外貿易部國外貿易司第二局副局長。

常香玉(女) Chang Hsiang-yü

豫劇女優、「愛玉劇社」の指導者。五二年第一回全國戲曲競演会で個人賞獲得。十二月演劇界代表として、モスクワ、ウイーンの世界人民平和大会に参加。五三年初め四カ月に互り朝鮮訪問。四月中華全國民主婦女連合會第二期執行委員。十月中國文學藝術界連合會第二期全國委員會委員。五四年八月第一期全國人民代表大會河南省代表。五五年二月河南省人民委員會委員。

常順祥 Chang Shun-hsiang

五六年十二月當時中國食品出口公司上海分公司副經理。

常城 Chang Chêng

五三年七月中國新民主主義青年團第二期中央委員會候補委員。

常青 Chang Ching

河南省欒川縣の人。中農出身。五四年六月中國人民解放軍華北軍區特等功臣。五六年一月中共邢台地區委員會副書記。

常黎夫 Chang Li-fu

陝西省の人。五〇年三月西北軍政委員會秘書長、五三年一月西北行政委員會委員、秘書長。五四年十一月國務院副秘書長。

淨嚴 Ching Yèn

五五年六月當時広州市副市長。

鍾裕光 Chung Yü-kuang

浙江省紹興縣の人。現在五五歳。サイゴン在住華僑。パリ大学卒業。家具建築商。サイロン客家中華理事會理事長。

鍾林 Chung Lin

四九年十月中央人民政府政務院中央技術管理局局長、政務院財政經濟委員會委員兼重工業部副部長(五四年九月まで)。

常一彬 Chang I-pin

五五年一月黒龍江省人民委員會委員。

常蔭集 Chang Yin-chi

五五年三月山東省人民委員會委員。

常玉林 Chang Yu-lin

五五年二月熱河省人民委員會委員。

常乾坤 Chang Chien-kun

中將。もと人民革命軍空軍司令部副司令。五五年七月當時人民解放軍空軍副司令。五五年九月一級解放勳章。

常彥卿 Chang Yèn-ching

五四年五月當時中独技術ならびに技術科學合作常任委員會代理委員。

五三年六月中國仏教協會理事。

聶榮臻 Nieh Jung-chên 1899~

四川省江津の小農出身。元帥。五・四運動に参加。二〇年渡仏苦学。二一年共產主義青年團ならびに中共に加入。パリ大学で電気技術を一年、ベルギーの労働大学で自然科学を二年研究。二三年パリで電気技師。二四年在欧中共委員会よりモスクワの東方労働大学に派遣さる。二五年夏帰国、二六年三月まで黄埔軍官学校政治部秘書。ついで両湖(湖南、湖北両省)国民党軍隊内で赤化工作に従事。二七年上海で労働者を組織、中共南昌前線委員會書記。葉挺師団内の団政治委員となり南昌暴動に参加。同年末の広東コンミンニに第一軍の党代表として参加し、失敗後香港に逃る。三〇年河北軍事委員會で工作。三一年江西ソヴェト区に到り、工農紅軍政治部副主任。後第一軍政治委員。三七年日華事変勃発後第八路軍第一二五師副師長兼政治委員。十一月晋察冀軍司令、中共中央華北局第二書記。四五年中共中央委員。四八年八月華北人民政府政府委員。四九年中國人民解放軍第五野戰軍司令。四九年十月中央人民政府委員、人民革命軍事委員會委員兼副總參謀長。華北行政委員會委員、華北軍區司令。後代理總參謀長。五四年九月第一期全國人民代表大會華北軍區代表、同大会常務委員、国防委員會副主席。十月京津衛戍司令。五五年九月一級八一勳章、一級独立自由勳章および一級解放勳章。五五年末—五六年一月東独ビーク大統領誕生八〇年祝典に中共を代表して出席し、ルーマニアをも訪問。五六年二月朱徳に随つてモスクワ訪問。九月中共第八期中央委員會委員。十一月國務院副總理。五七年三月ガナ独立式典に中共政府特使として参列。



聶鶴亭 Nieh He-ting 1908~

安徽省黟縣の中農出身。南昌軍官学校、黄埔軍官学校に入学。二五年中共に加入。安徽省合肥で組織工作。二六年葉挺麾下の獨立連隊の中隊長。二七年南昌暴動に参加。失敗後三〇年まで上海で党工作に従事。三〇年江西ソヴェト区に派遣され、团长、師長、參謀長歴任。西遷の際には紅軍第一方面軍參謀長。五三年十月当時人民解放軍装甲兵団副司令。

聶洪鈞 (鴻鈞) Nieh Hung-chün

湖北省の人。四九年末湖北省人民政府副主席。五三年一月中南行政委員会委員。五五年一月國務院糧食部副部長。

聶轟 Nieh Hung

五六年二月国民党革命委員会候補中央委員。

聶國青 Nieh Kuo-ching

湖北省の人。四九年当時中国民主同盟湖北省支部臨時工作委員會主任。四九年末一五三年一月中南軍政委員會委員兼政治法律委員會委員。五三年一月中南行政委員會委員。五四年八月第一期全国人民代表大會湖北省代表。十二月湖北省人民政府副主席。五五年二月湖北省副省長。五六年二月民主同盟第二期中央委員會委員。

聶紺弩 Nieh Kan-nu

湖北省の人。著述家、言語學者。三〇年代に作品「解」をもって

知らる。著書「早醒記」「歴史の秘奥」「蛇と塔」「離感集」「夜戯」等。四九年末一五三年一月中南軍政委員會文化教育委員會委員。四九年一五三年当時中原大学文学院院长。五三年当時中国文字改革協會理事。五三年十月中国作家協會理事會理事（古典文学部副部長）。

聶眞 Nieh Chen

五三年一五四年世界平和擁護委員會華北總分會副主席、華北抗米援朝總分會主席。五五年一月中国人民大学副校長。五六年三月政治協商會全國委員會學習委員會副主任委員。

聶朴吾 Nieh Pu-wu

五六年十二月新郷師範学院副院長。

繩吉倫 Shêng Chi-lun

五四年十二月國務院郵電部長途電信總局副局長。

饒毓泰 Jao Yu-tai

五四年十二月政治協商會第二期全國委員會委員。五五年五月中国科學院物理學部化學部委員。

饒興 Jao Hsing

五六年十月國務院水利部部長助理。

饒漱石 Jao Shu-shih 1901~

江西省臨川縣の人。上海大学出身、労働運動に従事。革命失敗後米、仏、ソ連等で苦学。「救国時報」を發行。三九年冬延安から安徽に行き、劉少奇の下に中共中央華中局副書記および宣伝部長。皖南事件後は陳毅の新四軍政治委員兼任。四三年二月華中局書記。四年「軍事調停処執行總部」政治顧問。後赴滿、東北人民解放軍政治委員。四八年華東人民解放軍政治委員。四九年二月北京新民主主義青年團組織準備委員。四月陳毅部隊とともに南下。華東軍政委員會主席、中共中央華東局書記。十月中央人民政府委員會委員。五三年一月憲法起草委員會委員、華東行政委員會主席。五三年頃中共中央組織部部長、中央人民政府國家計画委員會委員。五五年四月の中共第七期五中全会にて「反党連盟」結成の名の下に高崗とともに正式に肅清さる。

饒伯壘 Jao Po-hsün

福建省の人。ビルマ在住華僑。茶業。華商會監事。

饒斌 Jao Pin

五六年九月当時第一汽車製造廠長。同月中共八全大会において「技術の學習に努力せよ」と発言。

穰明德 Jang Ming-tê

五六年十月國務院交通部部長助理。

饒興禮 Jao Hsing-li

農業労働模範。五四年八月第一期全国人民代表大會湖北省代表。

饒子健 Jao Tzu-chien

五五年二月江蘇省人民委員會委員。

饒思誠 Jao Ssu-chêng

江西省の人。教育界の名士。四九年末一五三年一月中南軍政委員會委員。江西省人民政府副主席。五三年一月中南行政委員會委員。五五年二月江西省副省長。

饒彰風 Jao Chang-fêng

広東省大埔の人。三一年樓樓と雑誌「天王星」を創刊、間もなく国民政府に弾圧され、香港に逃る。日華事変勃発後従軍。四五年九月香港に帰り「華商報」発刊に従事。四六年シンガポールで「新華周刊」を刊行し失敗。中共の広東「解放」後、招かれて広州新聞処長および中共中央華南局機關紙「南方日報」社長を兼任。五三年十月朝鮮へ慰問行。五四年十月広東省人民政府秘書長。五五年一月政治協商會第一期広東省委員會副主席。七月中国人民外交学会第三期理事會理事。

饒正錫 Jao Chêng-hsi

五三年五月当時中共中央新疆分局常務委員。十一月当時人民革命軍事委員會総後勤部衛生部長。五五年九月一級解放勳章。



申 雲 浦 Shên Yun-pu

四九年末—五四年九月西南軍政委員會文化教育委員會委員。五四年四月中共貴州省委員會副書記。八月第一期全國人民代表大會貴州省代表、當時貴州省人民政府副主席。五五年二月政治協商會議第一期貴州省委員會主席。

申 希 禮 Shên Hsi-li

五三年十一月全國工商業聯合會執行委員。五六年十二月同連合會第二期執行委員（河北省）。

申 紀 蘭 (女) Shên Chi-lan

五三年當時山西省平順縣西溝村李順達農林畜牧生產合作社副社長、新民主主義青年團員、勞動模範。四月中華全國民主婦女聯合會第二期執行委員。六月ロベンハーゲンの世界婦人大會に婦人代表として出席。五四年八月第一期全國人民代表大會山西省代表。

申 健 Shên Chien

五一年一月中共駐インド大使館參事官。五四年十月—五五年一月當時同大使館臨時代辦。五五年一月同大使館參事官。

申 光 Shên Kuang

もと北京電信總局器材処処長。四九年中央人民政府政務院郵電部辦公庁主任。五五年一月國務院郵電部部長助理。

申 效 增 Shên Hsiao-tsêng

五三年七月中國新民主主義青年團第二期中央委員會候補委員。

申 志 賢 Shên Chih-hsien

五五年八月中國煤礦（炭礦）工會全國委員會主席團員、同組織部長。五六年當時中共政治局第二書記補。五六年十一月工會代表團團員として来日。

申 昌 淳 Shên Chang-chun

五五年十月—五六年三月當時中共黑龍江省樺川縣委員會副書記。

申 伯 純 Shên Po-chun

元一八集團軍總部秘書長、中共中央統一戰線工作部交際処処長。四九年中央人民政府政務院秘書庁副主任。五一年—五二年當時政務院秘書庁主任。五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員（五五年一月副秘書長）。五五年三月國務院機關事務管理局副局長。五六年十二月當時世界平和擁護委員會上海市分會副秘書長。

申 葆 文 Shên Pao-wên

四九年末—五四年六月華東軍政委員會人民監察委員會委員。五〇年當時中國農工民主黨および民主同盟中央委員。五六年二月民主同盟第二期中央委員會委員。

辛 安 亭 Hsin An-ting

四九年末—五四年六月甘肅省人民政府委員。五〇年當時蘭州市軍

事管制委員會文教処処長。五四年八月第一期全國人民代表大會山西省代表。

辛 葭 舟 Hsin Chia-chou

五五年三月山東省人民委員會委員。

辛 毅 Hsin I

山東省濟南の人。中共黨員、五五年三月—四月中共貿易代表團團員（中國化工雜品進出口公司代表）として来日。五六年當時北京市人民委員會外事処処長。十一月—五七年一月の間北京市人民委員會代表團員としてソ連および東欧を訪問。

辛 志 超 Hsin Chih-chao

四九年十月中央人民政府政務院副秘書長兼人事局予算室主任。五四年二月當時政治協商會議全國委員會副秘書長。八月第一期全國人民代表大會山東省代表。十月同大會常務委員會副秘書長。十二月政治協商會議第二期全國委員會委員、中ソ友好協會第二期全國代表會代表。五六年二月民主同盟第二期中央委員會委員。

辛 樹 幟 Hsin Shu-chih

湖南省長沙の人。「無黨無派民主人士」。英エジンバラ大学にて生物学を研究。広州国立中山大学理科生物系教授。五三年西北農學院院長。五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員（教育界）。

辛 甫 Hsin Fu

五三年七月中國新民主主義青年團第二期中央委員。五四年十月當時同青年團武漢市委員會書記。十二月政治協商會議第二期全國委員會委員。

晉 鞏 Chín Kung

もと中共中央社會部第二室第一副主任。四九年末政務院情報總署國外調查研究局局長。五二年中共中央社會部對外調查局長。

秦 育 之 Chín Yu-chih

五三年十一月全國工商業聯合會執行委員。五五年二月湖北省人民委員會委員。五六年十二月全國工商連第二期執行委員（湖北省）。

秦 雨 屏 Chín Yu-ping

五六年九月中共八全大會で「工業と手工業の生産協力を強化せよ」と発言、當時中央長沙市委員會書記。

秦 基 偉 Chín Chi-wei

河南省の人。第二野戰軍第三兵團第一〇軍副軍長、志願軍第一〇軍長、第四兵團副司令員を歴任。五五年二月雲南省人民委員會委員、昆明軍区副司令。

秦 元 邦 Chín Yuan-pang

広東省梅縣の人。日本早稲田大学に留学。四〇年広東省翁源縣長。後広州中山大学の経済系主任、広東省人民政府教育庁副庁長を歴任。五五年二月広東省人民委員會委員。五六年二月国民党革命委



員会中央委員。

秦 淑 貞 (女) Chin Shu-chên

五五年二月雲南省人民委員会委員。

秦 振 武 Chin Chên-wu

侗族。五五年二月広西省人民委員会委員。

秦 慎 之 Chin Shên-chih

五六年五月中共駐バキスタン大使館一等書記官。

秦 仁 昌 Chin Jen-chang

五四年八月第一期全国人民代表大会大会雲南省代表。五五年五月中国科学院生物学地学部委員。五六年当時雲南大学教授。

秦 澤 Chin Tsè

五三年十二月当時中央政府第一機械工業部辦公庁副主任。

秦 天 眞 Chin Tien-chên

五五年二月貴州省人民委員会委員。

秦 德 君 (女) Chin Tè-chün

五六年一月当時青年団黒龍江省双城県委員会書記。

五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員。五六年二月国民革命委員会中央委員。

秦 德 純 (紹文) Chin Tè-chun (Shao-wên) 1893~

山東省沂水の人。一六年保定軍官学校卒業。二二年陸軍大学校卒業。二七年河南保衛軍第四軍長、国民革命軍第二五軍長。二八年国民革命軍第二集團軍第一四軍長、第二集團軍副總參謀長、山東省政府委員。三二年東北政務委員会委員、北平軍事整理委員会常務委員。三三年北平軍事分会委員。三四年察哈爾省政府主席兼民政厅长。三七年北平市長兼第二九軍副軍長。三五年冀察政務委員会委員、北平市長、国民党中央監察委員会委員。四〇年軍法總監部副監長。四四年十一月兵役部政務部長。四六年国防部次長。四八年五月国防部次長兼任、青島市長兼任。

秦 望 山 Chin Wang-shan 1891~

福建省晋江县の人。福州中学卒。民国初年革命運動に奔走、福建靖国軍に参加、国民党の武装を提唱。国民党福建省党部委員、国民党参政会參政員、厦門江声日報董事長 (三六年頃)、監察部監察委員等を歴任。その後フィリピン、北ボルネオ等に居住、「解放」後香港に移る。五七年一月福州に帰り、政治協商會議福建省委員会委員。

秦 力 眞 Chin Li-chên

五三年六月当時中央人民政府簽證処処長。五五年十月当時國務院外交部領事司副司長。

帥 孟 奇 (女) Shuai Mêng-chi

四九年中央人民政府政務院人民監察委員会委員、当時中華全国民主婦女連合会組織部部长。五三年四月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。五四年八月第一期全国人民代表大会湖南省代表。五六年九月中共第八期候補中央委員、中央監察委員会委員。

隋 經 仁 Sui Ching-jên

五五年二月北京市人民委員会委員。

隋 性 初 Sui Hsing-chu

五三年六月当時中共江蘇省崑山県委員会書記。

鄒 煒 Tsou Wei

五三年七月中国新民主義青年団第二期中央委員会候補委員。

鄒 儀 新 (女) Tsou I-hsin

五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員 (中華全国民主婦女連合会)。

鄒 健 東 Tsou Chien-tung

五三年六月一五六年一月当時新華社記者。

鄒 子 齡 Tsou Tzu-ling

五六年十二月全国工商業連合会第二期執行委員 (雲南省)。

秦 和 珍 Chin Hè-chên

五五年三月山東省人民委員会委員。

莘 耘 尊 Hsin Yun-tsun

五五年二月吉林省人民委員会委員。

仁希丹倫・策仁班覺 Jên-hsi-tan-lun・Tsè-jên-pan-

chüeh

西藏族。五五年九月西藏自治区準備委員会準備処副処長、当時班禅堪布會議庁委員会委員。

仁欽札木蘇 Jên-chin-cha-mu-su

五五年二月吉林省人民委員会委員。

謙 厚 慈 Chên Hou-tzu

五五年二月河北省人民委員会委員。

す

水 祥 雲 Shui Hsiang-yün

浙江省の人。四五年一四九年上海労働組合長。四八年中国労働連盟秘書長。五六年当時中華民国郵務工会全国連合会会長。



鄒 斯 頤 Tsou Ssu-i

五三年十二月当時中央政府対外貿易部第三局專員。

鄒 清 之 Tsou Ching-chih (Tsing-tsi) 1909~

台湾省新竹県の人。国立上海商業学院修業。四六年広東省参事。四六年—四七年台湾省政府参事。四七年—五〇年新竹県長。四九年台湾省政府委員、台湾省民政厅长。五四年六月台湾省政府委員。

鄒 大 鵬 Tsou Ta-pêng

終戦後東北行政委員会委員、長春市市長。四九年十月政務院情報総署長(当時中共中央社会部秘書長)。五二年中共中央社会部副部長兼第三局長。五三年三月当時人民革命軍事委員会連絡部部長。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員。

鄒 荻 帆 Tsou Ti-fan

四九年末政務院文化教育委員会対外文化連絡事務局連絡処処長。五三年十一月当時対外文化連絡事務局辦公室主任。五四年二月政務院対外文化連絡事務局処長。

鄒 得 心 (女) Tsou Tê-hsin

五三年四月中華全国民主婦女連合会第二期候補執行委員。十月当時同連合会国際工作部副部長。五四年十二月フランス訪問婦人代表団の一員として渡仏。雑誌「新中国婦女」編集者。

西 謀 珍 (女) Hsi Mou-chên

蒙古族。五四年六月新疆巴音郭楞蒙古族自治区人民政府副主席。

成 安 玉 Chêng An-yü

五六年十一月國務院郵電部部長助理。

成 鈞 Chêng Chün

中將。元新四軍第二師第五旅長。四六年華中野戦軍第四縱隊司令。四八年華東野戦軍第七縱隊司令。四九年解放軍第九兵团第二五軍長兼福建軍区副政治委員。五五年九月一級解放勳章。

成 舍 我 Chêng Shê-wo 1898~

湖南省の人。二一年国立北京大学卒業。北京世界日報発行人。四八年国府立法委員。

成 盛 川 Chêng Shêng-san

五三年十一月全国工商業連合会執行委員。五五年十一月当時吉林省工商連常務委員。五六年十二月全国工商業連合会第二期執行委員(吉林省)。

成 柏 仁 Chêng Po-jên

陝西省の人。元秦風工商日報社社長。四九年末西北軍政委員会委員兼文化部部长、当時中国民主同盟西北総支部宣伝部部长。五三年一月西北行政委員会委員、当時民主同盟西北総支部副主任委員。五

鄒 博 文 Tsou Po-wên

五四年十二月当時中共駐チエコスロヴァキア大使館商務副專員。

鄒 魯 (海濱) Tsou Lu (Hai-pin) 1885~1954

広東省大埔県の人。早稲田大学卒業。二五年独ハイデルベルヒ大 学名譽博士号。二六年—五〇年国民党中央執行委員。国立中山大学 学長。四七年—四八年国民政府委員。四八年—五四年總統府資政、監 察委員。五〇年—五二年国民党中央評議員。著書「鄒魯文集」「広 州二月二十九日革命史」「中国国民党史稿」「澄廬語集」「環游二十 九国記」。

卞 樹 聲 Tsun Shu-shêng

五五年二月雲南省人民委員会委員。五六年二月民主同盟第二期中 央委員会委員。

せ

井 助 國 Ching Chu-kuo

五四年十一月最高人民檢察院檢察員。

西 仁 白 克 Hsi-jên-pai-kê

タジク族。五四年九月新疆塔什庫爾干塔吉克族自治県人民政府 主席。

四年二月北鮮慰問。七月第一期全国人民代表大会 西安市代表。九 月同大会代表資格審査委員会委員。十二月陝西省副省长。五六年二 月民主同盟第二期中央委員会委員。

成 仿 吾 (名'漢) Chêng Fang-wu (Hao) 1887~

湖南省新化県の人。一三年日本に留学、岡山第六高等学校を経て 東京帝大造兵科卒業。「創造社」幹部、創造社の各種出版を主宰。 二八年創造社閉鎖後歐洲に留学。三二年帰国。三四年共産軍の西遷 に従う。四八年十月華北人民政府委員。四九年十月政治協商會議第 一期全国委員会委員。五二年十月東北師範大学校長。五四年八月第 一期全国人民代表大会広西省代表。五五年二月吉林省人民委員会委 員。八月広島における原水爆禁止世界大会出席のため団員として来 日。五六年二月中国亞洲團結委員会委員。著書、批評集「使命」、 創作集「流浪」。

盛 果 Shêng Kuo

五四年六月—五六年三月当時新華社記者。

盛 岳 Shêng Yüeh

五六年六月当時国府外交部西司長。

盛 瑾 (女) Shêng Chin

五三年七月ウィーンの世界教育工作者代表大会に出席、当時中国 教育工会全国委員会労保部副部長。



盛 慧 Sheng Hui  
五三年六月中国仏教協会理事。

盛 繼 潤 Sheng Chi-jun

五三年—五六年当時新華社記者(カメラマン)。

盛 康 年 Sheng Kang-nien

香港の財界有力者。五三年十一月中華全国工商業連合会第一期執行委員。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(中国民主建国会)。五六年十二月全国工商連第二期執行委員(上海市)。

盛 形 笙 Sheng Tung-sheng

江西省の人。五〇年—五三年一月西北軍政委員会財政經濟委員会委員兼畜牧部副部長。五三年一月西北行政委員会委員。五四年八月第一期全国人民代表大會甘肅省代表。五五年五月中国科学院生物学地学学部委員。

盛 丕 華 Sheng Pi-hua

浙江寧波の人。貧家に生れ、上海の資産家となる。満洲事変後日貨ボイコット運動をし、一九路軍東北義勇軍を助く。四九年上海市副市長、華東軍政委員会委員、上海市工商業連合会準備委員会主任委員。中国民主建国会上海分会業務理事、上海上元企業公司經理。政治協商會議第一期全国委員会委員。政務院財政經濟委員会委員。五二年五月中国国際貿易促進委員会委員。五三年一月華東行政委員会

副主席。五三年二月政治協商會議全国委員会常務委員。十一月民主建国会総会委員会副主任委員、全国工商業連合会第一期副主任委員。五四年八月第一期全国人民代表大會上海市代表。十二月政治協商會議第二期全国委員会常務委員。五五年二月上海市工商業連合会主任委員。上海市副市長に再選。五六年十二月全国工商連第二期副主任委員。五七年一月上海市副市長に三選(民政、監察担任)。

聖 泉 Sheng Chüan

五三年六月中国仏教協会理事。

聖 蓮 Sheng Lien

五五年八月中国仏教協会理事。

齊 雨 民 Chi Yü-min

蒙古族。五四年一月青海省海西蒙、藏、ハサック族自治州人民政府委員。

齊 越 Chi Yüeh

五三年六月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。

齊 燕 銘(振勛) Chi Yèn-ming (Chên-hsün)

河北省宛平県の人。蒙古旗籍。北京中国大学国文学系卒業。三三年中法大学および母校の講師。日華事変勃発後延安に行き中共に入党。四九年末中央政府委員会辦公庁主任兼政務院副秘書長、当時中共中央統一戦線部秘書長。五四年八月第一期全国人民代表大會河北

省代表。十一月國務院副秘書長、兼國務院總理辦公室主任。五六年十月國務院専事務局局長。

齊 冠 華 Chi Kuan-hua

五六年一月中国人民外交学会副會長。

齊 觀 山 Chi Kuan-shan

五三年七月—五六年一月当時新華社記者。

齊 堅 如 Chi Chien-ju

五六年二月民主同盟第二期中央委員会候補委員。

齊 思 和(致中) Chi Ssu-hé (Chih-chung)

河北省寧津の人。米ハーバード大学歴史科卒業。三五年北平師範大学歴史系教授、北京大学文学院史学系講師。燕京大学教授ならびに同校校務委員会委員。四九年一月毛澤東の八項目対時局声明を支持した燕京大学一四教授中の一人。

齊 世 英 Chi Shih-ying 1898~

奉天省鉄嶺県の人。京都帝大卒業。独ハイデルベルヒ大学卒業。二五年東北国民外交処主任。二八年張作霖の死後奉天に赴き国民党の東北進出を図る。その後中央政治會議特務秘書。四八年以来国府立法委員。

齊 全 科 Chi Chüan-ké

五五年六月当時中共石家荘市委員会工業部部长。

齊 仲 桓 Chi Chung-huan

黒龍江省の人。五〇年中南軍政委員会衛生部副部長。五一年同部部長。五三年一月中南行政委員会委員。七月同委員会衛生局局長。五五年二月湖北省人民委員会委員。同月國務院衛生部部長助理。五六年七月中ソ文化合作協定締結のため訪ソ。

齊 廷 漢 Chi Ting-han

五三年五月中華全国総工会第七期執行委員。

齊 白 石(名、璜、字、蘋生) Chi Pai-shih (Huang, Pin-shêng) 1860~

南画家。湖南省湘潭の人。木工出身。彫金篆刻をよくす。もと北京芸術学院中国画科教授。主として花卉草木虫魚を描く。「齊白石画冊」、詩稿一卷。五三年十月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員、中国美術家協会主席。五四年五月対外文化協会理事。八月第一期全国人民代表大會湖南省代表。五五年十二月東独芸術科学院通訊院士。五六年二月中国亜洲團結委員会委員。

齊 文 儉 Chi Wên-chien

五五年二月河南省副省長、河南省計画委員会主任。

靜 權 Ching Chüan

五三年六月中国仏教協会理事。



靜 修 Ching Hsiu

五三年六月中国仏教協合理事。

芮 廷 玉 Jui Ting-yü

五六年十二月全国工商業連合会第二期執行委員(陝西省)。

稅 西 恆 Shui Hsi-hêng

五〇年—五四年九月西南軍政委員会文化教育委員会委員。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員。五五年一月四川省人民委員会委員。五六年二月九三学社第四期中央委員会委員。

石 英 Shih Ying

四九年末—五四年六月華東軍政委員会財政經濟委員会委員。五四年八月福建省人民政府委員(工商庁庁長)を解任。五五年二月上海市人民委員会委員(輕工業辦公室主任)。

石 玉 璞 Shih Yu-po

五六年十二月全国工商業連合会第二期執行委員(河南省)。

石 金 河 Shih Chin-hé

五五年十一月当時中共南疆区委員会秘書長。

石 現 之 Shih Hsien-chih

五四年十二月甘肅省人民委員会委員。

石 汝 麟 Shih Ju-lin

五四年四月当時内蒙古自治区人民政府農牧部副部長。

石 筱 山 Shih Hsiao-shan

五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(医薬衛生界)。

石 新 安 Shih Hsin-an

五五年二月貴州省人民委員会委員。

石 世 慶 Shih Shih-ching

解剖学者、医科大学講師。五六年十月—十一月アジア大洋洲電子顕微鏡会議出席のため団員として来日。

石 生 Shih Shêng

五六年十月中共駐外蒙大使館商務參事官。

石 西 民 Shih Hsi-min

五二年十一月当時中共江蘇省委員会宣伝部長。五六年三月中共上海市委員会宣伝部長。

石 泉 Shih Chuan

五五年六月当時中国民主促進会地方組織代表。

石 增 榮 Shih Tsêng-jung

石子 珍 Shih Tzu-chên

五二年十一月当時寧夏省人民政府財政庁長。五四年九月寧夏省人民政府委員を解任。

石 志 群 Shih Chih-chün 1924~

河北省の人、中国京劇院秘書。五六年五月—六月京劇代表団秘書として来日。

石 志 仁 Shih Chih-jên

鉄道専門家。四九年十月中央人民政府鉄道部副部長兼機務総局局長。五四年八月第一期全国人民代表大会河北省代表。十一月國務院鉄道部副部長。五五年五月中国科学院技術科学学部委員。

石 志 泉 (友儒) Shih Chih-chuan (Yu-ju)

1886~

湖北省孝感県の人。東京帝国大学法学部卒業。北京政府司法部編纂、奉天高等審判庁判事、大理院判事、修訂法律館編纂、同副總裁、治外法権調査委員会専門委員、司法次長、国立北京政法大学教務長、国立北平大学法学院長等を歴任。三二年—三四年司法行政部次長、国立北京大学法学部教授、四六年—四八年朝陽大学教授、民社党中央執行委員会委員。四八年—五〇年司法部副院長。五六年当時總統府資政。五六年四月中華民国各界日本親善訪問団団員として来日。著書「新民事訴訟法評論」「民事訴訟実務」。

五四年八月第一期全国人民代表大会ハルビン市代表、四九年末—五四年八月松江省人民政府委員。

石 兆 棠 Shih Chao-tang

広西省柳州の人。現在五二歳位。暨南大学卒業。日本に留学し経済学研究。戦時中、中山大学講師、広西建設研究会研究員、広西日報社長。五〇年厦門大学経済系教授。五五年広西大学教務長。二月広西省人民委員会委員、政治協商會議第一期広西省委員会副主席。著書「科学概論」。

石 堂 Shih Tang

河北省の人。現在四二歳位。西遷時共產軍幹部。五四年九月広西省人民政府委員、人事庁長。

石 拔 英 (女) Shih Pa-ying

五三年中華全国民主婦女連合会第二期候補執行委員。

石 邦 智 Shih Pang-chih

湖南省の人。苗族。五三年一月中南行政委員会委員。当時湖南省湘西苗族自治区人民政府主席。五四年八月第一期全国人民代表大会湖南省代表。五五年二月湖南省人民委員会委員。

石 鳳 翔 Shih Fêng-hsiang 1896~

湖北省孝感の人。京都工業大学紡績科卒業。帰国後保定工業学



校、武昌甲種工業学校教員、楚興紡績学校校長。二〇年裕華紡績廠を設立、総工程師、石家莊大興紡織廠廠長。三四年西安に大華紡織廠を設立。以上三公司の總經理。終戦後台湾省桃園県に大泰紡織廠を設立、その董事長。

石 耀 Shih Yao

五三年七月中国新民主主義青年団第二期中央委員会候補委員。

石 磊 Shih Lei

五四年五月当時中共河北省寧津県委員会宣伝部部長。

赤 江 Chih-chiang

五三年六月中国仏教協会理事。

赤江・羅桑意西 Chih-chiang・Luo-sang-i-hsi

赤江活仏。西藏族。五四年第一期全国人民代表大会西藏代表。九月同大会民族委員会委員。五六年四月西藏自治区準備委員会全体委員、同委員会宗教事務委員会主任。

席 文 光 Hsi Wen-kuang

五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(中華全国工商業連合会)。五六年三月中国国際貿易促進委員会対外貿易仲裁委員会委員。

席 炳 午 Hsi Ping-wu

雪 印 Hsteh Yin

五三年八月—五六年一月当時新華社記者。

雪古巴・嘉様凱珠 Hsteh-ku-pa・Chia-yang-kai-chu

五六年四月西藏自治区準備委員会財政処副処長。

雪康・土登尼瑪 Hsteh-kang・Tu-têng-ni-ma

西藏族。五三年六月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会常務委員。七月プラレストの世界青年学生懇親会に出席、当時拉薩市愛国青年文化連誼会主任委員。五六年四月西藏自治区準備委員会全体委員、当時拉薩市愛国青年文化連誼会副主任委員。

薛 毓 麒 Hsteh Yü-chi 1917~

江蘇省の人。三九年中央政治学校卒業。四五年濠メルボルン大学卒業。四五年—四六年マニラ副領事。四六年—四八年駐比大使館二等書記官。四八年—四九年外交部条約司副連科長。四九年—五〇年条約司次長。五〇年—五一年欧洲司および亞東司次長。五一年—五五年条約司長。五五年国連派遣中国代表代理。著書「International Regional System」

薛 燄 Hsteh Yen

元広州市人民政府公安局局長、五五年六月広州市副市長。

薛 海 萍 Hsteh Hai-ping

五三年五月中華全国総工会第七期執行委員、当時山西省工会連合会主席。同月ハンガリアのメーデー參觀代表団団長。五五年二月山西省人民委員会委員。

席 鳳 洲 Hsi Fêng-chou

五五年一月当時国務院農業部辦公庁副主任。

戚 雲(女) Chi Yün

五三年七月当時中華全国民主婦女連合会国際工作部副部長。五四年十二月訪仏婦人代表団団員として渡仏。五五年六月世界母親大会出席代表団団員としてスイス訪問。

戚 慶 才 Chi Ching-tsai

五四年八月中国キリスト教三自愛国運動委員会常務委員。

戚 祥 麟 Chi Hsiang-lin

五三年十一月全国工商業連合会執行委員。五六年十二月同連合会第二期執行委員(湖南省)。

戚 慕 光 Chi Mu-kuang 1918~

浙江省の人。五五年一月—二月中共学術視察団秘書として来日。当時中国人民世界平和擁護委員会辦公室主任。

切 群 加 Chieh-chün-cha

西藏族。五三年十二月青海省海南藏族自治州人民政府副主席。

五六年三月当時中共陝西省延安県委員会書記。

薛 覺 先 Hsteh Chueh-hsien

粵劇俳優。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(中国文学芸術界連合会)。

薛 岳(伯陵) Hsteh Yüeh(Po-ling)

広東省樂昌県の人。保定軍官学校卒業。二五年まで蔣介石の東征国民革命軍第一四師副師長、第一師長。二七年新編第二師長。二八年北伐に参加、広東国民政府軍事委員会委員、広西陸軍軍官学校長、西南軍事委員会委員。三〇年第五軍軍長。三六年中央監察委員。三七年貴州省政府主席兼雲南貴州綏靖副主任。三八年第九戦区總司令。三八年—四五年湖南省政府主席。四五年第九戦区司令官。五月徐州綏靖公署主任。四八年五月總統府參軍長。十月戰略顧問委員会委員。四九年—五〇年広東省主席。五〇年海南島防衛總司令。五〇年—五六年当時總統府戰略顧問委員会顧問。

薛 奇 Hsteh Chi

五三年七月当時東北煤礦管理局副局長。五五年十二月当時中央暨井国家驗収委员会主任、煤炭(石炭)工業部瀋陽管理局副局長。

薛 愚(慕回) Hsteh Yü (Mu-hui) 1898~

湖北省樊城の人。濟南齊魯大学理化学科を卒業。仏パリ大学博士号。二五年北京清華大学化学科教授。四七年中国科学工作者協会委員、九三学社社員。五三年三月北京市選挙委員会委員、当時九三学社



中央委員、北京医学院薬学系主任教授。五四年八月第一期全国人民代表大会湖北省代表。五五年一月中国科学院代表として全インド科学大会に出席、金ペキスタン科学促進会にも参加。五五年二月北京市人民委員会委員。十二月中央學術視察団員として来日。五六年二月九三学社第四期中央委員会委員。六月九三学社組織部副部長。

薛 公 綽 Hsteh Kung-chuo

生理学者。五三年二月—五月中国科学院訪ソ代表团員として訪ソ。五五年十一月北京医学院副院長。五六年二月九三学社第四期中央委員会委員。

薛 光 Hsteh Kuang

五三年六月当時中央東北局財經工作部副部長。

薛 光 前 Hsteh Kuang-chien (Sih Paul K. T)

1909~

上海の人。東呉大学卒業、イローマ大学博士号、カロール大学法学博士。三六年—三八年鉄道部技術顧問。三八年—四三年交通部技術顧問、首席書記官、副監督長、監督長を歴任。四一年—四二年東呉大学法律科教授。四四年—四五年外交部技術顧問。四五年—四六年に伊公使格代理大使。四六年—四九年在伊公使格参事官。四七年—四九年バルカン問題国連特別委員会中国代表団長。五一年以降米セトンポール大学極東研究会会長兼教授。著書「孔子よりクリスト迄」(イタリー語)「米国における神聖」より偉大なる完成」。

薛 春 圃 Hsteh Chun-pu

五五年一月駐北鮮大使館商務参事官。

薛 尚 實 Hsteh Shang-shih

元中共山東省青島市委員会副書記。五三年十二月同済大学校長。

薛 樵 Hsteh Chiao

五一年中央人民政府政務院情報総署国外調査研究局局长。五二年中共中央社会部国内調査研究局局长。五四年五月中国人民对外文化協会理事。

薛 迅 (女) Hsteh Hsin

湖南省の人。四八年八月河北省人民政府委員、中共河北省委員会組織部長。五二年八月河北省副主席。五四年八月第一期全国人民代表大会河北省代表。

薛 篤 弼 (子良) Hsteh Tu-pi (Tzu-liang) 1890~

山東省の人。一三年山西法律専門学校卒業。二八年内政部長。後衛生部長。国民党中央執行委員会委員。總統府顧問。翁内閣の水利部長。五六年一月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。

薛 暮 橋 Hsteh Mu-chiao

経済学者。日華事变前、雑誌「中国農村」によって農村問題の研究、啓蒙に当り、戦争中は華中抗日大学、四三年山東大学教授。四

薛 向 晨 Hsteh Hsiang-chên

五四年九月当時西北行政委員会民族事務委員会副主任委員。

薛 宏 福 Hsteh Hung-fu

五三年一月当時青海省人民政府商業庁庁長。五四年十二月青海省人民委員会委員。

薛 克 明 Hsteh Kê-ming

五三年一月当時青海省人民政府公安庁庁長。

薛 子 正 Hsteh Tzu-chêng

元人民解放軍軍区参謀長。四九年末—五四年北京市人民政府委員兼秘書長。五五年二月北京市副市长。五六年十一月國務院国家経済委員会副主任。

薛 志 龍 Hsteh Chih-lung

五三年十一月全国工商業連合会第一期執行委員。

薛 壽 衡 Hsteh Shou-hêng

五六年六月当時国府駐ソニー総領事。

薛 綬 宸 Hsteh Shou-chên

四九年末—五四年八月松江省人民政府委員。五五年一月黒龍江省人民委員会委員。

九年十月政務院財政經濟委員会委員、兼同委員会秘書長、同委員会中央私營企業局局长。五二年五月中国国際貿易促進委員会委員、當時国家統計局局长。五四年八月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。九月同大法案委員会委員。十一月國務院国家計画委員会副主任、同院国家統計局局长。十二月中国科學院哲学社会科学部委員。五六年六月國務院科学規劃委員会副秘書長。著書「中国農村經濟常識」。「思想方法与学習方法」。「中国革命の基本問題」。

薛 萬 祥 Hsteh Wan-hsiang

五四年八月第一期全国人民代表大会甘肅省代表。

薛 明 Hsteh Ming

五五年二月遼寧省人民委員会委員。

薛 蘭 斌 Hsteh Lan-pin

五四年十二月甘肅省人民委員会委員。

千 家 駒 Chien Chia-chü 1910~

浙江省武義の人。三五年当時北京大学法学院經濟学系講師。終戦後香港の民主同盟支部責任者。かつて「文匯報」の經濟週刊を編集。四九年末中央人民政府政務院財政經濟委員会委員、兼同委員会中央私營企業局副局長。五三年十一月全国工商業連合会第一期執行委員。五四年十一月國務院中央工商管理总局副局長。十二月政治協商会議第二期全国委員会委員。五五年五月中国科学院哲学社会科学



学部委員。五六年二月北鮮慰問。同月民主同盟第二期中央委員委員。三月政治協商會議學習委員會委員。十二月全國工商連第二期執行委員(特別招請)。著書「中国の内債」「広西省經濟研究」。

先略・居美多杰 Hsien-ké・Chü-mei-tuo-chieh

西藏族。五六年四月西藏自治区準備委員會委員。

宣鐵 吾 Hsitan Tieh-wu 1905~

浙江省諸暨県の人。黄埔軍官学校第一期卒業生。憲兵団団長、警備司令部參謀長、浙江省保安処長、第三戰区督察団長、三民主義青年団中央幹事を歴任。四八年淞滬警備司令。蒋介石の一三名の親衛隊的將官の一人といわれる。

洗 依 Hsien I

五三年十二月当時中共西北局組織部黨員管理処処長。

詹才 芳 Chan Tsai-fang

日華事変中第一八集團軍晋冀辺軍区冀西軍区第三軍分区副司令。中国人民解放軍成立後第四野戦軍第一四兵团第四六軍長。五〇年朝鮮戦争に参加したといわれる。五二年八月—五三年一月中南軍政委員政治法律委員會委員。

詹東・洛桑郎杰 Chan-tung・Luo-sang-lang-chieh

西藏族。五六年四月西藏自治区準備委員會財政經濟委員會副主任。

科学専門学会連合会常務委員。五四年五月中国人民対外文化協會理事。八月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。同月世界民主青年連盟理事會北京會議中共代表团列席代表。五五年五月中国科学院物理學部化學部委員。五六年二月中国民主同盟第二期中央委員會委員。十二月清華大學副校長。

錢 永 萱 Chien Yung-hsüan

新民主主義青年団員。労働模範。かつて東ドイツに中共見本市代表団工作員として赴いたことあり。鞍山鋼鐵公司技術員。五五年十、十一月の間中共見本市代表団工作員として来日。

錢 永 銘 Chien Yung-ming 1885~

上海生れ。神戸高等商業卒業。二七年財政部長代理。二七年—二九年浙江省政府財政庁長。その後上海銀行公會副會長、上海商會會長、北京銀行公會副會長、南京東南大學校長、暨南大學校長、中華職業教育會會長歴任。三八年交通銀行董事長、郵政貯蓄匯業總局監理委員會主席。中国太平洋保險有限公司社總經理。四六年一月政治協商會議に民主同盟代表(交通銀行代表)として参加。

錢 瑛(女) Chien Ying

四九年中南軍政委員會人事部長。当時中共中央中南局組織部副部長兼婦女工作委員會書記。五二年十一月政務院人民監察委員會副主任。五三年一月婚姻法貫徹運動委員會委員。四月中華全國民主婦女連合會第二期執行委員。五四年八月第一期全国人民代表大会山東省代表。九月國務院監察部部長。五六年六月全国人民代表大会第三次

詹 武 Chan Wu (Chan Mou) 1919~

浙江省の人。元陝甘寧辺区人民銀行經理。四九年末中国人民銀行国外業務管理処副処長、中国銀行副經理。五三年一月—五五年三月当時中国人民銀行国外業務局局長。五月当時中国銀行副總經理。五四年十一月当時中国銀行董事、副總經理。五五年三月—四月中共貿易代表団員として来日。

翦 伯 贊 Chien Po-tsan 1898~

湖南省桃源の人。もと国民党員。国民党第四次全国代表大会山西代表。單振司法院副院長に随行して欧洲視察。戦争中湖南藍田国民学院教師、史学を研究。戦後上海に移る。四九年春、パリの平和大会に出席。九月政治協商會議に出席。十月政務院文化教育委員會委員、中ソ友好協會總理事。五四年八月第一期全国人民代表大会湖南省代表。九月同大会民族委員會委員。当時北京大学史学系主任。五五年五月中国科学院哲学社会科学部委員。六月中国インドネシア友好協會理事。十二月中共學術視察団員として来日。五六年十一月中国エジプト友好協會理事。

錢 偉 長 Chien Wei-chang

清華大學物理学および応用数学教授。シエット機の權威といわれる。五一年十月インド、ビルマ訪問文化代表団員。五二年五月中国友好協會副會長。五三年五月—五五年三月当時清華大學教務長。五三年六月中華全國民主青年連合会常務委員。九月当時中華全國自然

會議提案審查委員會委員。九月中共八全大会で「官僚主義と戦え」と題し発言、中共第八期中央委員會委員、中央監察委員會委員、同監察委員會副書記。

錢 益 民 Chien I-min

五五年二月湖北省高級人民法院院長。

錢 應 麟 Chien Ying-lin

五五年一月國務院鐵道部部長助理。

錢 嘉 光 Chien Chia-kuang

五三年十月当時天津紡織機械廠副廠長。五四年八月第一期全国人民代表大会天津市代表。

錢 學 森 Chien Hsüeh-sên

五五年十月アメリカより帰国。航空工程博士および空気動力学専門家。五六年一月政治協商會議第二期全国委員會委員(無党派民主人士代表)。三月國務院科学規画委員會委員。四月全国先進生産者代表會議主席団の一員。五月当時中国科学院力学研究所所長。

錢 基 琛(公南) Chien Chi-chên (Kung-nan)

1901~

江蘇省の人。二四年国立交通大学卒業。三二年—四八年交通部技師。四三年—四五年交通部郵電局代理局長。四三年—四八年電信總局長代理。四七年以来国民大会代表。四八年以来電信總局長。四八



年一四九年国際高周波無電放送会議中国代表。五〇年以来交通部常務次長。

錢杏邨(筆名一阿英、張若、方英) Chien Hsing-tsun (A Ying, Chang Juo, Fang Ying) 1905~

安徽省の人。文芸批評家。蔣光慈等とともに「太陽月刊」を創刊、ついで「海風週報」を主宰、文芸批評および論文を発表。「太陽社」解散後現代文学史、ついで清末文学史の研究に専念。著作「創作と生活」「アンドレフ評伝」「現代中国文学論」「中国現代文学作家」「中国新文学運動史資料」「中国新文学大系史料索引」「小説閑談」「晚清小説史」等。詩集「暴風雨の前夜」「荒土」「夜航集」(小説)等。対日戦中は大同大学院院长、また上海で「中国文化史料供応社」を創設。新四軍の陣中演劇運動を指導し「李闖王」の演出を担当。四九年七月中華全国文学芸術界連合会全国委員会委員兼指導部副部長、天津市人民政府文芸局局長。五三年十月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員、中国作家協会理事會理事。五四年三月当時華北文学芸術界連合会準備委員会主任。五五年六月当時中国文学芸術界連合会副秘書長。

錢三強 Chien San-chiang 1910~

浙江省紹興の人。原子核物理学者。文字言語学者錢玄同の子息。三六年北平清華大学物理学系卒業後、北平研究院物理研究所で研究。三七年フランスへ留学、国立フランス学院で近代物理学を専攻。キエリール物理研究所研究員、原子物理学を専攻。四九年フランス

錢思亮(惠曉) Chien Ssu-liang (Hui-chou) 1908~

浙江省杭原の人。三二年国立清華大学卒業。三二年米イリノイ大学卒業。三四年同大学博士号(具有旋光性之雙輪基質變為不旋光性之速度)研究。三四年一四〇年国立北京大学教授。四一年一四五年新アジア化学薬学研究所研究員。四五年一四六年經濟部化学工業部長。四六年一四九年国立北京大学化学系主任教授。四九年一五一年国立台湾大学研究部長。五一年より台湾大学総長。五一年一五二年中国化学協会理事會および中国科学振興協会理事會長。

錢嗣傑 Chien Ssu-chieh

五三年七月一五六年一月当時新華社記者。

錢俊瑞 Chien Chün-ju 1903~

江蘇省無錫県の人。日本に留学。二六年中共に入党。三四年中国農村經濟研究会に入り、「会報」「中国農村」等の編集、マルクス主義の宣伝に従事。三七年日華事变勃發後上海にて活動。新四軍に従い揚子江南北において戦闘、文化宣伝に従事、中共中央華中局文化事業委員会主任。戦後北平の新華社を主宰ついで総編集。華北大学教育長、陳紹禹および張聞天等の文理派に属す。華北人民政府高等教育委員会副主任。四九年六月ワルシャワで開催のポーランド労働組合第二回大会に中共代表として出席。十月政務院教育部副部長、同院文化教育委員会委員、中ソ友好協会總會総幹事。十二月中国人民外交学会理事、五三年二月一五四年一月当時文化教育委員会秘書長。

スより帰国、中央研究院、清華大学、北京研究院等の教授。五月中華全国民主青年連合会副主席。九月政治協商會議全国委員会委員。五〇年四月パリ平和大会に出席。中国科学工作者協会理事、抗米援朝總會委員、政務院文化教育委員会委員、中ソ友好協会総会理事。五三年一月当時世界人民平和大会中共代表团員。二月政治協商會議全国委員会常務委員。二月一五月中国科学院訪代表團團長。三月スターリン逝去弔問団員。七月一五五年六月当時中国科学院近代物理研究所所長。五三年九月中華全国自然科学專門学会連合会常務委員。同月当時中国物理学会副理事長。五四年二月当時中国科学院訪代表團團長。四月科学院秘書処秘書長。八月第一期全国人民代表大会山東省代表。五五年五月中国科学院物理学数学化学学部委員。六月同学部常務委員会委員。五六年三月國務院科学規画委員会委員。

錢之光 Chien Chih-kuang

中共黨員。四九年政務院紡織工業部副部長。五二年政務院財政經濟委員会委員兼任。五三年一月北京における「中国ルーミア科学および技術協力協定」調印式に列席。五四年十一月國務院紡織工業部副部長。五六年九月中共八全大会において「紡織工業を發展せしめよ」と発言。

錢志道 Chien Chih-tao

五三年一月東北人民政府候補委員解任。五五年一月國務院第二機械工業部部長助理。五月中国科学院技術科学学部委員。六月同学部常務委員会委員。

五三年三月スターリン逝去弔問団員として訪ソ。五四年四月一六月中ソ友好協会ソ連メーデー參觀団團長。五月中国人民対外文化協会理事。八月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。九月同大会法案委員会委員。十一月國務院第二辦公室副主任、文化部副部長。十二月政治協商會議第二期全国委員会委員。同月中ソ友好協会第二期理事會秘書長。五五年五月中国科学院哲学社会科学学部委員。六月一十一月当時文化部長不在中代理部長。七月中国人民外交学会理事。同月同学会第三期理事會理事。五六年二月中央標準語普及工作委員会委員。三月國務院科学規画委員会委員、全国文盲一掃協会委員。七月中ソ文化合作協定締結のため中共側代表团長として訪ソ。九月中共第八期中央委員会候補中央委員。

錢昌照(乙黎) Chien Chang-chao (I-i) 1900~

江蘇省常熟県の人。英ロンドン大学卒業。国民政府外交部秘書、文官処秘書等を経て、三二年国民政府教育部常務次長。同年末政変により辞任、三二年再任。四九年九月政治協商會議第一期全体會議特別招待代表、同會議全国委員会委員。十月政務院財政經濟委員会委員、同委員会中央財經計画局副局長。五四年二月当時抗米援朝總會常務委員。八月第一期全国人民代表大会山東省代表。九月同大会法案委員会委員。五六年二月国民党革命委員会中央委員。

錢昌祚(華覺) Chien Chang-su (Hua-chüeh) 1901~

江蘇省常熟県の人。二三年米マサチューセッツ工科大学工学士(機械工学、航空工学)。浙江公立工業学校機械科および電気科教



授、北京清華學校工程學系教授。三三年—三六年航空委員會技術部長。三六年—三八年空軍機械學校長。四六年—四九年國防部調查研究部長。四九年—五二年國府經濟部次長。五二年國府米援運用委員會委員。

錢 鍾 韓 Chien Chung-han

五三年六月全國民主青年連合會全國委員會委員。五四年十二月南京工學院副院長。五六年二月九三學社第四期中央委員會委員。

錢 鍾 書 Chien Chung-shu

江蘇省無錫の人。作家。上海光華大學教授。英文 China Weekly Review (中国論壇) を編集。のち渡英、オックスフォード大学で英文学を専攻。戦後最初の長篇小説「困城」を発表。短篇集「人・獸・魂」。国立中央図書館機関誌英文版 Philobiblon (書林季刊) を編集。

錢 正 英 (女) Chien Cheng-ying

四九年四月中華全国民主婦女連合会執行委員。山東省黄河河務局副局長。華東軍政委員会水利部副部長。五二年十一月政務院水利部副部長。五四年六月華東軍政委員会財政經濟委員会委員解任。八月第一期全国人民代表大會江蘇省代表。十一月國務院水利部副部長。

錢 崇 澍 Chien Chung-shu

五四年二月—五五年六月当時中国科学院植物研究所所长。五四年

八月第一期全国人民代表大會浙江省代表。五五年五月中国科学院生物學地學部委員。六月同学部常務委員會委員。

錢 祖 倫 Chien Tzu-lun

五五年一月國府駐日大使館空軍武官。

錢 孫 卿 Chien Sun-ching

五三年十一月全陸工商業連合会第一期執行委員。五四年六月華東軍政委員会財政經濟委員会委員解任。八月第一期全国人民代表大會江蘇省代表。五五年二月江蘇省人民委員會委員。五六年十二月全國工商連第二期執行委員(江蘇省)。

錢 泰 (階平) Chien Tai (Chieh-ping) 1887~

浙江省嘉興の人。パリ大学法學博士。帰国後北京政府司法部秘書參事。一九年パリ講和會議中国代表團専門委員。後華府會議參加。帰国後外交部条約委員會副委員長、代理外交部次長、編訳処処長。二一年連盟總會中国代表。三三年—四二年駐ベルギー公使。四二年外交部次長、四三年—四四年駐ベルギー大使、四四年—四九年駐フランス大使。

錢 大 衛 Chien Tai-wei

五三年七月当時中華全国民主青年連合会駐世界青連連絡員。同月ブカレストの世界青年代表大會中共青年代表團團員。五四年八月世界民主青年連盟理事會北京會議中共代表團團員。五六年一月当時中華全国學生連合会副秘書長。二月學生代表團團員としてオーストリ

ア訪問。五月当時アジア・アフリカ学生会議國際準備委員。

錢 大 鈞 (慕尹) Chien Ta-chün (Mu-yün) 1892~

江蘇省崑山縣の人。前清江蘇陸軍小学堂、保定陸軍軍官學校に学ぶ。第一革命軍に加わり南京政略に従事。日本に亡命、一六年日本陸軍士官學校卒業。一九年帰国、粵軍第一師參謀。二四年黃埔陸軍軍官學校教官。二五年黃埔陸軍軍官學校學生隊參謀長、陳炯明討伐に従事、第一師副師長。二六年第一師長、第二〇師長。二七年北路軍總指揮、第八路右翼軍總指揮等歴任。二八年國民革命軍第一集團軍第三二軍長、軍事委員會委員、淞滬警備司令、江蘇省政府委員、第三師長、江南剿匪總司令、陸軍空軍總司令部高級參謀等歴任。二九年第一三軍司令官、武漢占領後中央陸軍軍官學校武漢分校教育長。三〇年第三教導師を組織し兼師長。同年陸軍大演習參觀のため渡日、帰国後武漢要塞司令兼武漢陸軍軍官學校、武漢分校教育長。三二年陸軍第八九師長。三二年師長解任、武昌行營參謀長。三五年第五期中央執行委員。三六年軍事委員會黃埔行營侍從室主任。三九年—四〇年航空委員會委員長。四二年—四四年軍政部次長。四五年大元帥副官。四五年八月上海市長。四六年市長職を吳國楨にゆづり退官。四六年國府戰略顧問委員會委員。

錢 端 升 Chien Tuan-shêng 1899~

江蘇省上海の人。米ハーバード大学博士号。国立北京大学および国立北京師範大学講師。国民党中央宣伝部國際組織編纂員、国民政府大学院文化事業処処長、国立中央大学法学院政治學系副教授、国立清華大学政治學教授を歴任。著書「仏國の政治組織」等。のち北京

大法學院院長。四九年十月政務院文化教育委員會委員十二月中国人民外交學會副會長。五〇年当時中国政治法律學會準備委員、のち同學會副主席。五三年一月当時北京政法學院院長、北京市各界人民代表會議協商委員會副主席、五月—五五年十月当時中国教育工會全國委員會副主席。五三年十月中国人民第三回訪鮮慰問團第一總分團長。五月中国人民对外文化協會理事。八月第一期全国人民副團代表大會上海市代表。九月同大法案委員會委員。十二月政治協商會議第二期全國委員會委員、同全國委員會常務委員。五五年一月中国科学院代表團團長として全インド科学大会に出席。同月全パキスタン科学促進會第七期會議に参加。六月ヘルシンキ世界平和大会中共代表團團員。七月—六五年三月当時世界平和理事會理事。五五年七月各国議會連盟參加の人民代表執行委員會委員。十月—十一月当時政治協商會議北京市委員會副主席。十一月北京における日本憲法擁護國民連合訪華代表團との共同ロッキンケ調印式に参加。五六年二月民主同盟第二期中央委員會委員、同中央常務委員會委員。三月中国政治法律學會第二期副會長。同月世界平和理事會特別會議中共代表團團員としてスウェーデン訪問。五月中国ブラジル友好協會理事、兼同協會副會長。

錢 端 有 Chien Tuan-yu

五五年一月天津市人民委員會委員。

錢 仲 舉 Chien Chung-chü

五四年八月第一期全国人民代表大會遼寧省代表。



錢 天 鶴 (安濤) Chien Tien-hé (An-tao) 1893~

浙江省杭州の人。一八年米コーネル大学農學士。帰国後南京金陵大学農學科教授兼蚕科主任。一九年—二三年南京大学助教、浙江公立農學專門学校校長、杭州緯成公司部長。二七年—二九年教育部社会教育司長。二九年—三二年国立中央研究院首都自然史博物館長、浙江省林務局長。三二年—三七年実業部中央農學実験所副所長。三八年—四〇年經濟部農林司長。四〇年—四七年農林部次長。四七年—四八年国連食糧農機地区顧問。四八年—五一年中国農村復興委員会農機改良組長および農民組織次長。五二年以来同委員会委員。

錢 稻 孫 Chien Tao-sun 1887~

浙江省呉興の人。幼少の頃より日本にあり慶応普通部、東京高等師範附屬中学卒。その後イタリヤ、ローマ大学卒業。帰国後教育部主事、視学、僉事、国立北京大学東方文学系講師。二七年国立清華大学外国文学系講師、北京法制学院、朝陽大学、民国大学等教授歴任。三九年北京大学復活するや同大学本部秘書長。中共政權成立後も北京大学教授。

錢 萍 Chien Ping

五三年十月当時中ソ石油股份公司副總經理。五六年九月当時新疆石油管理局副局長。

錢 文 极 Chien Wen-chieh (Tsien Wen-jih)

江蘇省の人。現在四〇歳。北京電信技術科学研究所主任。五七年

錢 本 仁 Chien Li-jen

五三年六月中華全国民主青年連合会副秘書長。七月中国新民主主義青年団第二期中央委員。同月ブカレストにて開催の世界青年代表大会中共青年代表団員。五四年八月世界民主青年連盟理事會北京會議中共代表団員。

錢 令 希 Chien Ling-hsi

五五年六月中国科学院技術科学学部委員。五六年一月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。

鮮 維 峻 Hsien Wei-chün

回族。日華事変中陝甘寧辺区政府の三辺区專員公署副專員。四九年中央人民政府民族事務委員会委員。

鮮 于 煥 Hsien Yü-huan

五五年二月熱河省人民委員会委員。

鮮 英 (特生) Hsien Ying (Tê-shêng) 1885~

四川省充県の人。四川陸軍速成学校および北平陸軍大学卒業。四川陸軍第一〇師長。重慶銅元局長。三六年四川第一三行政督察專員。四九年中共政權成立後、中国民主同盟西南總支部臨時工作委員会委員。五〇年西南軍政委員会委員。五三年一月西南行政委員会委員。五四年七月第一期全国人民代表大会重慶市代表。五五年一月四川省人民委員会委員。五六年二月民主同盟第二期中央委員会委員。

二月東京で開催の国際地球観測年西太平洋地域連絡會議に出席。

錢 穆 (賓四) Chien Mu (Pin-su) 1895~

江蘇省無錫県の人。かつて燕京、北京、西南連大、華西、齊魯の各大学教授および江南大学文学院長を歴任。香港新亞書院院長。五五年六月香港大学名誉法学博士。著書「論語要略」「近三百年學術思想史」「国学概論」等。

錢 銘 岐 Chien Ming-chi

中共黨員。中共中央統一戰線工作部第二科員、中華全国総工會国際部秘書、國務院監察部部長錢瑛の弟といわれる。五六年十一月中共工代会代表団秘書として来日。

錢 用 和 (女) (名、祿園) Chien Yung-hé (Lu-yüan)

江蘇省常熟の人。務本女塾師範科、国立女子高等師範卒業。二二一年江蘇省教育庁勤務。二五年—二七年欧米教育視察。帰国後北京師大、上海暨南大、南京金陵女大、重慶女師院、交通大学等の教授。江蘇省教育庁、南京市政府社会局、教育部賑濟委員会等に勤務。戦時中新生活運動促進会婦女指導委員会、中国戦時兒童保育会、中国婦女自衛抗戦将士慰勞總會等にて活躍。国民参政第二期参政員、国民党六次大会代表、中央候補監察委員、国民大会代表、国民憲政促進会常務委員。四八年国府監察委員、中華婦女反共抗ソ連合会常務委員。

冉 瑞 圖 Jan Jui-tu

五三年六月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。

冉 雪 峰 Jan Hsieh-feng

五六年一月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。

全 名 钰 Chian Ming-yü

五六年一月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。

然 巴 囊 吉 旺 堆 Jan-pa-nang-chi-wang-tui

五三年二月西藏達賴喇嘛(ダライラマ)駐京辦事処処長。

そ

祖 拉 力 Tsu-la-li

五四年九月新疆喀什庫爾干塔吉克族自治区人民政府副主席。

楚 雲 Chu Yin

五三年三月当時新民主主義青年団天津市委員会書記。七月同青年団第二次全国代表大会にて第二期中央委員。



楚溪春 Chu Chi-chun

五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(特別招請人士)。五六年二月國民黨革命委員會中央委員。

楚圖南 Chu Tu-nan 1899~

雲南省文山県の人。中学卒業後北京高師にて歴史地理を専攻。マルクス主義的學術団体「労働学会」に入会。二三年卒業と同時に帰郷し雲南中学教師。二八年国民党の「清党」を逃れ、ハルビンにて教師、捕われて長春で投獄。三年服役して三一年出獄。その後北京、山東、河南、上海などを転々し、大学や中学の教師。三七年日華事変勃発後、昆明の雲南大学文学史学科主任教授。戦争後期、李公樸、聞一多等とともに国民党特務の監視を受け、四六年聞一多、李公樸の暗殺時、重慶をへて上海に逃れ、法商学院の教授。四九年秋、中共軍の江北進出後、北京に赴き、師範大学の教授。四九年九月政治協商會議全國委員會委員。民主同盟西南総支部臨時工作委員會主任委員。五三年一月西南行政委員会委員。三月一五四年七月当時文官一掃工作委員會主任委員。五三年五月民主同盟七中全会主席団員。八月当時政治協商會議全國委員會常務委員。五四年二月当時抗米援朝總會常務委員。五月中国人民対外文化協会の理事、同協会常務理事、同協会会長。七月当時世界平和理事會ベルリン特別會議中共代表団代表。八月第一期全國人民代表大會雲南省代表。十二月政治協商會議第二期全國委員會委員、同常務委員。同月中ソ友好協會第二次全國代表會代表。五五年三月アジア諸國會議中共代表団団員、同會議中國準備委員會委員。六月ヘルシンキ世界平和大會中共代表

団員。七月当時世界平和理事會理事。九月一十一月当時北ヨーロッパ訪問古典歌舞劇団団長。五六年一月中国オリンピック委員会委員。二月民主同盟第二期中央委員会委員、同中央常務委員会委員。

楚普噶瑪巴・貝日多吉 Chu-pu-ké-ma-pa・Pei-jih-tuo-chi

西蔵族。五六年四月西蔵自治区準備委員会全体委員。

蘇育民 Su Yu-min

五三年十月中国人民第三回訪鮮慰問団員。五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員。

蘇永和 Su Yung-hé

五五年一月四川省人民委員会委員。

蘇華(女) Su Hua

五三年四月中華全國民主婦女連合會第二期候補執行委員。五四年八月第一期全國人民代表大會福建省福州市代表。五五年二月福建省人民委員会委員。

蘇琦 Su Chi 1928~

福建省の人。中国人民対外文化協会工作人員。五六年五、六月の間京劇代表団通訳として来日。

蘇毅然 Su I-tian

事。五六年七月シンガポール工商業貿易視察団建築材料および五金組副組長として日本ついで中共を訪問。

蘇資琛 Su Tzu-chén

五三年一月陝西省人民政府委員。当時中国民主同盟西北総支部委員。五四年八月第一期全國人民代表大會陝西省代表。

蘇振華 Su Chén-hua 1909~

湖北省の人。五〇年西南軍政委員会委員。五三年一月西南行政委員会委員。その後人民解放軍海軍副政治委員。五四年九月国防委員会委員。五五年九月一級独立自由勳章および一級解放勳章を授与さる。五六年二月当時人民解放軍海軍上將。九月中共第八期中央委員会候補委員。

蘇振壽 Su Chén-shou

福建省龍岩県の人。在タイ華僑。現在六五歳位。タイ国中華總商會執監委員、福建會館主席、天華醫院董事、黃魂中学、中華中学校董事を歴任。五二年福建省龍岩県人民政府委員。五四年九月第一期全國人民代表大會華僑代表。五六年当時龍岩帰国華僑連誼会主任。

蘇新 Su Hsin

羌族。五二年十二月四川省蔵族自治区人民政府副主席。五四年八月第一期全國人民代表大會四川省代表。九月同大会民族委員会委員。五五年十一月当時四川省成都一阿壩公路工程処処長。十二月四川省阿壩蔵族自治区副州長。

五五年三月安徽省人民委員会委員。

蘇謙登 Su Chien-i

綏遠省の人。四九年綏遠省軍政委員会委員、同省人民政府委員、同政府人民監察委員会主任。当時中共綏遠省委員会副書記。五三年一月綏遠省人民政府副主席。五四年三月一六月当時中共中央内蒙古分局副書記。五四年六月綏遠省軍政委員会委員、および同省副主席解任、内蒙古自治区人民政府副主席。八月第一期全國人民代表大會内蒙古代表。九月同大会民族委員会委員(漢民族)。五五年四月内蒙古自治区人民委員会副主席。五六年九月中共八全大会にて「包頭工業基地建設中の従業員生活問題」について発言、当時中共内蒙古自治区委員会書記。

蘇鴻綱 Su Hung-kang

五四年九月西南行政委員会文化教育委員会委員解任。五五年二月雲南省人民委員会委員。

蘇根柱 Su Kên-chu (Soh Koon-choo) 1908~

福建省の人。シンガポール在住華僑。ゴム業。南洋樹膠製造廠有限公司董事、宜昌有限公司董事。五六年八月シンガポール工商業貿易視察団団員として中共を訪問。

蘇彩軒 Su Tsai-hsian (Soh Chai-hian) 1898~

福建省の人。シンガポール在住華僑。ケーブル、鉄器、漆、工業用品等の輸出入業龍川有限公司董事兼經理。大華有限公司機器廠董



蘇井觀 Su Ching-kuan

中共党员。中国人民革命軍事委員会衛生部副部長。四九年十月政務院衛生部副部長。五一年政務院文化教育委員會委員。中華全國科學界代表大會準備委員。中國醫務工會工作委員會主任。五四年十一月國務院衛生部副部長。十二月政治協商會議第二期全國委員會委員（醫藥衛生界）。

蘇靜 Su Ching

五五年九月一級解放勳章を授与さる。十月一五六年三月当時人民解放軍中將。

蘇長有 Su Chang-yu

東北工業部建設工程公司哈爾濱工程処の瓦工班長。建築業界の労働模範。「蘇長有煉瓦積法」あるいは「分段連続煉瓦積法」とよばれる煉瓦積方法を考案。五四年八月第一期全国人民代表大會哈爾濱市代表。

蘇殿選 Su Tien-hsuan

五四年八月第一期全国人民代表大會河南省代表。

蘇楠 Su Nan

五三年当時大公報國際組組長。五三年一五五年当時日本關係論文を屢々大公報に発表。

蘇幼農 Su Yu-nung

四八年華北人民政府華北郵政總局局長。四九年十月政務院郵電部郵政總局局長。五三年一月北京における中共・外蒙間郵政、電信兩協定調印式に郵政總局局長として列席。

蘇林 Su Lin

五二年十二月一五三年九月当時滿洲里市長。五三年九月当時中共滿洲里市委員會書記。

蘇靈揚(女) Su Ling-yang

五五年二月北京市人民委員會委員。

宋亞田 Sung Ya-tien

五六年十二月当時中國國際貿易促進委員會辦公室主任。

宋一痕 Sung I-hên

五五年二月雲南省人民委員會委員。

宋一平 Sung I-ping

五三年三月当時新民主主義青年團中央委員會書記処書記。七月同團第二期中央委員。

宋雲彬 Sung Yun-pin

浙江省の人。現在五四歳位。作家。華東文學連合會執行委員。浙江

蘇文通 Su Wên-tung

タイ生れ。原籍福建省同安県。タイ在住華僑。四二年バンコックに泰生有限公司を創設し、ゴム、木材、米、砂糖、金属、建築材料を取扱う。四七年資本金一千万バーツの泰生保險倉庫有限公司を創立しその總經理。四九年登記資本二千万バーツの工程機械有限公司を創設しその總經理となり、米国インターナショナル・ハーヴェスター会社の全タイ総代理権を獲得し、耕耘機、自動車、冷蔵庫の販売を開始。また暹羅農場有限公司製糖廠、碧武里実業有限公司製糖廠の董事長となり、精糖事業にも従事。

蘇步青 Su Pu-ching 1902~

浙江省の人。数学者。五四年五月当時復旦大學教務長。十二月政治協商會議第二期全國委員會委員（自然科學団体）。同月中ソ友好協會第二次全國代表會代表。五五年五月中國科學院物理學化學學部委員。六月同學部常務委員會委員。六月一五六年三月当時復旦大學教授。五五年十二月訪日科學代表團團員。五六年二月中國垂洲團結委員會委員。同月民主同盟第二期中央委員會委員。当時中國科學院數學教授。三月復旦大學と科學院との共同による數學研究室の創立に當る。

蘇炳文 Su Ping-wên

五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員（特別招請人七）。

大學教授。五三年二月当時浙江省人民政府文化教育委員會副主任委員。十一月華東作家協會理事。五四年八月第一期全國人民代表大會浙江省代表。五五年一月浙江省人民委員會委員。二月政治協商會議第一期浙江省委員會副主席。五六年二月民主同盟第二期中央委員會委員。

宋越倫 Sung Yueh-lun (Soong Yiieh-lun)

五二年八月國府駐日大使館一等書記官。

宋應 Sung Ying

中共川西（四川省西部）區委員會組織部長兼成都市委員會第二書記。地質學者。五二年八月中央人民政府地質部副部長。五三年二月中國科學院訪ソ代表團團員。五四年二月当時地質學理事會常任理事。十一月國務院地質部副部長。

宋鐔(敬明) Sung Ê (Soong Ngo, Ching-ming) 1899~

湖南省湘潭の人。一六年烟台海軍學校入学。のち南京魚雷銃砲學校專科卒業。海上勤務後士兵隊長、見習生教育主任、教導隊教務主任、江防總部教練官。三九年一四二年海軍軍官學校教育主任、軍令部兵器実験所研究員、第二庁上校參謀。四二年一四四年作戰部科長、陸軍大學戰術教官および武官訓練班教官。四四年駐米大使館海軍上校副官兼駐米海軍訓練處長、海軍官兵總隊長。四五年駐英海軍武官兼駐英軍事代表團員、駐英海軍領隊官、駐英海軍訓練處長。四六年十月海軍總部作戰署署長、少將。四八年副參謀長。四九年參謀長。五〇年一五四年國防參謀次長。



宋侃夫 Sung Kan-fu

四九年当時中共湖北省長沙市委員会書記。同年末湖北省人民政府委員。五一年—五四年十二月当時武漢市副市長。五五年一月武漢市長。三月—七月当時中共武漢市委員会第二書記。五六年九月中共八大大会において、「野菜と特産物の貿易管理の方法を改めよ」と発言、当時中共武漢市委員会第一書記。

宋季文 Sung Chi-wên

四九年当時南京市人民政府財政局長。四九年—五四年六月華東軍政委員会財政經濟委員会委員。五五年二月上海市人民委員会委員。五七年一月上海市副市長（計画委員会工作担任）。

宋玉璽 Sung Yi-hsi

五五年六月当時中共河南省委員会宣伝部部長。

宋景毅 Sung Ching-i

五五年一月天津市人民委員会委員。

宋慶齡(女) Sung Ching-ling 1890~

上海生れ。故孫文未亡人。孔祥熙夫人宋靄齡の妹、宋子文および蔣介石夫人宋美齡の姉。米ウエルズレイ大学卒業。一二年南京臨時政府孫文大總統の秘書。第二革命失敗後孫文に従い日本に亡命。一四年日本において孫文と結婚。孫文北京に客死後、二六年国民党第一次中央執行委員会委員、国民党極左派を率いて活動。二七年国民党

宋宏 Sung Hung

五三年七月新民主主義青年団第二期中央委員。五五年一月浙江省人民委員会委員。七月ワルシャワにおける第五期世界青年および学

生平和友誼交歓会参加の青年代表団員。

宋廣常 Sung Kuang-chang

五三年一月遼西省人民政府委員解任。五四年九月最高人民法院東北分院副院長解任。五五年二月最高人民法院審判委員会委員。

宋衡之 Sung Hêng-chih

広東省広州市の人。香港大学卒業。外交官、領事官試験合格。広東省政府科長、参議。戦地服務隊隊長、広東国民大学教授。マナグワ領事、代理総領事。五六年六月当時国府駐ニカラグア代理公使。

宋克強 Sung Kê-chiang

五五年四月—五六年十二月当時中国畜産公司（中共側）副經理。

宋子純 Sung Tzu-chun

五三年十一月全国工商業連合会第一期執行委員。五四年八月第一期全国人民代表大会山西省代表。五五年二月山西省人民委員会委員。十一月当時山西省工商連主任委員。五六年十二月全国工商連第二期執行委員（山西省）。

宋子文 Sung Tzu-wên (T. V. Soong) 1891~

広東省の人。上海生れの所謂四大家族の一家。一五年米ハーバード大学卒業。一八年—三一年行政院副院長兼財政部部長。三〇年—三三年中国中央銀行総裁。三二年—三三年行政院代行院長兼財政部部長。三三年ロンドン世界經濟會議主席代表。三五年—四三年中国

政府の武漢移転と共に、武漢政治委員会委員、国民党委員。同年

ソ連人顧問ボロジンおよび共産派が武漢を追われた際、陳友仁と共に渡欧。四一年皖南事変以降公然と蒋介石政権を非難。四六年政治協商會議に出席。四九年九月第一期政治協商會議全国委員会委員。

十月中央人民政府副主席、中ソ友好協會總會副会長。五一年春スターリン平和賞受賞。十一月中国人民保衛兒童全国委員会主席。中華全国民主婦女連合会名誉主席、中国人民救済總會主席を兼務。五二年十二月世界人民平和大会出席代表団团长として訪ソ。五三年一月憲法起草委員会委員。二月中央選舉委員会委員。五四年八月第一期全国人民代表大会上海市代表。九月同大会第一次會議主席団員、同大会常務委員会副委員長。十二月政治協商會議第二期全国委員会委員、同委員会副主席。同月中ソ友好協會第二次全国代表大会代表、同協會總會第二期會長。五五年七月全国人民代表大会第二次會議主席団員、同団常務主席。同月各国会連盟参加の人民代表団主席団員、同団執行委員会委員。九月全国青年社会主義建設積極分子大会名誉主席団員。五五年十二月—五六年二月の間、インド、ビルマ、パキスタン政府の招聘をうけ全国人民代表大会常務委員会副委員長として三回訪問。五六年六月全国人民代表大会第三次會議主席団員。八月インドネシア大統領および同政府の招聘をうけ、全国人民代表大会常務委員会副委員長としてビルマ經由インドネシア訪問。

銀行董事会主席、この間三八年全国航空委員会代行主席。四〇年—四二年ルーズベルトに対する蔣介石の個人的代表者。四二年—四五年外交部部長。四二年国民党中央執行委員会常務委員。四四年十一月国民政府政府委員。四四年—四五年行政院代行院長。四五年六月行政院院長。同年四行連合總署副主席、サンフランシスコ會議中国代表団团长。四七年三月行政院院長を辞任。九月広東省政府主席。十一月広東行營主任兼任。四八年八月広州綏靖公署主任、同月広東地区經濟統制督導主任委員。四九年一月広東省主席を辞任。五月赴仏。その後滯米。

宋之春 Sung Chih-chun

五三年三月—五四年十二月当時中央人民政府燃料工業部石炭管理総局副局長（五五年七月燃料工業部廃止、石炭工業部設置）。

宋之的 Sung Chih-i

劇作家。報告文学作家。報告文学作品「一九三〇年春太原」。日華事変中の劇本創作作品「国土至上」（老舎と共著）、「鞭」等。「解放」後「皇帝和妓女」。軍政委員会総政治部文芸処副処長。五三年十月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。同月中国作家協會理事會理事。五四年三月当時群衆歌曲評選委員。五五年八月当時人民解放軍総政治部文化部文芸処処長。

宋時輪 Sung Shih-lun 1910~

湖南省の人。黄埔軍官学校卒。三三年紅軍抗日大学参謀班卒業後瑞金に赴き団参謀長。三六年第四集團軍第二八軍軍長。王震、張宗



遜について賀龍部隊の三勇将といわれた。三八年鄧華とともに先遣隊を率いて冀東に侵入、冀東挺進軍司令員。日華事変末期福州侵入。その後延安に帰り、中央党校に入校。戦後軍事調停執行組中共代表。四七年華東野戦軍第一〇縦隊司令員兼勃海軍区司令員。四九年人民解放軍第三野戦軍第九兵团司令員。五月上海市軍事管制委員会警備司令。五〇年一月—五三年一月華東軍政委員会委員。五〇年六月兵团を指揮し舟山列島を「解放」。十月朝鮮戦線に出動。五四年九月国防委員会委員。上将、南京総高級歩兵学校長といわれる。五六年九月中共第八期中央委員会候補中央委員。

宋 日 昌 Sung Jih-chang

生物学者。終戦前蘇中行政区公署民政処長。陳毅の下に新編第四軍の糧食部長。五一年華東軍政委員会副秘書長兼民政部部長。五二年二月華東抗米援朝總分會結成の全国人民解放軍慰問代表団第四分団副団長、同秘書長。当時中国科学院辦公庁副主任。五月中国人民対外文化協合理事。五四年六月華東軍政委員会副秘書長解任。五五年七月上海市副市長。五七年一月上海市副市長再選（交通運輸、郊外地区農業担任）。

宋 叔 和 Sung Shu-hé

五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員（自然科学団体）。

宋 書 岱 Sung Shu-tai

五五年十月当時中共河北省河間県委員会副書記。

宋 劭 文 Sung Shao-wên 1906~

山西省屯留の人。北京大学経済系卒。三六年抗日運動で北京で逮捕され、拘禁。三七年日華事変勃発時、山西犧牲大同盟の宣伝部長。日本軍の太原占領後、山西新軍をひきいて遼東、五台山で遊撃戦を指揮。三八年晋察冀辺区政府成立とともに、その政府主席。四八年華北人民政府委員兼農業部長。四九年九月華北解放区を代表して政治協商會議に出席。十月政務院財政經濟委員会委員。中央財政經濟計画局局長。五三年二月—九月当時政務院財政經濟委員会秘書長。九月輕工業部副部長。五四年十一月國務院第四辦公室副主任、輕工業部副部長。五五年一月当時中共ハンガリア科学および技術合作連合委員会中共側主席。五六年三月全国文盲一掃協會委員。十一月國務院國家經濟委員会副主任。

宋 劭 明 Sung Shao-ming

五四年二月開封市副市長。

宋 肖 頌 Sung Hsiao-sung

五五年九月当時鶴崗（黒龍江省）礦務局副局長兼東山縦礦礦長。

宋 昇 平 Sung Shêng-ping

五六年六月当時國務院外交部礼賓司幫辦（次長）、兼護照（旅券）科長。

宋 照 禮 Sun Chao-li

五〇年九月中共駐ブルガリア大使館二等書記官。

宋 振 鼎 Sung Chên-ting

五四年八月内蒙古自治区人民政府委員に補充、当時同人民政府林業部部長。五五年四月内蒙古自治区人民委員会委員。

宋 新 懷 Sung Hsin-huai

四八年八月中華全国総工会執行委員。五三年五月同會第七期執行委員会執行委員。十月中国人民第三回訪鮮慰問団第八總分団副団長。五五年二月湖南省人民委員会委員。

宋 石 Sung Shih

五四年十二月当時中共駐チェコスロヴァキア大使館商務專員。

宋 川 Sung Chuan

河南省の人。現在四七歳位。五三年四月—五四年十月当時中華全国総工会農林水利工会工作委員会副主任。五三年九月ウイーンにおいて開催の世界労連第三回代表大会に中共工会代表団員として出席。五四年六月河南省人民政府委員解任。八月第一期全国人民代表大会河南省代表。五六年四月全国先進生産者代表會議主席団員。

宋 宗 禹 Sung Tsung-yü

五三年十一月全国工商業連合会執行委員。五五年十一月当時遼寧

省工商連執行委員。五六年十二月全国工商連第二期執行委員（遼寧省）。

宋 乃 德 Sung Nai-té

五四年十一月國務院地方工業部副部長。（五六年五月地方工業部廃止）。五六年九月中共八全大会にて「わが国日用工業品の品質を高めよ」と発言、当時國務院輕工業部副部長。

宋 俦 雲 Sung Chuo-yün

五四年六月國務院駐日大使館隨員。

宋 達 泉 Sung Ta-chüan

土壤学者。五五年十二月—五六年三月当時中国科学院林業土壤研究所所長。

宋 丹 Sung Tan

四川省の人、現在三九歳位、ソ連に留学し航空技術を習得、現在空軍司令部成都基地司令員といわれる。

宋 致 和 Sung Chih-hé

五三年二月当時鄭州市市長。五五年二月河南省人民委員会委員。五六年九月中共八全大会において、「農村税法を改めよ」と発言、当時中共河南省委員会財経貿易部部長。

宋 中 洲 Sung Chung-chou



五四年八月当時湖北省黄石市代理市長。

宋 忠 福 Sung Chung-fu

共産軍師長といわれる。五四年八月第一期全国人民代表大会西北軍区代表。戦闘英雄。人民功臣。

宋 長 華 Sung Chang-hua

五六年四月西藏自治区準備委員会司法処副処長。

宋 德 和 Sung Tè-hè (Soong, Norman) 1911~

広東省の人。三四年燕京大学卒業。三五年米ミズリー新聞学校卒業。三五年—三六年北平クロニクル記者。三六年—三七年南京チャイナプレス主任通信員。三七年—三八年ニューヨークタイムス中国編集局写真班兼通信員。四〇年—四二年中央通訊社英文記者。四二年—四五年中国—ビルマ—印度中央東部戦線派遣中央通訊社従軍記者。四五年—五〇年中央通訊社東京支局長。五〇年以來 Pan-Asia Newspaper Alliance 經理、同社副社長。

宋 任 窮 Sung Jen-chung 1903~

湖南省瀏陽県の人。劉伯承將軍の片腕といわれた。二七年湖南暴動時中共軍に入り政治工作に従事。三〇年林彪部隊の団政治委員。三一年紅軍第五軍団政治委員。三四年西遷に参加。三七年八路軍一二九師政治部副主任。三八年九月冀南行政主任公署主任。四二年山西省で敢死縦隊を組織して抗戦。四三年中共中央党校入校。四五年中共七大で候補中央委員。四七年冀中軍区司令員。四九年人民

解放軍第二野戦軍第四兵団政治委員。四月南京軍事管制委員会成立と共にその副主任。五〇年雲南軍政委員会副主任、中共雲南省委員

会書記。三月西南軍政委員会委員兼西南軍区副政治委員。五二年八月西南軍政委員会副主席。五三年一月西南行政委員会副主席。五三年三月—五四年一月当時中共中央西南局第一副書記。五三年六月—七月新民主主義青年団第二次全国代表大会に出席。五四年六月雲南省人民政府委員解任。九月国防委員会委員。十二月中ソ友好協会第二次全国代表大会代表(軍隊)。五五年九月一級八一勳章、一級独立自由勳章、一級解放勳章を授与さる。五六年三月当時人民解放軍上將。九月中共第八期中央委員会委員、中共中央副秘書長。中共八全大会において「集団指導の問題に対する認識と体験」と題して発言。十一月國務院第三機械工業部部長。

宋 榮 卿 Sung Fei-ching

天津東亜企業公業總經理。四九年十月政務院財政經濟委員会委員。

宋 美 齡 Sung Mei-ling (Mayling Soong Chiang, Chiang Sung Mei-ling) 1901~

広東省の人。上海生れ。米ウエルズレイ大学文学士。二七年蔣介石と結婚。三〇年—三二年立法委員。二九年—三七年革命軍遺族学校長。三七年—三八年中国航空委員会秘書長。三八年婦女協会新生活運動理事長。四二年蔣介石とともにインド訪問。四三年カイロ会議に出席。四六年—五〇年国民党中央執行委員。五〇年以來中国婦女反共抗ソ連合会會長。

宋 平 Sung Ping

五三年九月当時中央人民政府国家計画委員会労働工資(賃金)計画局長。同月政務院労働部副部長。五四年九月東北人民政府文化教育委員会委員解任。十一月國務院国家計画委員会委員。

宋 友 田 Sung Yu-tien

五二年十一月当時中共寧夏省委員会秘書長。

宋 裕 和 Sung Yü-hè

中共黨員。新編第四軍の供給部長。四九年華東財政經濟委員会副主任。十月政務院食品工業部副部長、兼財政經濟委員会委員。(五〇年食品工業部廃止)。五二年八月政務院建築工程部副部長。五四年八月第一期全国人民代表大会四川省代表。十一月國務院建築工程部副部長。

宋 養 初 Sung Yang-chu

五三年三月当時中国新民主主義青年団中央団校副校長。五四年十一月國務院国家計画委員会委員。五五年十二月当時同委員会重工業計画局局長。著書「第一次五カ年計画中の冶金工業」。

宋 來 崇 Sung Lai-chung

中国国際貿易促進委員会職員。五五年十、十一月の間中共見本市代表团通訳として来日、涉外、会場接待担当。

宋 黎 Sung Li

滿洲生れ。現在四一歳位。四九年遼西省人民政府委員。五二年同政府副主席。五三年中共旅大市委員会副書記。五四年八月第一期全国人民代表大会遼寧省代表。同月遼西省人民政府副主席解任。同月遼寧省旅大市市長。当時中共旅大市委員会第二書記。

宋 烈 Sung Lieh

五四年六月河南省人民政府委員解任。一説に滿洲生れ、現在四一歳位、もと中共遼東省委員会統一戦線部長、現在漢口市公安局長といわれる。

宋 璉 (女) Sung Lien

中南区民主婦女連合会準備委員会副主任。五二年八月中南軍政委員会政治法律委員会委員。五四年八月第一期全国人民代表大会河南省代表。

宗 哲 Tsung Ché

西藏族。五三年十二月青海省海南藏族自治州人民政府副主席。

桑吉悦希 (別名、天寶) Sang-chi-yüeh-hsi (Tien-pao) 1917~

西康省党壩県の人。西藏族。兄弟三人はラマ僧。三四年紅軍の党壩侵入時土地の西藏族の駁巴連邦政府樹立に参加。少年先鋒隊に入り、後この連邦政府の青年部部長。駁巴独立師政治委員として紅軍



とともに延安に至る。延安の民族学院入学。戦後伊克昭盟に赴き武装部隊を組織し、馬鴻逵、胡宗南軍と戦闘。四九年九月政治協商会議に西蔵族の代表として参加、同会議全国委員会委員。十月政務院民族事務委員会委員。五〇年末西南軍政委員会委員。西蔵省蔵族自治区人民政府主席。五二年十二月兼四川省蔵族自治区人民政府主席、四川省蔵族自治区第一回各族各界人民代表会議協商委員会主席。五三年一月西南行政委員会委員。当時西南民族事務委員会副主任。二月政治協商會議全国委員会常務委員。五四年二月人民解放軍慰問代表団第三總分団(西南)副団長。五四年八月第一期全国人民代表大會四川省代表。九月同大會第一次會議主席団団員。五五年一月西蔵省副省長。三月西蔵省蔵族自治区(旧西蔵省蔵族自治区)州長。七月全国人民代表大會第二次會議主席団団員。十二月四川省阿壩蔵族自治区(旧四川省蔵族自治区)州長。五六年三月当時西蔵訪問中央代表団副団長。四月西蔵自治区準備委員会成立大会における中央代表団蔵族代表。六月全国人民代表大會第三次會議主席団団員。九月中共第八期中央委員会候補委員。

桑代海 Sang-tai-hai

西蔵族。五三年十二月青海省海北蔵族自治区人民政府委員。

桑熱嘉措 (桑若嘉錯) Sang-jé(juo)-chia-tsuo

西蔵族。五三年一月—五四年六月当時青海省人民政府文教庁副庁長。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(教育界)。同月青海省人民委員会委員。

桑頗・才汪仁增 Sang-po・Tsai-wang-jên-tséng

西蔵族。五六年四月西蔵自治区準備委員会全体委員。

草明(女) Tsoo Ming 1913~

広東省順徳県生れ。女流作家。歐陽山夫人。三二年左連に参加。三五年上海で逮捕され翌年出獄。三七年延安。戦後、東北に派遣され組合委員長の傍ら創作。作品は「女の物語り」「なくした笑い」「原動力」「機関車」等。東北文連の責任者。五三年十月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員、中国作家協会理事。五四年五月中国人民対外文化協会理事。十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(中華全国民主婦女連合会)。

曹瑛 Tsoo Ying

長く中共長沙市委員会書記。五四年十月中共駐チェコスロヴァキア大使。五五年四月チェコ「解放」一〇周年慶祝式典参加の中共政府代表団団員。五六年一月ブライトで開催のワルシャワ条約會議に政府顧問としてオブザーバーの資格で出席。七月ブライトにおいて、五八年—六二年中共・チェコ主要商品貿易議定書調印式に中共側代表団団員として参列。

曹冠羣(女) Tsoo Kuan-chün

五三年四月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。五四年八月第一期全国人民代表大會陝西省代表。五五年八月—五六年四月当時中華全国民主婦女連合会書記処書記。五六年三月政治協商會議全国

委員会学習委員会委員。

曹煥文 Tsoo Huan-wén

五四年四月当時太原市協商委員会副主席。八月第一期全国人民代表大會山西省代表。

曹菊如 Tsoo Chi-ju

四九年十月政務院財政經濟委員会委員。五〇年中央財政經濟計画局副局長。五二年同局長。五三年九月当時政務院財政經濟委員会副秘書長。同月中国人民銀行副行長。五四年十一月中国人民銀行行長。同月当時中国銀行董事。十二月中国銀行常務董事。五五年十一月北京において中共・北越両国貨幣公定レート協定に中共側を代表し調印。

曹禺(本名、萬家寶) Tsoo Yu (Wan Chia-pao) 1910~

湖北省潜江の人。劇作家。清華大学卒業後国立戯劇学校専任講師。演劇を研究。処女作「雷雨」四幕(三四年)が、三五年歐陽予倩の演出で成功を収めて一躍有名となる。三七年南京に成立の中国戯劇学会の中心人物。「日出」(三五年)、「原野」(三七年)、「北京人」「家」「蜕变」(四一年)、「橋」(民族工業の苦境を扱ったもの)の著がある。四六年老舎とともに渡米。帰国後も演劇映画に活躍。四九年七月中華全国文学芸術界連合会全国委員会委員。五二年春、艾蕪、賀敬之らとともに工場に派遣され、プロレタリア文学創作。五三年五月—五五年二月当時北京市人民芸術劇院院長。五三年十月

全国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。同月中国作家協会理事。五四年三月当時抗米援朝總會委員。五月中国人民対外文化協会理事。八月第一期全国人民代表大會湖北省代表。十二月中国友好協会第二次全国代表大会代表(中国文学芸術界連合会)。五五年二月北京市人民委員会委員。二月—七月当時北京市文学芸術工作者連合会副主席。七月当時中央戯劇学院副院長。五六年十二月中国作家協会書記処書記。

曹桂生 Tsoo Kuei-shéng

五四年九月中共駐北越大使館二等秘書。五六年九月駐カンボディア経済使節団副団長。

曹言行 Tsoo Yen-hsing

土木建築学者。五三年二月—五月の間中国科学院訪ソ代表団団員。五四年十一月國務院国家建設委員会委員。

曹興華 Tsoo Hsing-hua

五三年八月—五六年二月当時新華社記者。

曹克強 Tsoo Kê-chiang

五六年一月中共駐北鮮大使館参事官。

曹谷冰 Tsoo Ku-ping

五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(新聞出版界)。



曹志麟 Tsao Chih-lin

五六年二月国民党革命委员会中央委員。

曹日昌 Tsao Jih-chang

五三年九月ブダペストにて開催の国際科学工作者協会第三回代表大会に出席。五四年七月—五五年二月当時中国科学院辦公庁副主任。五五年二月上海市副市长。

曹若山 Tsao Juo-shan

山東省の人。現在五〇歳。在日華僑。日本明治大学修業。黄埔軍官学校第四期政治科卒業。国民党の北伐に参加。はじめ鄧演達派に属し、鄧の死後胡漢民の国民党に参加、党校訓練主任および青年部主任。三六年日本に亡命。日華事変後山東行政人員訓練所教育長、庁長、道尹、華北政務委員会第一行政区長官を歴任。戦後香港に逃れ、五〇年日本に來り、現在華文日本通報社支配人兼編集長。

曹若茗 Tsao Juo-ming

五三年二月当時広州市軍事管制委員会外事処処長。十二月—五四年七月当時広州市人民政府外事処処長。五四年十一月—五五年一月当時広東省人民政府外事処処長。五五年二月広東省人民委員会委員。五五年六月—五六年二月当時広東省人民委員会外事処処長。

曹聚仁 Tsao Chu-jên 1899~

浙江省の人。香港在住華僑。少年時代章太炎に師事。中央社記者、

委員会委員、中国作家協会理事會理事。十一月当時北京大学教授。五四年八月第一期全国人民代表大会河南省代表。十二月ソ友好協会總會第二回理事會理事。五六年六月当時北京大学俄羅斯語言(ロシア語)文学系主任。

曹達諾 Tsao Ta-nuo

五四年十一月当時中国人民解放軍新疆軍区政治部副主任。

曹痴 Tsao Chih

五五年二月湖南省人民委員会委員。

曹中樞 Tsao Chung-shu

終戦後国府が瀋陽に創立した国立中正大学教授。民主同盟東北総支部委員。五〇年中国進出口(輸出入)公司副經理。五四年六月中共貿易訪問團團長としてジュネーブより訪英。五四年十一月—五五年一月当時中国進出口公司代經理。五五年十月—十二月の間中共見本市代表團團長として訪日。五六年十二月当時進出口公司經理。

曹荻秋 Tsao Ti-chiu

四川省の人。五〇年西南軍政委員会委員、重慶市人民政府副市长。五一年同市長。五三年一月西南行政委員会委員。三月—九月当時中共重慶市委員会書記。五四年二月当時人民解放軍慰問代表團第三總分團副團長。五月—六月当時中共重慶市委員会第一書記。五四年七月第一期全国人民代表大会重慶市代表。五五年二月当時中共重慶市委員会書記、同市協商委員会主席。十二月上海市副市长。五六

暨南大学教授を歴任。三八年蔣經國が江西省南部で行政督察專員をしていた頃、その機関紙「正義日報」の編集長。後「前線日報」の主筆。五〇年上海より香港に移り、創藝社により文筆を業とす。著書「採訪新記」「蔣經國論」「文壇五十年」「中国剪影」「乱世哲学」。

曹祥仁 Tsao Hsiang-jên

五二年六月—五四年十月中共駐ブルガリア大使。五五年一月國務院第一機械工業部副部長。八月当時中共・東独技術および技術科学合作常任委員会中共組組長。

曹聖芬 Tsao Shêng-fên 1914~

湖南省益陽の人。三七年中央政治大学卒業。三七年—三九年中央通訊社主筆。三九年總統秘書。四五年—四八年国民政府秘書。四八年—四九年總統府秘書。五〇年同第一局副局長。五二年—五三年中央日報副社長。五五年以来中華日報發行人。著書「從日常行中認識蔣總統」。

曹靖華 Tsao Ching-hua

河南省盧氏の人。多年ソ連に留学。魯迅の最も信頼した友といわれる。また中国へソ連文学をロシア語原書から紹介した最初の人といわれる。代表的翻譯は「鉄の流れ」、「われは働く人民の子」、「虹」、「ツァライチン防衛戦」、「油槽船デービン号」、「城と年」を始め十数冊。戦争中西南連合大学教授。四九年北京清華大学教授。全国文連委員。中ソ友好協会總會理事。五三年十一月—五六年六月当時北京市中ソ友好協会副會長。五三年十月中国文学芸術界連合会第二期全国

年一月当時中共上海市委員会副書記。六月全国人民代表大会第三次會議提案審查委員会委員、同副主任委員。五七年一月上海市副市长に再選(常務副市长)。

曹伯聞 Tsao Po-wên

五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(特別招請人士)。五五年二月湖南省人民委員会委員、湖南省高級人民法院院長。同月政治協商會議第一期湖南省委員会副主席。五六年二月国民党革命委員会中央委員。

曹文彦 Tsao Wên-yên 1908~

浙江省の人。五三年米カリフォルニア大学博士号。三六年—四四年在オーストラリア副領事、領事。四四年—四五年英文中国年鑑主筆。五一年 Free China Review 發行人兼主筆。五三年—五四年国民党中央委員会秘書。四七年—五五年建国学院法律商科教授、国立台湾大学法学部教授、蘇州大学法学部教授。五四年—五五年教育部國際文教処長。五五年以来教育部基準著作物の翻譯出版委員会主任、東呉大学校長。

曹葆銘 Tsao Pao-ming

五四年一月—五六年二月当時人民日報記者。

曹孟君(女) Tsao Mêng-chün

長沙省立女子師範学校で最初に断髪し退校処分をうけたといわれる。国民党の南京食都後、南京婦女文化促進会で托児所開設。「抗



日七君子」の獄の時入獄。戦時中漢口で王崑崙と結婚、重慶歌樂山で第一保育院を経営。戦後、上海に帰り中央銀行研究員、「現代婦女」を編集。四九年中国人民救国会代表として政治協商会議に出席。五三年一月婚姻法貫徹運動委員会委員、同副秘書長。一月―七月当時中華全国民主婦女連合会副秘書長。五三年四月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員、同常務委員。同月世界婦人大会出席中共代表团員。六月コペンハーゲンにて開催の世界婦人大会出席。十月中国人民第三回訪鮮慰問団第一總分団副秘書長。五四年五月中国人民对外文化協會理事。七月当時中ソ友好協會理事。八月第一期全国人民代表大會湖南省代表。十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(民主婦女連合会)。同月中ソ友好協會總會第二回理事會理事。五五年三月アジア諸国会議中共代表团員。六月―五六年二月当時中華全国民主婦女連合会書記処書記。五五年六月当時世界母親大會準備委員会委員。十一月中国エジプト友好協會理事。

曹 又 參 Tsao Yu-tsan

五四年九月寧夏省人民政府委員解任。十二月甘肅省人民委員会委員。

曹 湧 泉 Tsao Yung-chian

五二年二月中共駐ソ大使館公使待遇參事官。五五年一月駐東独大使。

曹 翼 遠 Tsao I-yüan 1909~

浙江省の人。四二年―四三年貴州省安龍縣長。四四年―四五年總

統府秘書。四五年―四八年国民政府秘書。四八年―四九年總統府秘書。五〇年行政院顧問。五〇年―五二年考試院銓叙部顧問および組長。五二年国府銓叙部政務次長。

曹 里 槐 Tsao Li-huai

福建省の人。延安時代第一八集團軍留守部隊司令部參謀長。人民解放軍第一五兵团第四九軍長。五一年朝鮮に出動。五四年六月当時人民解放軍中南军区空軍司令。五六年二月当時人民解放軍広州駐軍領導機關責任者、空軍中將。

曹 魯 Tsao Lu

五四年五月当時政務院輕工業部輕工業管理局副局長。

莊 炎 林 Chuang Yen-lin

五三年七月新民主主義青年団第二期中央委員会候補委員。五五年二月福建省人民委員会委員。

莊 傑 Chuang Yen

五三年四月―五四年五月当時中華全国総工会國際連絡部副部長。五三年九月ウイーンにて開催の世界労連第三回代表大会中共工会代表团員。

莊 果 Chuang Kuo

五四年五月当時湖北省人民政府財政經濟委員会副主任。

莊 希 泉 Chuang Hsi-chian

福建省廈門の人。現在六七歳位。シンガポール南洋女子中学創立発起人、フィリピン前駆日報経営者、一時北京帰国華僑連誼会副主席といわれる。中国民主同盟所属。四九年政務院華僑事務委員会副主任委員、兼同委員会生産救済司司長。五四年九月第一期全国人民代表大會華僑代表。同月同大会代表資格審査委員会委員。十一月国務院華僑事務委員会副主任。五六年六月全国帰国華僑連合会準備委員会副主任委員。十月同連合会副主席。

莊 奎 章 Chuang Kui-Chang 1899~

福建省惠安県の人。現在シンガポール在住華僑。文具用品商、光明書店経営者。五六年七月シンガポール工商業貿易視察団員として日本ついで中共訪問。

莊 惠 泉 Chuang Hui-chian (Chuang Hui-tuan) 1900~

福建省安溪県の人。シンガポール在住華僑。印刷業兼文具商。馬華印刷有限公司董事兼經理。五六年八月シンガポール工商業貿易視察団員として中共を訪問。

莊 成 宗 Chuang Chêng-tsung

香港在住五六年三月政治協商會議広東省第一期委員会常務委員、当時香港福建商会主席。

莊 長 恭 Chuang Chang-kung

福建省の人。現在五七歳位、米国留学、科学院有機化学研究所長といわれる。五四年四月科学院物理化学学部副主任。八月第一期全国人民代表大會福建省福州市代表。五五年五月中国科学院物理学数学化学学部委員。六月同学部常務委員会委員。五六年三月国務院科学規劃委員会委員。

莊 田 Chuang Tien

海南島崖瓊万寧県生れ。北伐に参加。モスクワに留学し軍事を研究。帰国後江西紅軍に参加し、团长、団政治委員。三四年西遷に参加。四〇年日本軍海南島作戦中、馮白駒と崖瓊抗日独立縦隊を組織し、副司令。四六年一月政治協商會議の際南京に赴き崖瓊縦隊の北方移動を談合して成らず、その後広東南部で遊撃工作。四九年一月桂滇黔辺縦隊成立と共に司令。五一年冬越南国境に集結。人民解放軍雲南军区副司令員兼西南軍政委員会委員。五三年一月西南軍政委員会委員解任。一説に第二野戦軍第五兵团第一六軍軍長、貴州省军区副司令員、貴州省人民政府委員といわれる。

莊 慕 蘭 (女) Chuang Mu-lan

新民主主義青年団員。国務院対外貿易部通訳(英語専門)。五五年三、四月の間中共貿易代表团通訳として来日。

莊 明 理 Chuang Ming-li

福建省晉江生れ。ペーリ華僑。元国民党員。少時泉州の培元中学



入学。後ベナンで兄と協成公司を經營し、華僑送金貿易に従事。戦前「現代日報」を經營。四〇年国外追放処分を受け帰国、重慶に居住。四五年マレーに帰り、同地の民主同盟に加入。ベナンの民主同盟機関紙「商業日報」の社長。民主同盟ベナン支部副主席。四九年政務院華僑事務委員会委員、政治協商會議全國委員會委員。五三年十一月全國工商業連合会第一期執行委員。五四年九月第一期全國人民代表大會華僑代表。五六年二月中國亞洲團結委員會委員。六月全國歸國華僑連合会準備委員會副主任委員兼秘書長。十月同連合会副主席兼秘書長。同月國務院華僑事務委員會副主任。五六年十二月全國工商連第二期執行委員（華僑）。

莊 林 Chuang Lin

五二年一月ハルビン鐵道管理局副局長。

曾 一 凡 Tseng I-fan

五四年十一月國務院副秘書長。

曾 遠 輝 Tseng Yuan-hui

五三年九月當時內蒙古自治區人民政府外事處處長。五五年八月當時內蒙古自治區人民委員會外事處處長。

曾 恩 波 Tseng En-po (Tseng, Eddie) 1915~

広東省の人。広東嶺南大学修学。四〇年燕京大学卒業。四〇年一四一年香港 Daily Press 通信員。四一年一四二年香港 South China Morning Post 通信員。四二年一四五年中央通訊社從軍記

者。四五年一五〇年中央通訊社東京支局首席通信員。五二年以来中央通訊社英語部部长。五三年以来中央通訊社副總編集。

曾 漢 周 Tseng Han-chou

五四年六月中央人民政府最高人民法院副秘書長、最高人民法院辦公厅主任。十一月最高人民法院庭長。五五年二月最高人民法院審判委員會委員。

曾 希 聖 Tseng Hsi-shêng

湖南省生れ。黄埔軍官学校出身。中央革命軍事委員會參謀。四一年新四軍第七師司令。中共安徽省委員會書記。人民解放軍華東軍区政治部主任。五〇年一月華東軍政委員會委員。五二年八月安徽省人民政府成立とともに政府主席。五三年一月華東行政委員會委員。五四年三月一五六年三月當時中共安徽省委員會書記。五四年八月第一期全國人民代表大會安徽省代表。九月同大会第一次會議提案審查委員會委員。五五年三月安徽省人民委員會委員。五六年九月中共第八期中央委員會委員、中共八全大会にて「安徽省の農業増産について」発言、當時中共安徽省委員會第一書記。

曾 毅 Tseng I

華北大学工學院副院長。五三年一月北京工業學院副院長。五四年十二月國務院高等教育部教學指導司司長。

曾 虛 白 (筆名) (原名、蕪。字、煦白)

Tseng Hsi-pai (Trao, Hsi-pai) 1894~

曾 慶 梅 Tseng Ching-mei

五五年三月安徽省人民委員會委員。

曾 憲 輝 Tseng Hsien-hui

五五年二月貴州省人民委員會委員。

曾 憲 植 (女) Tseng Hsien-chih

五三年一月一五六年四月當時中華全國民主婦女連合会副秘書長。五三年四月中華全國民主婦女連合会第二期執行委員、同常務委員。五四年八月第一期全國人民代表大會湖南省代表。五五年六月ヘルシオンキ世界平和大会中共代表團成員。

曾 憲 樸 Tseng Hsien-pu

五三年八月當時政務院農業部特產司副司長。

曾 彥 修 Tseng Yèn-hsiu

五三年八月當時中央黨中央華南分局宣傳部副部長。

曾 廣 漢 Tseng Kuang-han

広東省新会県の人。ホノルル在住華僑。国府農林部專員、国民党ハワイ総支部書記長、僑務委員會僑民視察專員等を歴任。

曾 廣 福 Tseng Kuang-fu

五四年八月第一期全國人民代表大會山東省代表。

江蘇省常熟の人。一八年上海セントジョン大学卒業。長沙湘雅大学英文教授。財政部関稅委員、煙酒事務署秘書。天津交涉公署第一科長ならびに會計処主任。江蘇省公署顧問。交通部秘書。国民政府參事処參議。金陵女子大学中国文学系主任。三二年一三六年大晚报を創刊、その総経理、総主筆。三五年一三七年軍事委員會參事。三八年一四七年宣傳部國際宣傳処長兼中央政治学校新聞學院副院長。四七年一四八年新聞局次長。五〇年中国广播(放送)公司副總經理。五〇年一五二年国民党中央改造委員。五〇年中央通訊社社長。五二年中国广播公司總經理。

曾 鏡 冰 Tseng Ching-ping

四五年中共七全大会で候補中央委員。華東軍政委員會土地改革委員會委員。五二年福建省人民政府委員兼人民法院院長。五四年六月華東軍政委員會土地改革委員會委員解任。五五年二月福建省人民委員會委員。中共福建省委員會副書記といわれる。

曾 今 可 (名、國珍) Tseng Chin-ké (Kuo-chén)

1901~

江西省泰和県の人。早稻田大学政治経済学部卒業。三七年審計部浙江省審計処勤務。江西省保安司令部政治部上校科長、江西政治日報社社長。広東、浙江省政府參議。浙江省抗敵自衛總部政治部上校科長。湘鄂贛辺区挺進軍總部少將參議、兼開平日報社社長代理。中央軍校西南遊撃幹部訓練班等の上校政治教官。中央文化運動委員會委員。四六年正気出版社總幹事。四八年台湾省通志館(文献委員會)主任秘書。「台湾詩報」および「台湾詩選」を主宰。



曾 克 Tseng Ké

江西省の人。現在三九歳位。人民解放軍總司令部作戦部第三局第一副局長といわれる。五四年九月西南軍政委員会文化教育委員会委員解任。

曾 卬 Tseng San

五四年八月第一期全国人民代表大会河北省代表。十一月国家檔案(記録文書)局局长。五六年九月中共八全大会にて「記録文書活動をよりよく国家建設のために奉仕させよ」と発言。

曾 卮 Tseng Shan 1904~

江西省の人。三一年十一月瑞金に中華ソヴィエト政府樹立当時、六三名の中央執行委員の一人。江西ソヴィエト主席。中共中央華中局組織部主任。四五年三月華中に建設大学設置と同時に校長。中共七全大会で中共中央委員会委員。中共中央華中局組織部長。四八年八月華北人民政府財政經濟委員会委員。四九年四月新民主主義青年団創立準備委員。四九年十月政務院政務委員兼財政經濟委員会委員。政務院紡織工業部部長。華東軍政委員会副主席兼財政經濟委員会主任。人民銀行華東区行經理。五一年治淮委員会主任兼任。五二年八月政務院財政經濟委員会副主任。政務院商業部部長。五三年一月華東行政委員会副主席。五四年七月中華全国供銷(購販)合作總社監事會主任。五四年九月國務院商業部部長。十一月國務院第五辦公室副主任。十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(共產党)。五六年四月全国先進生産者代表會議主席団員。五月アルバニア労働

党代表大会に中共中央代表として参加。九月中共第八期中央委員会委員、中共八全大会にて「日用工業品の生産と分配の仕事を改善せよ」と発言。十一月商業部部長解任。

曾 志(女) Tseng Chih

湖南省宜章県の人。現在四五歳位。三三年中共に入党、かつて中共広州市委員会婦工部副部長、広州電業管理局局長を歴任したといわれる。五三年一月中南軍政委員会委員解任。五四年八月第一期全国人民代表大会広州市代表。五五年九月当時中共広州市委員会副書記。

曾 惇 Tseng Tun

五三年三月武漢市建築工人教育委員会主任委員、当時中共武漢市委員会宣伝部副部長。五五年八月当時中国人民世界平和擁護委員会武漢分会副主席。

曾 庶 凡 Tseng Shu-fan

五四年九月西南軍政委員会人民監察委員会委員解任。五六年二月民主同盟第二期中央委員会委員。

曾 恕 懷 Tseng Shu-huai

五五年二月雲南省人民委員会委員。五六年八月昆明市副市長。

曾 少 東 Tseng Shao-tung

五五年四月当時浙江省人民委員会副秘書長。

曾 昭 燾(女) Tseng Shao-yü

五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(中華全国民主婦女連合会)。

曾 昭 森 Tseng Chao-sên

米國に留学、コロンビア大学博士号。教授。四九年十月政務院文化教育委員会委員。

曾 昭 生 Tseng Shao-shêng

五三年二月当時中国人民抗米援朝總會辦公庁主任。四月当時中国人民世界平和擁護委員会辦公庁主任。十月中国人民第三回訪鮮慰問団総団副秘書長。五四年九月安東における中国人民志願軍帰国部隊歓迎会抗米援朝總會代表。

曾 昭 掄(叔偉) Tseng Chao-lun(Shu-wei) 1898~

湖南省湘郷県の人。清華学校卒業。米マサチューセッツ工科大学留学。化学で博士号。帰国後南京中央大学理化学系助教、北京大学化学系教授、北京大学教務長兼校務委員会委員。四九年六月華北人民政府華北高等教育委員会常務委員。九月中華全国第一次自然科学工作者代表大会準備委員会代表として政治協商會議に出席、同会議全国委員会委員。五〇年十二月政務院教育部高等教育司司長。五三年六月一五四年六月当時政務院教育部副部長。五三年十月一五四年二月当時北京市抗米援朝分会副主席。五四年二月人民解放軍慰問代表団直屬総分団副団長。四月当時世界平和擁護委員会北京市

總分会副主席。五月一五五年二月当時中華全国自然科学専門学会連合会副主席。五四年八月第一期全国人民代表大会湖南省代表。十一月國務院高等教育部副部長。十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(教育界)、中ソ友好協會第二次全国代表大会代表(中国民主同盟)。五五年五月中国科学院物理学数学化学学部委員。六月同常務委員会委員。五六年二月中央標準語普及工作委員会委員。同月民主同盟第二期中央委員会委員、同中央常務委員会委員。七月中国化学会準備委員会副主任委員。十一月中国エジプト友好協合理事。

曾 震 五 Tseng Chên-wu

湖南省の人。五一年西北軍政委員会委員兼交通部副部長。五三年一月西北行政委員会委員。十月中国人民第三回訪鮮慰問団第二總分団副団長。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(特別招聘人士)。同月陝西省人民委員会委員。五六年二月国民党革命委員会候補中央委員。

曾 生(原名、振聲) Tseng Shêng (Chên-shêng) 1910~

広東省恵陽の人。香港で勉学。後ソドニーの父の膝下で六年間居住。帰国後広州大学教育系入学。陳濟棠の学生圧迫時香港に逃れ皇后者の海員。日華事变勃発後恵陽に帰り遊撃隊を組織。四三年中共指導下の東江縦隊司令員。その後煙台で両広縦隊を編成、両広「解放」後帰郷。広東省人民政府委員。五四年八月第一期全国人民代表大会広東省代表。



曾成發 Tseng Cheng-fa

福建省の人。ビルマ在住華僑。華商商会副理事長、義築公司の経営者。ソ連およびチェコの機械類のエーゼント。ロータリー・クラブのメンバー。ビルマ政界に知人が多いといわれる。

曾魁元 Tseng Su-yuan

五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(特別招請人士)。

曾澤生 Tseng Tsé-sheng 1902~

雲南省永善県の人。黄埔軍官学校第四期卒業生。国府軍第一八二師師長。東北へ転戦し第六〇軍長。四八年九月長春守備区より全軍中共軍へ寝返り、改編人民解放軍第五〇軍長、華南「解放」戦に参加。四九年九月中国人民解放軍第四野戦軍代表として政治協商會議に出席。五〇年中南軍政委員会委員。十月人民解放軍第一六兵团第五〇軍長として朝鮮に出動。五三年一月東北行政委員会委員。五四年八月第一期全国人民代表大会長春市代表。九月東北行政委員会委員解任。同月国防委員会委員。五五年九月一級解放勳章を授与さる。

曾呈奎 Tseng Cheng-kui

五六年六月中ソ朝越四国漁業研究會議中共政府代表团全体代表。

曾滌 Tseng Ti

五三年三月当時人民解放軍新疆軍区政治部副主任。

曾傳六 Tseng Chuan-liu

湖北省の人。中南軍政委員会貿易部長兼物資管理局局長。五三年一月中南行政委員会委員。十一月全国工商業連合会執行委員。五四年八月第一期全国人民代表大会河南省代表。十一月国務院商業部副部長。

曾德林 Tseng Tè-lin

五三年七月新民主主義青年團第二期中央委員。五四年三月当時同團重慶市委員会書記。

曾美 Tseng Mei

五三年三月当時京津衛戍司令部副參謀長。五四年十月当時人民解放軍京津衛戍司令部參謀長。五五年九月一級解放勳章を授与さる。五六年六月当時人民解放軍少將。

曾文昌 Tseng Wên-chang

五四年八月第一期全国人民代表大会雲南省代表。十一月当時雲南省工業労働模範。

曾平 Tseng Ping

五三年九月—五四年二月当時北京市中ソ友好協会総幹事。五四年四月当時中ソ友好協会ソ連メーデー參觀団員。五六年十二月当時世界平和擁護委員会北京市分会副秘書長。

曾保堂 Tseng Pao-tang

五四年四月—五五年八月当時人民解放軍山西軍区副司令員。

曾寶蓀(女) Tseng Pao-sun 1894~

湖南省の人。一六年ロンドン大学卒業。一九年—二〇年湖南省立第一女子師範学校長。三一年—三二年湖南省立第二中学校長。二九年太平洋問題調査会京都會議中国代表。三一年同杭州會議中国代表。三八年印度タムパラム會議中国代表。四〇年国民参政會議員。四八年以来国民大会代表。四九年印度において開催の世界平和論者会(ガンジー主義者会)中国代表。五二年婦人の地位に関する国連委員会中国代表。

曾湧泉 Tseng Yung-chuan

湖南省の人。五二年二月中共駐ソ大使館公使。十月彭明治のあとをうけて駐ポーランド大使。五三年一月ワルシャワで行われた「中国ポーランド文化合作協定五三年度執行計画」調印式に駐ポーランド大使として参列。五五年一月駐東独大使。五月ドイツ「解放」十周年慶祝式典参加の中共政府代表团団員。十二月ビーク大統領誕生八十年祝典参加の中共代表团員。五六年三月中共中央派遣のドイツ統一社会党第三次代表大会参列代表团団員。

操震球 Tsao Chên-chiu

五五年三月安徽省人民委員会委員。

霜耐冬 Shuang Nai-tung

保僱族。五四年八月雲南省怒江保僱族自治区人民政府副主席。

叢一平 Tsung I-ping

五二年十二月当時中共西安市委員会秘書長。

雙清 Shuang Ching

五五年二月貴州省人民委員会委員。同月政治協商會議第一期貴州省委員会副主席。五六年二月民主同盟第二期中央委員会委員。

臧君宇 Tsang Chin-yü

五五年九月中共駐ノールウェー大使館参事官。

臧啓懷 Tsang Chi-huai

五五年二月河北省人民委員会委員。

臧啓芳(哲軒) Tsang Chi-fang (Chè-hsuan) 1894~

遼寧省蓋平県の人。北京大学、米カリフォルニア大学に学ぶ。二六年—二八年東北大学部長。二九年—三〇年天津市代理市長。三七年—四七年東北大学校長。四八年—四九年国立政治大学教授。四九年以来「反攻」半月刊総編集。

臧克家 Tsang Kè-chia

詩人、作家。詩集「烙印」、「自分の写真」、「運河」を著す。戦後短篇小説創作、文芸雑誌「文訊」編集。五三年十月中国作家協合理事会理事。五六年十二月同協会書記処書記。



臧成耀 Tsang Cheng-yao

五五年十二月当時農業者經濟作物生産總局棉産処処長。

東雲章 (名、士方) Shu Yun-chang (Shih-fang) 1887~

江蘇省丹陽の人。一〇年京師大学堂卒業。一一年陝西留學預備科教授。一五年中国銀行に入る。一八年漢口中国銀行副經理、天津中国銀行副經理。三六年西安中国銀行總經理、雍興公司總經理。戰後行政院紡績事業管理委员会主任委員、中国紡織建設公司總經理。四八年立法委員、中紡公司董事。四九年中紡公司董事長。五一年雍興公司董事長。五六年四月中華民國各界日本親善訪問団員として来日。

粟樹彬 Su Shu-pin

五六年一月中国オリンピック委員会(中共側)委員。

粟裕 Su Yu 1909~

湖南省出身。二六年北伐の時、第四軍獨立団(葉挺)の学生隊に参加。その後中共に入党。二七年八月南昌暴動に参加、失敗後朱徳とともに井崗山に入り団長。二九年江西省農民を組織し、紅軍第六四師長。三一年林彪の第四軍教導營長、紅軍大学生隊營長。三二年紅軍第一〇軍參謀長。三四年紅軍西遷後、方志敏とともに北上、紅軍抗日先遣隊參謀長として浙江、湖南、福建省境一帯に遊撃戦を展開。方志敏が銃殺された後先遣隊司令に昇格。三八年新四軍成立と

ともに江南に進出、遊撃戦を展開。三九年新四軍蘇北指揮部副司令員。四一年皖南事件後新四軍第一師長、蘇中軍区司令兼政治委員。四四年蘇浙皖邊区司令。四五年中共七大で中共候補中央委員。四九年華東軍政委員会副主席。人民解放軍第三野戰軍副司令員。十月中央人民政府人民革命軍事委員会委員。十一月南京市長。その後人民革命軍事委員会副總參謀長。五三年一月華東行政委員会副主席。五四年八月第一期全国人民代表大會人民解放軍華東軍区代表。九月国防委員会委員。五四年十二月—五五年六月当時人民解放軍總參謀長。五四年十二月中ソ友好協會第二次全國代表會代表(軍隊)。五五年九月一級八一勳章、一級獨立自由勳章および一級解放勳章を授与さる。同月人民解放軍大將。

粟凌岐 Su Ling-chi

五六年二月当時中共魯山県(河南省)委員会宣伝部副部長。

續範亭(範高) Hsi Fan-ting (Fan-kao)

山西省行政督察專員趙承綬麾下の暫編第一師長。三九年閩錫山に叛逆し中共に加担。四〇年陝甘寧晉綏連防軍副司令。

孫維世(女) Sun Wei-shih

五三年六月中華全國民主青年連合會第二期全國委員會候補委員。五四年四月—五五年十月当時中国青年芸術劇院副院長。五四年十二月政治協商會第二期全國委員會委員(新民主主義青年団)。同月中ソ友好協會第二次全國代表會代表。

孫維忠 Sun Wei-chung

五四年七月天津市労働模範。五六年一月政治協商會第二期全國委員會特別招請委員。

孫蔚如 Sun Wei-ju 1894~

陝西省の人。北京軍官学校卒業。三二年第三八師師長。かつて国民革命軍陸軍第一七師師長(楊虎城軍)。三六年西安事變の結果軍職を辭し、陝西省政府主席。その後中国国民党革命委員会団結委員。四九年国府第六戰区總司令当時中共に投降。五〇年西北軍政委員會委員、政治法律委員會委員。五三年一月西北行政委員會委員、陝西省人民政府委員。当時陝西省人民政府財政經濟委員會委員。十月中国人民訪鮮慰問団第二總分団副団長。五四年六月西北軍政委員會土地改革委員會委員解任。九月国防委員會委員。五五年三月政協會議陝西省第一期委員會副主席。五六年二月国民党革命委員會中央委員。

孫毓棠 Sun Yü-tang 1910~

江蘇省無錫の人。国立清華大学歴史学系卒業。東京帝大大学院歴史学部で兩漢史を専攻。著書「海盜船」(三四年出版)「夢郷曲」(三五年出版)「宝馬」および未刊行の「兩漢史劄記」。民主同盟員。清華大学教授。四九年初め当時毛澤東支持声明派の一人。

孫軼青 Sun I-ching

五三年七月新民主主義青年団第二期中央委員。五五年七月ワルシ

ヤワにおける第五回世界青年および学生平和友誼交歓會参加の中国青年代表団員。

孫雨亭 Sun Yü-ting

五三年一月西南行政委員會民族事務委員會副主任。

孫雲鑄 Sun Yun-chu

五四年二月当時地質学会理事會常任理事。五五年六月中国科学院生物学地質学部委員。五六年一月政治協商會第二期全國委員會特別招請委員。二月九三学社第四期中央委員會委員。

孫衛和 Sun Wei-hé

五五年一月当時河南省人民政府交通庁副庁長。

孫越崎 Sun Yieh-chi

五一年政務院財政經濟委員會中央財經計画局副局長。五四年十二月政治協商會第二期全國委員會委員(自然科学団体)。五六年二月国民党革命委員會中央委員。

孫泐 Yang Sun Yang

五五年十月当時國務院国家計画委員會研究編纂室主任。五六年十一月国家計画委員會委員。

孫科(哲生) Sun Ké (Sun Fo, Ché-sheng) 1895~



広東省の人。故孫文の子息。米カリフォルニア大学およびコロ  
ンビア大学卒業。三五年国立復旦大学名誉法学博士。二一年―二六年  
広東市市長。二六年交通部長、国民党中央党部青年部長、中央特別  
委員会委員。二七年―二八年財政部部長。二八年―三一年鉄道部部  
長、考試院副院長。三二年―四八年立法院院長。二六年―五〇年国  
民党中央執行委員。四六年政治協商會議議長。四八年憲政下初代副  
総統に立候補、五月立法院長。十二月―四九年三月行政院長。七月  
国民党非常委員会委員。

孫格巴登 Sun-kê-pa-têng

五六年四月西藏自治区準備委員会文教処処長。

孫格巴頓 Sun-kê-pa-tun

五五年五月―五六年二月当時班禪額爾德尼駐京辦事処処長。

孫漢章 Sun Han-chang

五六年九月中共八全大会にて「貴定県幹部の養成について」發  
言、当時中央貴州省貴定県委員会書記。

孫希同 Sun Hsi-tung

五六年十二月当時中国五金進出口公司（中共側）員。

孫其祥 Sun Chi-hsiang

五五年十月当時中共甘肅省礼泉県委員会農村工作部部长。

五四年十月当時中共駐ブルガリア大使館商務副專員。

孫曉邨 Sun Hsiao-tsun

南京国民政府資源委員会副主任。四九年十月政務院財政經濟委員  
会委員。五一年同委員会計画局副局長。北京農業大学校長。五三年  
一月当時中国民主建国会北京市分会主任委員。二月北京中ソ友好協  
会副會長。五四年五月中国人民对外文化協會理事。八月第一期全国  
人民代表大会山東省代表。十一月当時中国銀行董事。五六年二月  
中国亜細亞團結委員会委員。三月当時政治協商會議全国委員会學習委員  
会委員。

孫玉書 Sun Yu-shu

五二年九月国府駐日大使館一等書記官。

孫金城 Sun Chin-chêng

西安医科大学講師。五六年十月―十一月アジア産業保健會議出席  
のため団員として来日。

孫君一 Sun Chün-i

五四年十二月青海省人民委員会委員。五五年六月当時中共青海省  
委員会宣伝部長。

孫桂籍 Sun Kuei-chi 1911~

黒龍江省の人。国立北平大学に学ぶ。旅順、ついで長春市長。四  
八年国府立法委員。

孫起孟 Sun Chi-mêng

安徽省休寧の人。蘇州の東呉大学卒業後上海申報の編集員。三三  
年貴州に行き、顧祝同の四川剿匪總司令部秘書等。後貴州省立第一  
師範学校校長。星粵日報の副総編集人。黄炎培の指導する上海の職  
業教育社総書記。四九年香港に赴き、通訊大学経営。十月政務院副  
秘書長兼人事局長。五〇年九月政務院人事部副部長。五三年十一月  
全国工商業連合会第一期執行委員。五四年八月第一期全国人民代表  
大会安徽省代表。十月同大会常務委員会副秘書長。十一月国務院第  
八辦公室副主任。十二月政治協商會議第二期全国委員会委員（中国  
民主建国会）、同常務委員。五六年十二月全国工商業連合会第二期  
特別招請執行委員。

孫毅(燕士) Sun I (Yên-shih)

河北省の人。現在五五歳位、保定軍官学校卒業、四八年第一七兵  
団司令員、五〇年中共軍河北軍区司令員、五一年志願軍右翼軍司令  
員、五三年特種部隊司令員といわれる。五三年三月当時人民解放軍  
華北軍区副參謀長。五五年九月一級八一勳章、一級独立自由勳章お  
よび一級解放勳章を授章される。

孫毅華 Sun I-hua

人民解放軍川南（四川省南部）軍区衛生部部长。五三年一月華西  
大学副校長。

孫吉玉 Sun Chi-yü

孫景華 Sun Ching-hua 1904~

福建省の人。三五年ロンドン大学博士号。四四年資源委員会電気  
化学冶金廠副總經理。四六年台湾アルミニウム廠總經理。五〇年  
以来台湾アルミニウム廠董事長。

孫景斌 Sun Ching-pin

五六年一月当時中国科学院応用化学研究所學術委員会委員。

孫敬之 Sun Ching-chih

五三年五月当時中国地理学会書記、中国人民大学經濟地理教研室  
主任。五六年二年国際地理学科會議に出席の中共代表団員として  
インド訪問。

孫敬文 Sun Ching-wên

五四年八月当時政務院建築工程都城市（都市）建設局局长。十一月  
国務院国家建設委員会委員。五五年四月同院城市建设總局副局長。

孫謙 Sun Chien

五三年十月中国作家協合理事会理事。五五年十二月当時映画シナ  
リライター。

孫元良 Sun Yuan-liang 1904~

四川省華陽県の人。二四年黄埔軍官学校卒業。二六年北伐第一路  
軍第一營長。二七年―二九年日本陸軍士官学校に在学、特別砲兵隊



長、国民軍第二師第七团长。三二年第五軍第二五九旅長。三三年第八八師長、陸軍大学卒業。三三年—三七年第八八師師長、第七二軍軍長。三九年欧米において軍事科学ならびに裝備を研究。四四年第二八集團軍副司令、第二九軍長。四六年第四七軍長。四七年第一六兵団司令官。四九年各地に転戦したが、部下の背叛に遭い台湾に退く。著書「世界軍事史」「ナポレオン兵法」。

孫 光 瑞 Sun Kuang-jui

五五年二月河北省高級人民法院院長。

孫 光 普 Sun Kuang-pu

五六年十二月当時中国糧穀油脂出口公司天津分公司經理。

孫 孝 菊 (女) Sun Hsiao-chü

全国鐵路模範(齊齊哈爾鐵路分局副調度長)。五三年四月中国第二回全国婦人代表大会主席団員、中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。同月总工会東独マデー參觀団団員。同月—七月コペンハーゲンで開催の世界婦人大会出席代表団団員。五四年八月第一期全国人民代表大会黒龍江省代表。

孫 香 雲 (女) Sun Hsiang-yün

五四年八月第一期全国人民代表大会河南省代表。

孫 康 Sun Kang

五五年二月雲南省人民委員会委員。

孫 鴻 泉 Sun Hung-chüan

五五年三月山東省人民委員会委員。

孫 作 賓 Sun Tso-pin

五三年九月当時中共中央西北局統一戰線工作部副部長。五四年八月第一期全国人民代表大会青海省代表。十二月青海省省長。

孫 志 遠 Sun Chih-yüan

五〇年頃西南軍政委員会委員兼秘書長。五二年十一月政務院副秘書長。五四年八月第一期全国人民代表大会四川省代表。十一月国務院第三辦公室副主任。同月国務院国家建設委員会副主任。五六年十一月国務院国家經濟委員会副主任。五六年三月全国文盲一掃協会委員。

孫 淑 芝 (女) Sun Shu-chih

五四年十二月政治協商会議第二期全国委員会委員(教育界)。

孫 純 Sun Chun

五三年四月—五四年十二月当時対外貿易部進口(輸入)局副局長。

孫 書 棋 Sun Shu-chi

五六年一月当時科学院応用化学研究所學術委員会委員。

孫 承 佩 Sun Chêng-pei

五四年十二月政治協商会議第二期全国委員会委員(九三学社)。

五六年二月九三学社第四期中央委員会委員。

孫 松 山 Sun Sung-shan

五四年六月当時旅大市人民代表大会代表。

孫 章 録 Sun Chang-lu

五三年十一月全国工商業連合会第一期執行委員。

孫 湘 Sun Hsiang

五三年十一月当時天津鐵路管理局副局長。

孫 照 森 Sun Chao-sên

五五年二月遼寧省人民委員会委員。

孫 振 華 Sun Chên-hua

五三年七月新民主主義青年団第二期中央委員。

孫 慎 Sun Shên

五四年三月当時群衆歌曲評選委員。五五年六月—十一月当時中国音楽家協会副秘書長。

孫 綏 之 Sun Sui-chih

五六年十二月全国工商業連合会第二期執行委員(貴州省)。

孫 正 Sun Chêng 1930~

中共黨員。北京新聞學校卒業。中共中央社会部工運科職員。中国人民出版社職員。五五年十月—十一月の間中共見本市代表団工作員として来日。

孫 星 甫 Sun Hsing-fu

五五年二月吉林省人民委員会委員。

孫 盛 泉 Sun Shêng-chüan

中共黨員。中共中央書記処員。五五年三、四月エカフェ会議にオブザーバーとして出席の世界労連代表団の通訳として来日。五五年八月広島における原爆禁止世界大会の際通訳として来日。五六年十一月中共工会通訳として来日。

孫 先 風 Sun Hsien-fêng

中国国際貿易促進委員会職員。五五年十月—十一月の間中共見本市代表団工作員として来日。

孫 然 Sun Jan

五三年七月当時政務院燃料工業部炭礦管理総局局長。

孫 祖 年 Sun Tzu-nien

五四年一月—五六年一月当時人民日報記者。



孫 蓀 荃(女) Sun Sun-chüan

五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(九三學社)。  
五六年二月九三學社第四期中央委員會委員。

孫 大 光 Sun Ta-kuang

五三年九月當時政務院交通部計司司長。五四年六月東北航海學院院長解任。五五年一月國務院交通部部長助理。五月—六月オランダで開催された燈台および航海問題國際會議に出席。

孫 仲 逸 Sun Chung-i

五五年二月広西省人民委員會委員。五月広西農學院院長。

孫 仲 德 Sun Chung-tê

五四年六月安徽省人民政府委員解任。八月第一期全國人民代表大會安徽省代表。五五年四月上海第二醫學院院長。

孫 忠 靖 Sun Chung-ching

五四年八月—五六年一月當時新華社記者。

孫 哲 昕 Sun Chê-hsin

五六年十二月全國工商業連合會第二期執行委員(山西省)。

孫 傳 祿 Sun Chuan-lu

五五年八月當時広東省對外貿易局局長。

孫 殿 才 Sun Tien-tsai

寧夏省の人。中共寧夏省工作委員會書記。四九年末西北軍政委員會委員兼寧夏省人民政府副主席。五三年一月西北行政委員會委員。五四年八月第一期全國人民代表大會甘肅省代表。九月甘肅省人民政府副主席に補充(寧夏省廢止)。十二月甘肅省副省長。

孫 宏 越 Sun Tang-yüeh 1907~

広東省の人。リヨン大學留學。三四年—四〇年國立中山大學教授。四一年—四二年中央政治學校教授。五一年以來台灣師範學校教授。五〇年以來海外通訊社長、華僑月刊主筆。五五年當時國府教育部高等教育司司長、大學用書編審委員會秘書。

孫 東 川 Sun Tung-chuan

五五年二月河北省農林庁農業機械管理局局長。

孫 德 和 Sun Tê-hê

冶金學者。五四年八月第一期全國人民代表大會安徽省代表。五五年六月中國科學院技術科學部委員。五五年十二月中國科學院金屬研究所學術委員會委員。

孫 冰 如 Sun Ping-ju

五五年一月天津市人民委員會委員。

孫 孚 凌 Sun Fu-ling

統一を企圖して北伐軍を起したが、時局収拾のため北上中、二五年北京協和醫院で病死。

孫 文 淑(女) Sun Wên-shu

五三年四月全國民主婦女連合會第二期執行委員。五四年八月第一期全國人民代表大會河北省代表。五五年一月國務院教育部部長助理。

孫 文 成 Sun Wên-chêng

五四年八月當時杭州市工會連合會主席。

孫 平 Sun Ping

五三年十二月本溪市市長解任。五四年十一月當時中共本溪市委員會副書記。

孫 平 化 Sun Ping-hua 1917~

遼寧省の人。日本留學。中共黨員。対日戰の特務要員として延安で日本兵の捕虜を教育したといわれる。東北行政委員會外事処幹部、東北經濟文化研究会同人、中共中央東北局第二処副處長。中國人民對外文化協會連絡部副主任。中共中央社會部處長。五五年三月—四月の間中共貿易代表團副秘書長として来日。五六年五月—六月の間訪日京劇代表團副團長として来日。華僑事務委員會の対日連絡責任者といわれる。

孫 秉 乾 Sun Ping-chien

孫 伏 園 Sun Fu-yüan

五三年十月中國文學藝術界連合會第二期全國委員會委員。

孫 文(逸仙、別字、中三) Sun Wên(Sun Yat-sen, I-hsien, Chung-shan) 1866~1925

広東省香山県(後中山県)の人。海外を転々としつつ、革命建國原理「三民主義」を提唱。東京で革命勢力の糾合をはかり、中國革命同盟会を創立(五年)、後その総理。辛亥革命当時、イギリスにあり急遽帰国したが、革命勢力未熟のため袁世凱を代表とする封建的軍閥と妥協。日本に亡命して中華革命党を組織(一四年)、広東に軍政府を樹立、後中華革命党を中國国民党と改め(一九年)、各地の軍閥と闘争しつつ革命勢力増強に努め、第一次国共合作を實現(二四年)。連ソ容共による革命戦術の決定的転換を断行し、三民主義および国民党の爾後のコースをあきらかにした。国民党組織の改造、黄埔軍官学校設立等により南方革命軍を急速に充実し、全国



遼寧省の人。早稲田大学卒業。在清津朝鮮領事館隨修領事、外交部亜洲司科員および科長、バンコック総領事館総領事、外交部専門委員を歴任、五二年以来国府駐横濱総領事。

孫炳炎 Sun Ping-yên (Soon Peng-yam) 1911~

福建省同安県の人。シンガポール在住華僑。森林有限公司総理。製材業、建築材料商、倉庫業を経営。シンガポール建築材料商工会主席。五六年七月シンガポール工業貿易視察団建築材料および五金組正組長として日本ついで中共を訪問。

孫碧琦 Sun Pi-chi (Patrick Pichi Son)

浙江省の人。二九年国立清華大学卒業。三五年米スタンフォード大学卒業。三四年一三八年サンフランシスコ副領事。三九年一四一年クワラルムプールの副領事。四二年一四六年サンフランシスコ領事。四七年一五〇年駐フィリピン大使館一等書記官。五〇年一五一年駐タイ大使館参事官。五〇年国連アジアおよび極東経済委員会第五回大会(バンコック)中国代表。五一年同委員会第六回中国代表、FAO地区森林会議中国代表、ILOアジア会議中国代表。五一年以来駐タイ代理大使。

孫邦華 Sun Pang-hua

五六年六月当時国府外交部専門委員兼幫辦。

孫鳳翁 Sun Fêng-hsi

五四年八月中国キリスト教三日愛国運動委員会常務委員。

び綏遠省人民政府副主席。九月政治協商會議に特別招請代表として出席。五三年一月綏遠省人民政府副主席再任。五四年三月一六月当時内蒙古自治区協商委員会準備委員会副主席。四月当時成吉思汗陵遷移および新陵園建築委員会委員。六月綏遠軍政委員会副主席および綏遠省人民政府副主席を解任。同月内蒙古自治区人民政府副主席。十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(特別招請)。五五年二月政治協商會議第一期内蒙古自治区委員会副主席。四月内蒙古自治区人民委員会副主席。

孫力餘 Sun Li-yü

五三年八月当時瀋陽市副市长。五四年六月瀋陽市副市长解任。同月一五五年一月当時国務院国家計画委員会技術合作局局長。五六年十一月国務院国家建設委員会秘書長。十二月同委員会委員。

孫立基 Sun Li-chi

五三年一月当時政務院対外貿易部第三局科長。五五年三月一五六年十二月当時中国雑品出口(輸出)公司副經理。

孫立人 Sun Li-jên 1900~

安徽省舒城の人。清華大学卒業。米バーディュー大学卒業、ヴァージニア軍事学院卒業。四二年一四五年ビルマにおける戦闘に参加。四三年一四六年在印度中国軍新第一軍軍長。四七年東北保安副司令、陸軍副総司令兼陸軍訓練司令官。四九年東南軍政副長官兼台湾防衛司令長官。五〇年陸軍総司令兼台湾防衛司令。五一年陸軍二級上

孫寶三 Sun Pao-san

五四年十一月最高人民法院審判員。

孫冶方 Sun Yeh-fang

五三年十二月上海財經学院院长解任。五四年六月華東軍政委員会委員、同委員会財政經濟委員会委員を解任。十一月国務院国家統計局副局長。

孫友樵 Sun Yu-chiao

五六年十二月全国工商業連合会第二期執行委員(安徽省)。

孫耀華 Sun Yao-hua

五四年三月当時中南行政委員会副秘書長。五五年一月武漢市副市长。七月中国人民外交学会第三期理事會理事。五六年十二月当時世界平和擁護委員会武漢市分室副主席

孫樂齋 Sun Le-chai

五三年六月中国仏教協會理事。

孫蘭 Sun Lan

五五年三月安徽省人民委員会委員。

孫蘭峰(曉九) Sun Lan-fêng (Wan-chiu)

山東省の人。もと国府軍兵団司令員。四九年綏遠軍政委員会および

將。五四年六月任期満了を理由に総司令の職を免ぜられ、参軍長。五五年八月参軍長免職(旧部下郭廷亮の「スパイ事件」に関し部下監督不行届の責任を感じ辞表を提出していたものといわれる)。

孫犁 Sun Li

五三年十月中国作家協會理事會理事。五六年四月当時中国作家協會天津分會理事會理事。

孫連仲(仿魯) Sun Lien-chung (Fang-lu)

1893~

河北省雄県の人。馮玉祥軍の卒伍より身を起し累進、砲兵団長、衛隊旅長、砲兵旅長を経て、二七年国民革命軍第二集團軍第二方面軍總指揮兼第一二軍長。かつて青海、甘肅各省政府主席。二八年第二集團軍第一二師長、国民政府軍事委員会委員、第三一師長。同年京漢線方面に出動、西安附近において李雲龍軍を撃滅。三〇年討逆第二六路軍總指揮兼第二五師長。三一年江西清鄉督辦、江西地方整理委員会委員、剿赤軍第二兵団總指揮、共產軍討伐に従事、第三〇師長、三五年第五期中央監察委員、第二六路軍總司令、第五戦区副総司令を歴任。四三年一四五年第六戦区総司令。四五年七月河北省政府主席兼第一戦区総司令。その後保定特別靖安公署主任。四七年十二月北平行營副主任兼河北省主席。間もなく省主席辞職。四八年南京警備総司令。同年総統府上将参軍長。四九年辞職。総統府戦略顧問委員会上将委員。



た

多永安 Tuo Yung-an

傣族。五三年七月德宏傣族景頗族自治区人民政府副主席。

多英培 Tuo Ying-pei

傣族。五三年德宏傣族景頗族自治区協商委員會副主席。

多吉占東 Tuo-chi-chan-tung

五三年六月中国仏教協會理事。

多杰戈旦 Tuo-chieh-ké-tan

五六年四月西藏自治区準備委員会文教処副処長。

多科 Tuo Ké

西藏族。五四年一月青海省海西蒙・藏・ハサック族自治区協商委員會副主席。

多日吉 Tuo-jih-chi

西藏族。五三年十二月青海省黄南藏族自治区協商會議副主席。

多旦・洛桑金巴 Tuo-tan-Luo-sang-chin-pa

西藏族。五六年四月西藏自治区準備委員会全体委員。

多福拉 Tuo-fu-la

蒙古族。五四年一月青海省海西蒙・藏・ハサック族自治区協商委員會副主席。

多拉 Tuo-la

五六年一月青海牧区各民族參觀團副團長。

多拉海 Tuo-la-hai

西藏族。五三年一月甘肅省甘南藏族自治区人民政府設立準備委員會委員。

及喀・杰措饒彭 Tuo-ké-Chieh-tsuo-nao-péng

西藏族。五六年四月西藏自治区準備委員会全体委員。五月當時人民解放軍西藏軍区中將。

及噶・彭錯饒傑 Tuo-ké-Péng-tsuo-jiao-chieh

五三年西藏國慶節參觀團團長。五五年三月西藏地方政府噶倫(高官の名称)。

兌炯・晋車益西多吉 Tui-chiung・Chin-ché-i-hsi-tuo

-chi

五三年六月中国仏教協會常務理事。

大鑫 Ta Hsin

五三年六月中国仏教協會理事。

大悲 Ta Pei

五三年六月中国仏教協會理事。

太空 Tai Kung

五三年六月中国仏教協會理事。

邵喜德 Tai Hsi-té

蒙古族。騎兵部隊の戦闘英雄。騎兵部隊副參謀長。

泰雨屏 Tai Yü-ping

中共長沙市委員會書記。五六年九月八全大会において「工業と手工業の生産関係について」発言。

戴愛蓮(女) Tai Ai-lien 1916~

西インド諸島のトリニダット島生れ。両親は広東人。一三歳の時ロンドンに行き、九年間舞踊を勉強。三九年始めて帰国。洋舞に中国民間の郷土的芸術様式をとり入れ、「中国舞踊」をつくりあげた。戦時中東トルキスタンでウィグル舞踊を研究、また重慶で国立歌劇学校、社会教育学院および陶行知のやっていた育才学校等で教鞭をとった。夫は漫画家の葉淺予。四九年四月パリ平和擁護大会に中共代表団員として参加。五三年八月ブカレストにて挙行の第四回世界青年と学生平和友誼懇親節に出演の中共青年芸術団副団長。

六月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。十月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。五四年五月中国人民対外文化協會理事。八月全国人民代表大会広東省代表。十月中国舞踏芸術研究會理事會副主席。五五年十月北京舞踏学校校長。十一月日本憲法擁護國民連合と中国人民対外文化協會との日中文化交流協定に調印。五六年二月中国亜細亞團結委員会委員。同月民主同盟第二期中央委員会委員。

戴安國 Tai An-kuo 1913~

浙江省の人。ベルリン大学およびアメリカ航空学校卒業。三九年一四二年同済大学助教。四一年一四三年兵器廠技師長。四三年一四六年貴陽航空發動機工場製作管理人。四六年一四八年交通部民航局長。四九年一五〇年CAT總經理。五〇年以來復興航空總經理。

戴愧生 Tai Kui-shéng 1890~

福建省廈門の人。同文館卒業。フィリピン在住華僑。一五年中華革命軍閩南司令官。二二年東路討賊軍閩南財政処長兼道尹。国民會議フィリピン華僑代表。国民党第四期候補中央執行委員。僑務委員會常務委員。監察院甘肅寧夏青海区監察使。三五年国民党第五期中央執行委員。五二年国民党中央評議委員。

戴冀農 Tai Chi-nung

五三年十一月全国工商業連合会執行委員。

戴曉東 Tai Hsiao-tung



五四年二月全国人民解放军慰问代表团第六总分团副团长。七月中華全国供销合作社监事会副主任。

戴 金 璞 Tai Chin-pu

五四年六月中国人民解放军青海军区政治部副主任。

戴 (孝悃) Tai Chi (Hsiao-kun) 1893~

安徽省旌德県の人。保定陸軍軍官学校卒業(陳銘樞、蔣光鼐等と同期)後閩軍參謀長。後陳銘樞に従い広東に至り、陳の參謀長兼西江講武学堂長。爾來陳の幕下にあつて、二六年広東第一軍第二師長、二九年第六師副師長兼第八旅長、三〇年同師長、江西省内の共匪討伐に従事。三一年病氣辭職。同年末第一九路軍京滬地方に入り滬甯警備司令。三二年上海事変日華停戰交渉中国側代表の一人。停戰協定成立後混合委員会委員、後福建革命に参加。同革命失敗後蘇州に隠棲。四八年中国国民党革命委員会上海市分部準備委員会委員。四九年末華東軍政委員会委員。五三年一月華東行政委員会委員。五五年三月安徽省人民委員会委員。五六年一月政治協商會議第二期全国委員会委員(国民党革命委員会)。五六年二月国民党革命委員会中央委員。

戴 今 生 Tai Chin-sheng

五三年六月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。五五年八月当時武漢市民主青年連合会副主席。

戴 子 良 Tai Tzu-liang 1889~

江蘇省の人。国立上海音楽学校卒業。ウィーン新音楽学校卒業。四一年—四五年国立重慶音楽学校長。四五年—四九年上海市交響楽団団長。四九年以来台湾師範学校音楽部長。

戴 正 啓 Tai Chêng-chi

五三年六月北京ソ連紅十字医院副院長。五五年五月中央皮膚性病研究所副所長。

戴 澤 Tai Tsé

画家。五三年九月当時中央美術学院絵画系教授。五四年八月全国水彩、速写展覽会に参加。

戴 傳 賢 Ta Chuan-hsien (Tai Chi-tao) 1890~

浙江省の人。東京帝大卒業。二四年国民党中央執行委員会委員。宣伝部部长。二六年—三〇年国立中山大学総長。二五年国民政府政府委員。二八年国民党中央執行委員会常務委員。同年考試院院長。四七年四月国府委員会および五院改組後、考試院院長、国府委員重任。四八年六月国史館館長。

戴 佩 宸 Tai Pei-chên

五六年十月中共政府駐レバノン商務代表処副代表。

戴 白 韜 Tai Pai-tao

五四年六月華東軍政委員会文化教育委員会委員解任。五六年二月

広東省海豊県の人。郷里で農民運動に従事。二七、八年頃マレイに行き、苦力から始めイギリス人のゴム園経営管理人。戦時中、華僑援護会や官文森等と「東江華僑婦国服務団」を組織して、南洋華僑の帰国対日戦参加を指導。戦後民主同盟に加入し、マレイ支部結成に努力し、その執行委員。四六年国民大会召集のとき、民主社会党は、同党のマレイ代表として彼と李鐵民を推薦したが、これを拒絶。当時民主同盟東南亜支部執行委員。四九年九月華僑代表の一人として、政治協商會議に出席。政務院華僑事務委員会委員。

戴 修 瓚 (君亮) Tai Hsiu-tsan (Chün-liang)

1889~

湖南省常德の人。日本中央大学法科卒業。北京法政大学法科学長兼教務長。北京大学法律系講師。京師地方檢察庁檢察長。河南司法庁長。国民政府最高法院主席檢察官。三一年頃上海法学院法律系主任、中国公学法律系主任。後北京大学法商学院名譽教授。三五年頃北京大学法学院法律系主任兼教授。著書「民法債權各論」(三〇年—三三年)「新刑法訴訟法釈義」(三〇年「票據法」)四九年十月政務院法制委員会委員。五六年二月九三学社第四期中央委員会委員。三月中国国際貿易促進委員会対外貿易仲裁委員会副主席。

戴 松 恩 Tai Sung-en

五五年五月中国科学院生物学地学学部委員。

戴 粹 倫 Tai Tsui-lun (David C. L. Tai) 1912~

中央標準語普及工作委員会委員。

戴 伯 行 Tai Po-hsing

西南人民革命大学川西分校副校長。五三年一月四川大学副校長。九月第一回全国綜合大学會議に出席。

戴 文 賽 Tai Wên-sai

天文学者。五三年二月当時北京大学教授。五六年四月全国先進生産者代表大会代表。

戴 芳 瀾 Tai Fang-lan

農業科学(真菌学)者。現在六五歳。五四年四月中ソ友好協会ソ連メーデー參觀団団員。八月第一期全国人民代表大会湖北省代表。五五年五月中国科学院生物学地学学部委員。六月同学部常務委員会委員。十一月ドイツ訪問農業研究団団員。同月ドイツ農業科学院通訊院士称号をうく。五六年四月当時科学院植物研究所真菌植物病理研究室主任、北京農業大学教授。七月中共に入党。八月中国植物病学会理事長。

戴 明 予 Tai Ming-yü

五三年六月当時唐山鋼廠廠長。

戴 路 Tai Lu

華僑。広東省海南島人。現在三五歳位。五五年五月中共駐北越海防領事。



代本夏蘇巴 Tai-pên-hsia-su-pa

西藏族。五五年七月当時西藏地方政府代表。

台吉・德來熱不且・多杰友甲 Tai-chi・Te-lai-jé-pu-

tan・Tuo-chieh-yu-chia

五六年四月中印友好協會理事。

卓 藏 Chuo Tsang-tsang

五三年六月中国仏教協會理事。

卓 伯 修 Chuo Po-hsiu

五三年十一月全国工商業連合会執行委員。

卓 雄 Chuo Hsiung

滿州生れ、現在四一歳位、モスクワにおいて特務訓練を受けたといわれ、四六年林彪、高崗に隨い、東北民主連軍において郭峯とともに活動、四八年第四野戰軍第一五兵团副政治委員、四九年公安部治安行政局長といわれる。五五年四月國務院地質部副部長。

澤丹卓噶(女) Tsé-tan-chuo-ké

西藏族。五五年八月ラサ市愛國婦女連誼会主任。

諾索甫漢 Nuo-suo-fu-han

ハサック族。五四年四月新疆省ハサック自治区準備委員会副主任

委員。

諾章・洛桑堅贊 Nuo-chang・Luo-sang-chien-tsan

西藏族。五六年四月西藏自治区準備委員会全体委員。

笄 移 今 Ta I-chin

五六年二月九三学社第四期中央委員会委員。

達 圓 Ta Yüan

五三年六月全国青年第二次代表大会に仏教代表として出席。同月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。

達 夏 甫 Ta-hsia-fu

蒙古族。五四年八月全国人民代表大会新疆省代表。五五年二月政治協商会議第一期新疆省委員会副主席。

達 古 Ta-ku

西藏族。五三年一月甘肅省南部牧区各民族參觀団团长として北京訪問。七月当時甘肅省夏河県副県長。五六年五月甘肅省牧区少数民族參觀団团长。

達 浦 生 Ta-pu-shéng

回族。五三年一月世界人民平和大会中共代表团員。十一月中国イスラム教協會委員会副主任。五四年八月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。十二月政治協商会議第二期全国委員会委員、中ソ友好

協会第二次全国代表大会代表。五五年四月バンドンにおけるアジア・アフリカ会議出席中共代表团顧問。六月中国インドネシア友好協會理事。七月各国議會連盟参加の人民代表团執行委員会委員。五六年二月中国亞洲團結委員会委員。六月全国人民代表大会第三次會議主席団員。十一月中国エジプト友好協會副会長。

達頼喇嘛・丹增嘉措(達頼喇嘛十四世) Ta-lai-la-ma・

Tan-tséng-chia-tsuo 1934~

西藏族。西藏教王。青海省西寧の農家生れ。四〇年ラサで即位。五三年六月中国仏教協會名誉会長。五四年二月当時西藏地方政府主席。五四年第一期全国人民代表大会西藏代表。九月同大会第一次會議主席団員、同大会常務委員会副委員長。十二月政治協商会議第二期全国委員会委員(少数民族西藏)。同常務委員。同月中ソ友好協會第二次全国代表大会代表、同協會總會第二期理事會理事。五五年三月西藏自治区準備委員会主任委員と予定さる。同月北京を出発、西北、西南等の地区を參觀後西藏へ向う。五六年四月西藏自治区準備委員会成立と同時にその主任委員。

達理札雅 Ta-li-cha-ya

寧夏省の人。蒙古族。西北軍政委員会委員兼政治法律委員会副主任。五三年一月西北行政委員会委員。十二月寧夏省蒙古自治区準備委員会主任委員。五四年四月寧夏省蒙古自治区人民政府主席。八月全国人民代表大会甘肅省代表。九月寧夏省人民政府副主任を解任。

達拉・洛桑三旦 Ta-la-Luo-sang-san-tan

諾章・洛桑堅贊 Nuo-chang・Luo-sang-chien-tsan

西藏族。五六年四月西藏自治区準備委員会全体委員。

笄 移 今 Ta I-chin

五六年二月九三学社第四期中央委員会委員。

達 圓 Ta Yüan

五三年六月全国青年第二次代表大会に仏教代表として出席。同月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。

達 夏 甫 Ta-hsia-fu

蒙古族。五四年八月全国人民代表大会新疆省代表。五五年二月政治協商会議第一期新疆省委員会副主席。

達 古 Ta-ku

西藏族。五三年一月甘肅省南部牧区各民族參觀団团长として北京訪問。七月当時甘肅省夏河県副県長。五六年五月甘肅省牧区少数民族參觀団团长。

達 浦 生 Ta-pu-shéng

回族。五三年一月世界人民平和大会中共代表团員。十一月中国イスラム教協會委員会副主任。五四年八月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。十二月政治協商会議第二期全国委員会委員、中ソ友好

西藏族。五六年四月西藏自治区準備委員会全体委員。同月西藏自治区準備委員会公安処副処長。

丹 科 Tan-ke

西藏族。五四年一月海西蒙・藏・ハサック自治区青海省副主席。

丹 仁 Tan-jên

蒙古族。五四年四月当時青海省海西蒙・藏・ハサック自治区協商委員会副主席。

丹 增 嘉 措 Tan-tséng-chia-tsuo

西藏族。五六年四月西藏自治区準備委員会全体委員。同月西藏自治区準備委員会辦公庁主任。

丹 德 爾 Tan-tê-érh

西藏族。五三年十二月青海省海南藏族自治区人民政府主席。五四年十二月青海省人民委員会委員。

丹 巴 日 則 Tan-pa-jih-tsé

五四年六月当時西北民族学院藏文教授。五六年四月西藏自治区準備委員会公安処副処長。

五六年四月西藏自治区準備委員会衛生処副処長。



丹龍・才仁班覺 Tan-lung・Tsai-jen-pan-chüeh

五五年三月—五六年四月班禪堪布會議厅委員兼委員。

旦曾尖錯 Tan-tsêng-chien-tso

西藏族。五四年十二月青海省人民委員會委員。

旦曾尖木錯 Tan-tsêng-chien-mu-tso

西藏族。五四年一月青海省果洛藏族自治州人民政府副主席。

但懋辛(怒剛) Tan Mao-hsin(Nu-kang)1879~

四川省榮縣の人。元同盟會會員。日本留学。四川陸軍第一師長、第一軍長、吳淞中国公学総務長等を歴任。中国国民党革命委員會川康臨時工作委員會常務委員。四九年末—五三年一月西南軍政委員會委員。五三年一月兼西南軍政委員會司法部長。五四年二月人民解放軍慰問代表團第三總分団(西南)副団長。八月全国人民代表大會四川省代表。五五年一月政治協商會議第一期四川省委員會副主席。五六年二月国民党革命委員會中央委員。

覃昇之 Tan I-chih

五六年二月国民党革命委員會候補中央委員。

覃延年 Tan Yen-nien

僮族。五五年二月広西省人民委員會委員。

覃應機 Tan Ying-chi

広西省東蘭縣の人。僮族。延安紅軍軍官学校および民族学院卒業。新四軍張雲逸部隊の団長兼政治委員、副師長を歴任。後広西省人民政府公安庁庁長兼広西第六公安師長。中南軍政委員會委員。広西省桂西僮族自治区人民政府主席。五三年一月中南行政委員會委員。五四年二月人民解放軍慰問代表團第五總分団(中南)副団長。八月全国人民代表大會広西省代表。九月同大会民族委員會委員。五五年二月広西省第一期人民代表大會第二次會議で、広西省人民政府を代表して五四年度政府工作報告を行う。同月広西省副省長。五六年三月広西省桂西僮族自治区州州長。同月西蔵訪問中央代表團委員會委員。

覃勤(醒羣) Tan Chin (Hsing-chün)1905~

湖南省常德縣家塆の人。早くより国民党に入党。戦時中医師法衛生制度の確立に努力、中国全国中医師公会連合会、全国的人民団体連誼会等を組織。戦後立法委員。また李宗仁の違憲を指摘、蒋介石の総統復職を促す。

覃孝方 Tan Hsiao-fang

五五年二月湖北省人民委員會委員。

覃士冕 Tan Shih-nien

五五年六月当時人民解放軍広西軍区副司令員。

覃修典 Tan Hsiu-tien

福建省の人。現在五五歳位。米國留学。元厦門大学教授。福建水利発電工程処主任。福建省政府委員。

覃心齊 Tan Hsin-chi

五四年二月人民解放軍慰問代表團第五總分団(中南)副団長。四月河南省人民政府副主席。

覃振(理民) Tan Chên (Li-min) 1883~

湖南省の人。早稲田大学に留学。立法院院長、司法部副院長を歴任。四三年国民党委員。四四年司法部公務員懲罰委員會主席。四八年退官。

覃波 Tan Po

五四年八月第一期全国人民代表大會広西省代表。

端木愷 Tuan-mukai (Twanmoh, Josephk.)

1903~

安徽省の人。二五年蘇州大学卒業。二七年米ニューヨーク大学修業後大学公法教授。三七年—三八年安徽省民政庁長。三八年—四一年行政院參事。四一年—四二年行政院監査官。四三年—四五年總動員會議秘書長。四五年—四七年国民參政會議員、上海・南京にて弁護士開業。四八年立法委員、司法部秘書長。四八年—四九年行政院秘書長。四九年中央行政院長。四九年以來弁護士、総統府顧問。

端木傑 Tuan Mu-chieh

五四年十二月政治協商會議第二期全国委員會委員。

端木良 Tuan Mu-liang

作家。蕭軍と併称されるいわゆる東北作家の一人。作品集「憎恨」、代表作は長篇「呼爾沁旗草原」。

譚偉 Tan Wei

五四年三月当時中央人民政府第一機械工業部財務司司長。十二月当時中ソ造船会社中国側株主代表。

譚英富 Tan Ying-fu

五三年三月当時中共党江西省樂平縣委員會書記。

譚家逵 Tan Chia-shu

五五年九月一級八一勳章および一級解放勳章を授与さる。十月人民解放軍中將。

譚學榮 Tan Hsüeh-jung

五五年二月遼寧省人民委員會委員。

譚嶽泉 Tan Yueh-chuan 1900~

湖南省湘潭縣の人。二六年武漢大学在学中国国民党に入党。卒業後党政機関中級幹部。三五年鉄道部簡任秘書。三七年湘桂鐵路局主任



秘書。三八年浙桂鐵路局主任秘書。三八年浙贛鐵路局總務處長。四〇年滙緬鐵路督辦公署總務處長。四二年公路局總務處長。四三年湖北省建設庁長。四九年台灣省公路局長、国民党台灣区公路党部改造委员会主任委員。

譚冠川 Tan Kuan-san

軍人。五三年二月—五五年十月当時中国人民解放軍西藏軍区政治委員。五三年四月ラサにおいて国営チベット貿易総公司とチベット羊毛商人との間の五二年産羊毛買入契約書調印式に参列。五五年十月—五六年五月当時中共チベット工作委員会副書記。五六年四月当時人民解放軍中將。同月西藏自治区準備委員会全体委員。

譚希林 Tan Hsi-lin

陳毅の下に江北遊撃支隊司令。四一年新四軍第二師第六旅長兼政治委員。淮南蘇皖辺区軍区路西軍分区司令。四四年三月張鼎丞の後を継ぎ、第七師代理師長。同年秋師長。抗日大学第一〇分校長。皖中軍区司令。五〇年九月中共駐チエコスロヴァキア大使。五三年三月チエコ大總統ゴットワルト菲儀参列の中共代表団員。七月チエコ解放八週年紀念中央人民政府特派代表団員。五四年十月駐チエコ大使を解任。

譚啓龍 Tan Chi-lung

江西省の人。現在四六歳。農民出身。江西において長期間遊撃戦に従事。四三年春三北遊撃隊の政治委員。四四年三月浙東遊撃隊に

五四年八月全国人民代表大会天津市代表。

譚震林 Tan Chên-lin 1903~

湖南省の人。青少年時代武漢で職工。瑞金紅軍大学、モスクワ紅軍大学卒業。二七年湖南秋収暴動参加。紅軍第一二軍政治委員、閩粵贛軍区司令兼政治委員を歴任。紅軍西遷に加わらず張鼎丞、鄧子恢等とともに華南で活動。日華事变後江南抗日義勇軍新四軍第三支隊司令。四一年新四軍第六師長、政治委員。四二年淮南蘇皖辺区党委員会書記。四三年第二師政治委員兼任。終戦前新四軍第二師羅炳輝部隊政治委員。四五年中共第七期中央委員。後浙江省委員会書記。四九年五月杭州軍管会委員長。五〇年華東軍政委員会委員兼土地改革委員会主任。浙江省人民政府主席。第三野戦軍副政治委員。五二年十一月江蘇省人民政府主席。十一月中共中央華東局第三書記。五三年一月華東行政委員会副主席。同月華東軍政委員会副主席解任。五四年六月華東軍政委員会土地改革委員会主任を解任。十二月政治協商会議第二期全国委員会委員（共産党）、同常務委員。五六年二月ソ共第二十回代表大会に中共代表団員として参加。九月中共第八期中央委員会中央委員会中央委員、中央書記処書記。

譚生彬 Tan Shêng-pin

五五年七月国務院監察部部長助理。

譚政 Tan Chêng 1900~

湖南省の人。四二年頃蕭勁光の下に第一八集團軍留守兵団司令部政治委員。四五年中共第七期候補中央委員。四八年一月当時東北人

改編。何克希の下に政治委員。後浙東遊撃隊の政治委員。中国人民解放軍浙江軍区副政治委員。五一年譚震林主席の下に浙江省人民政府副主席。五二年十一月浙江省人民政府主席。五四年六月華東軍政委員会土地改革委員会委員を解任。五五年一月政治協商会議第一期山東省委員会主席。三月山東省人民委員会委員。五六年一月当時中共党山東省委員会第二書記。九月当時同委員会書記。同月中共八全大会において「山東省農業生産発展の重要問題について」発言、中共第八期中央委員会候補中央委員。

譚光廷 Tan Kuang-ting

五二年十二月—五三年七月当時政務院鉄道部政治部主任。五三年七月全国鉄路工作会議にて「五三年鉄道營業線路政治工作」を報告。

譚克興(女) Tan Kê-hsing

五三年四月当時中国第二次全国婦人代表大会出席西南区代表。

譚志清 Tan Chih-ching

五三年十一月全国工商業連合会執行委員。五四年八月第一期全国人民代表大会天津市代表。

譚紹華 Tan Shao-hua 1897~

広東省の人。米シカガ大学博士号。四五年以来国府駐米大使館公使。

譚眞 Tan Chên

民解放軍（後第四野戦軍）政治部主任。四九年一月天津軍事管制委員会副主任。五月武漢地区軍事管制委員会主任委員。中南軍政委員会委員兼人民監察委員会主任。人民解放軍第四野戦軍副政治委員。中南軍区副政治委員。中共中央華南分局第三書記。五三年一月中南行政委員会委員。三月当時中共中央中南局第一副書記、人民解放軍第四野戦軍および、中南軍区第三政治委員。五四年八月第一期全国人民代表大会中南軍区代表。九月同大会常務委員会委員。同月国防委員会委員。十一月国防部副部長。十二月ソ友好協会第二次全国代表大会代表（軍隊）。五五年一月—五六年九月当時人民解放軍総政治部副主任。五五年九月一級八一勳章、一級独立自由勳章および一級解放勳章を授与さる。同月人民解放軍大將。五六年六月全国人民代表大会第三次會議主席団員。九月中共第八期中央委員会委員、中央書記処書記、八全大会において建軍の新段階における政治工作の若十の問題について発言。十二月人民解放軍総政治部主任。

譚政文 Tan Chêng-wên

華南軍区第二副司令員兼保衛部部長。広東省人民檢察署檢察長。広東人民政府委員兼公安庁長。五四年六月中央人民政府最高人民檢察署副檢察長。十一月最高人民檢察院副檢察長。

譚善和 Tan Shan-hé

五四年十二月当時中国人民志願軍將官。

譚惕吾(女) Tan Ti-wu

五三年一月婚姻法貫徹運動委員会委員。二月抗米援朝總會組織部



副部長。四月中華全國民主婦女連合会第二期執行委員。十月第三回訪鮮慰問團第一總分團副秘書長。五四年七月當時中ソ友好協理理事。八月第一期全國人民代表大會湖南省代表。十二月中ソ友好協理第二次全國代表會代表(全國民主婦女連合会)。五六年二月國民黨革命委員會中央委員。三月同常務委員、政治協商會議全國委員會學習委員會委員、五七年二月國民黨革命委員會婦女工作委員會副主任委員。

譚 天 度 Tan Tien-tu

広東省西江區專員。広東省人民政府民族事務委員會副主任。五三年七月広東省人民政府工作團團長として海南黎族苗族自治州成立一周年紀念大会に出席。五五年二月広東省人民委員會委員。

譚 冬 菁 Tan Tung-ching

国府時代第一九路軍高級職員。五六年二月國民黨革命委員會中央委員。五七年二月當時広東省農業庁副庁長。

譚 丕 模 Tan Pi-mo

五五年六月當時北京師範大学国文学系教授。五六年六月同大学中国古典文学教研組主任教授。

譚 平 山 Tan Ping-shan 1886~1956

広東省高明県の人。波止場人足の家庭に生る。陳獨秀、李大釗とともに中共初期の三領袖の一人。二〇年北京大学卒業、中共入党。二三年上海における中共第三次全国大会広東代表。二四年国民党に入党し、第一次中央執行委員、同組織部長。二六年国民党第二次中

譚 葆 端 Tan Pao-tuan

五六年六月當時国府駐キエーバ公使。

譚 明 昭 Tan Ming-chao

五六年二月國民黨革命委員會中央委員。

譚 余 保 Tan Yu-pao

四九年九月政治協商會議全國委員會委員。五四年二月人民解放軍慰問代表團副總團長。八月第一期全國人民代表大會湖南省代表。五五年二月湖南省副省長。

段 雲 Tuan Yun

五四年九月西南軍政委員會文化教育委員會委員解任。十一月國務院總理辦公室副主任。五五年四月國務院第五辦公室副主任。

段 永 傑 Tuan Yung-chieh

五五年三月—十二月當時安東市市長。

段 永 新 Tuan Yung-hsin

五四年十二月甘肅省人民委員會委員。

段 華 民 Tuan Hua-min

五三年七月雲南省德宏傣族景頗族自治州人民政府副主席。

段 學 復 Tuan Hsteh-fu

央執行委員、同農民および工人部長。同年末モスクワのコミンテルン會議中共代表および中央執行委員。中共広東区執行委員會委員。二七年帰国、武漢国民党政治委員會主席團員、政府委員、農民部長。四月国共分裂で国民党を除名され、コミンテルンからも日和見主義者として排斥され、中共中央部から遠ざかる。二九年中共から除名され、香港に亡命、鄧演達とともに第三党組織運動を起す。戦後国共内戦期に再び中共側に接近、四八年九月三民主義同志連合会代表として中共地区に入る。四九年一月李濟深、蔡廷鍇等とともに新政治協商會議開催促進のため瀋陽に集り、その後北平にて中共と協力。三民主義同志連合会責任者、国民党革命委員會常任委員、中央人民政府委員、政務院政務委員、人民監察委員會主任。五四年八月第一期全國人民代表大會広東省代表。九月同大会第一次會議主席團員、同大会常務委員會委員。十二月中ソ友好協會第二次全國代表會代表(國民黨革命委員會)。五五年七月全國人民代表大會第二次會議主席團員。五六年二月國民黨革命委員會中央委員。三月同中央委員會副主席。四月病死。

譚 富 英 Tan Fu-ying

京劇俳優。五三年十月中国人民第三回訪鮮慰問團員。

譚 甫 仁 Tan Fu-jen

五四年九月広西省人民政府委員、當時人民解放軍広西軍区政治委員。五五年七月—五六年二月當時人民解放軍武漢駐軍領導機關首長。解放軍中將。

五五年五月中国科学院物理学数学化学学部委員。

段 祺 瑞 (字、芝泉。合肥とよばれた) Tuan Chi-jui (Chih-chuan, He-fei) 1864~1936

安徽省合肥の人。北洋武備学堂卒業後ドイツに留学、軍事学を修め、帰国後袁世凱の下で清末北洋陸軍建設に努力。陸軍総長、國務總理等の要職に任じ、北方に勢力を扶植、北伐完成以前(二八年)の袁世凱に次ぐ軍閥。三・一八事件(二六年)を中心とする学生運動弾圧の主動者ともいわれる。

段 毅 Tuan I

五五年二月河北省人民委員會委員。

段 金 平 Tuan Chin-ping

五四年五月當時上海总工会労働部副部長。

段 君 毅 Tuan Chin-i

山東省の人。済南大学工学院卒業。西南軍政委員會工業部部長。五二年八月政務院第一機械工業部副部長。五三年一月西南軍政委員會委員を解任。五四年八月第一期全國人民代表大會山東省代表。九月西南軍政委員會財政經濟委員會副主任を解任。五四年十一月國務院第一機械工業部副部長。

段 慧 軒 Tuan Hui-hsitan

五五年二月河北省人民委員會委員。



段子俊 Tuan Tzu-chun

五三年二月當時政務院第二機械工業部第四局副局長。

段書友 Tuan Shu-yu

五四年七月當時浙江省嘉興市副市長。

段德彰 Tuan Tê-chang

五三年三月—五四年三月當時解放軍海軍政治部副主任。五五年九月一級解放勳章を授与する。

段巴圖 Tuan Pa-tu

蒙古族。五四年四月當時寧夏省蒙古自治区人民政府委員。

段伯宇 Tuan Po-yü

五五年七月中国人民外交学会副秘書長。同月同学会第三期理事會理事。

段秉善 Tuan Ping-shan

五六年二月當時人民解放軍廣州駐軍領導機關代表、解放軍上將。

段茂瀾 (觀海) Tuan Mao-lan (Kuan-hai) 1899~

安徽省の人。二七年米コロンビア大学博士号。四一年—四五年駐濠公使館參事官。四五年—四七年駐マニラ総領事。四七年—四九年駐英大使館參事官。四九年當時駐仏代理大使。

丑子岡 (女) Chou Tzu-kang

五三年四月世界婦女大会出席代表團成員。同月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。六月コペンハーゲンにて開催の世界婦女大会に出席の中共婦女代表團代表。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員會委員 (社会救済福利団体)。

鈕永建 (楊生) Niu Yung-chien (Ti-shêng) 1869~

江蘇省松江県の人。江西武備学堂卒業、日本および独逸に留学、第一革命に際し滬軍軍政府軍務長、南北和議に南方代表參贊。南京臨時政府組織參謀次長。南北統一後北京大總統府軍事顧問。第二革命に際し松江軍司令官。一六年駐滬軍事代表。二二年東軍政府參謀次長。二六年国民党中央政治會議秘書長。二七年国民党革命軍上海占領後松滬防守總司令。国民党革命軍總司令部總參謀。南京国民政府成立後政府秘書長政府委員、江蘇政治委員會主席委員兼江蘇省政府民政庁長、上海臨時政府委員會委員、国民政府軍事委員會委員。武漢南京合体後国民政府委員、軍事委員會委員。二八年—三〇年江蘇省政府委員兼主席。二九年兼国民政府禁煙委員會副委員長。二九年—五〇年国民党中央執行委員。三〇年内政部長代理兼禁煙委員會副委員長、考試院銓敘部長。三二年—四一年考試院副院長兼銓敘部長。四一年—四八年国民政府委員。四八年總統府資政。四九年—五二年考試院副院長。五二年總統府資政。五二年以来国民党中央評議委員。

鈕先銘 Niu Hsien-ming (Sean-ming) 1912~

團康・索南刀杰 Tuan-kang・Suo-nan-tao-chieh

西藏族。五六年四月西藏自治区準備委員會全体委員。同月西藏自治区準備委員會財政処副処長。

ち

池際尙 (女) Chih Chi-shang

五六年四月當時北京地質学院岩石教研室主任教授。

池必卿 Chi Pi-ching

五四年四月當時中共山西省委員會常務委員。

郝占元 Chih Chan-yüan

五三年四月總工會東獨メーデー參觀團團長。當時東北總工會副主席。五月中華全國總工會第七期執行委員。五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員 (中華全國總工會)。

智澤民 Chih Tê-min

五六年四月西藏自治区準備委員會公安処処長。

竹淑貞 Chu Shu-chên

五三年六月中華全国民主青年連合会第二期全国委員會候補委員。

江西省九江の人。三一年日本士官学校卒業。帰国後第三五軍連長、參謀、隊長および砲兵学校教官等を歴任。三六年—三七年フランス留学。三七年中央軍事政治学校教導總隊工兵營長。四〇年軍令部第二科科長。四三年少將。独立工兵一五團團長。四四年昆明陸軍總司令部第二処副処長。四五年同処長。同年北平軍事調処執行部副參謀長。国防部第二庁第三処処長。四七年台湾全省警備司令部參謀長。同副司令。四九年国防部第二庁副庁長。戰略顧問委員會辦公室高級參謀。五〇年大陸工作処副処長。五五年四月国防部計画局副局長。

褚應璜 Chu Ying-huang

五三年一月東北人民政府委員を解任。五四年八月第一期全国人民代表大会ハルビン市代表。五五年五月中国科学院技術科学学部委員。六月同学部常務委員會委員。同月電機工程学会副主任委員。

褚啓元 Chu Chi-yüan

五五年六月當時中共駐ノールウェー大使館臨時代辦。九月駐ノールウェー大使館參事官。

褚聖麟 Chu Shêng-lin

五四年七月當時北京大学物理系主任。

褚輔成 Chu Fu-chêng 1872~

浙江省の人。教育家。日本東洋大学卒業。国会副議長、浙江省政府



代理主席、国政参议会常置委员会委员、上海法政大学総長等を歴任。

褚鳳儀 Chu Feng-i

五六年二月九三学社第四期中央委员会委员。

儲安平 Chu An-ping

江蘇省宜興の人。新聞政治評論家。英国に留学、帰国後上海復旦大学教授。四五年上海で時事週刊雑誌「觀察」を編集、自らも時事評論の筆をとったが政府を非難したため停刊を命ぜられた。四九年秋「新觀察」と改題して北京で復刊後も同誌の発行に關係。五四年八月全国人民代表大会江蘇省代表。五六年二月九三学社第四期中央委员会委员。

儲一石 Chu I-shih

五六年二月民主同盟第二期中央委员会委员。

長鄧拓 Chang Têng-tuo

五六年一月当時中国新聞工作者連誼会会長。

長潘菽 Chang Pan-shu

現在五九歳。五六年三月当時科学院生物学地学学部委員、当時南京大学校長。同月中共に入党。

晁秀將 Chao Hsiu-chiang

五三年十二月当時雲南省紅河哈尼族自治区第一期協商會議副主席。

張唯 一 Chang Wei-i

五〇年一月中央人民政府政務院情報總署副署長。九月政務院副秘書長。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(共産党)。五五年一月政治協商會議全国委員会副秘書長。

張惟和 Chang Wei-hé

五五年二月江西省人民委員会委員。

張偉振 Chang Wei-chên

五三年九月—五四年一月当時中共松江省直屬機關委員会副書記。

張偉良 Chang Wei-liang

江蘇省の人。現在二八歳位、一二歳の頃新四軍小鬼隊に参加。その後新四軍の通信員、警衛員、衛生員となり、陳毅の推薦により連長、政治指導員、副政治指導員に昇進、五四年中共航空学校卒業後朝鮮戦線に出動、五五年一月大陳島爆撃に参加し空軍二級英雄、中共空軍爆撃隊副隊長といわれる。

張偉烈 Chang Wei-ieh

五六年十月中共駐ソ大使館参事官。

張爲炯 Chang Wei-chiung

西康省の人。国府時代西康省政府秘書長。四九年末頃西康省人民政府副主席。中国国民党革命委員会西康省分部準備委員会召集人。

席。

晁哲甫 Chao Ché-fu 1894~

河南省の人。日華事変中晋冀魯豫辺区政府教育局長。四八年八月華北人民政府委員。四九年平原省人民政府主席。五二年十一月山東省人民政府副主席。五三年一月華東行政委員会委員。五四年八月第一期全国人民代表大会山東省代表。五五年一月政治協商會議第一期山東省委員会副主席。二月山東省第一期人民代表大会において山東省人民政府副主席として政府報告を行う。三月山東省副省長。五六年七月山東大学校長。

張愛國 Chang Ai-kuo

五三年十一月全国工商業連合会執行委員。五五年十一月当時上海市工商連文教委員会委員。五六年十二月全国工商連第二期執行委員(上海市)。

張愛萍 Chang Ai-ping

四川省の人。現在四九歳位。江西瑞金紅軍大学卒業。中共軍軍長、浙江軍区司令員。黄克誠の下に新編第四軍第三師副司令。蘇北軍区副司令兼塩阜軍分区司令。五三年一月華東行政委員会委員。人民解放軍華東軍区参謀長。五四年九月国防委員会委員。五五年六月当時人民解放軍副總参謀長。九月一級八一勳章、一級独立自由勳章および一級解放勳章を受く。十月人民解放軍上將。

張夷 Chang I

五三年十月中国文学芸術界連合会第二期委員会委員。

五〇年西南軍政委員会委員。五三年一月西南行政委員会委員。五四年八月第一期全国人民代表大会西康省代表。五五年一月西康省副省長。五六年二月国民党革命委員会中央委員。

張維 維 chang Wei

建築學家。五五年二月武漢長江大橋技術顧問委員会委員。五月中科学院技術科学学部委員。五六年一月当時清華大学土木工程系主任。四月当時北京大学外国留学生中国語文專修班教員。十一月清華大学副校長。

張維翰(蘊鷗) Chang Wei-han (Yün-ou) 1886~

雲南省大関県の人。八年雲南法政専門学校卒業。一八年東京で市政を研究。二二年昆明市長。二八年雲南省政府委員兼国府外交部特派雲南交渉員。同年対仏条約改訂会議および二九年国民党第三次全国代表大会に雲南代表。三〇年—三一年雲南省政府委員兼民政庁長。三五年立法委員。国民政府文官処参事。五三年当時監察委員。

張維城 Chang Wei-chêng

五四年六月華東軍政委員会土地改革委員会委員を解任。十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(農民)。

張維楨 Chang Wei-chên

湖南省の人。四八年八月中華全国総工会執行委員兼常務委員。東北職工總會主席。四九年東北人民政府委員兼労働部部长。五三年一月東北行政委員会委員。同月東北人民政府委員を解任。二月政治協



商會議全國委員會委員。三月當時東北總工會主席。五月中華全國總工會第七期執行委員會執行委員兼主席團委員。十月中国人民第三回訪鮮慰問團總團副團長として訪鮮。五四年八月第一期全国人民代表大會本溪市代表。九月中央人民政府最高人民檢察署東北分署檢察長ならびに東北行政委員會委員を解任。十月一五六年四月當時中華全國總工會書記処書記。五五年八月印友好協會理事。五六年四月全國先進生産者代表會議主席團員。

張 彝 鼎 Chang I-ting 1902~

山西省靈石県の人。三三年米コロンビア大学国際法学博士。国民政府軍事委員會委員長。南昌行營設計委員。三三年一三七年侍從室秘書。三八年一四〇年中央政治学校教授、中政会法制專門委員。国防最高委員會法制專門委員。四〇年一四五年第八戰区长官部政治部主任。綏遠省政府委員兼建設厅长。四五年一四七年善後救済總署普綏察分署署長。京滬杭警備總司令部政務委員會副秘書長。四七年国防部總政治部副主任。第一回国民大会代表。五四年国防部總政治部主任。著書「条約如何解釈」(英文)、「國際法庭適用的証拠法」(「國際法庭引用私法原則」)。

張 育 民 Chang Yu-min

陝西省の人。現在三七歳位。五三年一月當時陝西省人民政府労働庁庁長。同月陝西省人民政府委員。

張 毓 新 Chang Yu-hsin

五五年八月當時広州海運管理局海務監督室主任。

張 雲 逸 Chang Yun

五四年二月當時北京運輸分局局長。三月當時中共駐フィンランド公使館商務專員。五六年九月當時中共広東省海關区委員會第一書記。同月八全大会にて海南島の農業資源開発につき発言。

張 雲 逸 Chang Yun-i 1891~

海南島の人。保定軍官学校第六期卒業後、広東軍第一師參謀部勤務。孫中山が国民革命軍を編成し李濟深が第四軍軍長となるるやその下で中佐參謀、北伐軍に従い、南昌暴動に参加、江西ソ区に入る。四二年新四軍第二師師長(當時副師長は羅炳輝、政治委員は鄭位三)。長江以南の紅軍を集めて新四軍を組織。四九年華東軍区副司令兼參謀長(司令員陳毅、政治委員饒漱石)として上海攻略戦に参加、後広西省人民政府主席。中共中央華南分局第二書記。広西軍区司令員兼政治委員。五三年一月中南行政委員會副主席。同月中南軍政委員會委員を解任。五四年八月第一期全国人民代表大會広西省代表。九月同大会常務委員會委員、国防委員會委員。五五年九月一級八一勳章一級独立自由勳章および一級解放勳章を授与さる。五六年九月中共第八期中央委員。

張 雲 溪 Chang Yun-hsi

京劇俳優。五三年五月中国人民抗米援朝總會慰問文芸工作團第一團團長として赴鮮。五五年一月京劇院下三劇団中の一團長。

張 雲 霄 Chang Yun-hsiao

張 一 鳴 Chang I-ming

五五年八月中共芸術團秘書長として北ヴィエトナムを訪問。

張 逸 鳴 Chang I-ming

五三年五月當時広州市総工會組織部副部長。

張 允 中 Chang Yun-chung (Teo Woon-tiong)

1919~

福建省の人。シンガポール在住華僑。船舶、輸出入貿易業祺福船務有限公司經理、泰興源兄弟公司經理。五六年八月シンガポール工商業貿易視察團運輸保險組正組長として中共を訪問。

張 允 文 Chang Yun-wen

五四年十一月最高人民檢察院檢察員。

張 于 克 Chang Yu-ke

五五年十月當時中共吉林省委員會委員、吉林省副省長。

張 雨 帆 Chang Yu-fan

五四年十月當時政務院商業部政治部主任。十一月國務院商業部副部長。

張 云 瑩 Chang Yun-ying

五五年十一月當時中華全國總工會幹部学校副校長。

五二年五月中共駐デンマーク公使館商務參事官、フィンランド、スエーデン両公使館兼務。(ストックホルム常駐)。五四年八月當時駐フィンランド公使館商務專員。五五年五月駐スイス大使館商務參事官。

張 雲 樵 Chang Yun-chiao

五五年五月當時中共南昌市委員会第一副書記。

張 雲 生 Chang Yun-sheng

五五年二月河南省人民委員會委員。

張 雲 川 Chang Yun-chuan

五四年八月第一期全国人民代表大會河南省代表。五六年二月民主同盟第二期中央委員會委員。七月中国農工民主党中央委員會委員。

張 雲 颯 (張驥) Chang Yun-fan (Chang Hsiang)

四川省の人。張羣(国府総統府秘書長)の弟。政治協商會議四川省委員會委員。

張 永 才 Chang Yung-tsai

五四年一月當時天津市七区東甃里治安保衛委員會主任。

張 永 清 Chang Yung-ching

五四年九月西南軍政委員會文化教育委員會委員を解任。五五年七月西南師範学院院长。



張 永 勵 Chang Yung-li

五五年二月広東省人民委員会委員。

張 映 吾 Chang Ying-wu

五五年九月中共駐ソ大使館文化参事官。五六年七月中ソ文化協定締結の際の中共代表団員。

張 英 才 Chang Ying-tsai

五四年四月西南軍区戦闘英雄。八月第一期全国人民代表大会西南軍区代表。十月当時人民解放军某師参謀長。

張 英 和 Chang Ying-hé

五三年四月当時中国人民銀行ラサ辦事処責任者。同月ラサにおいてチベット羊毛商人と国営チベット貿易総公司との間に五二年度産羊毛買入れについての契約書の調印式に参列。

張 榮 Chang Jung

五四年八月第一期全国人民代表大会西康省代表。

張 越 Chang Yueh

中国人民外交学会理事。五五年四月西欧非洲(アフリカ)司長。七月中国人民外交学会第三期理事會理事。五六年四月中共駐エジプト商務代表処副代表。六月駐エジプト大使館参事官。

張 越 霞 Chang Yueh-hsia

五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(合作社)。五六年二月中国亜洲團結委員会委員。

張 燕 卿 Chang Yèn-ching

河北省の人。現在六〇歳。在日華僑故張之洞の子息。日本の学習院卒業。初め天津市長。満洲事变後奉天市長、經濟部大臣、外交部大臣を歴任。日華事变後華北新民会副会長。戦後国府に逮捕され三年監禁。釈放後台湾に赴き、後香港に転じ、五一年来日。亜東工商協会を組織し同会幹事。

張 旺 午 Chang Wang-wu

五五年二月湖北省人民委員会委員。

張 應 春 Chang Ying-chun

五六年二月当時湖南農業院講師。同月中共に入党。

張 化 東 Chang Hua-tung

国営中国輸入公司(五〇年三月北京に設立)の責任者。五三年当時政務院對外貿易部進口(輸入)局局长。五四年三月對東独商務代表団副团长。五四年十月当時國務院對外貿易部進口局局长。

張 加 爵 Chang Chia-chüeh

五五年一月当時東京華僑總會理事會主席。

張 華 增 Chang Hua-tseng

國務院對外貿易部秘書。五五年三、四月の間中共貿易代表団秘書として来日。五六年八月中共駐シリア商務代表処代表。

張 嘉 敖 (公權) Chang Chia-ao (Kung-chüan)

1888~

江蘇省宝山県の人。張君勳の実兄。上海言文館卒業後、日本に留学、慶応義塾大学理財科卒業後欧米に遊学。一四年在日当時相識した梁啓超の抜擢により、浙江都督朱瑞の秘書、参議院秘書長を経て、同年国会解散後銀行界に入り、上海中国銀行副行長に就任。爾来十三年間北洋政府時代を通じ同銀行を経営、銀行界南派の総帥として北派(金城・塩業・中南・大陸の四銀行)の総帥呉遠銓と比肩された。国府成立後同行は政府支配下に入り上海銀行界を代表して中央銀行副総裁に就任。三五年英国の経済専門家リースロスの来華に伴う幣制改革実施(同年十一月)後、鉄道部長に左遷。日華事变後は重慶に在って交通部長、国防會議委員、全国經濟委員会委員、西南經濟建設研究所長を兼職。終戦後東北行轅經濟委员会主任委員。四七年再び中央銀行総裁に補せられ、中央信託局総裁を兼任して、通貨為替貿易を統合掌握したが、内部的軋轢により辞任。現在米国在住。

張 稼 夫 Chang Chia-fu

歴史学者。中共中央西北局委員兼宣傳部部长。西北軍政委員会委員兼文化教育委員会副主任。五三年一月中国科学院副院長。同月西

張 海 棠 Chang Hai-tang

五五年二月遼寧省人民委員会委員。

張 開 基 Chang Kai-chi

五四年十一月最高人民法院審判員。

張 開 寧 Chang Kai-ning

五三年六月当時政務院農業部人民監察室幹部。

張 會 亭 Chang Hui-ting

五四年八月第一期全国人民代表大会安徽省代表。

張 懷 英 Chang Huai-ying

五三年十月当時志願軍特等功臣。五五年十二月当時中共山西省昔陽県委員会書記。

張 凱 Chang Kai

五三年一月華東婚姻法貫徹運動委員会副主任。六月当時華東軍区政治部主任。十月中国人民第三回訪鮮慰問団総団副秘書長兼第七総



分団秘書長として訪鮮。五四年十一月國務院衛生部副部長。

張 愷 帆 Chang Kai-fan

五四年八月安徽省人民政府副主席。當時中共安徽省委員會統一戰線工作部部長。五五年三月安徽省副省長。五六年九月中共八大大会にて「小売業者家庭の補助労働力の利用配置」につき発言。

張 學 彦 Chang Hsteh-yên

五三年六月当時中国新民民主主義青年団黒龍江省委員会副書記。同月中国新民民主主義青年団第二期中央委員会候補委員。

張 學 思 Chang Hsteh-szu 1903~

遼寧省海城の人。張學良の実弟。南京中央軍官学校。卒業後東北軍勤務。三六年西安事変後兄張學良軟禁されるや呂正操、聶榮臻ら中共將領とともに華北でゲリラ闘争。中共軍冀熱遼平西区司令。四五五年満州に帰り、東北各省代表連席大会に出席。その後遼寧省主席、東北行政委員会副主席、東北大学学長、人民解放軍海軍学校副校長を歴任。四九年八月東北人民政府委員。五三年一月東北行政委員会委員。同月東北人民政府委員を解任。五四年八月第一期全国人民代表大会遼寧省代表。九月東北行政委員会委員を解任。五六年二月当時人民解放軍海軍少将。

張 學 儒 Chang Hsteh-ju

五六年三月当時國務院鉄道部第一設計院代理院長。

張 學 清 Chang Hsteh-ching

五三年七月中国新民民主主義青年団第二期中央委員会候補委員。五五年七月ワルシャワにおける第五回世界青年および学生平和友誼節参加の中共青年代表団員。

張 學 文 Chang Hsteh-wên

五三年七月当時阜新礦務局局長。五五年二月当時集賢県県長。

張 學 良 (漢卿) Chang Hsteh-liang (Han-ching) 1898~

遼寧省海城の人。父張作霖の爆死後、旧東北軍總司令。その後國府陸海軍副總司令、東北政務委員会委員長を歴任。満洲事変後東北を放棄、中共の抗日民族統一戦線政策に共鳴。三六年十二月揚虎城とともに西安事変をおこした。日華事変後南京、奉化、衡南を転々し、中共の大陸支配後台湾新竹に監禁されているといわれる。

張 駭 青 Chang Hsieh-ching

河北省の人。黒龍江省人民政府委員兼民政庁長。五三年一月—十月黒龍江省人民政府副主席。

張 巖 Chang Yên

五四年八月全国人民代表大会河北省代表。

張 幹 承 Chang Kan-chêng

張 其 昀 (曉峯) Chang Chi-yün (Hsiao-fêng) 1900~

五三年十一月当時政務院華僑事務委員会辦公庁主任。  
山東省荷沢県の人。米イリノイ大学修学、コーネル大学土木工学科卒業。国立青島大学教授。北洋大学講師。山東建設技正科長。山東全省河工委員会委員兼主任技師。華北水利委員会秘書主任。葫蘆島築港主任工程師。北方大港準備委員会主任工程師。黄河水利委員会委員兼秘書長。四九年十月政務院水利部副部長。五三年九月ブダペストにて開催の国際科学工作者協会第三回代表大会に中華全国自然科学専門学会連合会全国委員会委員として出席。五四年八月第一期全国人民代表大会山東省代表。五五年七月同大会第二次會議提案審査委員会委員。五六年六月同大会第三次會議提案審査委員会委員。著書「水力学」。

張 希 欽 Chang Hsi-chin

五六年七月当時人民解放軍新疆军区副司令員、少将。

張 希 哲 Chang Hsi-chê (Chang David Hsi Cheh) 1918~

広東省の人。国立政治大学卒業。米ワシントン大学に留学。広東中山日報発行人。広東省政府顧問。広東立法大会委員。教育部總務司司長。現在立法院委員。著書「計画管理と統制経済」「新県制度」。

浙江省鄞県の人。国立南京高等師範学校卒業。参謀本部專員。

「国風」半月刊主筆。国民政府主計顧問。建設委員会委員。国防委員会専門委員。二七年—三六年中央大学政治学校教授、資源委員会委員、高等試験委員。三六年—三七年浙江大学文学院院长、国防設計委員会委員、中国地理学会総幹事。三五年中央研究院第一次評議員。国民参政会第二期参政員。中央常務委員。四九年考試委員、高等試験委員を兼任。三六年—四八年浙江大学史地学系主任兼師範学院史地学系主任。国民党総裁辦公室秘書組組長。四九年—五〇年国民党宣伝部長。五〇年—五二年国民党中央改造委員会秘書長。五二年—五四年国民党中央委員兼秘書長。五〇年中国地理学会会長。五三年中国科学協進会幹事。五四年六月教育部部長。著書「中国民族誌」「中国经济地理」「浙江省史地紀要」「人生地理学」「高中本国地理」「人生地理教科書」「高中外国地理」「民族思想」「東亜文化」「三民主義概論」「精神教育」「總理偉大之人格」「總裁命哲学」「新生活運動」「張洩泉先生之學術思想」「党史概要」。

張 紀 元 Chang Chi-yüan

五三年六月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。

張 紀 明 Chang Chi-ming

日本早大聴講生。かつて中共中央西北局委員兼同局経済計画委員会副主任秘書、彭德懷の部下として経済情報を担当したといわれ



る。新聞工作者連誼会副秘書長兼外国放送局長、中国国際貿易促進委員会経済研究室主任。中国対外文化協会経済研究室主任。五五年三、四月の間中共貿易代表団副秘書長として来日。

張 紀 城 Chang Chi-yü

五六年二月民主同盟第二期中央委員会候補委員。

張 祺 Chang Chi

浙江省の人。中華全国総工会執行委員。四九年末—五三年一月華東軍政委員会委員。上海総工会副主席。五三年一月華東行政委員会委員。五四年六月華東軍政委員会人民監察委員会委員を解任。八月第一期全国人民代表大会上海市代表。五五年一月上海市工会連合会第二期委員会委員。二月上海市人民委員会委員。五六年四月全国先進生産者代表会議主席団員。

張 毅 Chang I

五五年二月遼寧省人民委員会委員。

張 毅 忱 Chang I-chên

五三年一月当時陝西省人民政府工業庁庁長。同月陝西省人民政府委員。五四年十二月陝西省人民委員会委員。

張 輝 Chang Hui

五三年二月当時雲南省楚雄専区姚安県人民法院副院長。

張 玉 珍 Chang Yü-chên

五三年五月中国イスラム教協会委員会委員。五四年七月当時中南各民族參觀団員、湖南省苗族代表として北京訪問。五五年七月当時中国イスラム教協会秘書長。

張 玉 美 Chang Yü-mei

五五年六月中共河北省邢台県委員会書記。

張 玉 僕 Chang Yü-pu

五六年十二月当時中国進出口公司副經理。

張 鈺 哲 Chang Yü-chê 1902~

福建省の人。二九年米シカゴ大学碩士。天文学者。二九年—四一年南京中央大学教授。四一年中国科学院南京紫金山天文台台長。五三年二月中国科学院訪ソ代表団団員として訪ソ。五五年五月中国科学院物理学化学学部委員。

張 金 輝 Chang Chin-hui

五三年七月中国新民主主義青年団第二期中央委員。

張 金 保(女) Chang Chin-pao

湖北省の人。四八年八月ハルビンで開催された第六次全国労働大会の準備委員、同大会で中華全国総工会執行委員。四九年四月中華全国民主婦女連合会執行委員。九月同連合会を代表して政治協商会

張 吉 平 Chang Chi-ping

五六年十一月中共駐ボンベイ総領事。

張 杏 花(女) Chang Hsing-hua

五四年八月第一期全国人民代表大会浙江省代表。

張 曉 東 Chang Hsiao-tung

五五年二月山西省副省長。

張 曉 梅(女) Chang Hsiao-mei 1901~

河北省良郷出身。北京市民主婦女連合会主席。五一年二月北京市人民政府委員会委員。五三年三月当時北京市婚姻法貫徹運動委員会副主任。四月世界婦人大会出席代表団員。同月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。五月北京市選挙委員会委員。八月第一期全国人民代表大会北京市代表。

張 旭 Chang Hsi

民家族。五四年八月雲南省保僱族自治区人民政府副主席。

張 玉 珩 Chang Yü

五六年一月当時新民主主義青年団天津市委員会副書記長。

張 玉 環 Chang Yü-huan

五三年九月当時中共貴州省鎮遠地方委員会書記。

議に出席。中南軍政委員会委員。武漢市総工会副主席。五三年一月中南行政委員会委員。同月中南軍政委員会委員を解任。五四年十二月政治協商会第二期全国委員会委員(中華全国総工会)。

張 欽 Chang Chin

元綏遠省参議会議長。四九年—五四年六月綏遠省軍政委員会委員。五三年一月—五四年六月綏遠省人民政府委員。五四年八月内蒙古自治区人民政府委員、当時内蒙古自治区人民政府参事室副主任。五五年四月内蒙古自治区人民委員会委員。

張 琴 秋(女) Chang Chin-chiu

浙江省の人。紅軍の西遷に従軍。中共の陳昌浩と結婚。戦時中は延安の陝北公学、女子大学で教育関係の仕事に従事し、陝北公学校長成仿吾や同教授孟慶樹の助手。四九年蔡暢、鄧穎超らとともに婦人運動の指導者として活動し、四月中華全国民主婦女連合会執行委員。九月政治協商会第二期全国委員会委員。十月政務院紡織工業部副部長。五三年四月中国第二回全国婦人代表大会主席団員。同月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。八月中国紡織工会第二回全国代表大会に紡織工業部副部長として出席。九月中共ルーマニア間、科学、技術合作連合委員会第一回會議代表団員としてルーマニア訪問。十二月中国紡織工業部參觀団団長として訪ソ。五四年八月第一期全国人民代表大会浙江省代表。十一月國務院紡織工業部副部長に再任。十二月中ソ友好協会第二次全国代表大会代表(中華全国民主婦女連合会)。



張 琴 南 Chang Chin-nan

五四年七月当時大公報總編集。五六年二月民主同盟第二期中央委員候補委員。

張 錦 城 Chang Chin-chêng

五五年一月当時北京市商業局副局長。

張 君 君 Chang Chün

五三年六月当時中共河北省紀律檢查委員會書記。

張 君 勸 Chang Chün-mai (Carson Chang) 1886~

日本、ドイツ、英國に留学。蘇州法律学校長。三八年—四八年國民參政會參政員。四〇年—四二年同會常任委員。中國民主社會黨主席。四五年サンフランシスコ會議の中國代表の一員。四八年總統府資政。五二年中國自由民主化闘争同盟會長。現在米國在住。

張 羣 (世軍) Chang Chün (Yüeh-chün) 1889~

四川省華陽縣の人。日本陸軍士官学校卒業。一七年廣東大元帥府參軍、軍政府副官長。一八年四川省警務處長兼省會警察廳長。二四八年國民革命第二軍參加。河南警務處長兼省會警察廳長。二六年—二八年國民革命軍總司令部參議軍事委員會委員。二八年—二九年軍政部政務次長。二八年以來國民黨中央執行委員會執行委員、中央政務會議外交委員會委員同濟大学校長。二九年—三一年上海特別市市長。三三年—三五年湖北省政府主席。三五年—三七年外交部長。三七年

國民黨中央政治會議秘書長。三八年—三九年行政院副院長兼重慶行營主任。三八年—四二年國防最高委員會秘書長兼中央建設局秘書長。四〇年—四五年軍事委員會委員長成都行轅主任。四川省主席。四六年五月重慶行營主任代理。四六年政治協商會議を前にしてマーシャル元帥の斡旋になる中共との話合いに國府を代表して周恩来と折衝。四七年四月—四八年行政院長。同年國府委員。四八年十一月國民黨中央政治委員會秘書長。同年十二月孫科内閣政務委員。四九年一月重慶治安公署主任。三月何応欽内閣に留任。四月西南軍政長官(四川、西康、貴州、雲南)。六月閻錫山内閣の政務委員。七月國民黨委員會委員。五〇年三月總統府資政。五四年八月總統府秘書長。革命實踐研究院主任。

張 勁 夫 Chang Ching-fu

浙江省の人。浙江省人民政府財政經濟委員會副主任兼實業庁長。華東軍政委員會財政經濟委員會委員。五二年十月—五四年六月華東軍政委員會財政經濟委員會副主任。五四年八月第一期全國人民代表大會安徽省代表。十一月國務院地方工業部副部長。五六年三月國務院科學規劃委員會委員、同委員會秘書長。

張 奚 若 Chang Hsi-juo 1889~

陝西省朝邑の人。同盟會員として辛亥革命に奮闘したが、同盟會が國民黨に改組されるや脱會。一三年米國留学、米コロンビア大学卒業。帰國後、北京政法大学、中国大学、南京中央大学の教授を歴任。二九年以降清華大学政治学系教授。日華事變勃發後昆明の西南

連合大学教授となり、「蔣介石を斥く」を發表して蔣介石の独裁に反対。清華大学教授。四九年九月政治協商會議全國委員會委員、同常務委員。十月中央人民政府委員會委員、中央人民政府政治法律委員會副主任。五三年一月選挙法起草委員會委員。同月—五六年九月当時中国人民世界平和擁護委員會北京市分会主席。五三年一月当時北京市抗米援朝分会主席。四月—五六年二月当時中国人民外交学会會長。五三年六月当時政務院教育部部長。中国抗米援朝總會常務委員。五四年五月中国人民对外文化協會理事、常務理事。八月第一期全國人民代表大會北京市代表。九月同大会第一次會議主席團團員。同月國務院教育部長。十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(無黨派民主人士)、同常務委員。同月中ソ友好協會第二次全國代表會代表、同協會總會第二期理事會理事。五五年二月北京市人民原子武器使用反対署名運動委員會主席。七月中国人民外交学会會長再任。十一月北京における日本憲法擁護國民連合訪華代表團との共同コミニケ調印式に参加。五六年二月中央標準語普及工作委員會副主任。三月全國文盲一掃協會副會長兼同協會委員。四月全國先進生產者代表會議主席團員。

張 桂 德 Chang Kuité

五二年当時河北省涿県公安局副局長。

張 啓 龍 Chang Chi-lung

五三年一月東北人民政府委員を解任。十月当時中華全國合作社連合總社副主任。五四年二月当時人民解放軍慰問代表團總副團長。七

月当時中華全國合作社連合總社臨時理事會副主任。同月中華全國供銷合作社總社全國委員會委員、同理事會副主任。十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(合作社)。同月中ソ友好協會第二次全國代表會代表(中華全國供銷合作社)。五六年九月中共第八期中央委員會候補中央委員。

張 綱 伯 Chang Chiung-po 1885~

浙江省寧波の人。上海交通大学の前身南洋公学出身。日本留学。帰國後杭州、寧波等中等学校教師。後財政部塩務署勤務。後金融界に転じ青島民華銀行、上海民華銀行総經理。上海事變後盤居して中國の政治經濟研究に専念。日華事變後「内戦反対」の平和運動に挺身。下関事件の時郭沫若らと一緒に暴徒に殴打された。四九年政治協商會議に商工界代表として出席。五四年八月第一期全國人民代表大會江蘇省代表。十二月中ソ友好協會第二次全國代表會代表(中国民主建國會)。五五年七月中国人民外交学会第三期理事會理事。

張 惠 英(女) Chang Hui-ying

五四年八月第一期全國人民代表大會雲南省代表。

張 惠 民(女) Chang Hui-min

五三年七月中国新民主主義青年團第二期中央委員會候補委員。

張 景 鉞 Chang Ching-yüeh

五五年五月中国科学院生物学地学学部委員。



張景祐 Chang Ching-hu  
民間芸術家。五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員  
(中国文学芸術界連合会)。

張景寧 Chang Ching-ning  
五五年二月広西省人民委員会委員。五六年八月中国民主促進会第  
四期中央委員会委員。

張經武 Chang Ching-wu 1906~

河南省生れ。四二年頃八路軍山東總指揮部(司令徐向前)山東縱  
隊司令。四四年一八集團軍留守兵团(司令蕭勁光)の參謀長。四九  
年西南軍区(司令賀龍)副參謀長。五一年八月中央人民政府代表と  
して西藏駐在。五四年八月第一期全国人民代表大會四川省代表。十  
二月政治協商會議第二期全國委員會委員(共產党)、同常務委員。  
同月中ソ友好協會第二次全國代表會代表(軍隊)。五五年一月当時  
依然中央政府駐西藏代表。七月中華人民共和國主席辦公庁主  
任。九月一級八一勳章、一級獨立自由勳章および一級解放勳章を授  
与さる。五六年三月西藏訪問中央代表團副團長。九月中共第八期中  
央委員會候補中央委員。

張敬寬 Chang Ching-kuan

五五年二月熱河省人民委員會委員。

張慶孚 Chang Ching-fu

五六年十月國務院林業部副部長。

張繼英 Chang Chi-ying

五四年二月河南省開封市第一期人民代表大會代表。

張繼明 Chang Chi-ming

五三年七月中国新民主主義青年團第二期中央委員。五四年七月当  
時中国新民主主義青年團西北工作委員會青工部部長。

張才夫 Chang Chieh-fu

五五年四月中国海員工会全國委員會副主席。

張杰 Chang Chieh

五六年五月当時中国パキスタン友好協會理事。

張傑 Chang Chieh

五三年一月—五五年十月当時新華社記者。五五年五月当時中国イ  
スラム教協會秘書長兼務。

張潔珣 Chang Chieh-hsün

五五年八月当時北京市民主婦女連合会秘書長。

張月潭 Chang Yueh-tan

張敬堂 Chang Ching-tang

五五年一月浙江省人民委員會委員。

張敬禮 Chang Ching-li

五三年十一月全国工商業連合会執行委員。五四年十二月政治協商  
會議第二期全國委員會委員(中華全国工商業連合会)。五五年二月  
江蘇省人民委員會委員。十一月当時江蘇省工商連副主任委員。五六  
年十二月全国工商連第二期執行委員(江蘇省)。

張慶華 Chang Ching-hua

五四年十一月最高人民法院審判員。

張慶洪 Chang Ching-hung 1928~

遼寧省の人。北京中央新聞記録電影(映画)製片廠記者。五六年  
五、六月の間訪日京劇代表團撮影記者として来日。

張慶春 Chang Ching-chun

五四年八月第一期全国人民代表大會広東省代表。十月当時中国店  
員工会全國委員會秘書長。十二月当時中国商業工会全國委員會執行  
委員。五六年四月全国先進生産者代表會議主席團員。

張慶松 Chang Ching-sung

五五年十月当時中国聾啞人福利会準備委員會委員。

五五年三月安徽省人民委員會委員。

張月亭 Chang Yueh-ting

五三年九月当時北票礦務局副局長。

張建平 Chang Chien-ping

五三年八月当時政務院農業部辦公庁副主任。

張健 Chang Chien

五三年七月当時全国高等学校学生募集委員會辦公室副主任。十月  
—五四年一月当時政務院高等教育部計画財務司副司長。五五年八月  
当時國務院高等教育部計画司副司長。

張健民 Chang Chien-min

五三年八月当時中共河南省鄭州地方委員會書記。

張劍鋒 Chang Chien-feng

五五年六月当時國務院建築工程設計画司副司長。十月当時同部計  
画統計司副司長。

張謙 Chang Chien(Henry K Chang)1888~

広東省新会県の人。六年米ベンシルバニア大学法学士。三一年駐  
ニューヨーク総領事。三三年—三四年駐チリ公使。四二年—四三  
年外交部米州局局長。四三年駐ポルトガル公使。四七年駐オラン  
ダ大使。



張元濟 (菊生) Chang Yuan-chi (Chü-shêng)  
1866~

浙江省海塩の生れ。前清時代の進士(翰林)。光緒末年郵電部左参議。戊戌政変には嫌疑を受けて上海に逃る。商務印書館を創設(監理)。第一革命後袁世凱内閣の学部大臣に任ぜられたが、就任せず、専ら商務印書館の経営に当る。四九年上海「解放」後商務印書館の返還を受く。九月政治協商会議に出席。五三年一月華東行政委員会委員。同月華東軍政委員会委員解任。当時商務印書館董事長。五四年八月第一期全国人民代表大會上海市代表。

張沉長 Chang Yuan-chang 1903~

上海の人。二四年復旦大学卒業。三二年米ジョンズホプキンス大学博士号。三一年—三三年国立武漢大学英語教授。三三年—三四年国立中央大学英語教授。三五年—三六年米ノースカロライナ大学交換教授。四五年—四八年外交部情報司顧問。五〇年—五一年香港 Newsdom 主筆。五二年以来中国知識階級難民救済会台湾事務所所長。

張彦彦 Chang Yèn

五四年二月当時中共中央華東局秘書長。六月華東軍政委員会土地改革委員会委員を解任。五五年四月國務院總理辦公室副主任。五六年二月中国亞洲團結委員会委員。五六年十一月—五七年二月周恩来に隨行し、東南アジア、ソ連、東欧諸国訪問。

張光年 Chang Kuang-nien

作家。五四年四月当時中ソ友好協会ソ連メーデー參觀団員として訪ソ。十一月当時中国戲劇家協会副秘書長。五六年三月中国作家協会理事。十二月中国作家協会書記処書記。

張向前 Chang Hsiang-chien

五四年十一月最高人民法院審判員。

張向凌 Chang Hsiang-ling

五三年五月当時中共黒龍江省委員会宣伝部副部長。

張江樹 Chang Chiang-shu

南京大学教務長。五三年十二月華東化工学院院長。五五年二月上海市人民委員会委員。五六年二月民主同盟第二期中央委員会委員。三月当時華東化学学院院長。

張行言 Chang Hsing-yên

五五年三月國務院專家工作局副局長。

張孝華 Chang Hsiao-hua

労働模範。中共黨員。上海蒸気タービン廠技術工人。五五年十一月の間中共見本市代表团工作員として来日。

張孝鶯 Chang Hsiao-chien

張嚴 Chang Yèn  
五五年二月河北省人民委員会委員。

張呼晨 Chang Hu-chên

五五年一月四川省人民委員会委員。五六年十二月当時四川省人民委員会財政庁の中共支部書記。

張公制 Chang Kung-chih

五三年三月当時青島市人民政府副市長。全国乙等衛生模範。五四年八月第一期全国人民代表大會山東省代表。

張光旭 Chang Kuang-hsi

五四年八月中国キリスト教三自愛国運動委員会常務委員。

張光岱 Chang Kuang-tai

五三年四月中華全国総工会執行委員。

張光斗 Chang Kuang-tou

五三年三月当時清華大学水利教授。五三年四月当時中共駐東独外交使節團商務参事官。同月北京における中独五三年度バーター取引と支払協定調印式に参列。五四年三月—五五年四月当時中共駐東独大使館商務参事官。五五年六月中国科学院技術科学学部委員。五六年二月中国亞洲團結委員会委員。三月当時清華大学水工結構教研組主任。四月当時全国先進生産者代表会議主席団員。

五三年十二月当時医科大学内科教授。五五年五月中国科学院生物学地学学部委員。五六年一月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。

張効曾 Chang Hsiao-tsêng

五五年三月國務院機關事務管理局副局長。

張庚 Chang Kêng

戲劇家、作家。五三年八月当時中華全国戲劇工作者協会副主席。五五年六月当時中国戯曲院副院長。

張洪濤 Chang Hung-tao

五五年十月当時雲南省食品公司經理。

張香圃 Chang Hsiang-pu

五六年十二月全国商工連合会第二期執行委員(広西省)。

張浩波 Chang Hao-po

五三年七月中国新民主主義青年団第二期中央委員。

張廣才 Chang Kuang-tsai

五五年二月湖北省人民委員会委員。九月一級八一勳章および一級解放勳章を受く。五六年九月当時少将、駐武漢部隊長。

張廣標 Chang Kuang-piao



五六年二月民主同盟第二期中央委員会候補委員。

張 鴻 Chang Hung

五三年六月中華全國民主青年連合会第二期全國委員会委員。五六年二月九三学社第四期中央委員会委員。

張 鴻 鈞 Chang Hung-chün

五三年七月新民主主義青年團第二期中央委員。五四年九月遼寧省撫順市人民政府委員を解任。五五年十一月当時中国新民主主義青年團瀋陽市委員会書記。

張 鴻 志 Chang Hung-chih

五三年四月中華全國民主婦女連合会第二期執行委員候補。五五年二月貴州省人民委員会委員。

張 鴻 烈 (幼山) Chang Hung-lich (Yao-shan, J. L. Chang) 1886~

河南省固始県人。米ポールドウイン、ウォース大学およびイリノイ大学卒業。一九九年河南開封中州大学校長。二八年河南省政府委員。三〇年兼教育庁長。同年山東省政府委員兼建設庁長。現在国府立法委員。

張 克 Chang Kè

五六年十二月全國工商連合会副秘書長兼辦公室主任。

張 克 俠 Chang Kè-hsia

北京生れ。上海市警備司令部參謀長。人民解放軍第一一兵团第三軍長。四九年末華東軍政委員会委員兼農林部部長。五三年一月華東軍政委員会委員解任。同月華東行政委員会委員兼農林部部長。五四年六月華東軍政委員会財政經濟委員会委員解任。十一月國務院林業部副部長。五五年九月一級解放勳章を受く。

張 克 讓 Chang Kè-jiang

五三年三月当時河北省人民政府農業庁庁長。五五年二月河北省人民委員会委員。

張 克 明 Chang Kè-ming

五六年二月国民党革命委員会中央委員。

張 國 華 Chang kuo-hua

江西省の人。人民解放軍軍長。五〇年七月西南軍政委員会委員。西藏進駐の主力部隊約五千人を率い、五一年十月ラサ到着。五二年人民解放軍西藏軍区創設とともにその司令員。五三年一月西南行政委員会委員。五四年一月当時西藏軍区軍人代表大会代表。第一期全國人民代表大会西藏代表。九月国防委員会委員。五五年三月西藏自治区準備委員会第二副主任委員に予定さる(五六年四月就任)。七月全國人民代表大会第二次會議主席團團員。九月一級独立自由勳章および解放勳章を受く。五六年二月当時中共西藏工作委員会代理書記。九月当時中共西藏工作委員会副書記。

張 國 權 Chang Kuo-chuan

五五年五月國務院川・甘・康・青四省(四川、甘肅、西康、青海)辺境工作団副団長。

張 國 聲 Chang Kuo-shêng

解放軍政治部副主任。四九年青海省人民政府委員兼秘書長。五四年十二月青海省副省長。

張 國 燾 (特立) Chang Kuo-tao (Tè-lì) 1898~

江西省吉永県の人。江西中学を経て北京大学卒業。二〇年イルクツクにおける極東弱小民族會議に中国代表として出席。中共創立者の一人で、二一年中共第一次大会には北京代表として出席、党組織部長。二四年第一次国共合作の際国民党第一次中央候補執行委員として入ッ。三一年帰国、中華ソヴェト臨時政府副主席。三五年工農紅軍西遷の途次西河口會議以降、中国革命の根拠地等の問題につき毛澤東と意見合わず、また三六年西安事変の際も蔣介石の処分問題について毛澤東派と意見を異にした。日華事変発生後の態度は日和見主義的であるとの理由、その他党中央の指導に従わないとの理由で、三八年四月中共党から除籍された。その後香港に渡り隠遁生活を送っている。

張 國 藩 Chang Kuo-fan

湖北省の人。中国民主同盟天津市支部副主任。天津大学副校長。

張 國 淦 (乾若) Chang Kuo-kan (Chien-juo) 1873~

湖北省蒲圻県の人。貧家に生れ幼年父を喪い後進士となる。張國淦(字海若)の兄。前清憲政編查館員。民国成立後北京政府に入り統計局副局長、國務院銓敘局長、國務院秘書長。一四年徐世昌内閣の内務次長、參議院參政。一六年段祺瑞内閣の教育総長、農商総長兼司法総長。黒龍江省長。一七年再び段内閣の農商総長兼全国水利局長。二〇年漢口港務局長。二二年平政院長。二二年顔惠慶内閣の農商総長兼内務総長。二四年孫寶琦内閣の教育総長。二六年顔内閣の内務総長。同年官界を退き、その後は方志考証の著作に専念。五六年一月政治協商會議第二期全國委員会特別招請委員。

張 國 基 Chang Kuo-chi

湖南省益陽県の人。現在六一歳位。四〇年李春鳴と協力して、ジャカルタ中華中学を創立。ジャカルタ中華教師公会執行委員、中華總商會理事、中華僑團工作委員を歴任。ジャカルタ總商會理事、中華僑団總會副主席。五四年九月第一期全國人民代表大会華僑代表。

張 國 旭 Chang Kuo-hsi

五六年十二月全國工商業第二期執行委員(河北省)。

張 國 堅 Chang Kuo-chien

五四年十一月國務院第六辦公室副主任。五六年三月國務院科學規劃委員会副秘書長。



五三年一月華北行政委員會委員。五四年二月人民解放軍慰問代表團第六總分團副團長。八月第一期全國人民代表大會天津市代表。九月華北行政委員會委員を解任。五五年一月天津市人民委員會委員。五六年二月民主同盟第二期中央委員會委員。

張 國 屏 Chang Kuo-ping

五五年二月山西省人民委員會委員。

張 恨 水 Chang Hên-shui 1895~

安徽省潛山県の人。大衆作家。通俗小説「啼笑因縁」で人気を得、一時華北美術専門学校長。後南方で執筆生活。

張 根 生 Chang Kên-shêng

五五年九月当時中共広東省粵北区委員會書記。

張 查 理 Chang Cha-li

山東省の人。五三年一月当時西北軍政委員會衛生部副部長。同月西北行政委員會委員。五五年十一月中華医学会副理事長。同月副理事長として日本訪華医学代表团との医学交流の協議調印式に参加。

張 際 春 Chang Chi-chun

湖南省の人。四五年中共第七期中央委員會候補委員。四九年人民解放軍第二野戦軍副政治委員。五〇年七月西南軍政委員會委員。五三年一月西南行政委員會委員。三月当時中共中央西南局第一副書記。

および学校教職員を歴任。四六年スイスで開催されたM.R.A.の会議にシンガポール代表として出席。四八年シンガポール立法院議員。

張 士 英 Chang Shih-ying

五三年六月当時中共黒龍江省委員会副書記。

張 士 毅 Chang Shih-i

五五年二月遼寧省人民委員會委員。

張 士 琅 Chang Shih-lang

五六年一月政治協商會議第二期全國委員會特別招請委員。

張 子 意 Chang Tzu-i

湖南省の人。四九年人民解放軍西南軍区政治部副主任。五〇年六月西南軍政委員會委員兼文化教育委員會副主任。五三年一月西南行政委員會委員。九月当時中共中央西南局宣傳部長。五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(共産党)。

張 子 克 Chang Tzu-kê

五三年九月当時中国ルーマニア科学技術合作連合會中共側委員。同月当時一五六年十月まで中共駐ルーマニア大使館商務参事官。

張 子 齋 Chang Tzu-chai

民家族。五四年八月第一期全國人民代表大會雲南省代表。五五年二月雲南省人民委員會委員。

記。十月当時解放軍西南軍区副政治委員。五四年八月第一期全國人民代表大會四川省代表。十月当時中共中央宣傳部副部長。十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(共産党)、同常務委員。同月中ソ友好協會第二次全國代表會代表。五六年九月中共第八期中央委員。

張 作 舟 Chang Tzu-chou

五五年十二月当時中共湖南省新化県委員會第二書記。

張 策(策安) Chang Tsê(Tsê-an)

山西省沁水県の人。日華事変前は国民政府外交部条約委員會委員。後中共松江省委員会書記。五二年末政務院交通部副部長。五三年十一月全國工商業連合會執行委員。五四年十一月國務院副秘書長。

張 山 鐘 Chang Shan-chung 1886~

台湾屏東県の人。台湾医学学校卒業。医師。屏東県参議員。屏東民選県長を経て五四年六月台湾省政府委員。

張 燦 明 Chang Tsan-ming

五三年一月当時中華全國總工會華東辦事処第一副主任。四月總工會訪ソメーデー参観団団員。五四年六月華東軍政委員會政治法律委員會委員解任。五五年十月國務院外交部領事司司長。

張 贊 美 Chang Tsan-mei (Thio Chan-bee) 1904~

スマトラ島メダン生れ。福建省廈門市出身者の子孫。シンガポール在住華僑。シンガポール英華書院卒業。メソジスト系教会の理事

張 子 泉 Chang Tzu-chuan 1924~

中国国際貿易促進委員會科長。五五年十一月の間中共見本市代表团工作員として来日。五六年十二月当時中国国際貿易促進委員會展覽部部長。

張 子 宗 Chang Tzu-Tsung (Teoh Chze-chong) 1914~

マライのパハン生れ。クラング在住華僑。マライ連邦立法議員、治安判事、劇場経営者、マライ華僑公会クラング支部長。ジョホールのサルタンよりS・M・Jの称号を受く。

張 子 芳(女) Chang Tzu-fang

陝西省の人。四九年西北軍政委員會委員。五三年一月当時中華全国民主婦女連合会執行委員兼陝甘寧辺区民主婦女連合会主任。同月西北行政委員會委員。四月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員、同常務委員。五四年六月西北軍政委員會土地改革委員會委員を解任。

張 子 富 Chang Tzu-fu

撫順市労働模範。五四年八月第一期全國人民代表大會撫順市代表。

張 子 武 Chang Tzu-wu

五五年三月山東省人民委員會委員。



張子良 Chang Tzu-liang

五五年五月当時国務院林業部木材生産局局長。五六年十月国務院森林工業部部長助理。

張之槐 Chang Chih-huai

五四年八月当時中央政府体育運動委員会幹部訓練司副司長。五五年七月ワルシャワにおける第五回世界青年および学生平和友誼交歓節参加の中央青年代表団体育隊副監督。十月当時排球協会主席。五六年一月中国オリンピック委員会委員。

張之江 Chang Chih-chiang

五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。五六年二月国民党革命委員会中央委員。

張仕騫 Chang Shih-chien

五三年六月当時広州華興貿易行副經理、中華全国青年第二次代表大会に出席。同月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。

張志讓 (季龍) Chang Chih-jang (Chi-lung) 1899~

江蘇省武進県の人。復旦大学卒。米コロンビア大学碩士。国民政府高等法院検事。復旦大学法学院院長。国府に逮捕された抗日「七君子」のために弁護士となる。日華事変中復旦大学とともに重慶に移り、雑誌「文摘」を出版。戦後上海に帰り「復旦文摘」を経営。四九年中央人民政府最高人民法院副院長。五三年四月中国政治法律

濟部工鈺管理局次長。四四一年四五年戦略物資生産局原料科長。四七年一五〇年中国石油公社總經理。五〇年一五一年財政部次長。五一年三月マニラ交通銀行總經理。五二年經濟部長。五三年以来台湾銀行理事役員会会長。

張紫常 Chang Tzu-chang (Tse-chang, Kent Chang) 1906~

広東省中山県の人。嶺南大学卒業。米三七年コロンビア大学卒業。二八年外交官試験合格。サンフランシスコ領事見習。ニューヨーク副領事。三七年一四五年駐ロスアンゼルス領事。四五年以来サンフランシスコ総領事。

張資平 Chang Tzu-ping 1895~

広東省梅県の人。日本第五高等学校卒。東京帝大理学部地質科卒。武昌師範大学礦物学教授。後郁達夫とともに創造社により恋愛小説作家となり、中国の菊地寛といわれ、長篇「最後の幸福」「青春」短篇集「愛の焦点」等で人気を得たが、後国民党藍衣社機関誌「国民文学」編集者となる。

張治中 (文白) Chang Chih-chung (Wên-po) 1891~

安徽省巢県の人。一六年保定陸軍軍官学校卒業後、広東軍政府に入り、黄埔陸軍軍官学校学生総隊長、軍官団長。広州衛戍司令部參謀長、党軍第二師參謀長、黄埔陸軍軍官学校武漢分校教育長、国民革命軍總司令部訓練処長等を経て、軍政視察のため欧米および日本に派

学会成立大会に主席団員。同月中国政治法律学会副主席。五四年八月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。五五年一月カルカッタのアジア法律工作者会議参加の中国政治法律学会代表団団長。二月最高人民法院審判委員会委員。五六年二月中国亜細亞団結委員会委員。三月政治法律学会第二期副会長。五月ブラッセルの国際民主法律工作者協会第六期大会参加の中国政治法律学会代表団団長。五六年十一月中国エジプト協会理事。

張志專 Chang Chih-chuan

五三年四月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員候補。五四年九月三級人民英雄。

張志和 Chang Chih-hé

五四年九月西南軍政委員会財政經濟委員会委員解任。五六年二月民主同盟第二期中央委員会委員。

張使 Chang Shih

五四年六月当時広東省海南黎族苗族自治区人民政府副主席(漢族)。

張泗洲 Chang Ssu-chou

五四年八月第一期全国人民代表大会四川省代表。

張茲闈 Chang Tzu-kai 1900~

広東省の人。三二年米ニューヨーク大学卒業。三八年一四四年経

遭され、二八年帰国。爾来国民政府軍事委員会軍政庁長、中央陸軍軍官学校訓練部主任、同校教育長等を歴任。二九年馮玉祥討伐に際し、陸海空軍總司令武漢行營主任。三〇年教導第二師を編成し、同師長となり、閻錫山、馮玉祥等の反蔣軍興るや津浦線方面に作戦。三一年再び中央陸軍軍官学校教育長に任ぜられ、将校養成に当る。三二年上海事件勃発後、第五軍長および第八七師長を兼ね日本と戦い敗れて、浙江に退く。三五年第五期中央執行委員。四九年四月国共和平会談の国府側首席代表。九月政治協商會議全国委員会委員、中央人民政府委員会委員、人民革命軍事委員会委員、西北軍政委員会副主席。五二年当時人民革命軍事委員会国防研究小組組長。五三年一月当時国民党革命委員会中央委員会委員。同月選挙法起草委員会委員。同月機構改革により西北行政委員会副主席。二月政治協商會議全国委員会常務委員。十月当時国民党革命委員会中央常務委員。十一月当時西北中ソ友好協会副会長。五四年七月当時国民党革命委員会西北工作指導委員会主任委員。八月第一期全国人民代表大会甘肅省代表。九月同大会第一次會議主席団員、同大会常務委員、国防委員会副主席。十二月政治協商會議第二期全国委員会委員、同常務委員。同月中ソ友好協会第二次全国代表会代表。同協会總會第二期理事會理事。五五年七月ポロランド人民共和国成立一〇周年紀念式典参加の中共政府代表団員。同月各国議會連盟参加の人民代表団執行委員会委員。九月一級解放勳章を受く。五六年二月国民党革命委員会中央委員会に再任。三月国民党革命委員会中央委員会副主席に再任。六月全国人民代表大会第三次會議主席団員。五七年二月国民党革命委員会台湾平和解放工作委員会主任委員。



張 璽 (爾H) Chang Hsi (Erh-yü) 1898~

河北省平郷の人。仏リヨン大学農學院卒業。理科碩士の称号を受く。三二年フランス理学博士号。北京研究院動物学研究所研究員。研究報告「青島食用軟体動物之初步研究」(單行本)。「海産動物對温度変化之抵抗力」。「青島沿岸軟体動物後鰓類之研究」(動物研究所叢刊、二卷二期出版)。中法大学医学院講師等歴任。後中共に入り河北省委員會書記。四九年中南軍政委員會委員。五二年十一月中央人民政府國家計畫委員會委員。五四年十一月國務院國家計畫委員會副主任。十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(共產黨)。五六年二月九三學社第四期中央委員會委員。九月中共第八期中央委員會候補中央委員。

張 執 一 Chang Chih-i

武漢市生れ。日華事変中新四軍第五師第一五旅政治部主任。予鄂辺区軍区第三軍分区政治部主任。中共政府成立後中共中央中南局統一戰線工作部長。五一年十一月中南軍政委員會民族事務委員會主任。五二年八月中南軍政委員會政治法律委員會副主任(兼)。十一月中央民族事務委員會副主任委員。五三年一月中南行政委員會委員兼秘書長。同月在河南少數民族訪問團團長。五四年八月第一期全國人民代表大會湖北省代表。五五年四月當時中共党中央統一戰線工作部副部長。五月國務院第八辦公室副主任。

張 錫 祺 Chang Hsi-chi

五五年三月安徽省人民委員會委員。

張 錫 鈞 Chang Hsi-chün

五四年十二月ソ友好協會總會第二期理事會理事。五五年二月北京市人民委員會委員。五月中国科学院生物学地学学部委員。六月同学部常務委員會委員。

張 若 谷 Chang Juo-ku

五四年五月當時湖北省委員會農村工作部副部長。

張 殊 明 Chang Shu-ming

中国民主同盟南方總支部主任委員。四九年十月中央人民政府華僑事務委員會委員。五三年九月當時同華僑事務委員會生產救濟司副司長。五六年十月中華全國歸國華僑聯合會常務委員會委員。

張 壽 仁 Chang Shou-jên (Teo Siew-jin) 1908~

広東省の人。シンガポール在住華僑。米、土産品、食品、飼料等を取扱う祥利号經理。五六年七月シンガポール工商業貿易視察団食品組副組長として日本ついで中共を訪問。

張 樹 德 Chang Shu-té

五三年九月當時中共中央東北局副秘書長。

張 秀 岩(女) Chang Hsiu-yên

中共黨員。四九年四月中華全國民主婦女聯合會常務委員。十月政

務院人民監察委員會委員。五三年四月中華全國民主婦女聯合會第二期執行委員。五四年八月第一期全國人民代表大會山東省代表。五五年一月國務院監察部部長助理。

張 秀 山 Chang Hsiu-shan

陝西省橫山県の人。延安中共中央党校卒業。解放軍東北軍区副政治委員兼中共中央東北局副秘書長。五〇年東北人民政府委員兼人民監察委員會主任。五三年一月東北行政委員會委員。三月當時中共中央東北局第二副書記。五四年九月東北人民政府人民監察委員會主任並びに東北行政委員會委員を解任。五五年四月中共中央発表の高崗、饒漱石反党連盟に関する決議により反党連盟参加者として処分を受けた旨明らかにされた。

張 秀 勳 Chang Hsiu-shu

五四年八月第一期全國人民代表大會四川省代表。九月西南軍政委員會文化教育委員會委員解任。五五年一月四川省人民委員會委員。

張 秀 純 Chang Hsiu-chun

五三年十月中国文学芸術界連合會第二期全國委員會委員。五五年一月北京市文学芸術工作者連合會副主席として中国京劇院成立大会に出席。十月當時北京市文化局局長。

張 秀 蘭 Chang Hsiu-lan

五四年七月當時天津市人民陪審員。

張 修 竹 Chang Hsiu-chu

五三年一月當時中華全國總工会文教部副部長、中国人民世界平和擁護委員會常務委員會委員。五月中国工会第七次全國代表大會副秘書長。同月全國總工会第七期執行委員。五四年六月—五六年三月當時同總工会宣傳部長。五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員。同月中ソ友好協會第二次全國代表會代表。五五年十一月當時全國總工会書記処書記。五六年三月政治協商會議全國委員會學習委員會委員。四月全國先進生産者代表會議主席團員。

張 輯 五 Chang Chi-wu

五三年八月當時中共中央山東分局秘書長。

張 淑 良 Chang Shu-liang

国民政府時代綏遠省教育庁庁長。四九年綏遠省人民政府委員兼人民監察委員會副主任。五四年六月綏遠省人民政府委員を解任。五五年四月内蒙古自治区人民委員會委員。八月當時内蒙古自治区文化局局長。

張 述 祖 Chang Shu-tsu

五六年一月政治協商會議第二期全國委員會特別招請委員。

張 俊 卿 Chang Chün-ching

五五年二月河南省人民委員會委員。



張俊秀 Chang Chün-hsiu

五五、六年頃全国人民代表大会福建省代表に補選。

張駿祥 (別名、袁俊) Chang Chün-hsiang (Yuan-chün) 1907~

江蘇省鎮江生れ。米エール大学芸術学士。かつて中電劇団を主宰。劇作に「小城故事」「山城故事」「万世师表」「鸡毛信」等がある。五一年十月訪問インド、ビルマ文化代表団員。映画監督。五三年十月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員。五五年二月当時中国戲劇家協会常務理事。五六年二月中国亜細亞團結委員会委員。

張純之 Chang Chun-chih

五四年九月広西省人民政府委員。当時中国農工民主党広西省工作委員会副主任委員。五五年二月広西省人民委員会委員。

張曙光 Chang Shu-kuang

五三年七月中国新民主主義青年団第二期中央委員。五六年三月当時五省・自治区青年造林大会主席。

張曙時 Chang Shu-shih

江蘇省の人。中共中央西南局紀律檢察委員会副書記。華北人民政府監察院副院長。四九年十月政務院法制委員会副主任委員兼政治法律委員会委員。五〇年七月西南軍政委員会委員兼中央人民政府最高

人民法院西南分院院長。五三年一月西南行政委員会委員。四月中国政治法律学会理事。五四年十二月政治協商會議第二期全国委員会委員(共産党)。五五年一月四川省人民委員会委員。同月政治協商會議第一期四川省委員会副主席。

張如崗 Chang Ju-kang

陝西省の人。現在四二歳位。瑞金紅軍大学卒業。中共軍団長、師長を歴任。四九年一五四年六月綏遠省人民政府委員兼公安厅庁長。五四年八月内蒙古自治区人民政府委員、当時内蒙古自治区人民政府政治法律委員会副主任、公安部副部長。

張如心 Chang Ju-hsin

五四年八月第一期全国人民代表大会安徽省代表。九月東北人民政府文化教育委員会委員解任。五五年五月中国科学院哲学社会科学学部委員。

張少康 Chang Shao-kang

五二年十一月当時西安市公安局副局長。

張肖松 (女) Chang Hsiao-sung 1902~

湖北省の人。金陵女子大学学士。米ミシガン大学マスターオブアーツおよび博士号。心理学を専攻。金陵女子大学復旦大学教授。五二年当時台湾大学心理学系教授。

張尙德 Chang Shang-té

五六年十二月全国工商業連合会第二期執行委員 (四川省)。

張承先 Chang Chêng-hsien

山東省の人。中共平原省委員会宣伝部部长。五三年一月一五四年九月華北行政委員会委員。五五年二月河北省副省長。

張承宗 Chang Chêng-tsung

五三年十一月当時華東紡織管理局局長。

張承武 Chang Chêng-wu

五二年十二月四川省藏族自治州人民政府副主席。五五年五月國務院川・甘・康・青四省辺境工作団副団長。

張承標 (蓬生) Chang Chêng-yu (Fêng-shêng) 1885~

湖北省枝江県の人。米ワシントン大学卒業。一一年交通部調査員。一一年一四四年在米国民党代表。三五年一三六年審計部常務次長。三六年一四二年審計部江蘇省審計処長。四三年一四四年浙江省審計処長。四四年一四六年湖南省審計処長。四六年一四七年湖北省審計処長。四九年以來審計部審計長。

張昭 Chang Chao

五五年五月当時國務院林業部造林局長。五六年七月当時同林業部部長助理。

五三年一月四川財經学院院长。同月当時四川省人民政府財政經濟委員会副主任。五四年一月当時中共四川省委員会財政經濟委員会副主任。五五年一月四川省人民委員会委員。

張植民 Chang Chih-min

五四年七月当時華北軍区後勤軍需生産部処長。

張申福 Chang Shen-fu 1908~

北京閩務学校卒業。四二年西安閩務署次長。四三年一四四年重慶海關總署副秘書長。四五年一四八年台湾稅務司。四八年以來台北閩稅務司。

張振南 Chang Chên-nan

五四年八月第一期全国人民代表大会広東省代表。

張昭娣 Chang Chao-ti

五五年二月福建省人民委員会委員。

張省三 Chang Hsing-san

江西省の人。現在四一歳位。北京大学卒業。五四年十月当時國務院農業部東北国营農場管理局副局長。十二月一五五年四月当時農業部国营農場管理総局副局長。五四年十二月「国营友誼農場」建場委員会委員。

張韶方 Chang Shao-fang

五三年一月四川財經学院院长。同月当時四川省人民政府財政經濟委員会副主任。五四年一月当時中共四川省委員会財政經濟委員会副主任。五五年一月四川省人民委員会委員。

張植民 Chang Chih-min

五四年七月当時華北軍区後勤軍需生産部処長。

張申福 Chang Shen-fu 1908~

北京閩務学校卒業。四二年西安閩務署次長。四三年一四四年重慶海關總署副秘書長。四五年一四八年台湾稅務司。四八年以來台北閩稅務司。

張振南 Chang Chên-nan

五四年八月第一期全国人民代表大会広東省代表。



張 振 發 Chang Chên-fa

五四年八月第一期全國人民代表大會瀋陽市代表。

張 振 和 Chang Chên-hé

五六年五月當時國務院國家建設委員會區域規劃局區域規畫處處長。

張 軫 Chang Chên 1884~

湖南省羅山の人。日本陸軍士官學校出身。國民革命軍第一三軍軍長。四八年華中剿共副總司令兼綏靖區司令官、河南省主席を兼任。四八年十一月部隊を率いて中共軍に投降、解放軍第四野戰軍に編入。四九年九月人民解放軍第四野戰軍代表として人民政治協商會議に出席、同會議全國委員會委員。五三年一月中南行政委員會委員。當時湖北軍區副司令員。十一月當時中央人民政府體育運動委員會委員。五四年二月當時抗美援朝總會常任委員。八月第一期全國人民代表大會河南省代表。十二月政治協商會議第二期全國委員會特別招請委員。五五年九月一級解放勳章を受く。五六年二月國民黨革命委員會中央委員。

張 進 Chang Chin

五五年四月華南工學院副院長。五六年四月全國先進生產者代表會議主席團員。五四年四月—五六年五月當時中國建築工會準備委員會副主任。

張 進 霖 Chang Chin-lin

五五年十一月—五六年一月當時新民主主義青年團北京市委員會副書記。

張 樹 滋 Chang Chên-tzu

五五年三月山東省人民委員會委員。

張 璠 Chang Chin

五五年三月山東省人民委員會委員。

張 震 Chang Chên

五三年三月當時中央人民政府人民革命軍事委員會作戰部部長。五月中央防汛總指揮部副主任。六月當時中ソ友好協會總會連絡部副主任。五四年四月當時中ソ友好協會總會幹事會幹事、中ソ友好協會ソ連メーデー參觀團副秘書長。

張 藩 川 Chang Shên-chuan

五四年十一月最高人民檢察院檢察員。

張 仁 滔 Chang Jen-tao 1907~

江蘇省嘉定の人。交通大學卒。米シシガン大卒。帰国後鐵道部鐵路工程司工務長、処長等。戦後上海市公用局局長。四九年台灣省建設庁副庁長、後物資局局長。五七年三月經濟視察團員として来日。

労働模範。上海医療機械廠技術工人。五五年十、十一月の間中共見本市代表団工作員として来日。

張 西 華 Chang Hsi-hua

五三年六月中華全國民主青年連合會第二期全國委員會委員。

張 青 山 Chang Ching-shan

五三年八月當時陝西省興平縣縣長。

張 青 溥 Chang Ching-pu

五四年十一月最高人民法院審判員。

張 青 蓮 Chang Ching-lien

五五年五月中国科学院物理学数学化学部委員。

張 靖 林(女) Chang Ching-lin

五三年七月中国新民主主義青年團第二期中央委員會候補委員。

張 靜 靜 Chang Ching

五三年四月—五四年四月當時中国紡織工會全國委員會副主席。五四年三月全國總工會私營企業工作委員會委員。

張 靜 愚 Chang Ching-yü 1897~

山東省高唐縣の人。清華大學卒業。英リヴァプール工業大學留學。北伐當時空軍司令官。二八年—二九年國民政府軍政部空軍署署

張 瑞 Chang Jui

五五年二月熱河省高級人民法院院長。九月一級解放勳章を受く。

張 瑞 奸(女) Chang Jui-chien 1924~

台灣省の人。高雄女學校卒業。元高雄婦女協會幹事、Chung-mei School 教師。高雄高等女學校教師、高雄市市會議員、高雄體育協會會長。

張 瑞 芳(女) Chang Jui-fang

映画女優。五五年三月アジア諸国会議出席中共代表團員。五六年二月中国亜洲團結委員會委員。

張 瑞 麟 Chang Jui-lin

五五年一月黒龍江省人民委員會委員。

張 世 榮 Chang Shih-jung

五五年三月安徽省人民委員會委員。五六年四月當時安徽省農業庁庁長。

張 正 德 Chang Chêng-té

安徽省の人。現在四九歳位。五三年一月當時熱河省人民政府民政庁庁長。同月熱河省人民政府副主席。五五年二月熱河省副省長。

張 生 龍 Chang Shêng-lung



長。三二年―三八年河南省政府委員、建設庁長。四六年国民大会代表。四八年―五〇年立法院委員。五〇年―五四年行政院經濟部常務次長。

張 静 之 Chang Ching-chih

五五年十二月当時国務院鉄道部工程総局代理局長。同月中蒙ノ鉄路国際通運車紀念式中共代表団員。

張 聲 震 Chang Sheng-chên

僮族。五四年八月第一期全国人民代表大会広西省代表。五五年二月広西省人民委員会委員。

張 石 庵 Chang Shih-an

五三年四月雲南省瀾滄拉祜族自治区人民政府副主席。

張 席 祺 Chang Hsi-ti

五三年三月当時九三学社中央委員。五六年一月当時北京地質学院地質学教授。二月九三学社第四期中央委員会委員。

張 積 慧 Chang Chi-hui

中共志願軍空軍英雄。山東省營城橋上村の普通農家に生る。驅逐機操縦者として志願軍に参加。米軍機撃墜との故により中共人民志願軍司令部から「特等功臣」の称号、北鮮から「軍功章」を受く。五五年三月空軍一級戰鬥英雄として空軍英雄模範功臣代表大会に参加。

張 雪 岩 Chang Hsieh-yên

五五年一月四川省人民委員会委員。

張 雪 軒 Chang Hsieh-hsian

元遼東省人民政府副主席。五四年八月遼寧省人民政府主席。五五年三月政治協商會議遼寧省第一期委員会副主席。十月当時中共遼寧省委員会統一戦線工作部部长。

張 先 成 Chang Hsien-chêng

五五年三月中国進出口公司派遣技術參觀団団長としてフランス訪問。五月中共駐スエーデン大使館商務参事官。

張 先 林 Chang Hsien-lin 1901~

安徽省の人。北京協和医学院卒業。米コロンビア大学附屬病院研究員。二九年ニューヨーク州大学卒業。三六年―三七年コロンビア大学医科研究生。三七年北京協和医学院助教授。四一年―四五年同医学院診療医師。四五年―四九年同医院外科部長。四九年以来国府国防部診療所外科医学教授。

張 茜 Chang Chien

五五年十一月パキスタン訪問中共婦人代表団員。五六年五月中国パキスタン友好協会理事。

張 雋 軒 Chang Chün-hsuan

五五年二月政治協商會議第一期山西省委員会副主席。五六年二月国民党革命委員会中央委員。

張 善 Chang Shan (Chang Shang)

五六年一月国府駐日大使館陸軍武官補佐。

張 蘇 Chang Su 1909~

察哈爾省出身。中共黨員。中共の晋察冀辺区創設者の一人。三三年馮玉祥の抗日連合軍に加わり、三四年には福建事件に参加した。日華事変勃発とともに察南抗日県政府主席。四四年冀察行政公署主任、ついで北嶽行政公署主任。四五年十一月中共側察哈爾政府委員兼主席。四八年八月華北人民政府成立するや、その政府委員。五二年一月―五四年九月華北行政委員会副主任。五三年四月中国政治法律学会成立大会主席団員。五四年二月当時全国人民解放軍慰問代表団第六總分団団長。四月当時華北区憲法草案初稿討論委員会主任。八月第一期全国人民代表大会河北省代表。九月同大会常務委員会委員、同大会法案委員会主任委員。同月中央人民政府最高人民法院華北分院院長解任。同月最高人民法院副院長。十月全国人民代表大会常務委員会副秘書長。十二月中ソ友好協會第二次全国代表大会代表(共產党)。五六年八月宋慶齡に随行しインドネシア訪問。

張 宗 遜 Chang Tsung-hsin

陝西省の人。現在五九歳。三七年八月第一八集團軍一三〇師第三

五八旅旅長。晋北軍区第二軍分区司令。四五年中共第七期候補中央委員。四九年人民解放軍第一野戰軍兼西北軍区副司令員。中共政府樹立後西北軍政委員会委員、同財政經濟委員会副主任。中央人民政府最高人民檢察署西北分署檢察長。五二年十一月人民革命軍事委員会副總參謀長となり北鮮戦区の軍事指揮に当たったといわれる。五三年一月西北行政委員会委員(兼)。三月スターリン逝世弔問団団員として訪ソ。五四年八月第一期全国人民代表大会西北軍区代表。九月国防委員会委員、中国人民解放軍副總參謀長。五五年七月全国人民代表大会第二次會議提案審查委員会委員。九月一級八一勳章、一級獨立自由勳章および一級解放勳章を受く。五五年十月上將。五六年九月中共第八期中央委員会候補中央委員。

張 體 學 Chang Ti-hsieh

五四年三月―五六年一月当時中共湖北省委員会第一副書記。五四年八月第一期全国人民代表大会湖北省代表。五五年二月湖北省副省長。五六年一月当時湖北省血吸虫病防治委員会委員長。八月湖北省省長。

張 乃 維 Chang Nai-wei 1917~

江蘇省の人。四〇年中央政治学校卒業。四四年米コーネル大学卒業。四六年ハーバード大学卒業。四八年ハーバード大学博士号。四〇年―四二年外交部部員、四二年―四三年ニューヨーク副領事、四九年―五一年国連派遣中国代表部秘書。五二年国立台湾大学教授。五四年―五五年政府情報部第二科長。五五年教育部国際文化教育事業処処長。著書「国際法上個人の取扱に就ての裁判基準」。「カンミール問題」。



張乃召 Chang Nai-chao

五四年十一月國務院中央氣象局副局長。

張大煜 Chang Ta-yü

五四年八月第一期全國人民代表大會旅大市代表。五五年五月中國科學院技術科學學部委員。六月同學部常務委員會委員。科學工程學者。五六年二月民主同盟第二期中央委員會委員。

張大千 Chang Ta-chien 1899~

四川省の人。張澤（善子）の弟。中國現代國畫界の知名画家。よく古画を究めてもつとも清の新羅山人の筆致を追っているといわれる。北京湖社画会の主班者。三八年に一時北京芸術專科學校教授。五六年渡仏、ペリー博物館において敦煌その他絵画の展覧会を開催。甘肅省敦煌の壁画模写の名手として知名。

張大中 Chang Ta-chung

五三年三月—六月当時中國新民主主義青年團北京市委員會書記。五月北京市選舉委員會委員。七月中國新民主主義青年團第二期中央委員。五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員。五五年二月北京市人民委員會委員。

張大巔 Chang Ta-tien

五五年八月当時國務院第一機械工業部供応局辦公室主任。

張大田（雅泉） Chang Ta-tien (Ya-chian) 1899~

熱河省凌源県の人。北京俄（ロシア）文法政専門學校卒業。外交部露事委員會中露會議辦事員。駐露領極東共和國外交代表処隨員。駐チタ領事館領事官補。黒河領事館副領事。北京文化大學教授。南京砲兵學校教官。三五年ノヴォシビルスク總領事館領事。現在國府立法委員。訳書「ソ連五年計画」

張洒藩 Chang Nai-fan 1905~

江蘇省の人。國立中央大學卒。三九年—四五年軍事委員會委員長、行營代理科長。四九年—五〇年總裁室秘書、五〇年國民黨情報部第一科長。五〇年—五二年國民黨中央改造委員會秘書。五二年以來國民黨中央委員會秘書。

張濯清 Chang Cho-ching

回教族。國府時代綏遠省保安副司令。四九年—五四年六月同省軍政委員會委員。五三年一月同省人民政府民族事務委員會副主任委員、綏遠市人民政府副市長。五三年一月—五四年六月同省人民政府委員。五四年八月内蒙古自治区人民政府委員、内蒙古自治区呼和浩特市人民政府副市長。五五年四月内蒙古自治区人民委員會委員。

張達志 Chang Ta-chih

陝西省の人。五〇年西北軍政委員會公安部部长。五三年一月西北行政委員會委員。五四年九月國防委員會委員。五六年九月中共第八期中央委員會候補中央委員。

張達碧 Chang Ta-pi (Chong Thutt-pit) 1900~

マライ・ペラク州生れ。広東省河源県出身者の子孫。シンガポール在住華僑。二七年ロンドンに赴き法律を研究。三二年英國法律協會試験に合格、ロンドン高等法院弁護士資格を獲得。同年シンガポールに法律事務所を開設。シンガポール進歩党黨員にして、五〇年三月市政府議員。後海通銀行および同保險公司董事、馬華公會シンガポール分会主席。

張池明 Chang Chi-ming

五四年二月当時人民解放軍第四野戰軍後勤部政治委員。五五年九月一級解放勳章を受く。

張知本（懷九） Chang Chih-pên (Huai-chiu) 1881~

湖北省江陵県の人。五年日本法政大學卒業。辛亥革命に際し同盟會支部評議長。武昌の中華民國軍政府司法部長。第一回參議院議員。二七年—二八年湖北省政府主席、湖北省立法科大學。江漢大學、上海法科大學校長、國民黨武漢政治分会委員、私立朝陽學院院長。三三年—三六年立法院憲法起草委員會副委員長。三一年以來國民黨中央執行委員、司法部秘書長。四三年—四九年行政院院長。四九年三月何應欽内閣司法部長。同年司法行政部長。五三年國民大會代表、國民黨中央監察委員、總統府國策顧問。著書「憲法論」「法學通論」「破産法論」「社會法律學」「民事証據法」「土地公有論」「憲政要論」「憲法僭擬」「辛亥革命論」

張致遠 Chang Chih-Yuan

中共黨員、大連埠頭幹部といわれる。五五年三月当時國務院交通部海運管理總局副局長、中國外輪代理公司代表。三月—四月の間中共訪日貿易代表團團員として来日。五六年六月当時交通部對外連絡局長。七月モスクワにおいてソ連、中共、北鮮海難救護協定に調印。

張致祥 Chang Chih-hsiang

五三年三月—五四年三月当時中國人民解放軍華北軍区政治部副主任。五四年十一月國務院文化部副部長。五五年六月当時中國芸術團團長、パリ第二回國際演劇祭に出席。十月世界各國首都市長大會代表。

張中 Chang Chung

五三年十二月当時中共中央西北局辦公厅主任。五五年三月國務院國家檔案局（記録文書）副局長。

張仲翰 Chang Chung-han

五六年十月國務院農墾部副部長。

張仲賢 Chang Chung-hsien

五三年十二月当時中共中央西北局宣傳部副部長。



張 仲 實 Chang Chung-shih

五四年五月中国人民对外文化協合理事。

張 仲 良 Chang Chung-liang

陝西省の人。四九年青海省人民政府副主席、西北軍政委員會委員、中共青海省委書記、人民解放軍軍政治委員。五三年一月西北行政委員會委員。五四年一月當時青海省主席。八月第一期全國人民代表大會甘肅省代表。九月同大會民族委員會委員。五六年九月當時中共甘肅省委第一書記。

張 仲 魯 Chang Chung-lu

五四年十二月政治協商會議第二回全國委員會特別招請委員。

張 冲 (雲鵬) Chang Chung (Yün-pèng) 1898~

彝族。雲南省瀘西生れ。中学一年の時父を殺され、復仇のため土匪に投ず。一七年国府軍胡若愚の部下に改編され、後營長、團長、師長、軍長、雲南塩運使。三八年台兒莊で日本軍と交戦。四六年中共軍に寝返り、東北に従軍し、松江省人民政府副主席。四九年政治協商會議に少数民族代表として出席。五〇年中央人民政府民族事務委員會委員、西南軍政委員會委員。機構改革により五三年一月西南行政委員會委員。五四年八月第一期全国人民代表大會雲南省代表。十二月中共友好協會第二次全國代表會代表。五五年二月雲南省副省長。當時雲南省軍区司令部參謀長。

張 潮 Chang Chao

五三年七月當時中国教育工會全國委員會國際部副部長。五三年七月ウイーンにて開催の世界教育工作者代表大會に出席の中共代表團団員兼秘書。五四年四月當時人民日報記者。

張 珍 Chang Chên

五六年三月當時國務院重工業部化學工業管理局局長。七月中国化学工学会準備委員會副主任委員。著書「第一個五年計画中的化學工業」。

張 廷 休 Chang Ting-hsiu 1899 ~

貴州省安順県の人。東京高等師範学校、国立南京大学卒業。英ロンドン大学卒業。国民党中央党部宣傳部秘書兼首都衛戍司令部參事を経て、三〇年劉峙河南省政府主席となるや河南省政府秘書長。国民党河南党部執行委員。三二年辭任。四二年—四九年貴陽貴州大学長。五〇年正中書局總經理。著書「近代革命史編要」。

張 定 釗 Chang Ting-chao

五六年一月當時中国科学院応用化学研究所學術委員會委員。

張 貞 (幹之) Chang Chên (Kan-chih) 1885~

福建省紹安県の人。一四年保定軍官学校卒業。後方馨濤、宋淵源等の福建靖国自治軍に入る。二〇年方、宋等失脚後紹安方面に在り二五年国民革命軍に投じ旅長となり、二六年何應欽の北伐軍福建に

張 忠 良 Chang Chung-liang

五四年二月當時政務院燃料工業部石油管理總局鑽探局副局長。

張 兆 美 Chang Chao-mei

五三年十月中国工會代表團員として十月革命三六周年典禮出席のため訪ソ。十一月當時松江省工會連合會主席。五四年八月松江省人民政府委員解任。五五年十一月石油工會工作委員會主任。五六年二月當時中国石油工會準備委員會主任。四月全國先進生産者代表會議主席團員。

張 超 Chang Chao

五三年四月當時中共湖南省委員會副秘書長。七月中国新民主主義青年團第二期中央委員。五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(新民主主義青年團)。五五年三月山東省人民委員會委員。五六年四月當時焦作礦務局局長。

張 超 倫 Chang Chao-lun

苗族。五四年十二月政治協商會議第二期全國委員會委員(少数民族)。同月中ソ友好協會第二次全國代表會代表。

張 肇 騫 Chang Chao-chien

植物学者。五三年十一月—五六年四月當時中国科学院植物研究所副所長。五五年五月中国科学院植物学地学学部委員。

張 鼎 丞 (鼎信) Chang Ting-chêng (Ting-hsin) 1897 ~

入るや、独立第一四師長に任ぜられ先導として浙江に入る。二七年福建省政府委員。北伐完了後漳州に入り暫編第一師長(同師はその後間もなく新編第一と改編さらに三〇年第四九師と改称)。二九年、国民党第三次中央候補執行委員に挙げられ、その後執行委員に補任。三一年第四次中央執行委員會委員。三五年第五期候補中央執行委員軍事委員會委員。広州行營參謀長。五三年當時国府立法委員。

福建省永定の人。(一説に現在五六歳)貧農出身。二二年広東農民講習所に入り、毛澤東の訓陶を受けたといわれる。二七年国共分裂後、福建西部一帯で鄧子恢とともに閩西紅軍游擊隊を組織。閩西ソヴェト政府主席。三一年頃紅軍第二一軍軍長。三四年瑞金の中華ソヴェト政府第二次全國代表大會中央執行委員。三四年十月紅軍西遷の際は閩贛辺区に残留して游擊戦に従事す。日華事变勃発するや国民革命軍第五七師に加わり、四〇年延安到着。皖南事变により新四軍に改編後、四月皖南地方の新四軍第七師師長。四五年中共第七期中央委員。福建省委員會書記、福建軍区政治委員。四九年十月政務院華僑事務委員會委員。五二年十一月福建省政府主席。五三年一月機構改革により華東軍政委員會委員をやめ華東行政委員會副主席。同月華東婚姻法貫徹運動委員會主任。二月當時中共中央華東局第四書記。五四年十一月華東抗米援朝總分會にて結成の人民解放軍慰問代表團第四分團長。六月華東軍政委員會政治法律委員會主任



解任。八月全国人民代表大会福建省福州市代表。九月最高人民檢察院檢察長。五六年九月中共第八期中央委员会中央委員、監察委员会委員。

張 鐵 錚 Chang T'ieh-cheng

五三年十月当時政務院燃料工業部水力發電工程局副局長。

張 鐵 生 Chang T'ieh-sheng

五四年五月中国人民对外文化協會理事。五五年七月中国人民外交学会第三期理事會理事。

張 鐵 民 Chang T'ieh-min

五三年二月全パキスタン第二回医学会議出席中共醫師代表团團員としてパキスタン訪問。五月世界医学會議の中共代表团秘書。五四年六月西康省人民政府委員。中共西康省委员会組織部部长。五五年一月西康省人民委员会委員。

張 天 放 Chang T'ien-fang

五四年九月まで西南軍政委员会財政經濟委員会委員。十二月政治協商会議第二期全国委员会特別招請委員。五五年二月雲南省人民委员会委員。五六年二月国民党革命委员会中央委員。

張 天 民 Chang T'ien-min

五四年八月第一期全国人民代表大会山東省代表。五五年十一月当

五三年十月当時東北行政委员会文化局副局長。五四年二月人民解放軍慰問代表团第七分団（東北）副団長。

張 東 蓀 Chang Tung-sun 1884 ~

江蘇省呉県の人。日本東京帝大卒業。哲学者。第一革命に参加。二一年中共党創立大会に参加。南京臨時政府内政部秘書、上海時事新報総編集、上海「タイムス」編集、上海呉淞国立大学代理学長、上海光華大学文学院長、燕京大学北京大学教授を歴任。国家社会党領袖であったが、その後民主社会党革新派となり、中国民主同盟常務委員。著書「新哲学論叢」「倫理的哲学」「科学與哲学」等。四九年七月北京で発足の新哲学研究会準備委员会常務委員。九月新政治学研究会準備会常務委員。十月中央人民政府政府委員、政務院文化教育委员会委員。十二月中国人民外交学会理事。

張 東 木 Chang Tung-mu

五三年十一月全国工商業連合会執行委員。五四年八月第一期全国人民代表大会山東省代表。五五年三月山東省人民委员会委員。十一月当時山東省工商業連合会副主任委員。五六年十二月全国工商業連合会第二期執行委員（山東省）。

張 濤 Chang Tao

五三年三月当時人民日報朝鮮前線特派記者。五五年二月貴州省人民委员会委員。

張 同 鈺 Chang Tung-yü

時建築工会準備委员会主任。五六年四月オーストラリア訪問中国工会代表团團員。同月全国先進生産者代表会議主席團員。

張 天 翼（筆名・老傳） Chang T'ien-i (Lao-kua)

湖南省湘郷県の人。中国国民党中央評議員張默君の弟。作家。処女作「三日半の夢」（二九年）以後、鋭い諷刺を秘めた「蜜蜂」「鬼士日記」「仇恨」等を続々発表。「清明詩節」（三五年）は佳作といわれる。戦時の代表作には「華威先生」、戦後には「羅文應的故事」「他們和我們」などがある。五三年十月中国作家協會理事會理事。五四年五月当時保衛兒童全国委员会主催の全国兒童文芸創作評獎委员会委員。同月作品「羅文應的故事」により全国兒童文芸創作評獎委员会より一等賞を受く。六月兒童文芸創作評獎委员会副主任。八月全国第一期人民代表大会旅大市代表。十一月当時中国作家協會會員、同会創作委员会兒童文学組員。

張 傳 海 Chang Chuan-hai (Teo Thuang-hai)

1915 ~

福建省の人。シンガポール在住華僑。貿易業孟加里実達有限公司董事。五六年八月シンガポール工商業貿易視察団團員として中共を訪問。

張 彤 Chang Tung

五六年九月当時中共駐インド大使館武官。

張 東 川 Chang Tung-chuan

五六年十月國務院地質部部长助理。

張 道 吾 Chang Tao-wu

五三年十一月全国工商業連合会執行委員。

張 道 行 Chang Tao-hsing 1908 ~

江蘇省の人。三四年米アイオワ大学博士号。三四年—三九年中央政治学校教授。三九年—四四年外交部首席秘書兼顧問。三八年—四四年「Foreign Affairs」の主筆。四六年国連會議中国代表顧問。四八年—五〇年立法委員。五〇年以來駐ドミニカ共和国代理公使。五六年六月当時駐コスタリカ公使。著書「東支鉄道に関する國際編争」「大学校用教科書國際法」

張 道 時 Chang Tao-shih

湖南省の人。現在四〇歳位。四八年人民解放軍第三野戦軍第一〇兵団師副政治委員、五二年厦門警備司令部政治部副主任、五四年中共厦門市委员会書記、五五年六月厦門市長といわれる。

張 道 中 Chang Tao-chung

五四年八月第一期全国人民代表大会山西省代表。

張 道 藩 Chang Tao-fan 1897 ~

貴州省盤県の人。二七年貴州省党務指導員。二四年ロンドン・ユニバーサルカレッジ、スレード・スクール卒業。ロンドン支部評議